

習志野市
子どもの生活に関する実態調査
報告書

平成 3 0 年 3 月

習志野市

目 次

第1章 本市の調査の趣旨	1
第1節 調査をするにあたっての背景	3
1. 本調査の位置づけ	3
第2節 調査の概要	4
1. 調査実施の目的	4
2. 調査の種類	4
3. 調査方法と回収状況	4
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	5
6. 回答者の属性	6
(1) 子ども調査 性別	6
(2) 子ども調査・保護者調査 居住地区	6
(3) 保護者調査 調査票御記入者	8
(4) 保護者調査 世帯人員（その他の世帯員・子どもの人数）	9
(5) 保護者調査 お子さんの父母等の属性	12
第2章 調査の結果詳細	25
1. 居場所について	27
(1) 放課後に過ごしている場所	27
(2) 放課後にしていること	29
(3) 放課後に一緒に過ごす人	32
(4) 休日に過ごしている場所	35
(5) 休日に一緒に過ごす人	37
(6) 自由意見（居場所について）	39
2. 健康について	41
(1) 朝ご飯を食べる頻度	41
(2) 朝ご飯を食べない理由	44
(3) 昼ご飯を食べる頻度	46
(4) 平日の起床時間	47
(5) 平日の就寝時間	50
(6) 1年間の歯科医への通院状況	53
(7) 自分の健康状態（主観的）	56
(8) ふだんの健康のための取り組み	60
(9) 自由意見（健康について）	84
3. 地域での活動について	85
(1) 地域での活動経験・活動意向	85
(2) 自由意見（地域での活動について）	97
4. 習志野市について	99

(1) 習志野市にあったらいいと思う場所や施設	99
(2) 行事など市からのお知らせの受け取り方	103
(3) 自由意見（習志野市について）	104
5. インターネットの利用について	106
(1) 携帯電話の所有状況	106
(2) インターネットの利用状況	109
(3) インターネットを利用する主な目的	111
(4) インターネットの利用時間（一日平均）	114
(5) 自由意見（インターネットの利用について）	117
6. 学びについて	118
(1) 自宅の学習場所の有無	118
(2) 授業時間以外の1日あたりの勉強時間	119
(3) 学校の授業の理解状況	121
(4) 授業が分からなくなった時期	123
(5) 自由意見（学びについて）	124
7. 将来について	126
(1) 希望する最終進学先	126
(2) 希望通りの学校まで進むと思うか	130
(3) 希望通りの学校まで進むと思わない理由	134
(4) 将来の夢や目標の有無	138
8. 自分自身について	141
(1) 何をしている時にうれしいと感じるか	141
(2) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことの有無	143
(3) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか	145
(4) 自分によいところがあると思うか	147
(5) 自分の幸福度	150
(6) 自由意見（自分自身について）	154
9. 施策や制度について	156
(1) 公的制度の利用有無	156
(2) 子どもや家庭の支援策として希望するもの	160
(3) 子育て施策などに関する情報の入手方法	161
(4) 事業の利用状況	162
(5) 無料学習支援の子ども参加意向	170
(6) 無料学習支援の参加可能範囲	172
10. 悩みごとや相談相手について	173
(1) 悩みや心配事	173
(2) 困ったことや悩みの相談相手	177
(3) お子さんに関することで、悩んでいること	179
(4) お子さんのこと以外で、困っていることや不安に思っていること	181
(5) 心おきなく相談できる相手の有無	183

(6) 現在の相談相手、希望する相談相手	185
11. お子さんと家の大人の過ごし方について	186
(1) 大人と一緒に食事をする頻度	186
(2) 家の大人とのかかわり	188
(3) お子さんとの会話頻度	193
(4) お子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている 1 日の時間	194
12. 暮らしの状況について	196
(1) 世帯にて過去 1 年間に経済的な理由で起きたこと	196
(2) 世帯の昨年 1 年間の可処分所得	199
 第 3 章 付属資料	 201

第 1 章 本市の調査の趣旨

第1節 調査をするにあたっての背景

1. 本調査の位置づけ

平成28年国民生活基礎調査によると、我が国の子どもの貧困率は13.9%となっており、平成16年度調査から上昇を続け過去最悪となった平成25年度調査の16.3%よりマイナス2.4ポイントと改善傾向にあるものの、依然として子ども7人に1人の割合になっています。また、ひとり親世帯の子どもの貧困率は50.8%と半数を超える状況下にあります。

貧困の問題を抱える子どもたちには、食事や基本的な生活習慣への課題から健康面への影響が生じたり、教育や様々な体験の機会が失われるなど、その健全な成長に支障を来すことが懸念されるとともに、地域の中での孤立や必要とされる支援が届いていないことも危惧されております。

こうした動きを踏まえ、国においては平成26年1月に子どもの貧困対策を総合的に推進するために講ずべき施策の基本となる事項その他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されました。

また、千葉県は「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者に対する就労の支援」、「経済的支援」の4つを重点的施策とした「千葉県子どもの貧困対策推進計画」を平成27年12月に策定しております。

本市では、これらを背景に、本市全体の子どもの生活状況を探ると共に、世帯の経済状況等における子どもの健康や生活状況に与える影響、求めている支援などを探り、一人ひとりの子どもが将来にわたって本市を支える担い手となるための有効な手立てについて検討するための資料とすべく、本調査の実施及び分析をしたものです。

第2節 調査の概要

1. 調査実施の目的

一人ひとりの子どもが夢と希望を持ち、自分らしく社会の一員として自立できるための有効な支援を導くために、本市の子どもの生活状況等の実態を把握すると共に、生活困窮が子どもの健康や生活状況に与える影響や、またその要因等について調査・分析をした。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 子ども調査	習志野市立学校及び公立特別支援学校に通う、小学5年生（1,458人）および中学2年生（1,413人） 2,871人
2. 保護者調査	上記の保護者（2,871人）

3. 調査方法と回収状況

調査方法：【子ども調査】学校配布、学校回収

※特別支援学校は学校配布、郵送回収

【保護者調査】学校配布、郵送回収

調査期間：平成29年10月18日（水）～11月14日（火）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 子ども調査	2,871件	2,767件	96.4%
2. 保護者調査	2,871件	1,651件	57.5%
合 計	5,742件	4,418件	76.9%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 子ども調査	1. 居場所について 2. 健康について 3. 地域での活動について 4. 習志野市について 5. インターネットの利用について 6. 学びについて 7. 自分自身について 8. 自由意見
2. 保護者調査	1. ご本人について 2. 施策や制度について 3. お子さんについて 4. 暮らしの状況について 5. 将来について 6. お子さんとの過ごし方について 7. 健康について 8. 経済の状況について 9. 自由意見

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・保護者調査 問24 でご回答いただいた可処分所得額について、国が算出した貧困線（国民生活基礎調査の可処分所得額により算出）の水準を基とすると、貧困線未満に該当する世帯は、選択肢1と2である。しかし、貧困線をやや上回っていても経済的困難を抱える家庭があることを勘案し、可処分所得別での分析は、選択肢1から3、選択肢4、選択肢5、選択肢6の4区分で行っている。

世帯員 人数	可処分所得 (世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」 「社会保険料（「医療保険（短期掛金）」、 「年金保険（長期掛金）」、「介護保険」、「雇用保険」）、 「固定資産税」を除いた額)	
	1. 60 万円未満 2. 60 万円～120 万円未満 3. 120 万円～180 万円未満	4. 180 万円～240 万円未満 5. 240 万円～300 万円未満 6. 300 万円以上
1 人	1. 85 万円未満 2. 85 万円～175 万円未満 3. 175 万円～260 万円未満	4. 260 万円～345 万円未満 5. 345 万円～430 万円未満 6. 430 万円以上
2 人	1. 105 万円未満 2. 105 万円～210 万円未満 3. 210 万円～315 万円未満	4. 315 万円～420 万円未満 5. 420 万円～525 万円未満 6. 525 万円以上
3 人	1. 120 万円未満 2. 120 万円～245 万円未満 3. 245 万円～365 万円未満	4. 365 万円～485 万円未満 5. 485 万円～605 万円未満 6. 605 万円以上
4 人	1. 135 万円未満 2. 135 万円～275 万円未満 3. 275 万円～410 万円未満	4. 410 万円～545 万円未満 5. 545 万円～680 万円未満 6. 680 万円以上
5 人	1. 150 万円未満 2. 150 万円～300 万円未満 3. 300 万円～450 万円未満	4. 450 万円～600 万円未満 5. 600 万円～750 万円未満 6. 750 万円以上
6 人	1. 160 万円未満 2. 160 万円～325 万円未満 3. 325 万円～485 万円未満	4. 485 万円～645 万円未満 5. 645 万円～805 万円未満 6. 805 万円以上
7 人	1. 175 万円未満 2. 175 万円～345 万円未満 3. 345 万円～520 万円未満	4. 520 万円～695 万円未満 5. 695 万円～870 万円未満 6. 870 万円以上
8 人	1. 185 万円未満 2. 185 万円～365 万円未満 3. 365 万円～550 万円未満	4. 550 万円～735 万円未満 5. 735 万円～920 万円未満 6. 920 万円以上
9 人		

選択肢を
1～3、4、5、6
の4つに区分する

- ・経年比較は、「習志野市子どもの満足度調査」（平成26年度公表）と本調査との比較を行っている。

第1章 本市の調査の趣旨

6. 回答者の属性

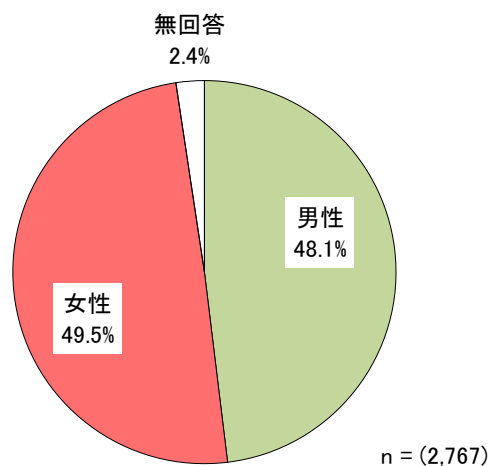
(1) 子ども調査 性別

男性が48.1%、女性が49.5%となっている。

【図表1 全体】

(上段：件数、下段：%)

調査数	男性	女性	無回答
2,767 100.0	1,330 48.1	1,371 49.5	66 2.4



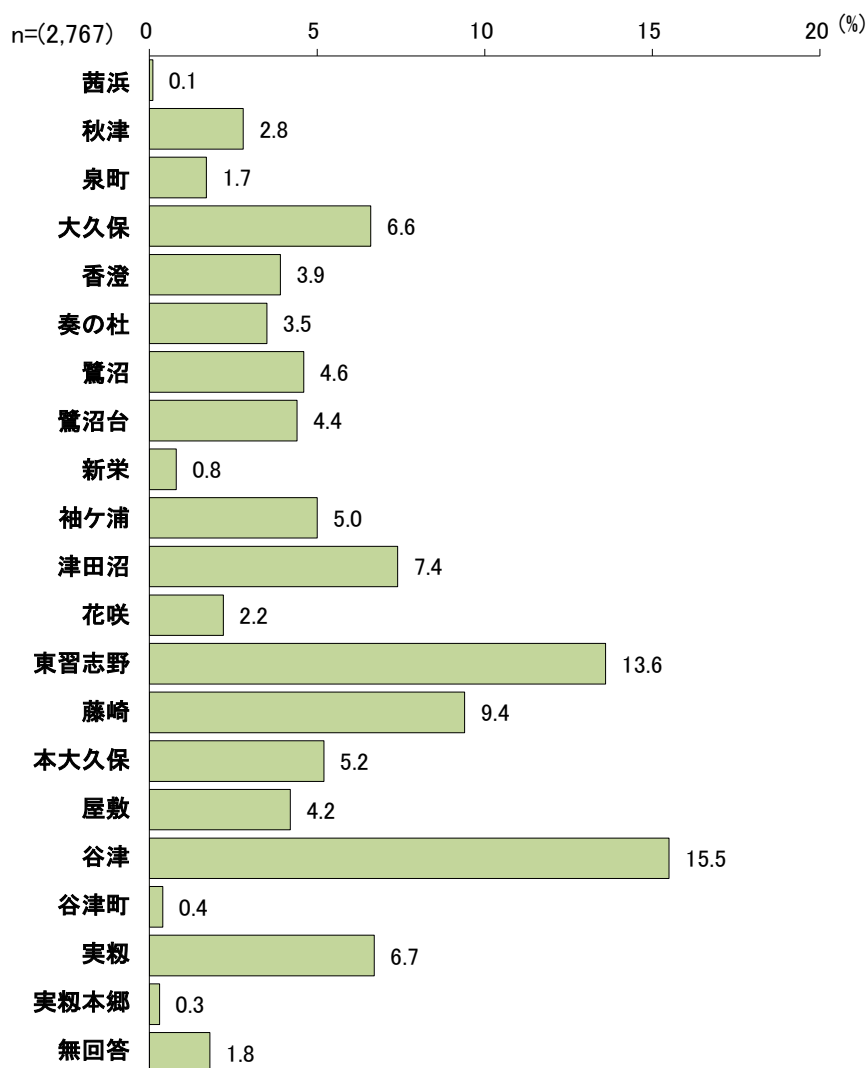
(2) 子ども調査・保護者調査 居住地区

子ども調査は、全体では「谷津」15.5%が最も高く、次いで「東習志野」13.6%、「藤崎」9.4%、「津田沼」7.4%となっている。

【図表2 子ども調査・全体】

(上段：件数、下段：%)

調査数	茜浜	秋津	泉町	大久保	香澄	奏の杜	鷺沼	鷺沼台	新栄	袖ヶ浦	津田沼	花咲	東習志野	藤崎	本大久保	屋敷	谷津	谷津町	実籾	実籾本郷	無回答
2,767 100.0	2 0.1	77 2.8	46 1.7	184 6.6	109 3.9	97 3.5	126 4.6	123 4.4	21 0.8	138 5.0	205 7.4	62 2.2	375 13.6	259 9.4	143 5.2	116 4.2	430 15.5	12 0.4	185 6.7	8 0.3	49 1.8



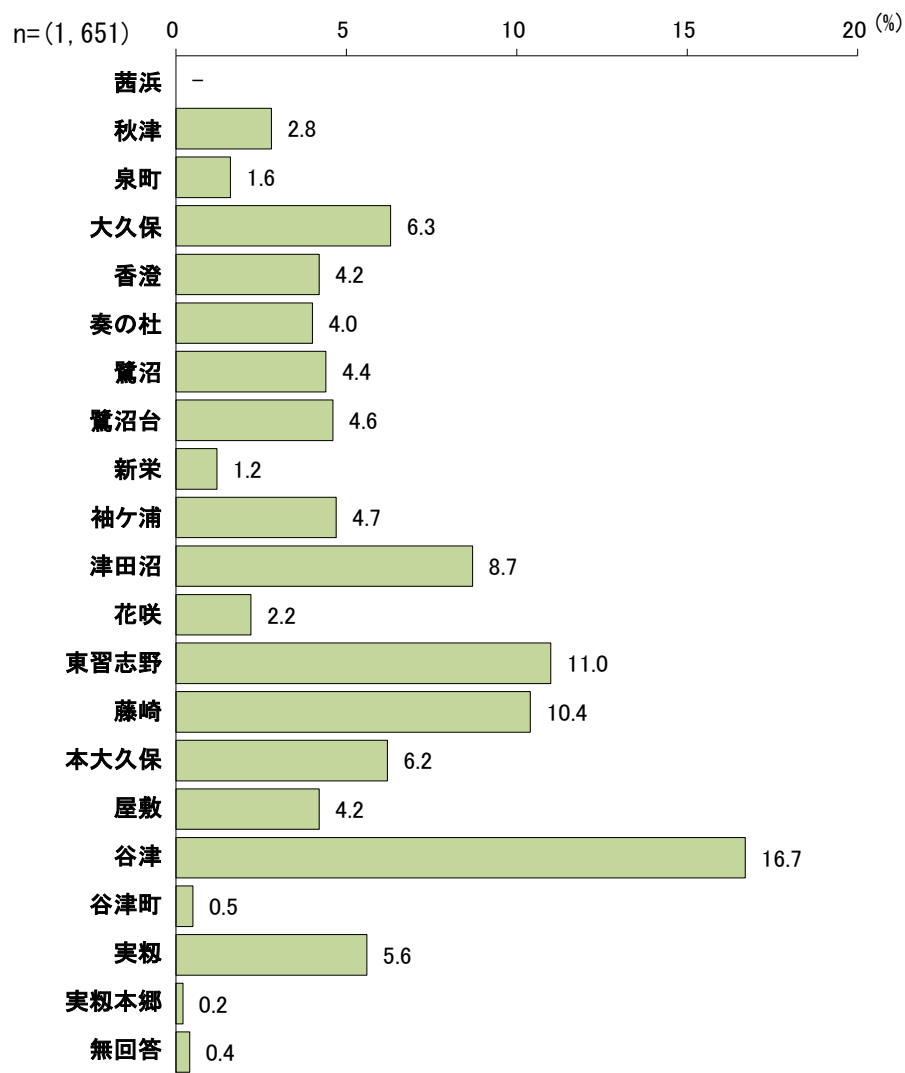
保護者調査は、全体では「谷津」16.7%が最も高く、次いで「東習志野」11.0%、「藤崎」10.4%、「津田沼」8.7%となっている。

【図表3 保護者調査・全体】

(上段：件数、下段：%)

調査数	茜浜	秋津	泉町	大久保	香澄	奏の杜	鷺沼	鷺沼台	新栄	袖ヶ浦	津田沼	花咲	東習志野	藤崎	本大久保	屋敷	谷津	谷津町	実籾	実籾本郷	無回答
1,651	－	47	27	104	70	66	73	76	19	77	144	37	181	171	102	70	275	8	93	4	7
100.0	－	2.8	1.6	6.3	4.2	4.0	4.4	4.6	1.2	4.7	8.7	2.2	11.0	10.4	6.2	4.2	16.7	0.5	5.6	0.2	0.4

第 1 章 本市の調査の趣旨



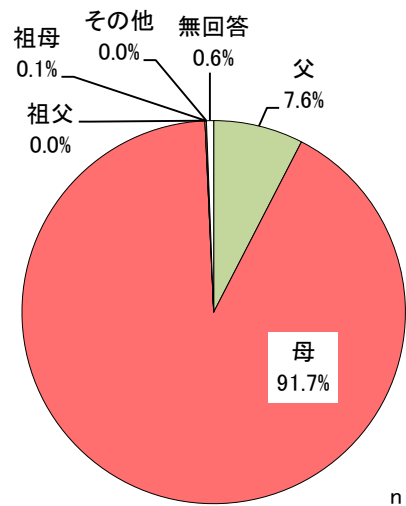
(3) 保護者調査 調査票御記入者

「母」が91.7%で最も高く、次いで「父」7.6%となっている。

【図表 4 全体】

(上段：件数、下段：%)

調査数	父	母	祖父	祖母	その他	無回答
1,651	125	1,514	-	2	-	10
100.0	7.6	91.7	-	0.1	-	0.6



n = (1,651)

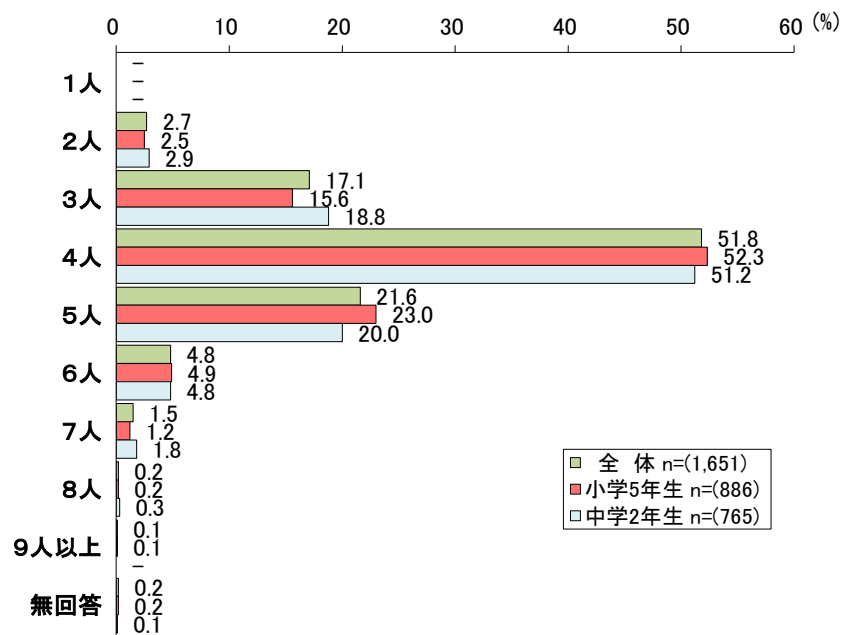
(4) **保護者調査** 世帯人員（その他の世帯員・子どもの人数）

全体では「4人」51.8%が最も高く、次いで「5人」21.6%、「3人」17.1%、「6人」4.8%、「2人」2.7%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「4人」が5割台で最も高くなっており、次いで「5人」となっている。

【図表5 全体・学年別】

		(上段：件数、下段：%)									
	調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	無回答
全 体	1,651	-	44	282	855	357	80	25	4	1	3
	100.0	-	2.7	17.1	51.8	21.6	4.8	1.5	0.2	0.1	0.2
小学校5年生	886	-	22	138	463	204	43	11	2	1	2
	100.0	-	2.5	15.6	52.3	23.0	4.9	1.2	0.2	0.1	0.2
中学校2年生	765	-	22	144	392	153	37	14	2	-	1
	100.0	-	2.9	18.8	51.2	20.0	4.8	1.8	0.3	-	0.1

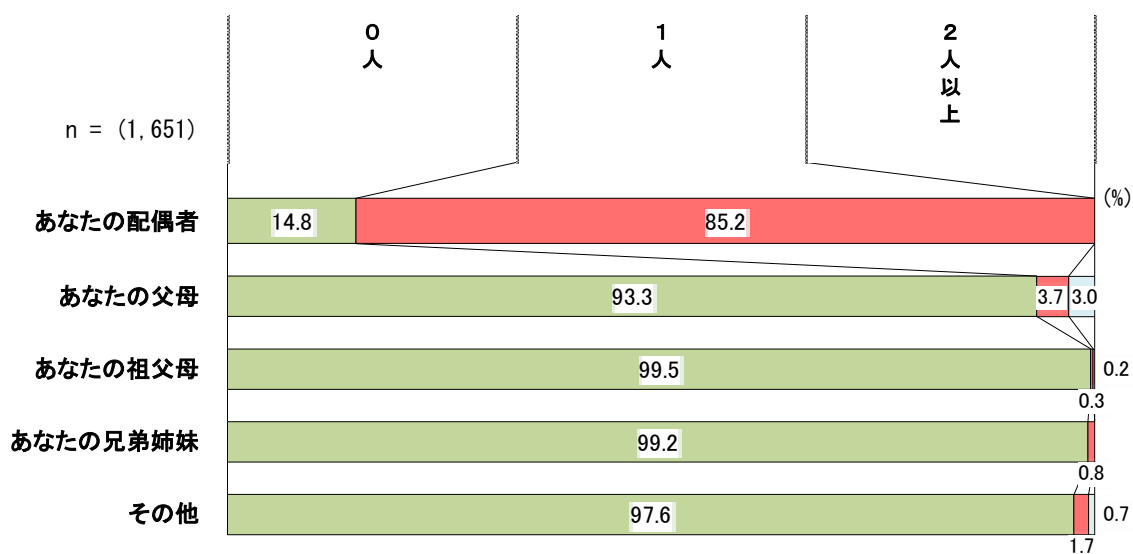


第1章 本市の調査の趣旨

その他の世帯員の人数は、「配偶者」が「1人」85.2%となっている。また、「父母」が「1人」3.7%、「2人以上」3.0%となっている。

【図表6 その他の世帯員】

	調査数	(上段：件数、下段：%)		
		0人	1人	2人以上
あなたの配偶者	1,651 100.0	244 14.8	1,407 85.2	— —
あなたの父母	1,651 100.0	1,540 93.3	61 3.7	50 3.0
あなたの祖父母	1,651 100.0	1,643 99.5	5 0.3	3 0.2
あなたの兄弟姉妹	1,651 100.0	1,637 99.2	14 0.8	— —
その他	1,651 100.0	1,612 97.6	28 1.7	11 0.7

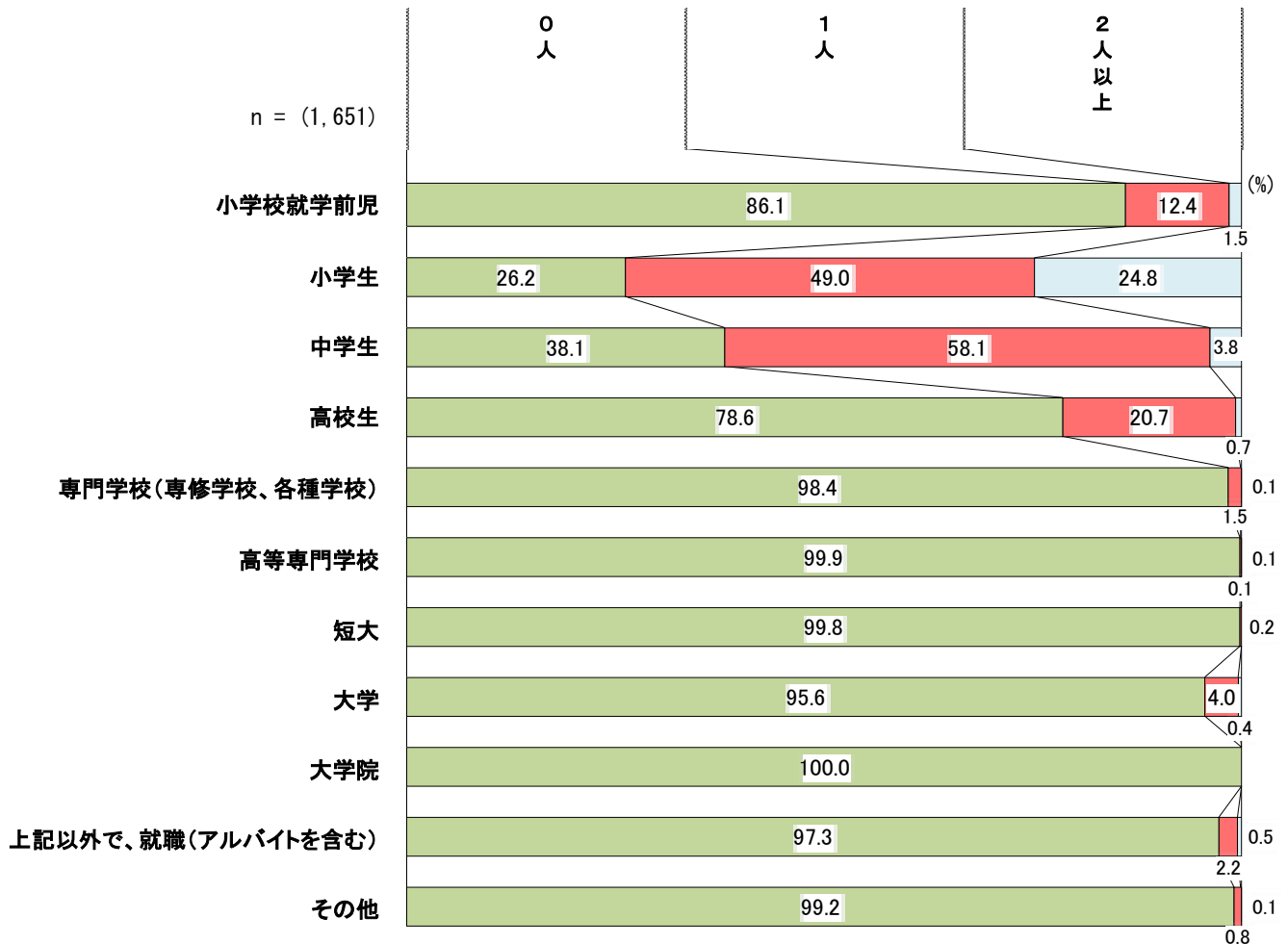


子どもの人数は、「小学校就学前児」が「1人」12.4%、「小学生」が「1人」49.0%、「2人以上」24.8%となっている。また、「中学生」が「1人」58.1%、「高校生」が「1人」20.7%となっている。

【図表7 子ども的人数】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	0人	1人	2人以上
小学校就学前児	1,651 100.0	1,421 86.1	205 12.4	25 1.5
小学生	1,651 100.0	433 26.2	809 49.0	409 24.8
中学生	1,651 100.0	629 38.1	960 58.1	62 3.8
高校生	1,651 100.0	1,298 78.6	341 20.7	12 0.7
専門学校 (専修学校、各種学校)	1,651 100.0	1,625 98.4	25 1.5	1 0.1
高等専門学校	1,651 100.0	1,649 99.9	1 0.1	1 0.1
短大	1,651 100.0	1,647 99.8	4 0.2	-
大学	1,651 100.0	1,578 95.6	66 4.0	7 0.4
大学院	1,651 100.0	1,651 100.0	-	-
上記以外で、就職 (アルバイトを含む)	1,651 100.0	1,606 97.3	36 2.2	9 0.5
その他	1,651 100.0	1,637 99.2	13 0.8	1 0.1



第1章 本市の調査の趣旨

(5) 保護者調査 お子さんの父母等の属性

<ア. 年齢>

「父または父にあたる人」は、全体では「40代」66.3%が最も高く、次いで「50代」15.7%、「30代」10.8%、となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「40代」が6割台で最も高くなっており、次いで小学5年生では「30代」「50代」が1割台、中学2年生では「50代」が2割台となっている。

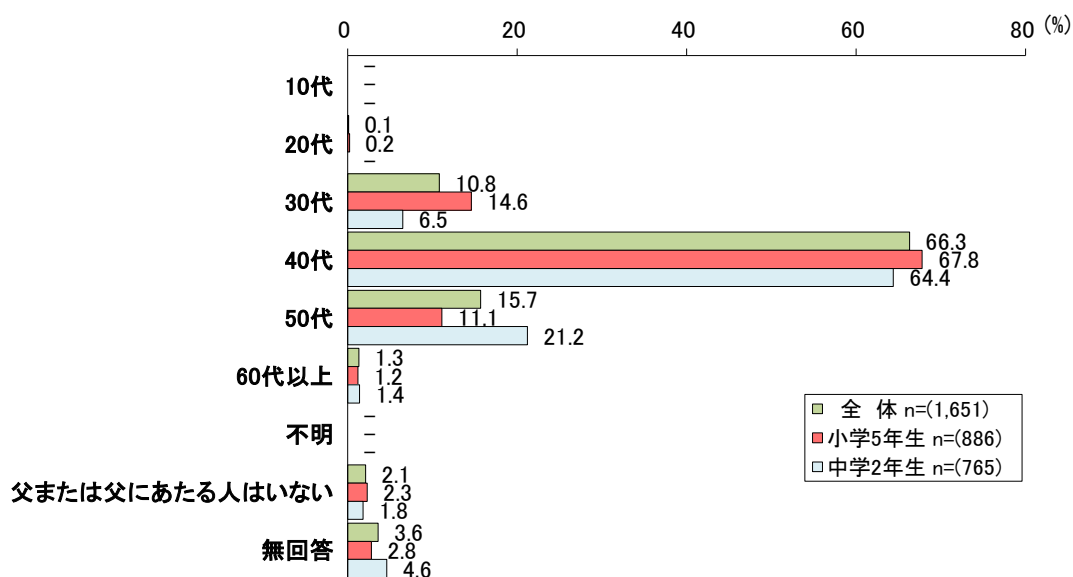
「母または母にあたる人」は、全体では「40代」72.0%が最も高く、次いで「30代」17.9%、「50代」7.6%となっている。

学年別でみると、「40代」が小学5年生では6割台、中学2年生では7割台と最も高くなっている。次いで小学5年生では「30代」が2割台、中学2年生では「50代」が1割台となっている。

【図表8 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

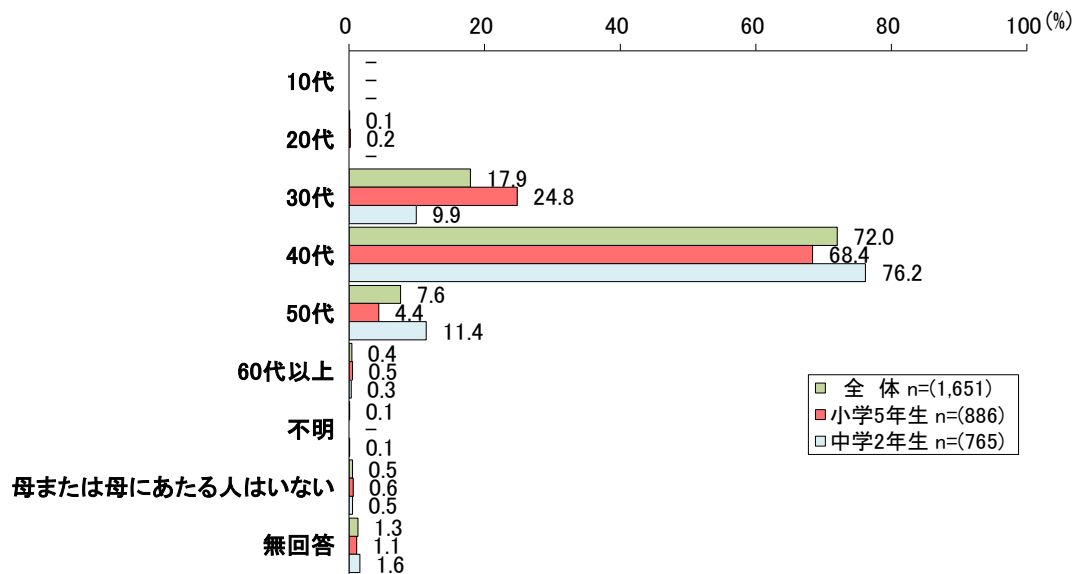
		(上段：件数、下段：%)								
	調査数	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	父または母にはいない	無回答
全 体	1,651	—	2	179	1,094	260	22	—	34	60
	100.0	—	0.1	10.8	66.3	15.7	1.3	—	2.1	3.6
小学校5年生	886	—	2	129	601	98	11	—	20	25
	100.0	—	0.2	14.6	67.8	11.1	1.2	—	2.3	2.8
中学校2年生	765	—	—	50	493	162	11	—	14	35
	100.0	—	—	6.5	64.4	21.2	1.4	—	1.8	4.6



【母または母にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	母または母にあたる人はいない	無回答
全 体	1,651	-	2	296	1,189	126	6	1	9	22
	100.0	-	0.1	17.9	72.0	7.6	0.4	0.1	0.5	1.3
小学校5年生	886	-	2	220	606	39	4	-	5	10
	100.0	-	0.2	24.8	68.4	4.4	0.5	-	0.6	1.1
中学校2年生	765	-	-	76	583	87	2	1	4	12
	100.0	-	-	9.9	76.2	11.4	0.3	0.1	0.5	1.6



＜イ. 健康状態 ※日常生活や育児に困難を感じるような健康上の問題や障がいの有無＞

「父または父にあたる人」、「母または母にあたる人」とともに、全体では「まったくない」が9割以上となっている。

学年別でみると、「父または父にあたる人」は小学5年生・中学2年生とも「まったくない」が9割台となっている。「母または母にあたる人」は小学5年生で9割台、中学2年生でも約9割となっている。

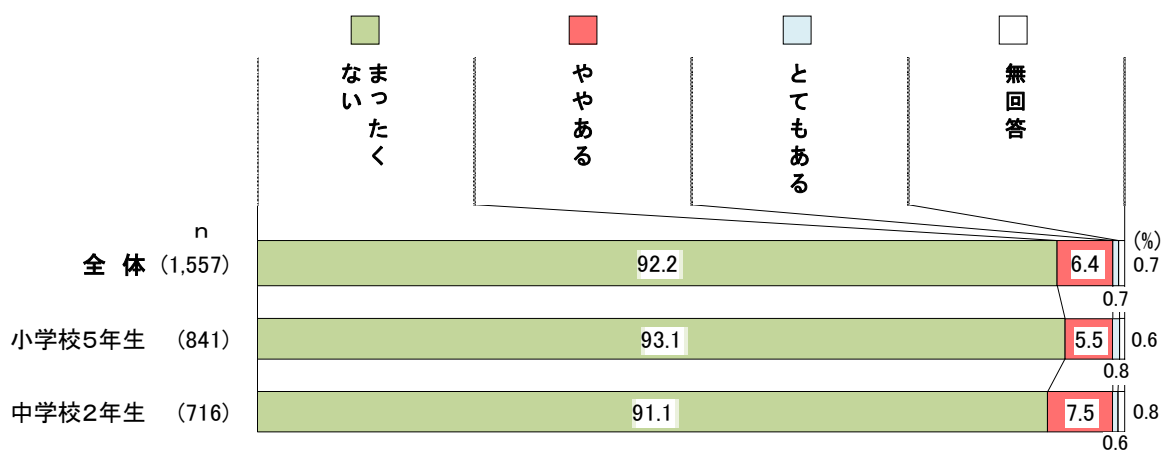
【図表9 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	まったくない	ややある	とてもある	無回答
全 体	1,557	1,435	100	11	11
	100.0	92.2	6.4	0.7	0.7
小学校5年生	841	783	46	7	5
	100.0	93.1	5.5	0.8	0.6
中学校2年生	716	652	54	4	6
	100.0	91.1	7.5	0.6	0.8

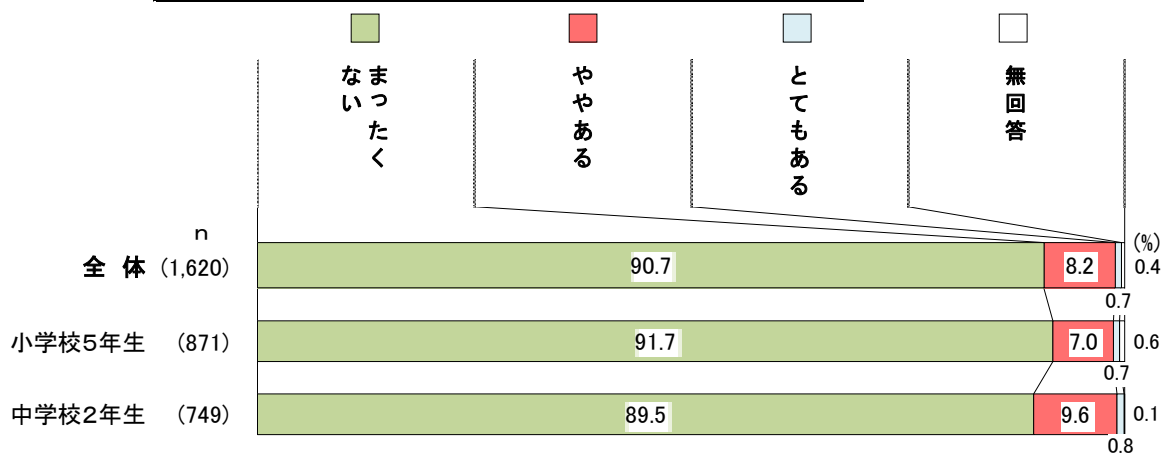
第1章 本市の調査の趣旨



【母または母にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	まったく ない	やや ある	とても ある	無 回答
全 体	1,620	1,469	133	12	6
	100.0	90.7	8.2	0.7	0.4
小学校5年生	871	799	61	6	5
	100.0	91.7	7.0	0.7	0.6
中学校2年生	749	670	72	6	1
	100.0	89.5	9.6	0.8	0.1



＜ウ. 最後に通った学校＞

「父または父にあたる人」は、全体では「大学卒業」53.2%が最も高く、次いで「高等学校卒業」17.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」15.0%、「大学院修了」6.6%となっている。

「その他」の記述内容は『通信大学卒業』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「大学卒業」が5割台で最も高く、次いで「高等学校卒業」「高専、短大、専門学校等卒業」が1割台となっている。

「母または母にあたる人」は、全体では「高専、短大、専門学校等卒業」45.2%が最も高く、次いで「大学卒業」27.1%、「高等学校卒業」20.2%、「高専、短大、専門学校等中途退学」2.4%となっている。

「その他」の記述内容は『アメリカ・College卒』などとなっている。

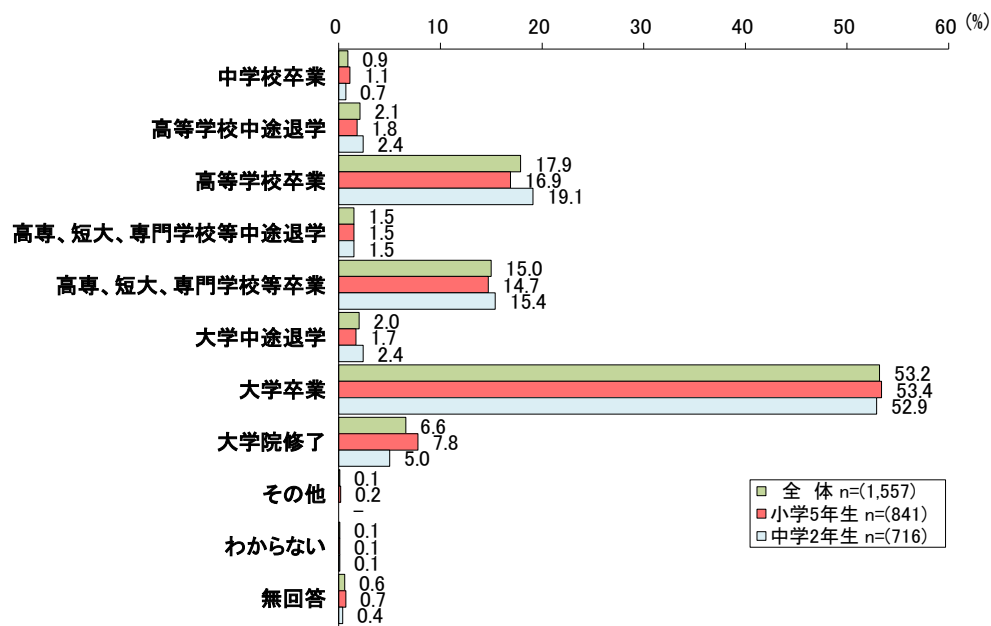
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「高専、短大、専門学校等卒業」が4割台で最も高く、次いで小学5年生では「大学卒業」、中学2年生では「高等学校卒業」となっている。

【図表10 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	中学校卒業	高等学校中途退学	高等学校卒業	専門学校等中途退学	専門学校等短大、専大卒業	大学中途退学	大学卒業	大学院修了	その他	わからない	無回答
全 体	1,557	14	32	279	24	234	31	828	102	2	2	9
	100.0	0.9	2.1	17.9	1.5	15.0	2.0	53.2	6.6	0.1	0.1	0.6
小学校5年生	841	9	15	142	13	124	14	449	66	2	1	6
	100.0	1.1	1.8	16.9	1.5	14.7	1.7	53.4	7.8	0.2	0.1	0.7
中学校2年生	716	5	17	137	11	110	17	379	36	-	1	3
	100.0	0.7	2.4	19.1	1.5	15.4	2.4	52.9	5.0	-	0.1	0.4

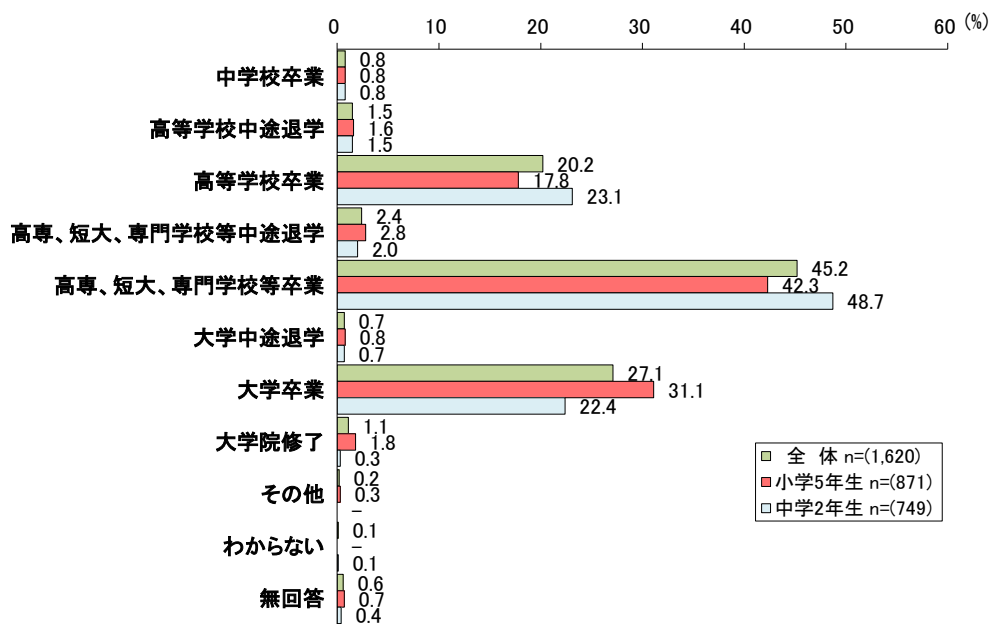


【母または母にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	中学校卒業	高等学校中途退学	高等学校卒業	専門学校等中途退学	専門学校等短大、専大卒業	大学中途退学	大学卒業	大学院修了	その他	わからない	無回答
全 体	1,620	13	25	328	39	733	12	439	18	3	1	9
	100.0	0.8	1.5	20.2	2.4	45.2	0.7	27.1	1.1	0.2	0.1	0.6
小学校5年生	871	7	14	155	24	368	7	271	16	3	-	6
	100.0	0.8	1.6	17.8	2.8	42.3	0.8	31.1	1.8	0.3	-	0.7
中学校2年生	749	6	11	173	15	365	5	168	2	-	1	3
	100.0	0.8	1.5	23.1	2.0	48.7	0.7	22.4	0.3	-	0.1	0.4

第1章 本市の調査の趣旨



<エ. 現在の就業状況>

「父または父にあたる人」は、全体では「勤め（常勤・正規社員）」90.3%が最も高く、次いで「自営業・家業」6.0%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務）」1.2%となっている。

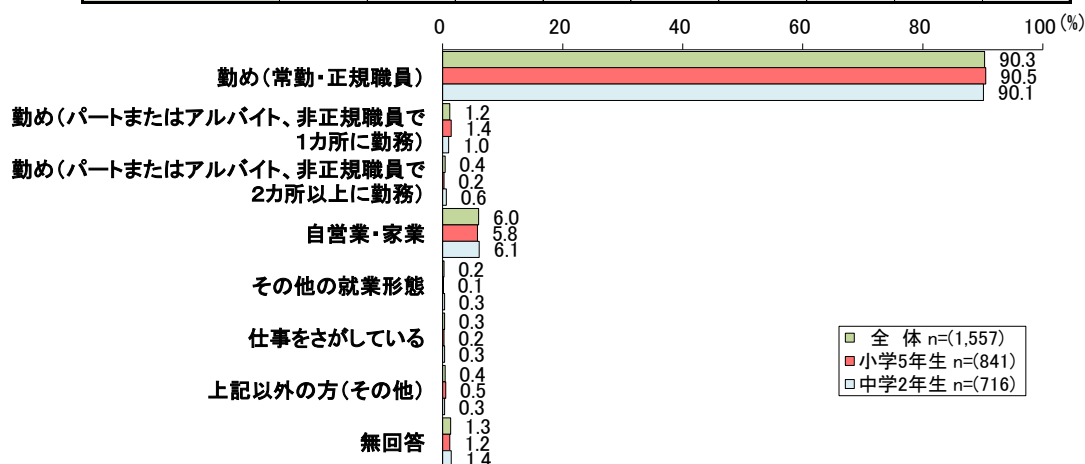
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「勤め（常勤・正規社員）」が9割台で最も高く、次いで「自営業・家業」となっている。

【図表11 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	勤め（常勤・正規職員）	パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務	パートまたはアルバイト、非正規職員で2カ所に勤務	自営業・家業	その他の就業形態	仕事をさがしている	上記以外の方（その他）	無回答
全体	1,557	1,406	19	6	93	3	4	6	20
	100.0	90.3	1.2	0.4	6.0	0.2	0.3	0.4	1.3
小学校5年生	841	761	12	2	49	1	2	4	10
	100.0	90.5	1.4	0.2	5.8	0.1	0.2	0.5	1.2
中学校2年生	716	645	7	4	44	2	2	2	10
	100.0	90.1	1.0	0.6	6.1	0.3	0.3	0.3	1.4



上記以外の方(その他)の内訳

(上段：件数、下段：%)									
	調査数	専家事や育児に	学生	介護家族の介護や	病氣療養	年金など	式家賃収入など・株	その他	無回答
全 体	6 100.0	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	-	4 66.7
小学校5年生	4 100.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-	2 50.0
中学校2年生	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0

※ 上記以外の方(その他)の内訳は、人数が少ないためグラフを省略した。

「母または母にあたる人」は、全体では「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務)」47.8%が最も高く、次いで「勤め(常勤・正規社員)」16.2%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2カ所以上に勤務)」4.8%となっている。また、「上記以外の方(その他)」が11.9%となっている。

学年別でみると、全体と同様に「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務)」が最も高く、小学5年生では4割台、中学2年生では5割台となっている。次いで「勤め(常勤・正規社員)」となっている。また、小学5年生では「上記以外の方(その他)」が1割台となっている。

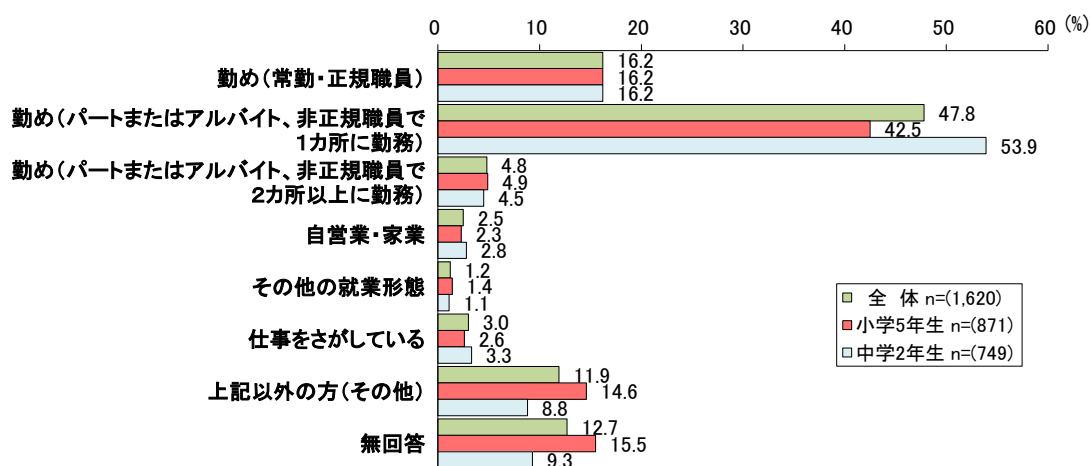
「上記以外の方(その他)」の内訳をみると、「家事や育児に専念」49.7%が最も多く、小学5年生では5割台、中学2年生では4割台となっている。

【図表12 全体・学年別】

【母または母にあたる人】

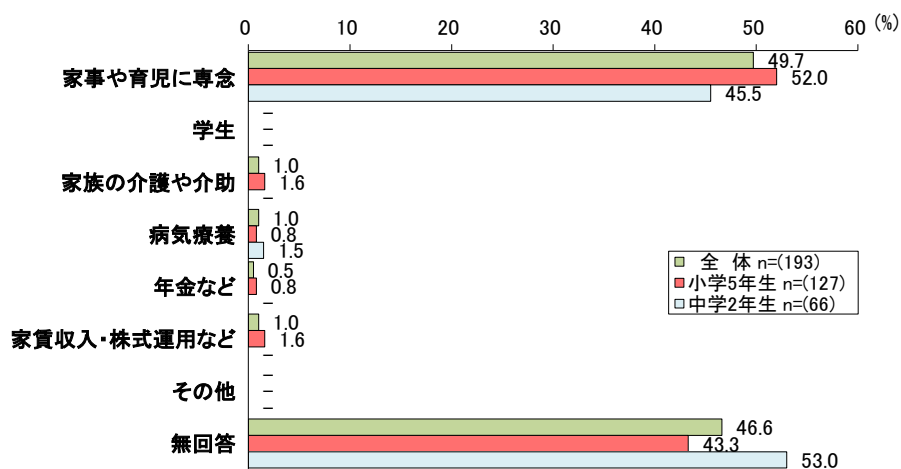
(上段：件数、下段：%)									
	調査数	勤め(常勤・正規職員)	パート・アルバイト(パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務)	パート・アルバイト(パートまたはアルバイト、非正規職員で2カ所に勤務)	自営業・家業	その他の就業形態	仕事をさがしている	上記以外の方(その他)	無回答
全 体	1,620 100.0	262 16.2	774 47.8	77 4.8	41 2.5	20 1.2	48 3.0	193 11.9	205 12.7
小学校5年生	871 100.0	141 16.2	370 42.5	43 4.9	20 2.3	12 1.4	23 2.6	127 14.6	135 15.5
中学校2年生	749 100.0	121 16.2	404 53.9	34 4.5	21 2.8	8 1.1	25 3.3	66 8.8	70 9.3

第1章 本市の調査の趣旨



上記以外の方(その他)の内訳

		(上段：件数、下段：%)							
	調査数	専業主事や育児に	学生	家族の介護や	病気療養	年金など	家賃収入・株式運用など・株	その他	無回答
全体	193	96	—	2	2	1	2	—	90
	100.0	49.7	—	1.0	1.0	0.5	1.0	—	46.6
小学校5年生	127	66	—	2	1	1	2	—	55
	100.0	52.0	—	1.6	0.8	0.8	1.6	—	43.3
中学校2年生	66	30	—	—	1	—	—	—	35
	100.0	45.5	—	—	1.5	—	—	—	53.0



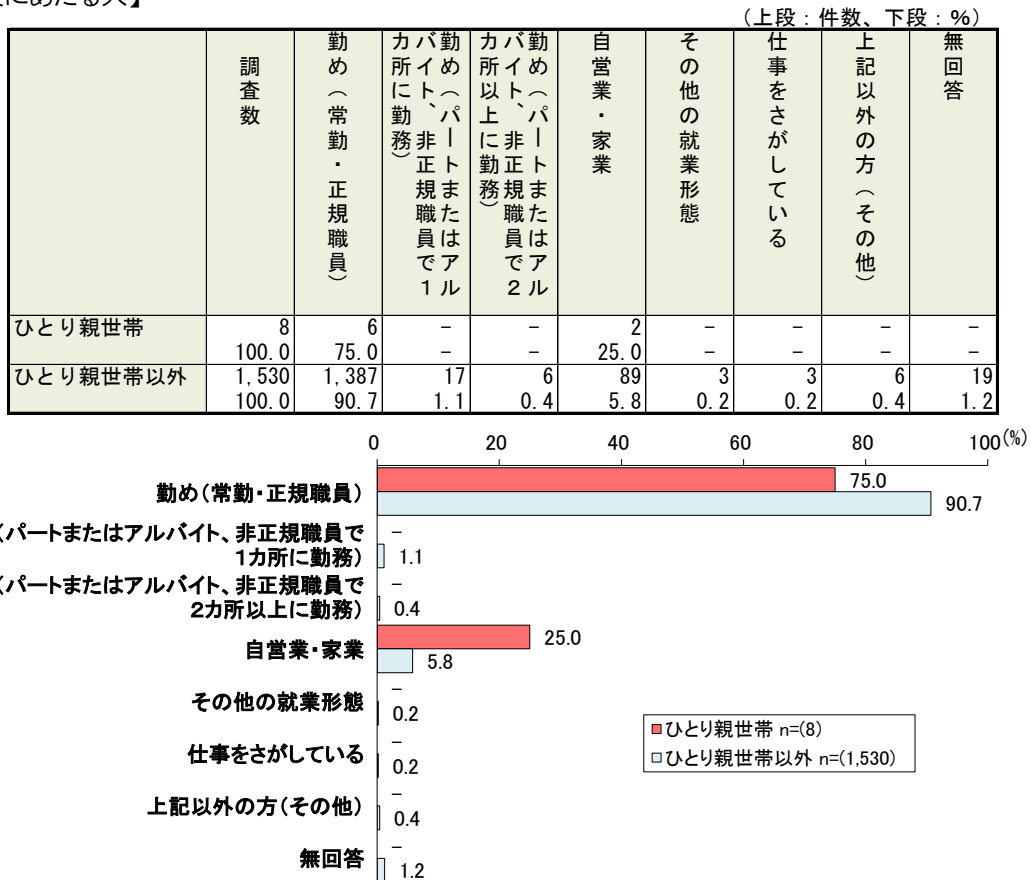
＜エ. 現在の就業状況（ひとり親世帯別）＞

「父または父にあたる人」では、ひとり親世帯・ひとり親世帯以外とも「勤め（常勤・正規社員）」が最も高く、ひとり親世帯では75.0%、ひとり親世帯以外で90.7%となっている。次いで「自営業・家業」がひとり親世帯では25.0%、ひとり親世帯以外で5.8%となっている。

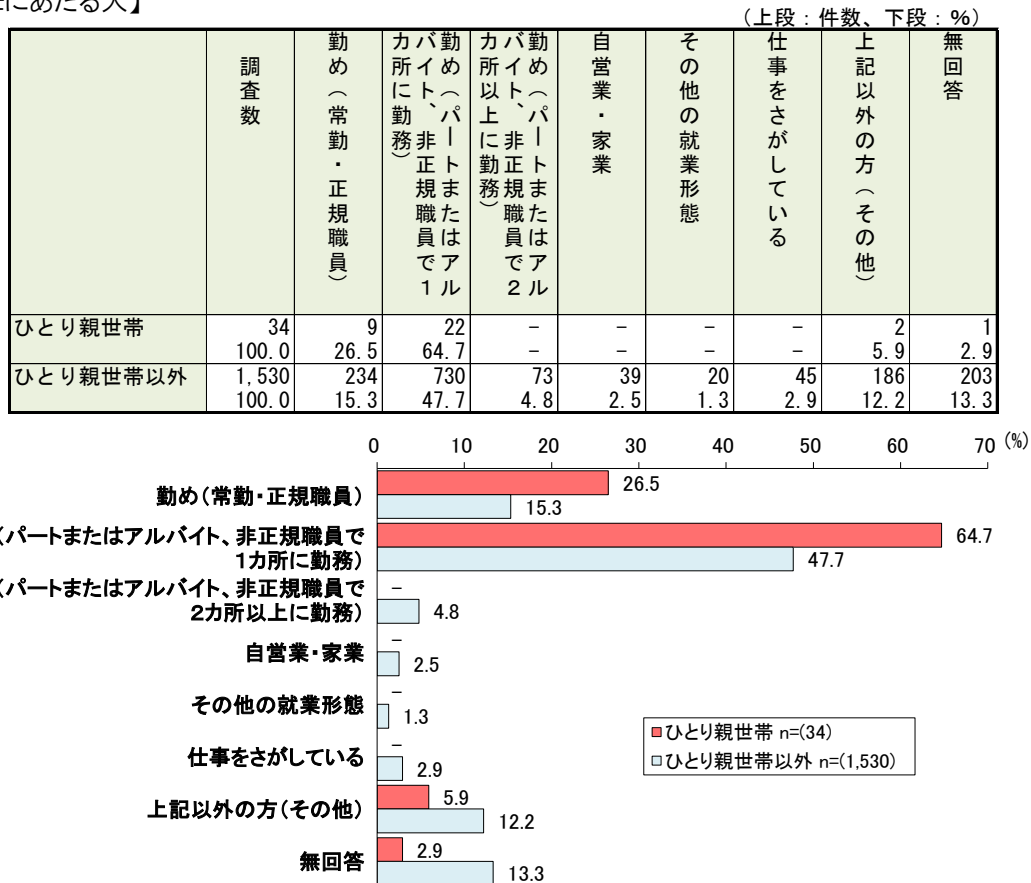
「母または母にあたる人」では、ひとり親世帯・ひとり親世帯以外とも「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務）」が最も高く、ひとり親世帯では64.7%、ひとり親世帯以外で47.7%となっている。次いで「勤め（常勤・正規社員）」がひとり親世帯では26.5%、ひとり親世帯以外で15.3%となっている。

【図表13 ひとり親世帯別】

【父または父にあたる人】



【母または母にあたる人】



第1章 本市の調査の趣旨

＜オ. 家を出る時間（日によって違う場合は、1番多い出勤時間で答えてください）＞

「父または父にあたる人」は、全体では「7時台」40.9%が最も高く、次いで「6時台」36.0%、「8時台」11.1%、「22～6時台」3.1%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「7時台」が4割台で最も高く、次いで「6時台」が3割台となっている。

「母または母にあたる人」は、全体では「8時台」41.9%が最も高く、次いで「7時台」32.3%、「9時台」12.8%、「10～16時台」5.8%となっている。

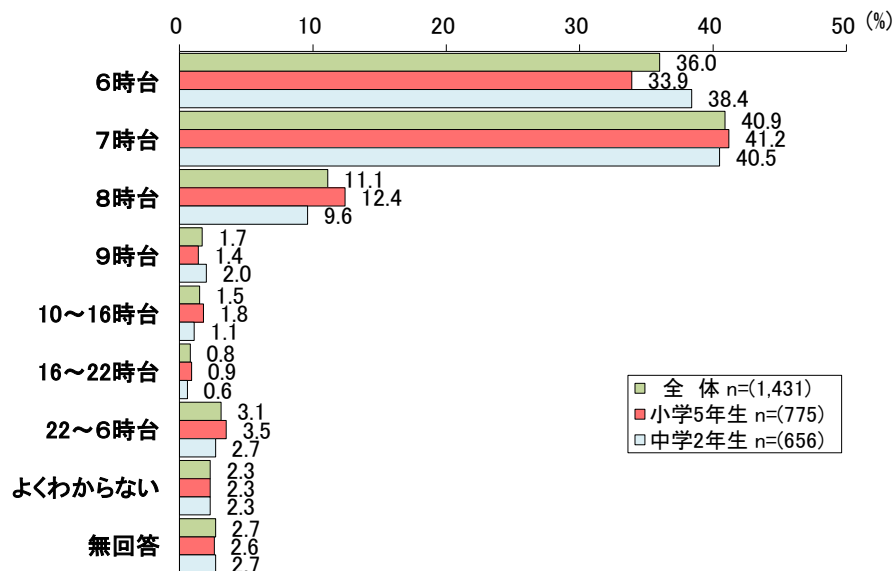
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「8時台」が4割台で最も高く、次いで「7時台」が3割台となっている。

【図表14 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

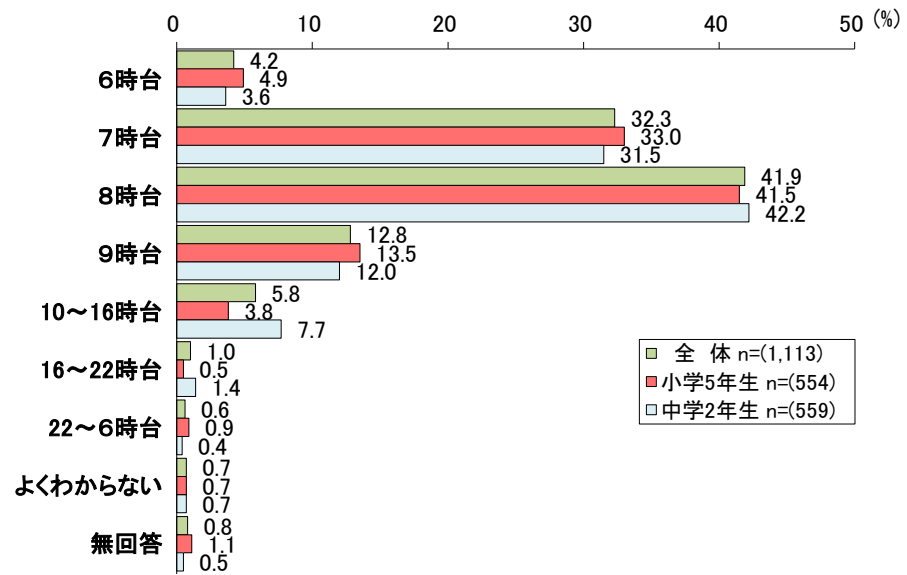
	調査数	6時台	7時台	8時台	9時台	10～16時台	16～22時台	22～6時台	よくわからない	無回答
全 体	1,431	515 36.0	585 40.9	159 11.1	24 1.7	21 1.5	11 0.8	45 3.1	33 2.3	38 2.7
小学校5年生	775	263 33.9	319 41.2	96 12.4	11 1.4	14 1.8	7 0.9	27 3.5	18 2.3	20 2.6
中学校2年生	656	252 38.4	266 40.5	63 9.6	13 2.0	7 1.1	4 0.6	18 2.7	15 2.3	18 2.7



【母または母にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	6時台	7時台	8時台	9時台	10～16時台	16～22時台	22～6時台	よくわからない	無回答
全 体	1,113 100.0	47 4.2	359 32.3	466 41.9	142 12.8	64 5.8	11 1.0	7 0.6	8 0.7	9 0.8
小学校5年生	554 100.0	27 4.9	183 33.0	230 41.5	75 13.5	21 3.8	3 0.5	5 0.9	4 0.7	6 1.1
中学校2年生	559 100.0	20 3.6	176 31.5	236 42.2	67 12.0	43 7.7	8 1.4	2 0.4	4 0.7	3 0.5



第1章 本市の調査の趣旨

＜カ. 家に帰る時間（日によって違う場合は、1番多い帰宅時間で答えてください）＞

「父または父にあたる人」は、全体では「21時台」21.7%が最も高く、次いで「20時台」17.7%、「22時台」15.2%、「19時台」14.9%となっている。

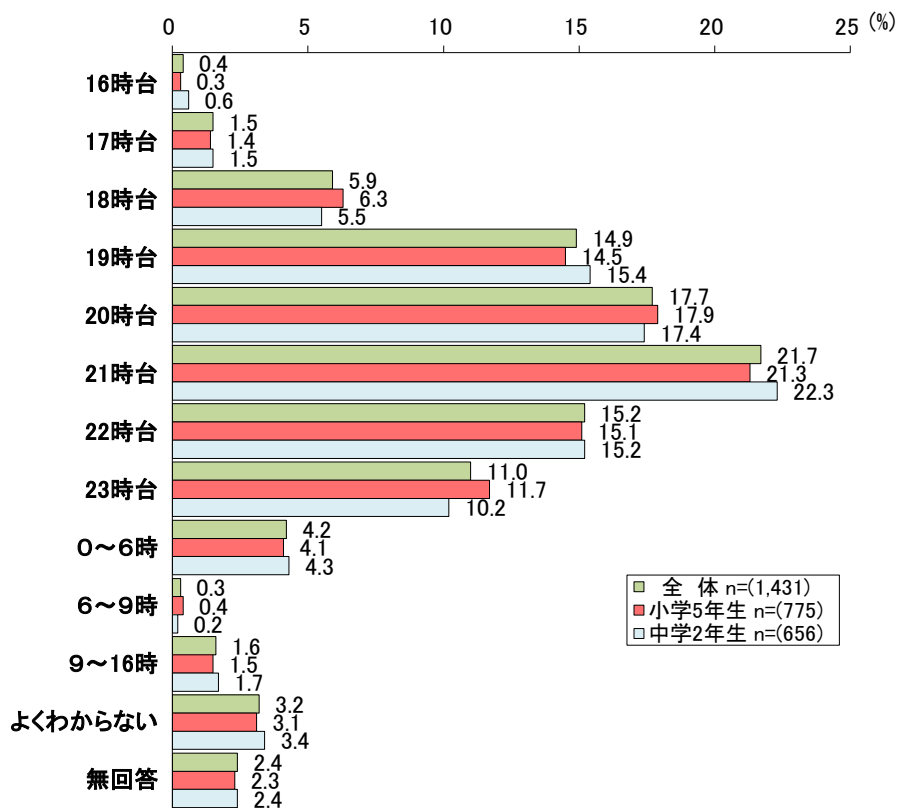
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「21時台」が2割台で最も高く、次いで「20時台」となっている。

【図表15 全体・学年別】

【父または父にあたる人】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	0～6時	6～9時	9～16時	よくわからない	無回答
全 体	1,431	6	21	85	213	253	311	217	158	60	4	23	46	34
	100.0	0.4	1.5	5.9	14.9	17.7	21.7	15.2	11.0	4.2	0.3	1.6	3.2	2.4
小学校5年生	775	2	11	49	112	139	165	117	91	32	3	12	24	18
	100.0	0.3	1.4	6.3	14.5	17.9	21.3	15.1	11.7	4.1	0.4	1.5	3.1	2.3
中学校2年生	656	4	10	36	101	114	146	100	67	28	1	11	22	16
	100.0	0.6	1.5	5.5	15.4	17.4	22.3	15.2	10.2	4.3	0.2	1.7	3.4	2.4



「母または母にあたる人」は、全体では「9～16時台」23.1%が最も高く、次いで「18時台」20.3%、「16時台」19.5%、「17時台」15.4%となっている。

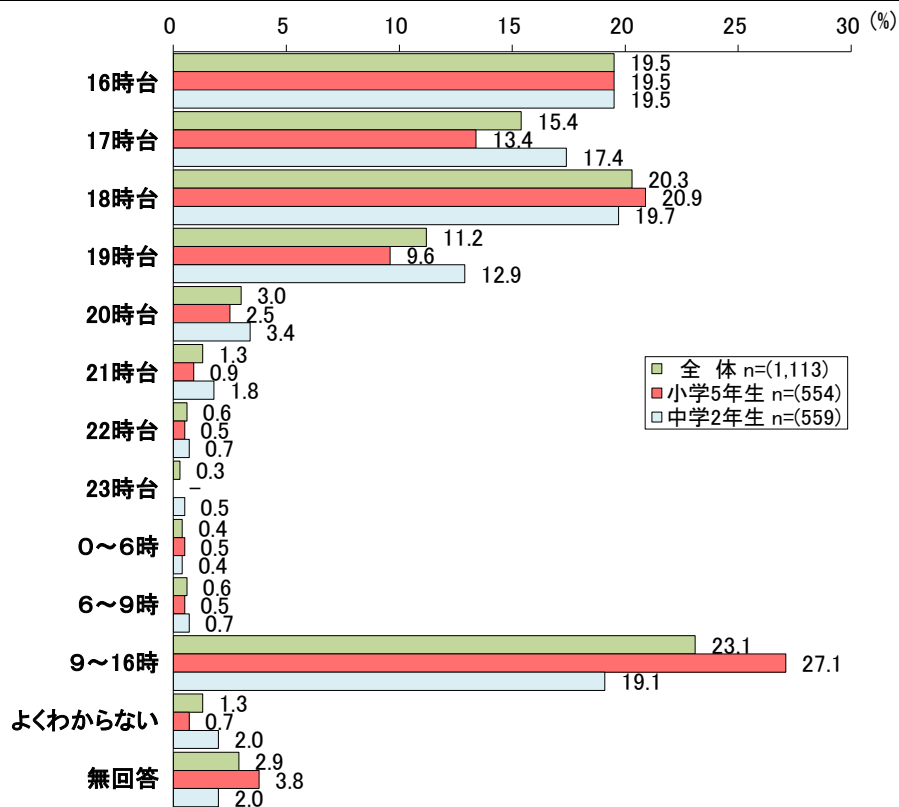
学年別でみると、小学5年生では「9～16時台」が最も高く、次いで「18時台」「16時台」となっている。中学2年生では「18時台」「16時台」「9～16時台」がいずれも約2割で並んでいる。

【図表16 全体・学年別】

【母または母にあたる人】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	0～6時	6～9時	9～16時	よくわからない	無回答
全 体	1,113	217	171	226	125	33	15	7	3	5	7	257	15	32
	100.0	19.5	15.4	20.3	11.2	3.0	1.3	0.6	0.3	0.4	0.6	23.1	1.3	2.9
小学校5年生	554	108	74	116	53	14	5	3	—	3	3	150	4	21
	100.0	19.5	13.4	20.9	9.6	2.5	0.9	0.5	—	0.5	0.5	27.1	0.7	3.8
中学校2年生	559	109	97	110	72	19	10	4	3	2	4	107	11	11
	100.0	19.5	17.4	19.7	12.9	3.4	1.8	0.7	0.5	0.4	0.7	19.1	2.0	2.0



第 2 章 調査の結果詳細

1. 居場所について

(1) 放課後に過ごしている場所

学校が終わった後、どこで過ごしていることが多いですか。一番過ごしている時間が長い場所に一つ○をつけてください。[子ども・問1]

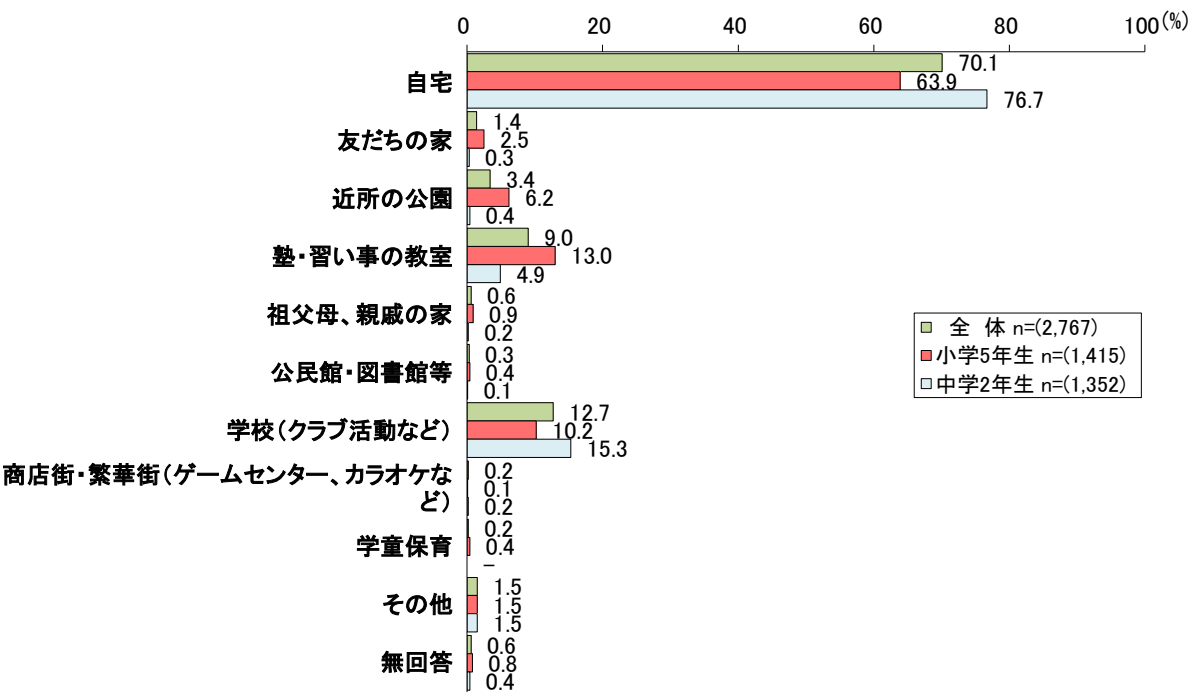
全体では「自宅」70.1%が最も高く、次いで「学校（クラブ活動など）」12.7%、「塾・習い事の教室」9.0%、「近所の公園」3.4%となっている。

「その他」の主な記述内容は『デイサービス』『（自分の学校以外の）グラウンド』『（自分の学校以外の）体育館』『クラブチーム』『外』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「自宅」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「塾・習い事の教室」、中学2年生は「学校（クラブ活動など）」となっている。

【図表17 全体・学年】

	調査数	自宅	友だちの家	近所の公園	塾・習い事の教室	祖父母、親戚の家	公民館・図書館等	学校（クラブ活動など）	商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）	学童保育	その他	無回答
全体	2,767	1,941	40	94	250	16	7	351	5	6	41	16
	100.0	70.1	1.4	3.4	9.0	0.6	0.3	12.7	0.2	0.2	1.5	0.6
小学校5年生	1,415	904	36	88	184	13	6	144	2	6	21	11
	100.0	63.9	2.5	6.2	13.0	0.9	0.4	10.2	0.1	0.4	1.5	0.8
中学校2年生	1,352	1,037	4	6	66	3	1	207	3	-	20	5
	100.0	76.7	0.3	0.4	4.9	0.2	0.1	15.3	0.2	-	1.5	0.4



経年比較

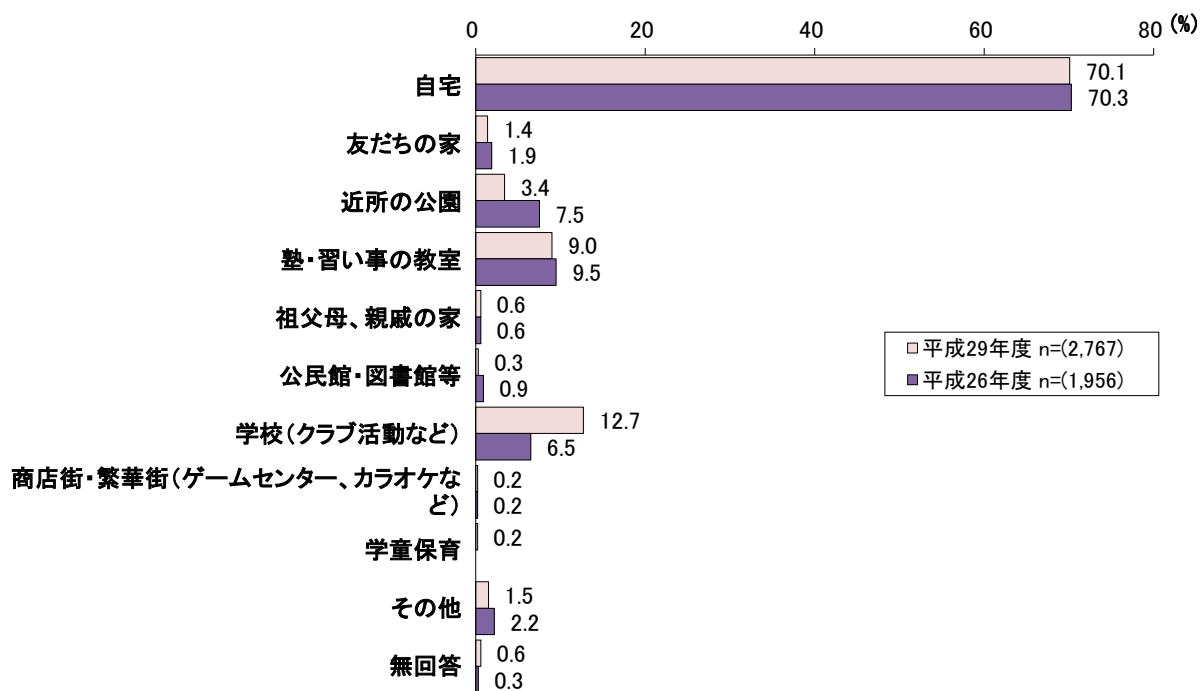
平成26年度と比較すると、「学校（クラブ活動など）」は大きく増加している。

一方で、「近所の公園」が減少しており、「公民館・図書館等」「友だちの家」「塾・習い事の教室」なども減少している。

＜図表18 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	自宅	友だちの家	近所の公園	塾・習い事の教室	祖父母、親戚の家	公民館・図書館等	学校（クラブ活動など）	商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）	学童保育	その他	無回答
平成29年度	2,767	1,941	40	94	250	16	7	351	5	6	41	16
	100.0	70.1	1.4	3.4	9.0	0.6	0.3	12.7	0.2	0.2	1.5	0.6
平成26年度	1,956	1,376	37	147	186	11	18	128	4		43	6
	100.0	70.3	1.9	7.5	9.5	0.6	0.9	6.5	0.2		2.2	0.3



※「学童保育」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

(2) 放課後にしていること

学校が終わった後、何をしていることが多いですか。良くしているものに一つ○をつけてください。[子ども・問2]

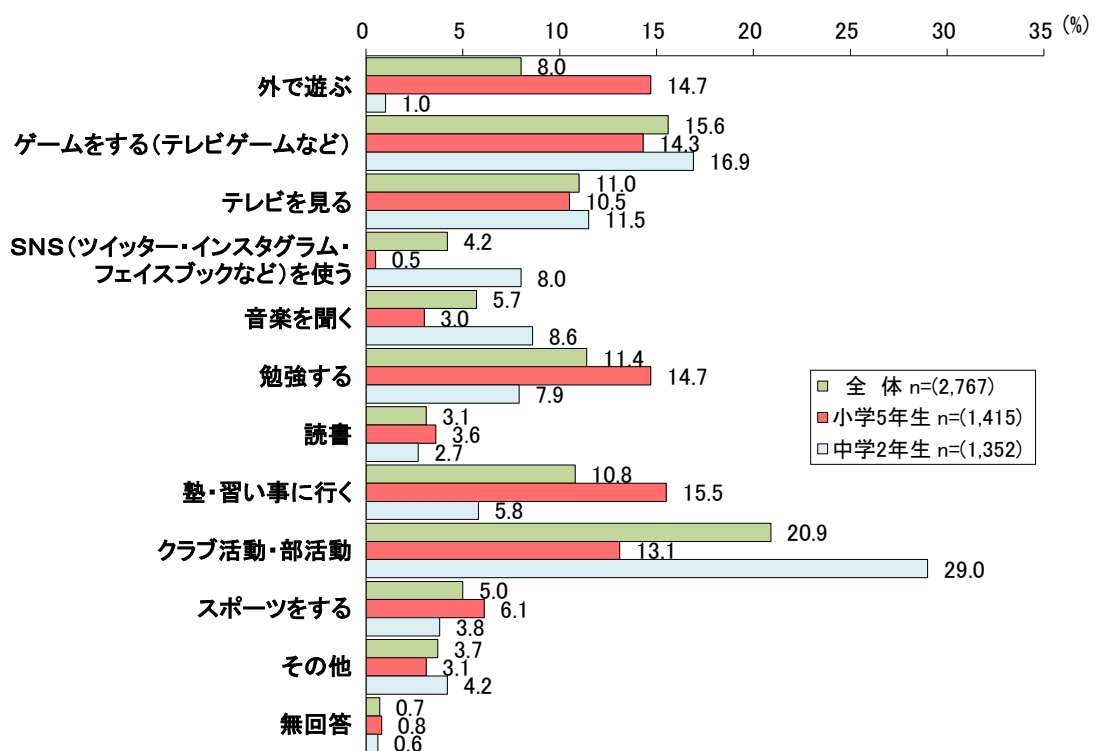
全体では「クラブ活動・部活動」20.9%が最も高く、次いで「ゲームをする（テレビゲームなど）」15.6%、「勉強する」11.4%、「テレビを見る」11.0%、「塾・習い事に行く」10.8%となっている。

「その他」の主な記述内容は『寝る』『動画（YouTubeなど）を見る』『絵を描く』『ペットの世話』『スマホ』『楽器を弾く』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「塾・習い事に行く」、中学2年生では「クラブ活動・部活動」が最も高くなっており、次いで小学5年生では「勉強する」「外で遊ぶ」、中学2年生は「ゲームをする（テレビゲームなど）」「テレビを見る」となっている。

【図表19 全体・学年別】

	調査数	外で遊ぶ	ゲームをする（テレビゲームなど）	テレビを見る	SNS（ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなど）を使う	音楽を聞く	勉強する	読書	塾・習い事に行く	クラブ活動・部活動	スポーツをする	その他	無回答
全 体	2,767	222	432	304	115	159	315	87	298	578	137	101	19
	100.0	8.0	15.6	11.0	4.2	5.7	11.4	3.1	10.8	20.9	5.0	3.7	0.7
小学校5年生	1,415	208	203	149	7	43	208	51	219	186	86	44	11
	100.0	14.7	14.3	10.5	0.5	3.0	14.7	3.6	15.5	13.1	6.1	3.1	0.8
中学校2年生	1,352	14	229	155	108	116	107	36	79	392	51	57	8
	100.0	1.0	16.9	11.5	8.0	8.6	7.9	2.7	5.8	29.0	3.8	4.2	0.6

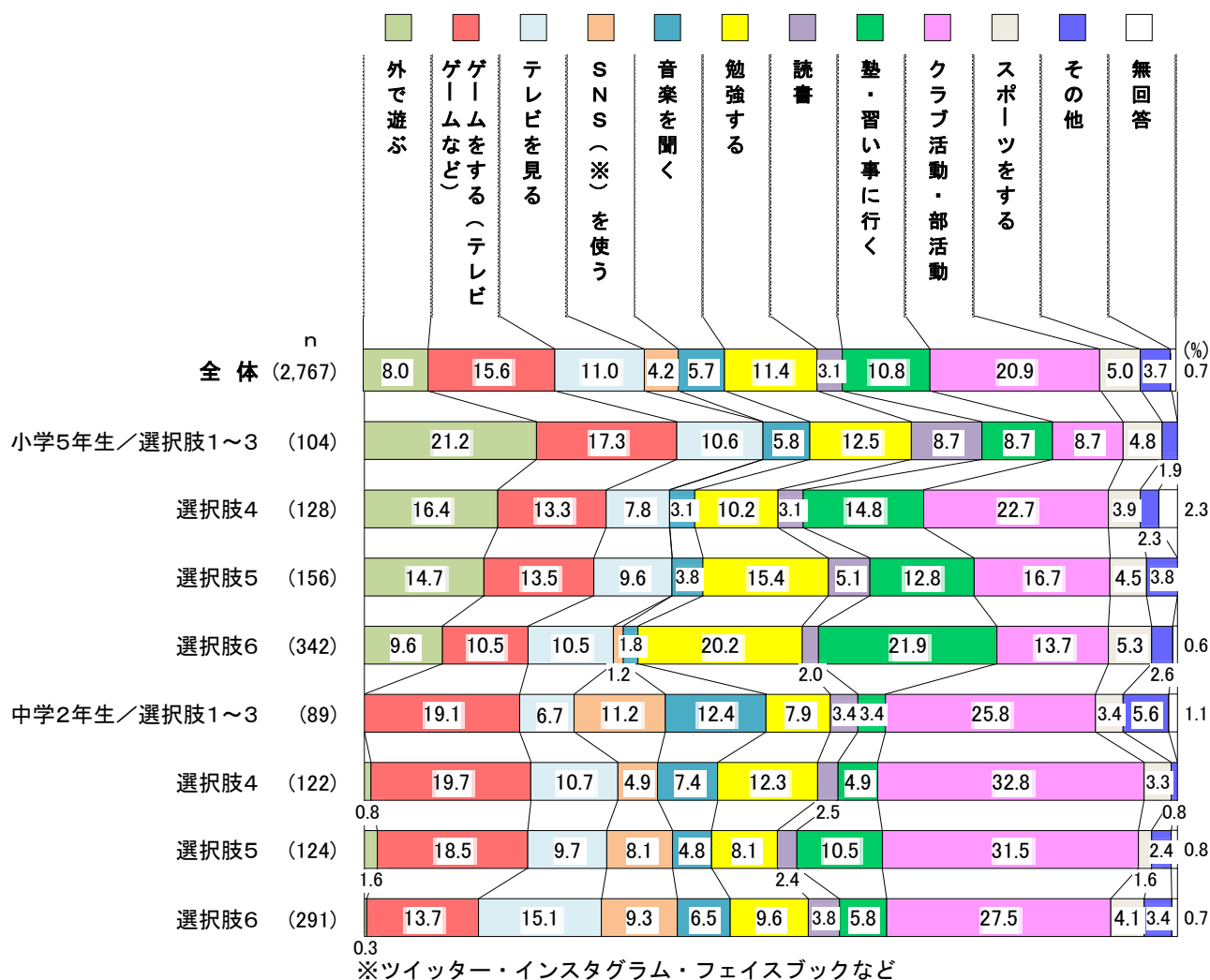


第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生の選択肢1～3では「外で遊ぶ」、選択肢4と5では「クラブ活動・部活動」、選択肢6では「塾・習い事に行く」が最も高くなっている。中学2年生ではいずれも「クラブ活動・部活動」が最も高くなっている。

【図表20 学年×可処分所得別】

	調査数	外で遊ぶ	ゲームをする（テレビなど）	テレビを見る	SNS（※）を使う	音楽を聞く	勉強する	読書	塾・習い事に行く	クラブ活動・部活動	スポーツをする	その他	無回答
全 体	2,767	222	432	304	115	159	315	87	298	578	137	101	19
	100.0	8.0	15.6	11.0	4.2	5.7	11.4	3.1	10.8	20.9	5.0	3.7	0.7
小学5年生／選択肢1～3	104	22	18	11	-	6	13	9	9	9	5	2	-
	100.0	21.2	17.3	10.6	-	5.8	12.5	8.7	8.7	8.7	4.8	1.9	-
選択肢4	128	21	17	10	-	4	13	4	19	29	5	3	3
	100.0	16.4	13.3	7.8	-	3.1	10.2	3.1	14.8	22.7	3.9	2.3	2.3
選択肢5	156	23	21	15	-	6	24	8	20	26	7	6	-
	100.0	14.7	13.5	9.6	-	3.8	15.4	5.1	12.8	16.7	4.5	3.8	-
選択肢6	342	33	36	36	4	6	69	7	75	47	18	9	2
	100.0	9.6	10.5	10.5	1.2	1.8	20.2	2.0	21.9	13.7	5.3	2.6	0.6
中学2年生／選択肢1～3	89	-	17	6	10	11	7	3	3	23	3	5	1
	100.0	-	19.1	6.7	11.2	12.4	7.9	3.4	3.4	25.8	3.4	5.6	1.1
選択肢4	122	1	24	13	6	9	15	3	6	40	4	1	-
	100.0	0.8	19.7	10.7	4.9	7.4	12.3	2.5	4.9	32.8	3.3	0.8	-
選択肢5	124	2	23	12	10	6	10	3	13	39	2	3	1
	100.0	1.6	18.5	9.7	8.1	4.8	8.1	2.4	10.5	31.5	1.6	2.4	0.8
選択肢6	291	1	40	44	27	19	28	11	17	80	12	10	2
	100.0	0.3	13.7	15.1	9.3	6.5	9.6	3.8	5.8	27.5	4.1	3.4	0.7



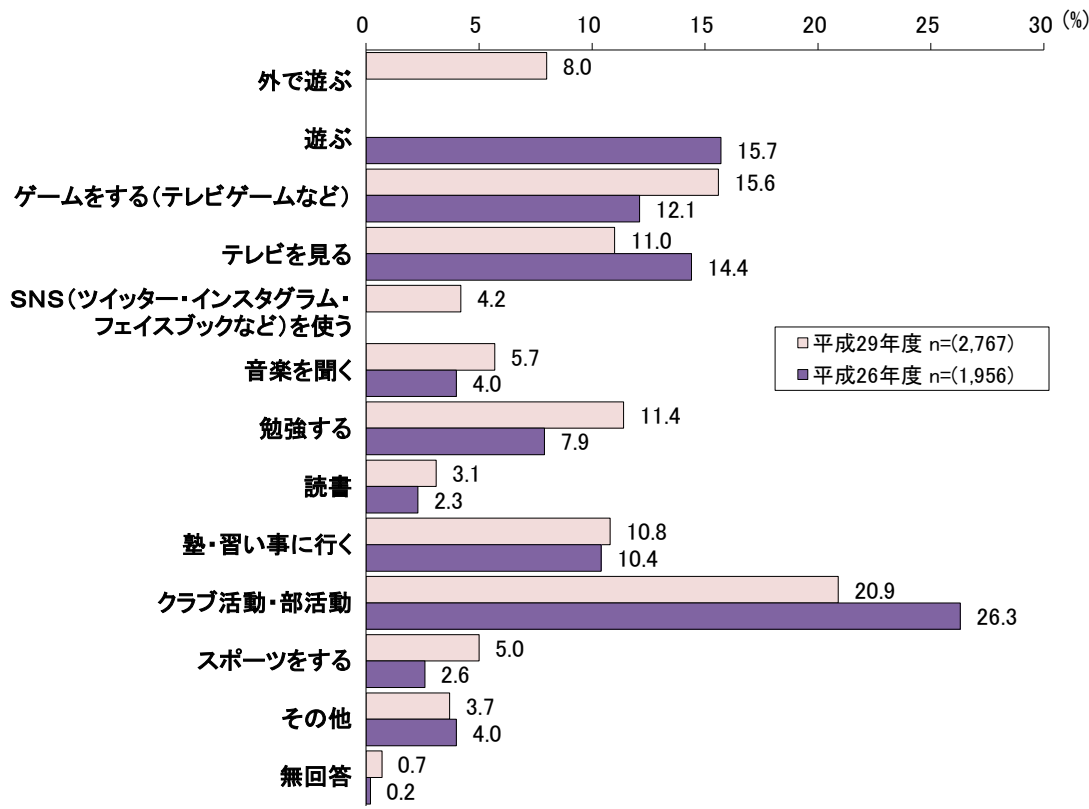
経年比較

平成26年度と比較すると、「ゲームをする（テレビゲームなど）」「勉強する」「スポーツをする」「音楽を聞く」などが増加している。

一方で、「クラブ活動・部活動」「テレビを見る」が減少している。

＜図表21 経年比較＞

	調査数	外で遊ぶ	遊ぶ	ゲームをする（テレビゲームなど）	テレビを見る	SNS（ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなど）を使う	音楽を聞く	勉強する	読書	塾・習い事に行く	クラブ活動・部活動	スポーツをする	その他	無回答
平成29年度	2,767 100.0	222 8.0		432 15.6	304 11.0	115 4.2	159 5.7	315 11.4	87 3.1	298 10.8	578 20.9	137 5.0	101 3.7	19 0.7
平成26年度	1,956 100.0		308 15.7	236 12.1	282 14.4		79 4.0	155 7.9	45 2.3	203 10.4	514 26.3	51 2.6	79 4.0	4 0.2



※「遊ぶ」は、前回調査（平成26年度）のみの選択肢である。また、「外で遊ぶ」「SNS（ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなど）を使う」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

第2章 調査の結果詳細

(3) 放課後に一緒に過ごす人

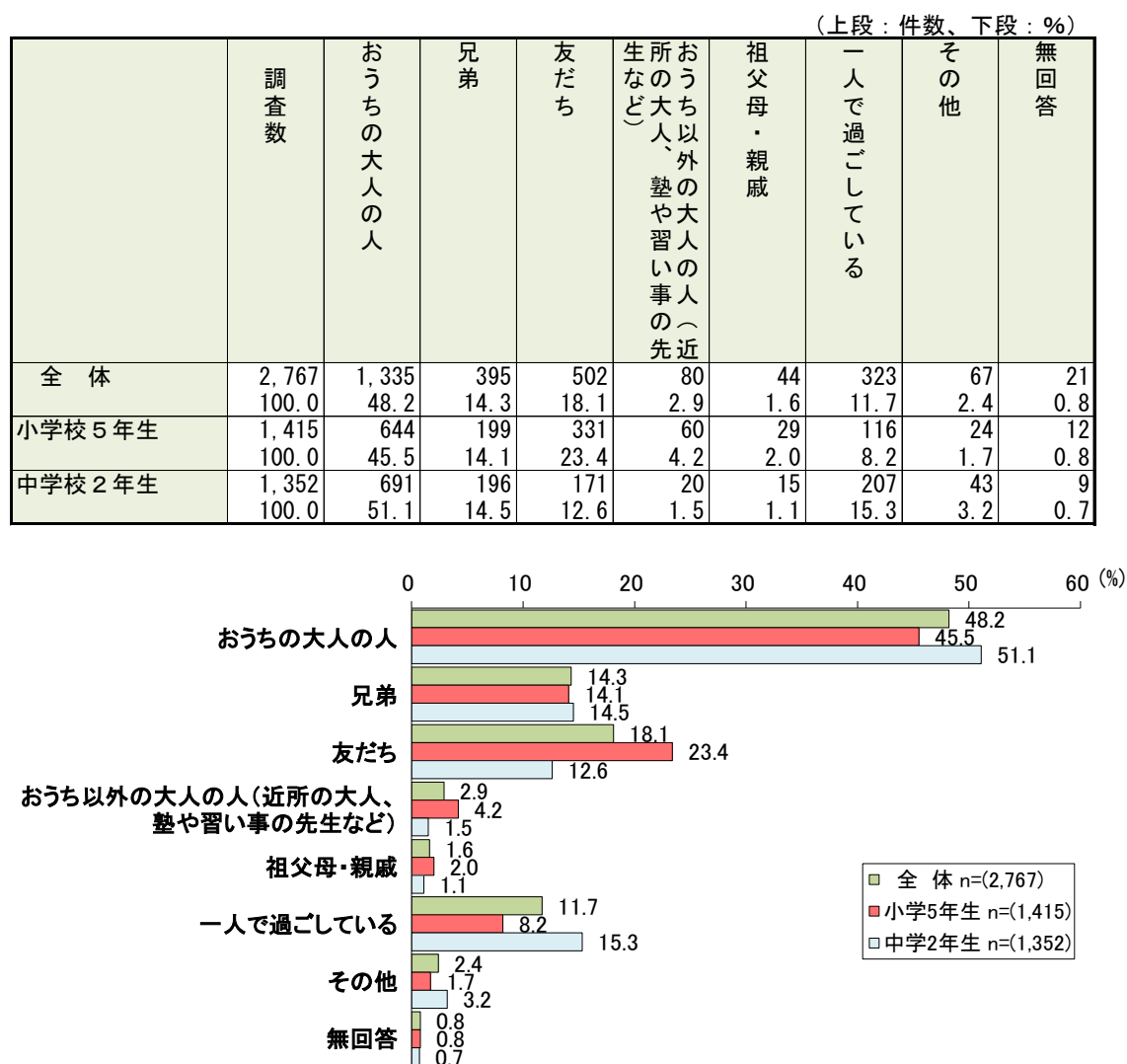
学校が終わった後、誰と過ごしていることが多いですか。最も良く過ごしている人に一つ○をつけてください。[子ども・問3]

全体では「おうちの大人の人」48.2%が最も高く、次いで「友だち」18.1%、「兄弟」14.3%、「一人で過ごしている」11.7%、「おうち以外の大人の人（近所の大人、塾や習い事の先生など）」2.9%となっている。

「その他」の主な記述内容は『部活の仲間』『クラブチームの仲間』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「おうちの大人の人」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「友だち」、中学2年生は「一人で過ごしている」となっている。

【図表22 全体・学年別】

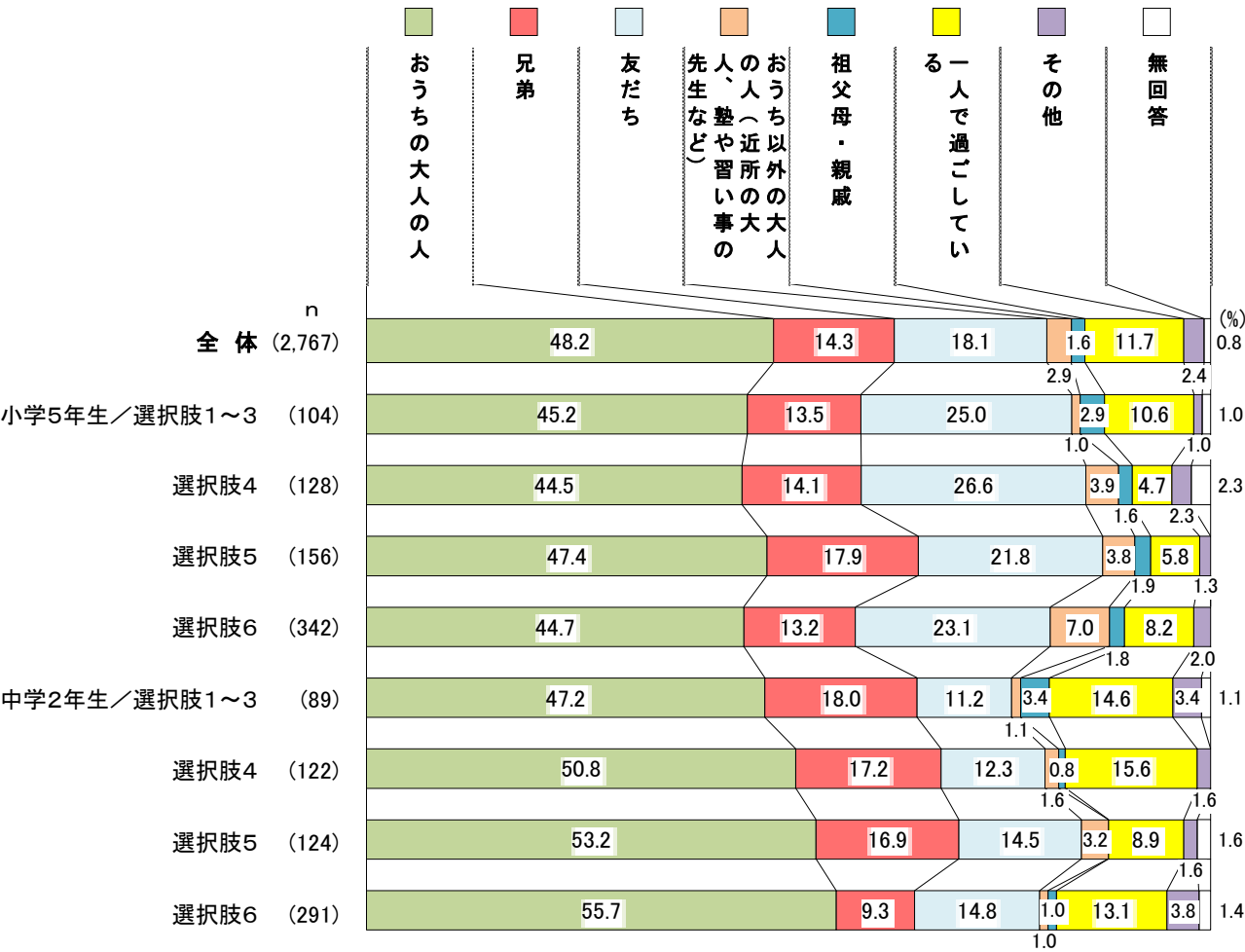


学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「おうちの大人の人」が最も高く、特に中学2年生の選択肢4から6では過半数となっている。また、小学5年生の選択肢1～3と4では「友だち」が4人に1人となっている。

【図表23 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	おうちの大人の人	兄弟	友だち	事（近所の先生など） の先生など	おうち以外の大人の 人、塾や習い	祖父母・親戚	一人で過 ぎしている	その他	無回 答
全 体	2,767 100.0	1,335 48.2	395 14.3	502 18.1	80 2.9	44 1.6	323 11.7	67 2.4	21 0.8	
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	47 45.2	14 13.5	26 25.0	1 1.0	3 2.9	11 10.6	1 1.0	1 1.0	
選択肢4	128 100.0	57 44.5	18 14.1	34 26.6	5 3.9	2 1.6	6 4.7	3 2.3	3 2.3	
選択肢5	156 100.0	74 47.4	28 17.9	34 21.8	6 3.8	3 1.9	9 5.8	2 1.3	－ －	
選択肢6	342 100.0	153 44.7	45 13.2	79 23.1	24 7.0	6 1.8	28 8.2	7 2.0	－ －	
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	42 47.2	16 18.0	10 11.2	1 1.1	3 3.4	13 14.6	3 3.4	1 1.1	
選択肢4	122 100.0	62 50.8	21 17.2	15 12.3	2 1.6	1 0.8	19 15.6	2 1.6	－ －	
選択肢5	124 100.0	66 53.2	21 16.9	18 14.5	4 3.2	－ －	11 8.9	2 1.6	2 1.6	
選択肢6	291 100.0	162 55.7	27 9.3	43 14.8	3 1.0	3 1.0	38 13.1	11 3.8	4 1.4	



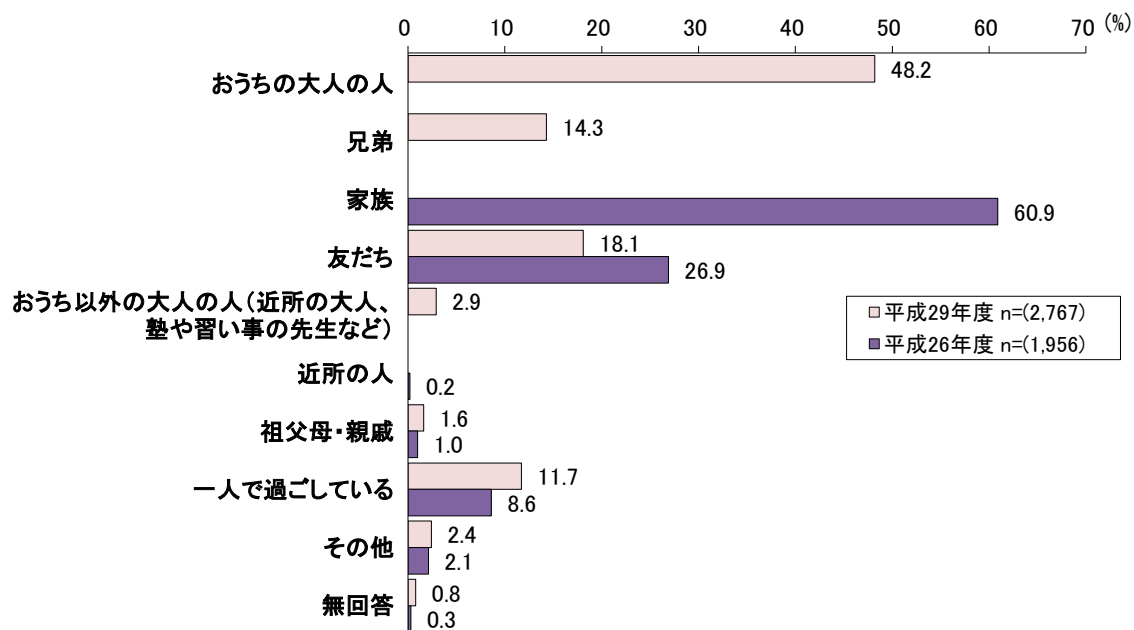
経年比較

平成26年度と比較すると、「一人で過ごしている」が増加し、「友だち」が減少している。

＜図表24 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	うちの大人の 人	兄弟	家族	友だち	生所 の大人、 塾や習い 事の先生 など	おうち 以外の 大人の 人(近 所の人)	近 所 の 人	祖 父 母・ 親 戚	一 人 で 過 ご し て い る	そ の 他	無 回 答
平成29年度	2,767 100.0	1,335 48.2	395 14.3		502 18.1	80 2.9			44 1.6	323 11.7	67 2.4	21 0.8
平成26年度	1,956 100.0			1,192 60.9	526 26.9			3 0.2	19 1.0	168 8.6	42 2.1	6 0.3



※「家族」「近所の人」は、前回調査（平成26年度）のみの選択肢である。また、「うちの大人の」「兄弟」「おうち以外の大人の（近所の大人、塾や習い事の先生など）」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

(4) 休日に過ごしている場所

休みの日はどこで過ごしていることが多いですか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問4]

全体では「自宅」53.8%が最も高く、次いで「学校・学童保育」10.2%、「運動場」7.3%、「商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）」6.5%、「塾・習い事の教室」6.1%となっている。

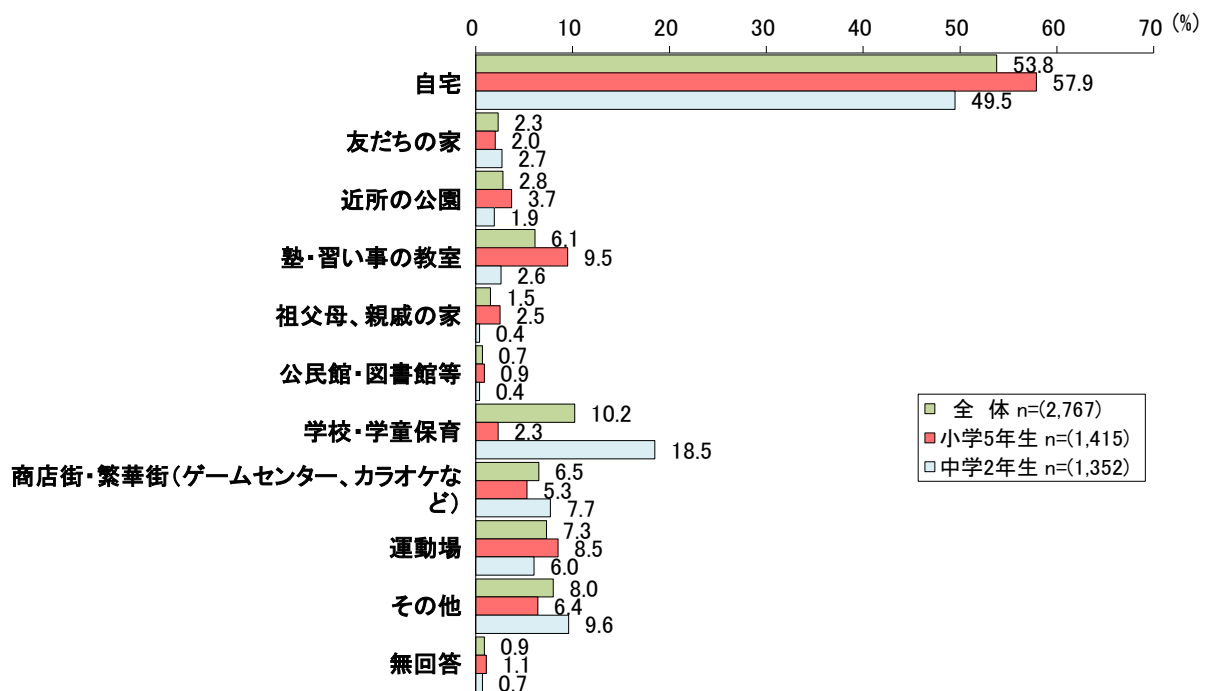
「その他」の主な記述内容は『学校の部活動場所』『ショッピングモール』『他都県』『クラブチーム活動場所』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「自宅」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「塾・習い事の教室」、中学2年生は「学校・学童保育」となっている。

【図表25 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	自宅	友だちの家	近所の公園	塾・習い事の教室	祖父母、親戚の家	公民館・図書館等	学校・学童保育	商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）	運動場	その他	無回答
全 体	2,767 100.0	1,488 53.8	64 2.3	78 2.8	169 6.1	42 1.5	18 0.7	282 10.2	179 6.5	201 7.3	221 8.0	25 0.9
小学校5年生	1,415 100.0	819 57.9	28 2.0	52 3.7	134 9.5	36 2.5	13 0.9	32 2.3	75 5.3	120 8.5	91 6.4	15 1.1
中学校2年生	1,352 100.0	669 49.5	36 2.7	26 1.9	35 2.6	6 0.4	5 0.4	250 18.5	104 7.7	81 6.0	130 9.6	10 0.7



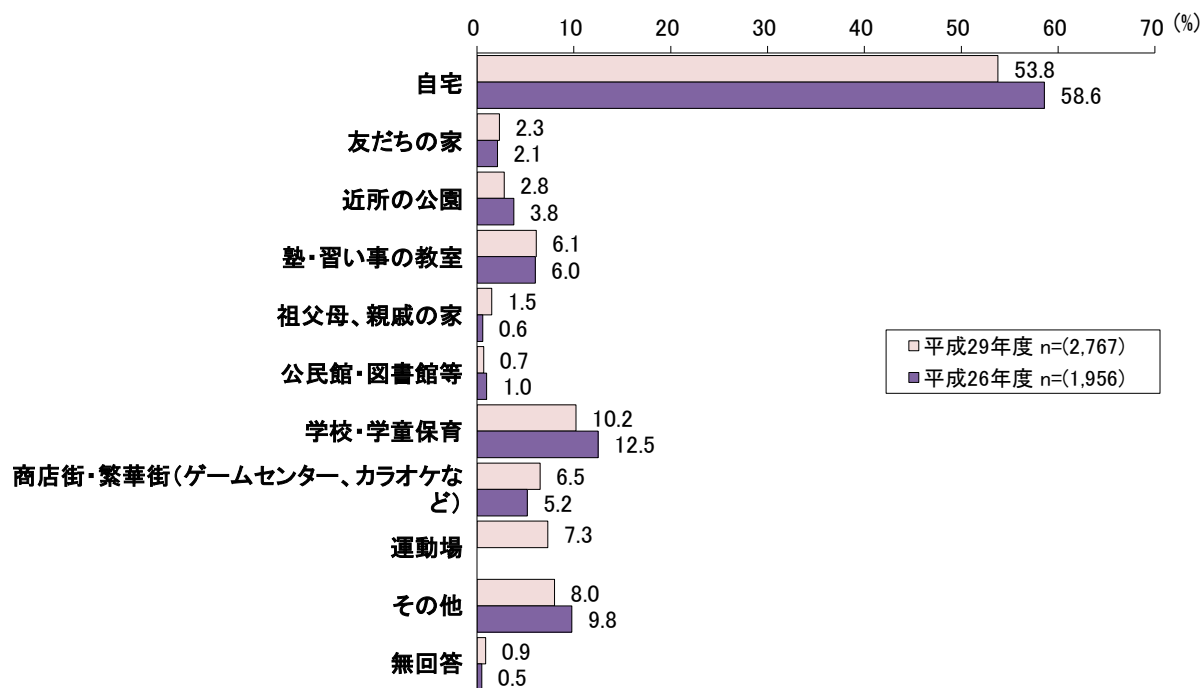
経年比較

平成26年度と比較すると、「商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）」「祖父母、親戚の家」は増加している。

一方で、「自宅」「学校・学童保育」「近所の公園」などが減少している。

＜図表26 経年比較＞

		(上段：件数、下段：%)										
	調査数	自宅	友だちの家	近所の公園	塾・習い事の教室	祖父母、親戚の家	公民館・図書館等	学校・学童保育	商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）	運動場	その他	無回答
平成29年度	2,767 100.0	1,488 53.8	64 2.3	78 2.8	169 6.1	42 1.5	18 0.7	282 10.2	179 6.5	201 7.3	221 8.0	25 0.9
平成26年度	1,956 100.0	1,146 58.6	41 2.1	74 3.8	117 6.0	11 0.6	20 1.0	244 12.5	102 5.2		191 9.8	10 0.5



※「学校・学童保育」は、前回調査（平成26年度）では「学校」である。「運動場」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

(5) 休日に一緒に過ごす人

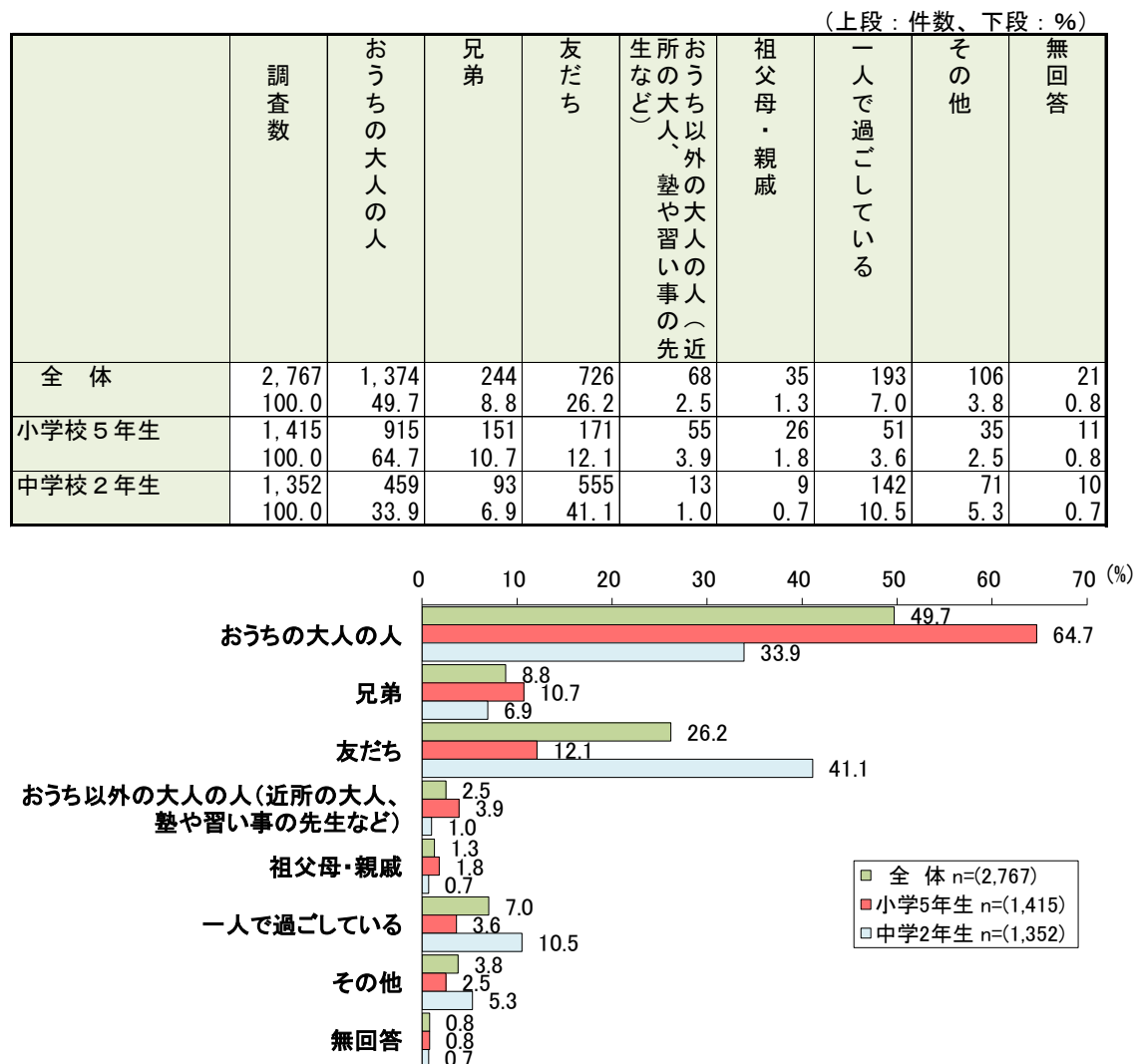
休みの日は誰と過ごしていることが多いですか。最も良く過ごしている人に一つ○をつけてください。[子ども・問5]

全体では「おうちの大人の人」49.7%が最も高く、次いで「友だち」26.2%、「兄弟」8.8%、「一人で過ごしている」7.0%、「おうち以外の大人の人（近所の大人、塾や習い事の先生など）」2.5%となっている。

「その他」の主な記述内容は『学校の部活の仲間』『クラブチームの仲間』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「おうちの大人の人」、中学2年生では「友だち」が最も高くなっており、次いで小学5年生では「友だち」、中学2年生は「おうちの大人の人」となっている。

【図表27 全体・学年別】



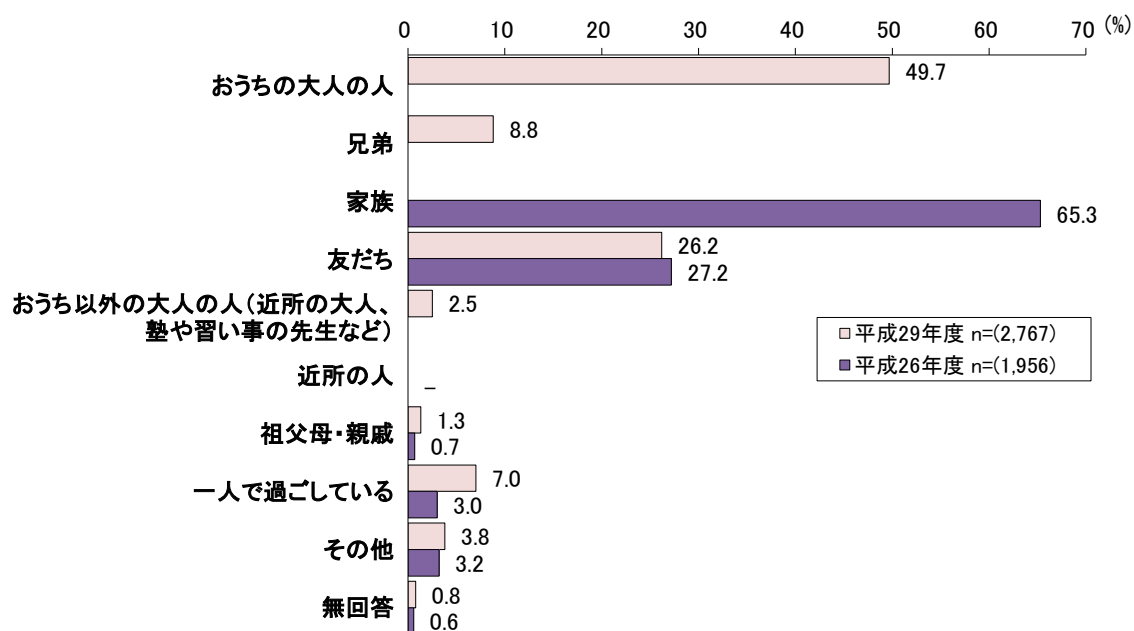
経年比較

平成26年度と比較すると、「一人で過ごしている」が増加し、「友だち」が減少している。

＜図表28 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	おうちの大人の 人	兄弟	家族	友だち	生 所 の 大 人 、 塾 や 習 い 事 の 先 生 な ど	お う ち 以 外 の 大 人 の 人 （ 近 所 の 人 ）	祖 父 母 ・ 親 戚	一 人 で 過 ご し て い る	そ の 他	無 回 答
平成29年度	2,767 100.0	1,374 49.7	244 8.8		726 26.2	68 2.5		35 1.3	193 7.0	106 3.8	21 0.8
平成26年度	1,956 100.0			1,278 65.3	533 27.2		－ －	13 0.7	59 3.0	62 3.2	11 0.6



※「家族」「近所の人」は、前回調査（平成26年度）のみの選択肢である。また、「おうちの大人の」「兄弟」「おうち以外の大人の（近所の大人、塾や習い事の先生など）」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

(6) 自由意見（居場所について）

子ども 小学5年生 抜粋

- 友達と遊べる公園が近くにあるって楽しい！
- 最近友達のいやな所がみえてきたのでそんな人と毎日楽しくしてみたい
- ボールなどを使って外で動きたい。
- 部活などでふだんあそべないのが少しざんねん。でも楽しい！
- 学校でよく駐車場やゲームセンターであそぶ人がいるので子どもがあそべるしせつがほしいです。

子ども 中学2年生 抜粋

- 住んでいる所の子供の若いお母様方や、若い人等があいさつをしない等対応が悪い。（同じ所に住む60代以上の方からも同意見です。）バリアフリーのような入り方のできるお店が、自分が行く所では少ないと思います。道も段差が多い気がします。
- 家が嫌い 家の人が嫌い 楽しみがない
- 図書館があるのがとてもうれしいです。本屋など、色々な施設というか店があるとうれしいとおもいます。藤崎図書館が無くなってしまうのはとても悲しいです。住みやすい所だとも思います。
- 部活動の休みが全然ないので家族や友達との時間が作れない。（土・日、夏・冬・春休みの時など）

保護者 小学5年生 抜粋

- 放課後、天候に左右されず子供達が健全な遊びができる場所が近隣になく、パートもゆっくり働けないのが残念でならない。子育てしやすい環境にして欲しい。
- 私が働いているので、子供の夏休みの過ごし方に困りました。高学年なので学童に通わせるのもなあと思い、自宅で1人で留守番させましたが、船橋市の児童ホームのような施設が近くにあったらいいなと思いました。（「あずまこども会館」という施設があるようですが、遠いので利用したことはありません）子供がひとり（または友達と）で行っても安全に勉強したり遊んだりできる場所があればすごく助かります。
- 図書館の講義室が、夏休みに利用しようとしたら小学生は使用不可になったと言われた。夏休み共働きで子供だけで留守番させているので、どこか安心して行かせられる場所があれば良いのと思う。習教研の早帰りも日数が多過ぎる。教育センターでの学びランドを開催してもらい助かった。これからは続くと有難い。児童館のような施設があれば良いと思う。（学童ではなく、放課後子供達が集まれる場所）
- 子供が小学校高学年になると、親は働きに出る時間が長くなり、子供だけで過ごす時間が長くなってしまいますので東京都にある様な放課後休日に遊んでいられる、大人が駐在している児童館があったら安心できるしとても嬉しいです。学童はどうしても低学年向きで高学年は行きたがらないと思います。
- 何度か引っ越してきた経験から（他府県より）考えると、習志野市はおだやかで、教育熱心と感じる。一方、学校・地域の子供達を見ると、頭は良くとも不安に感じることが多い。塾・習い事など、受け身の環境が多い中、わずかな自由時間はほとんどがボール禁止の公園。すぐに

第2章 調査の結果詳細

ゲームに入り、遊びまで受け身。スッキリ輝く時間が少ないと、「不審者予備軍」を育てていますよ。秋津グランドのような特別な人しか使わぬことにお金を使うなら、地域の公園に自由に遊べる場所を作るのが未来の習志野につながると思います。

保護者 中学2年生 抜粋

- 先生の負担が大きいのはわかるが、もう少し部活の時間が長いと良いと思う。民間から指導者に来てもらうとか暇だとお金を使うしゲームばかりになってしまうので。
- 他府県に5ヶ所住んだ経験より習志野の子供達を見ると、心配になる事は多い。教育熱心なので、勉強はできるが人間関係？心の在り様？が良好とは言い難い。習い事など受け身が多い中、遊びもボール遊び禁止の自由がきかない公園ではゲーム中心となっている。秋津グランドのように特別な施設があることよりも各校区内に自由に遊べる所がある方が子供は健全に育つと思います。ネットを張るなど、工夫できませんか。生き生きとした子供達の目が見れますよ。
- ・教育費がとて高く感じており、無料の学習支援があればとても助かります。
・子供が思いっきりボール遊びができる広場が欲しいです。市内の公園はルールが厳しく子供たちが心から楽しめる場所ではありません。学校の校庭も開放する日が限られる上にボール遊びは禁止です。子供の健やかな成長ということであれば思いっきり遊べる公園、校庭は絶対に必要だと思います。
- 子供の人数が多いとやっぱりお金がかかります。世帯収入だけではなく、子どもの人数も考慮して援助をしてほしいと思います。また、小学校は放課後の居場所が少ないので公的なのんびりできる場所を増やしてほしいです。
- 近隣に広い公園があるのに、どの公園も高齢者が優先で子ども達が好きに遊べません。誰もいない場所でも、ボールを使っていると叱られてしまいます。もっと子ども達がのびのびと遊べる場所があるといいと思います。

2. 健康について

(1) 朝ご飯を食べる頻度

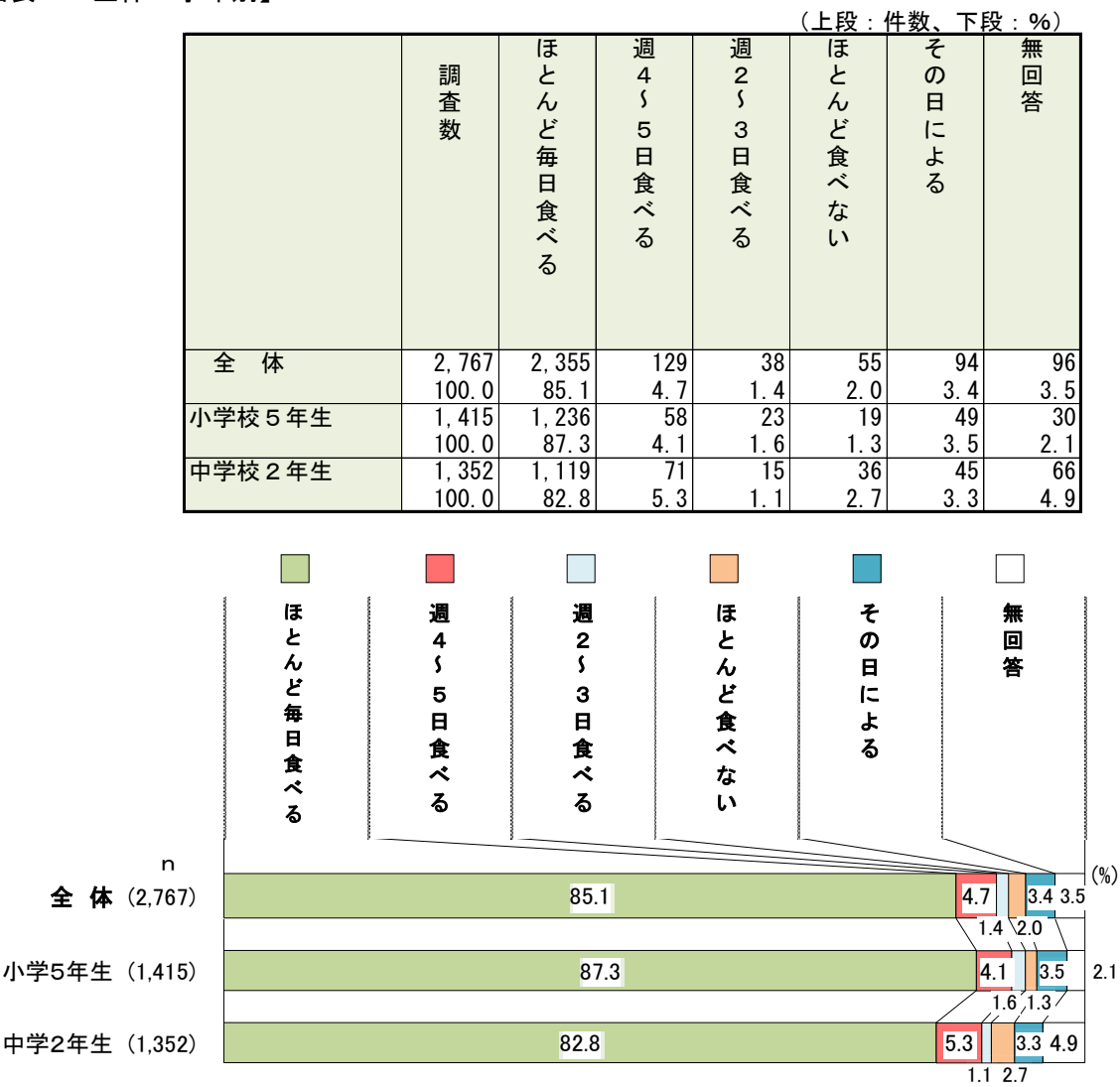
ふだん、朝ご飯を食べますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

[子ども・問6]

全体では「ほとんど毎日食べる」85.1%が最も高く、次いで「週4～5日食べる」4.7%、「その日による」3.4%、「ほとんど食べない」2.0%、「週2～3日食べる」1.4%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「ほとんど毎日食べる」が最も高くなっており、次いで「週4～5日食べる」となっている。

【図表29 全体・学年別】



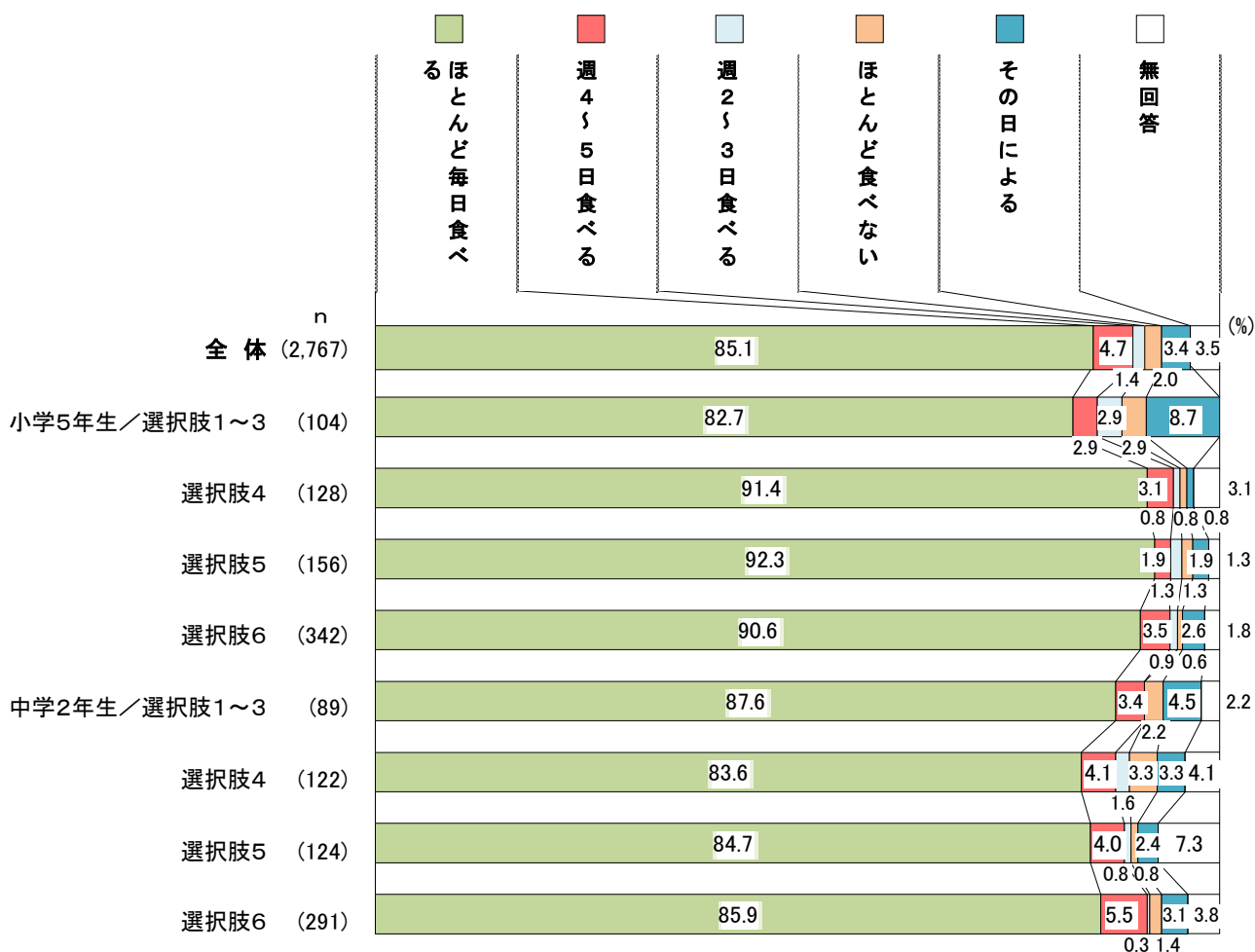
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「ほとんど毎日食べる」が最も高く、特に小学5年生の選択肢4から6では9割を超えている。また、小学5年生の選択肢1～3では「その日による」が約1割となっている。

【図表30 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

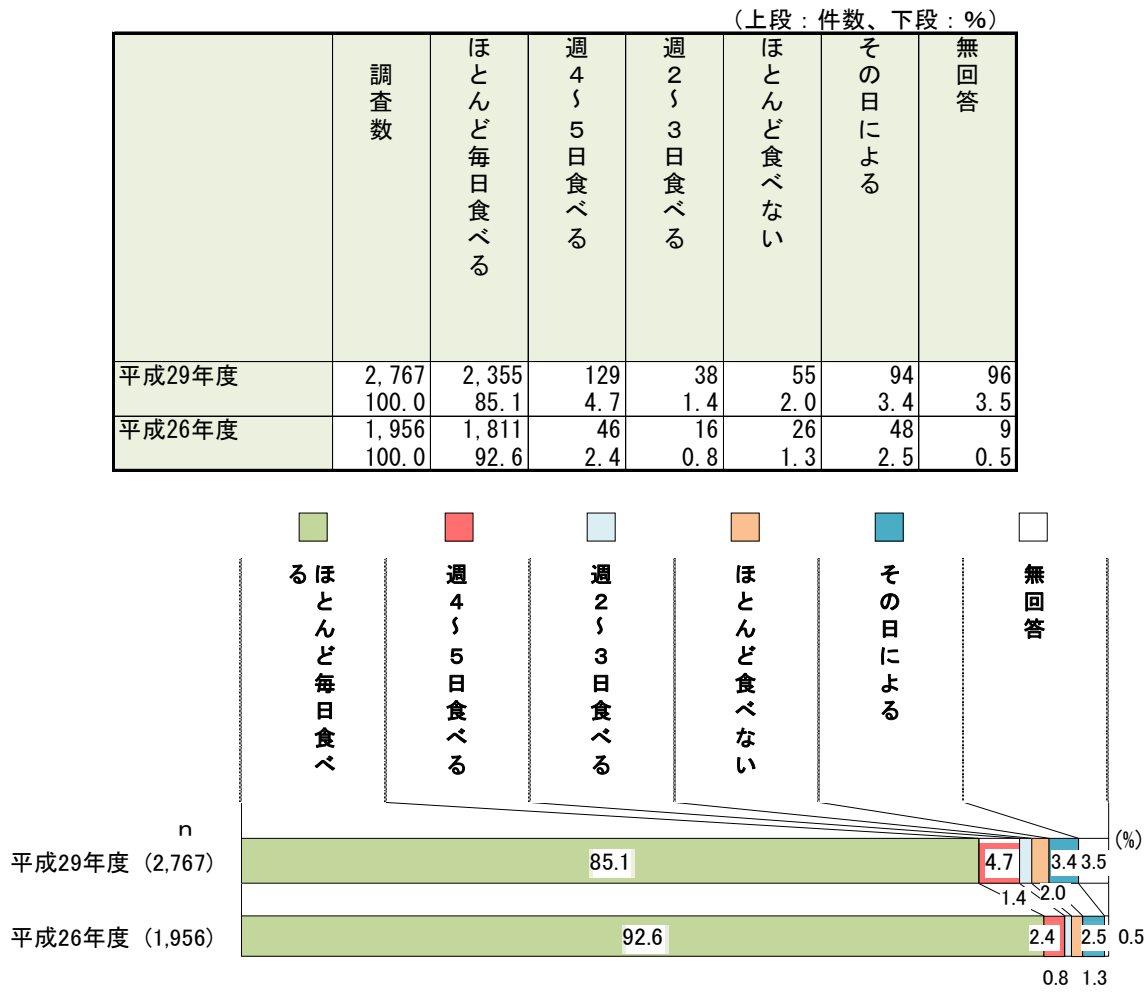
	調査数	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	その日による	無回答
全 体	2,767 100.0	2,355 85.1	129 4.7	38 1.4	55 2.0	94 3.4	96 3.5
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	86 82.7	3 2.9	3 2.9	3 2.9	9 8.7	—
選択肢4	128 100.0	117 91.4	4 3.1	1 0.8	1 0.8	1 0.8	4 3.1
選択肢5	156 100.0	144 92.3	3 1.9	2 1.3	2 1.3	3 1.9	2 1.3
選択肢6	342 100.0	310 90.6	12 3.5	3 0.9	2 0.6	9 2.6	6 1.8
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	78 87.6	3 3.4	—	2 2.2	4 4.5	2 2.2
選択肢4	122 100.0	102 83.6	5 4.1	2 1.6	4 3.3	4 3.3	5 4.1
選択肢5	124 100.0	105 84.7	5 4.0	1 0.8	1 0.8	3 2.4	9 7.3
選択肢6	291 100.0	250 85.9	16 5.5	1 0.3	4 1.4	9 3.1	11 3.8



経年比較

平成26年度と比較すると、「ほとんど毎日食べる」が減少し、「週4～5日食べる」「その日による」などが増加している。

＜図表31 経年比較＞



第2章 調査の結果詳細

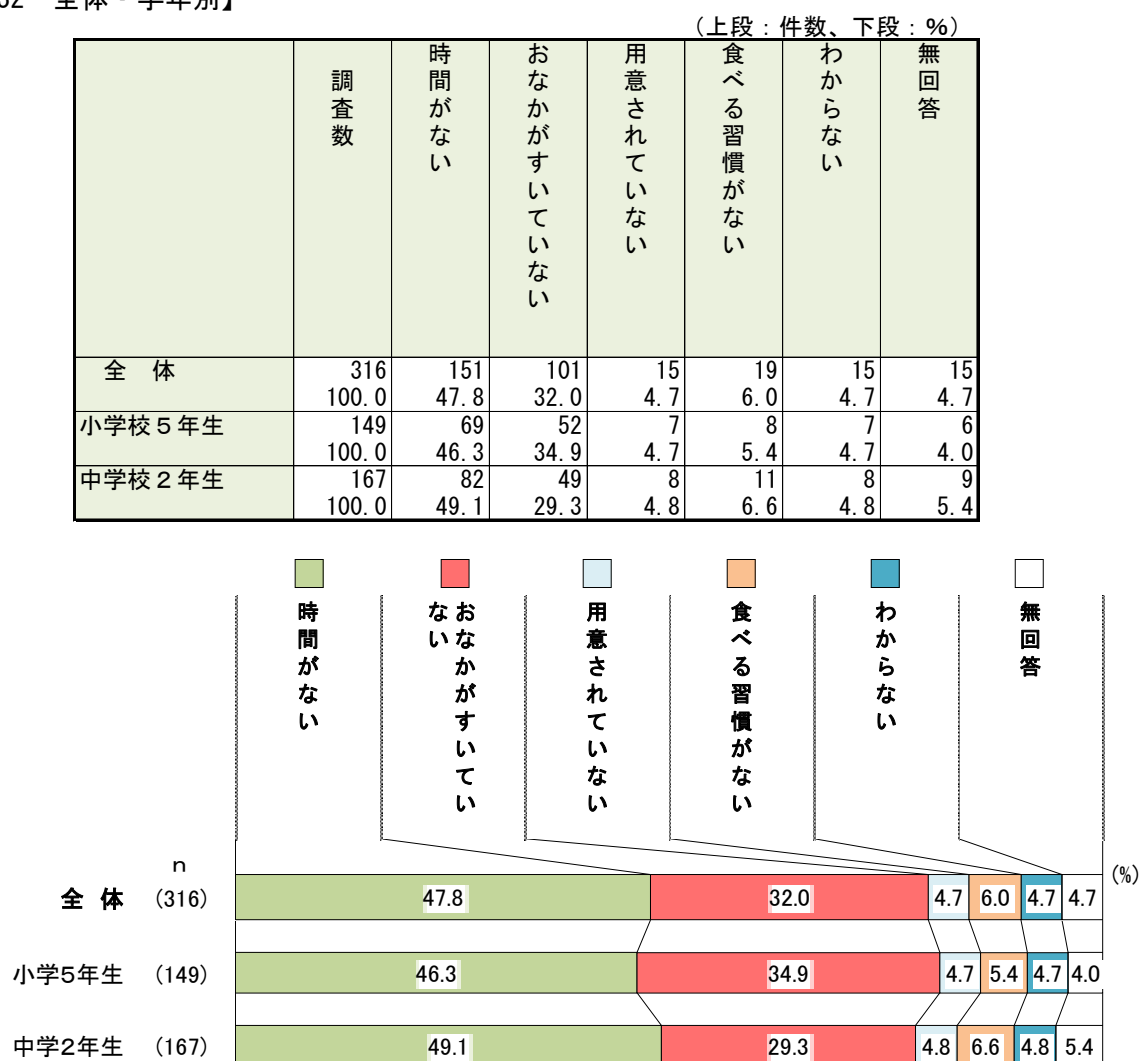
(2) 朝ご飯を食べない理由

朝ご飯を食べる頻度の「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」「その日による」に○をつけた方にお聞きします。あなたが朝ご飯を食べない理由は何ですか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問7]

全体では「時間がない」47.8%が最も高く、次いで「おなかがすいていない」32.0%、「食べる習慣がない」6.0%、「用意されていない」4.7%、「わからない」4.7%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「時間がない」が最も高くなっており、次いで「おなかがすいていない」となっている。

【図表32 全体・学年別】

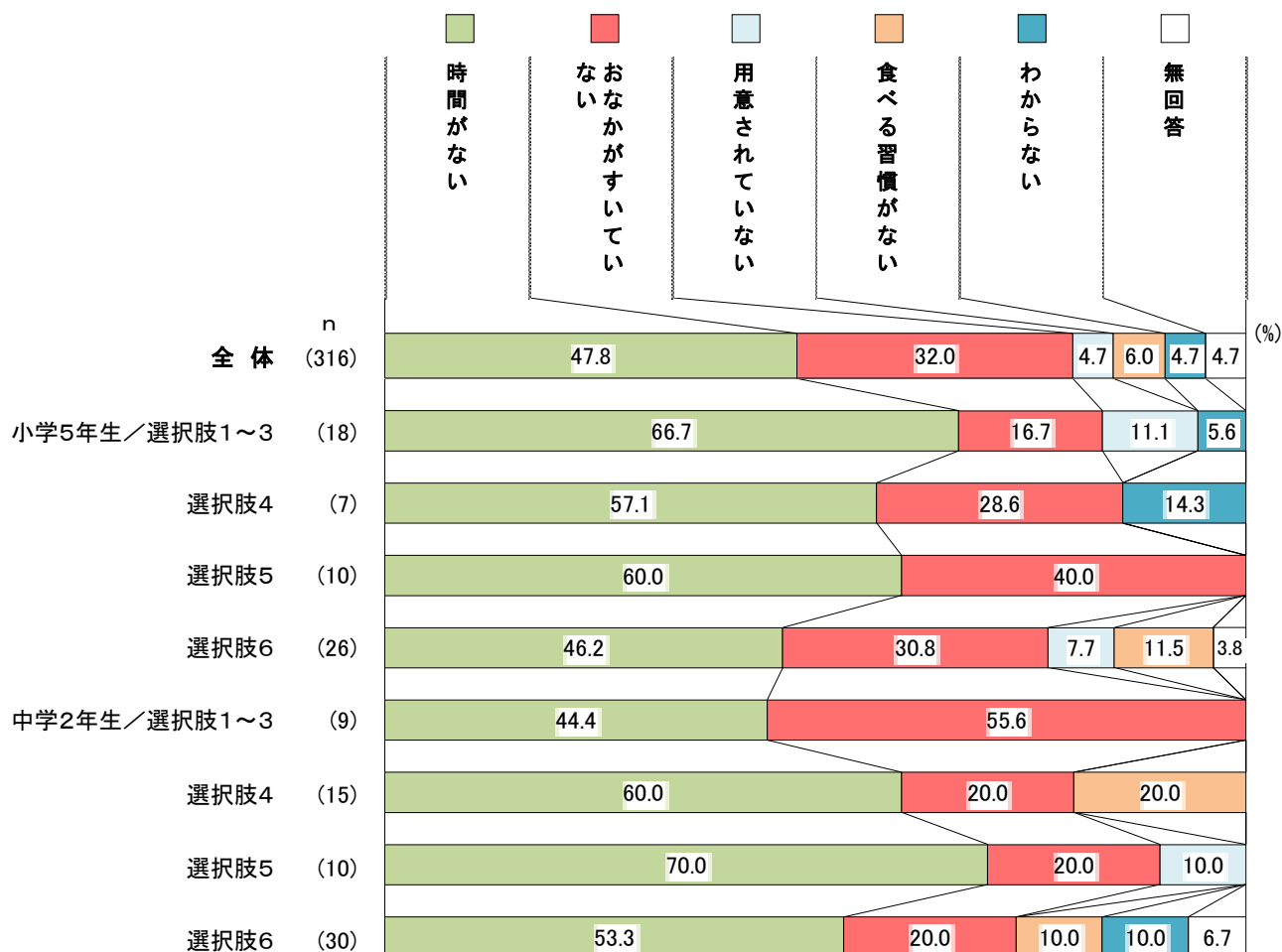


学年×可処分所得別でみると、回答者が少ないため参考程度にとどめるが、中学2年生の選択肢1～3では「おなかがすいていない」が最も高く、その他の層では「時間がない」が最も高くなっている。

【図表33 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	時間がない	おなかがすいていない	用意されていない	食べる習慣がない	わからない	無回答
全 体	316	151	101	15	19	15	15
	100.0	47.8	32.0	4.7	6.0	4.7	4.7
小学5年生／選択肢1～3	18	12	3	2	—	1	—
	100.0	66.7	16.7	11.1	—	5.6	—
選択肢4	7	4	2	—	—	1	—
	100.0	57.1	28.6	—	—	14.3	—
選択肢5	10	6	4	—	—	—	—
	100.0	60.0	40.0	—	—	—	—
選択肢6	26	12	8	2	3	—	1
	100.0	46.2	30.8	7.7	11.5	—	3.8
中学2年生／選択肢1～3	9	4	5	—	—	—	—
	100.0	44.4	55.6	—	—	—	—
選択肢4	15	9	3	—	3	—	—
	100.0	60.0	20.0	—	20.0	—	—
選択肢5	10	7	2	1	—	—	—
	100.0	70.0	20.0	10.0	—	—	—
選択肢6	30	16	6	—	3	3	2
	100.0	53.3	20.0	—	10.0	10.0	6.7



第2章 調査の結果詳細

(3) 昼ご飯を食べる頻度

あなたは学校がお休みの日に昼ご飯を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます)。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問8]

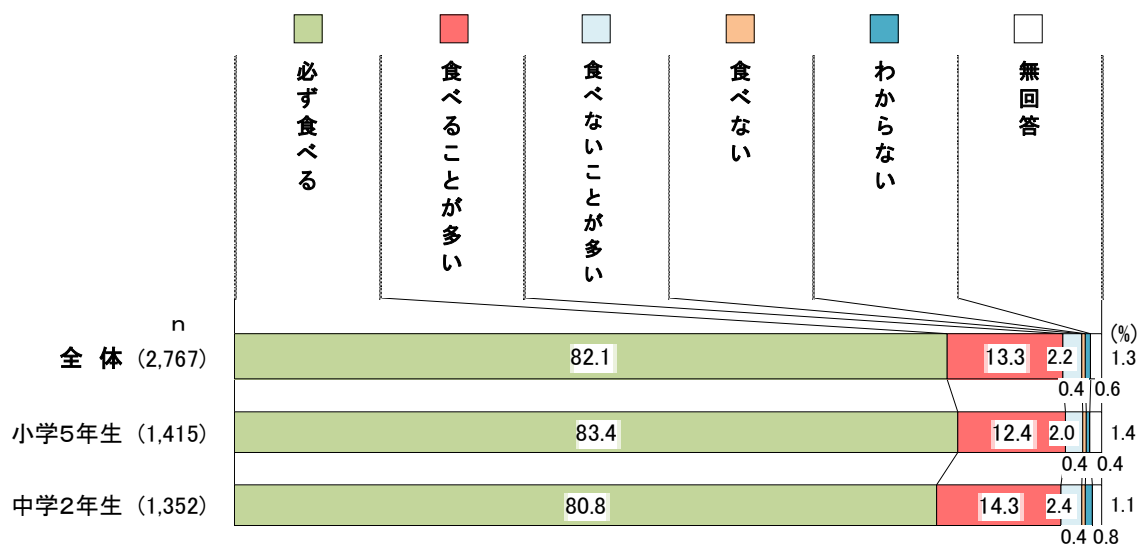
全体では「必ず食べる」82.1%が最も高く、次いで「食べることが多い」13.3%、「食べないことが多い」2.2%、「わからない」0.6%、「食べない」0.4%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「必ず食べる」が最も高くなっており、次いで「食べるが多い」となっている。

【図表34 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	必ず食べる	食べるが多い	食べないことが多い	食べない	わからない	無回答
全 体	2,767	2,273 100.0	369 82.1	61 13.3	12 2.2	17 0.4	35 0.6
小学校5年生	1,415	1,180 100.0	175 83.4	28 12.4	6 2.0	6 0.4	20 1.4
中学校2年生	1,352	1,093 100.0	194 80.8	33 14.3	6 2.4	11 0.8	15 1.1



(4) 平日の起床時間

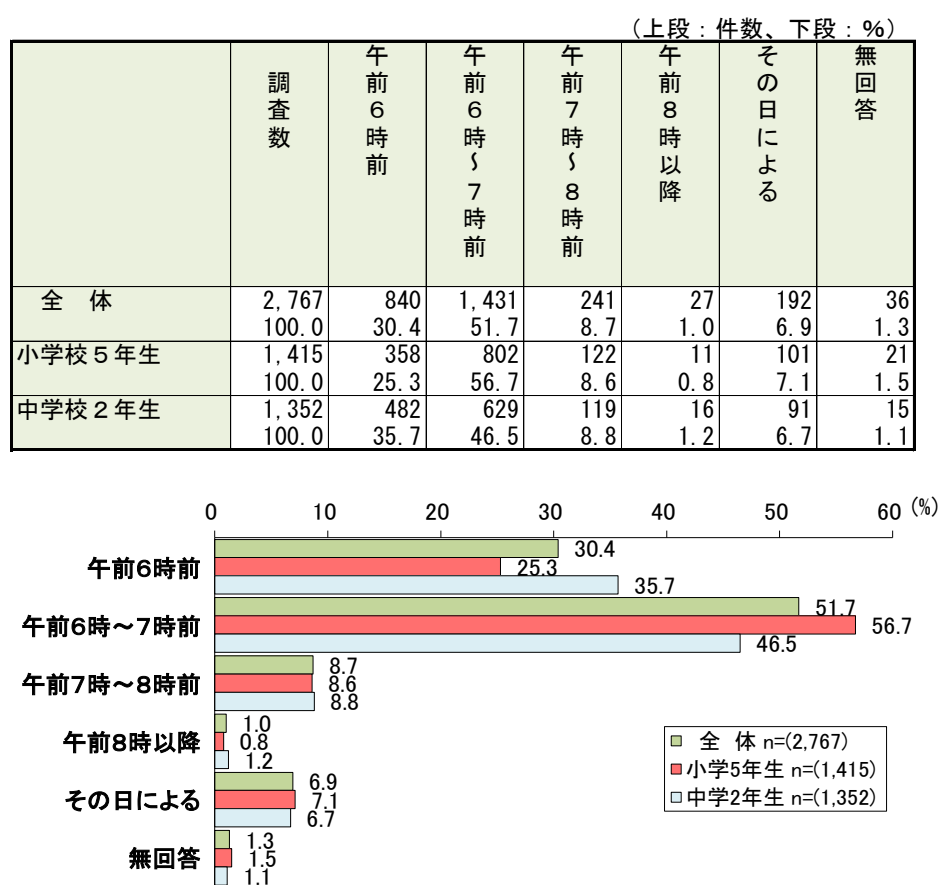
ふだん（平日）、何時に起きていますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

[子ども・問9]

全体では「午前6時～7時前」51.7%が最も高く、次いで「午前6時前」30.4%、「午前7時～8時前」8.7%、「その日による」6.9%、「午前8時以降」1.0%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「午前6時～7時前」が最も高く、特に小学5年生で過半数である。次いで「午前6時前」となっている。

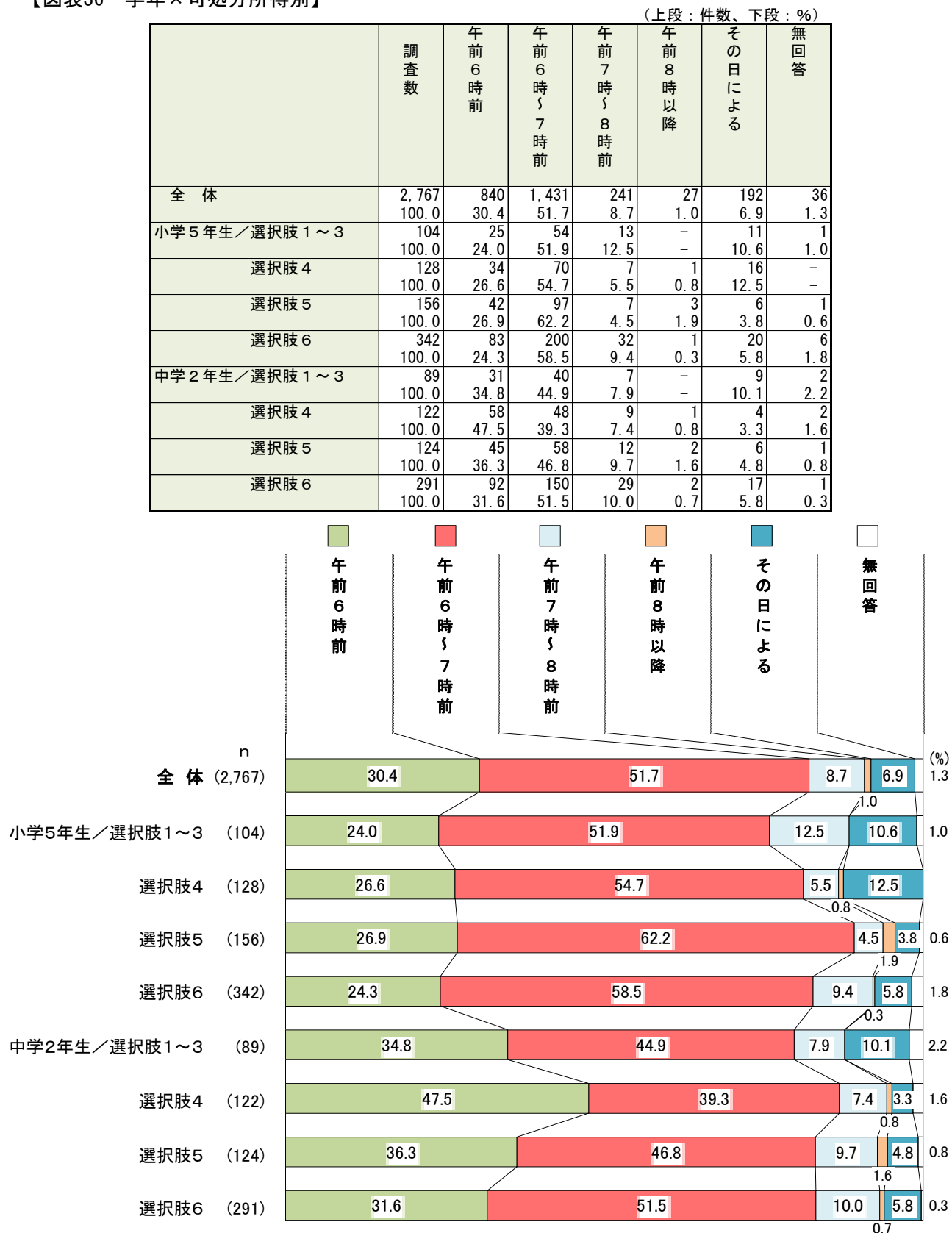
【図表35 全体・学年別】



第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢4では「午前6時前」が最も高く、その他の層では「午前6時～7時前」が最も高くなっている。また、小学5年生の選択肢1～3と4、中学2年生の選択肢1～3では「その日による」が1割台となっている。

【図表36 学年×可処分所得別】



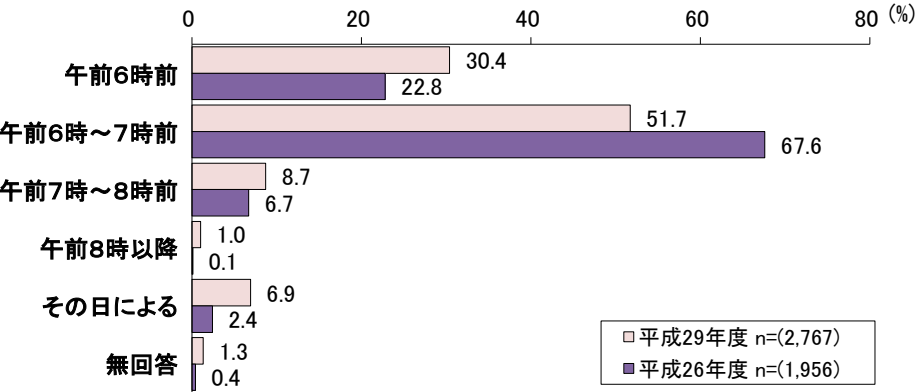
経年比較

平成26年度と比較すると、「午前6時～7時前」は大きく減少している。一方で、「午前6時前」が増加しており、「その日による」なども増加している。

＜図表37 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	午前6時前	午前6時～7時前	午前7時～8時前	午前8時以降	その日による	無回答
平成29年度	2,767	840	1,431	241	27	192	36
	100.0	30.4	51.7	8.7	1.0	6.9	1.3
平成26年度	1,956	446	1,323	131	2	46	8
	100.0	22.8	67.6	6.7	0.1	2.4	0.4



第2章 調査の結果詳細

(5) 平日の就寝時間

ふだん（平日）、何時に寝ていますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

[子ども・問10]

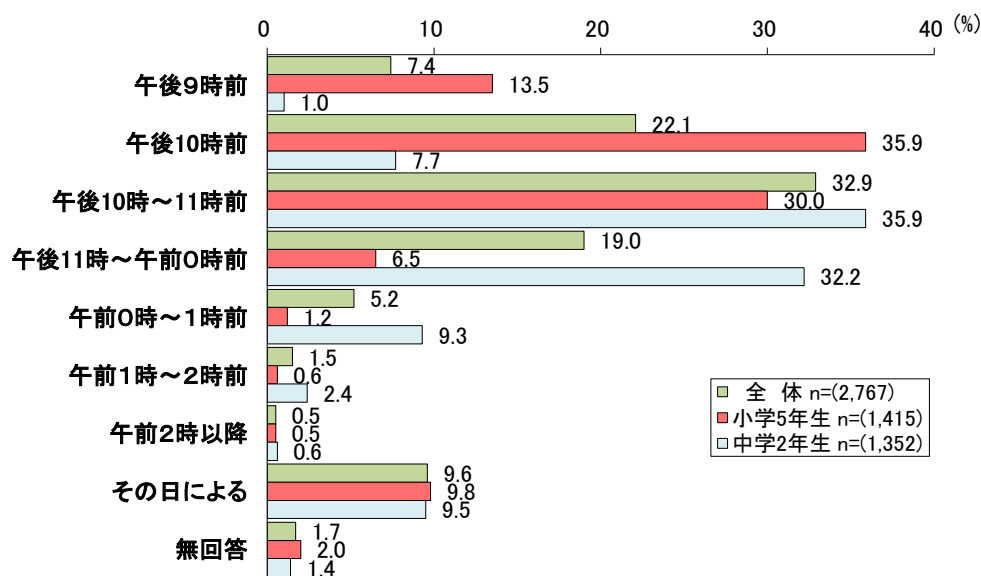
全体では「午後10時～11時前」32.9%が最も高く、次いで「午後10時前」22.1%、「その日による」9.6%、「午後9時前」7.4%、「午前0時～1時前」5.2%となっている。

学年別でみると、小学5年生では「午後10時前」、中学2年生では「午後10時～11時前」が最も高くなっており、次いで小学5年生では「午後10時～11時前」、中学2年生は「午後11時～午前0時前」となっている。

【図表38 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	午後9時前	午後10時前	午後10時～11時前	午後11時～午前0時前	午前0時～1時前	午前1時～2時前	午前2時以降	その日による	無回答
全 体	2,767	205	612	909	527	143	42	15	267	47
	100.0	7.4	22.1	32.9	19.0	5.2	1.5	0.5	9.6	1.7
小学校5年生	1,415	191	508	424	92	17	9	7	139	28
	100.0	13.5	35.9	30.0	6.5	1.2	0.6	0.5	9.8	2.0
中学校2年生	1,352	14	104	485	435	126	33	8	128	19
	100.0	1.0	7.7	35.9	32.2	9.3	2.4	0.6	9.5	1.4

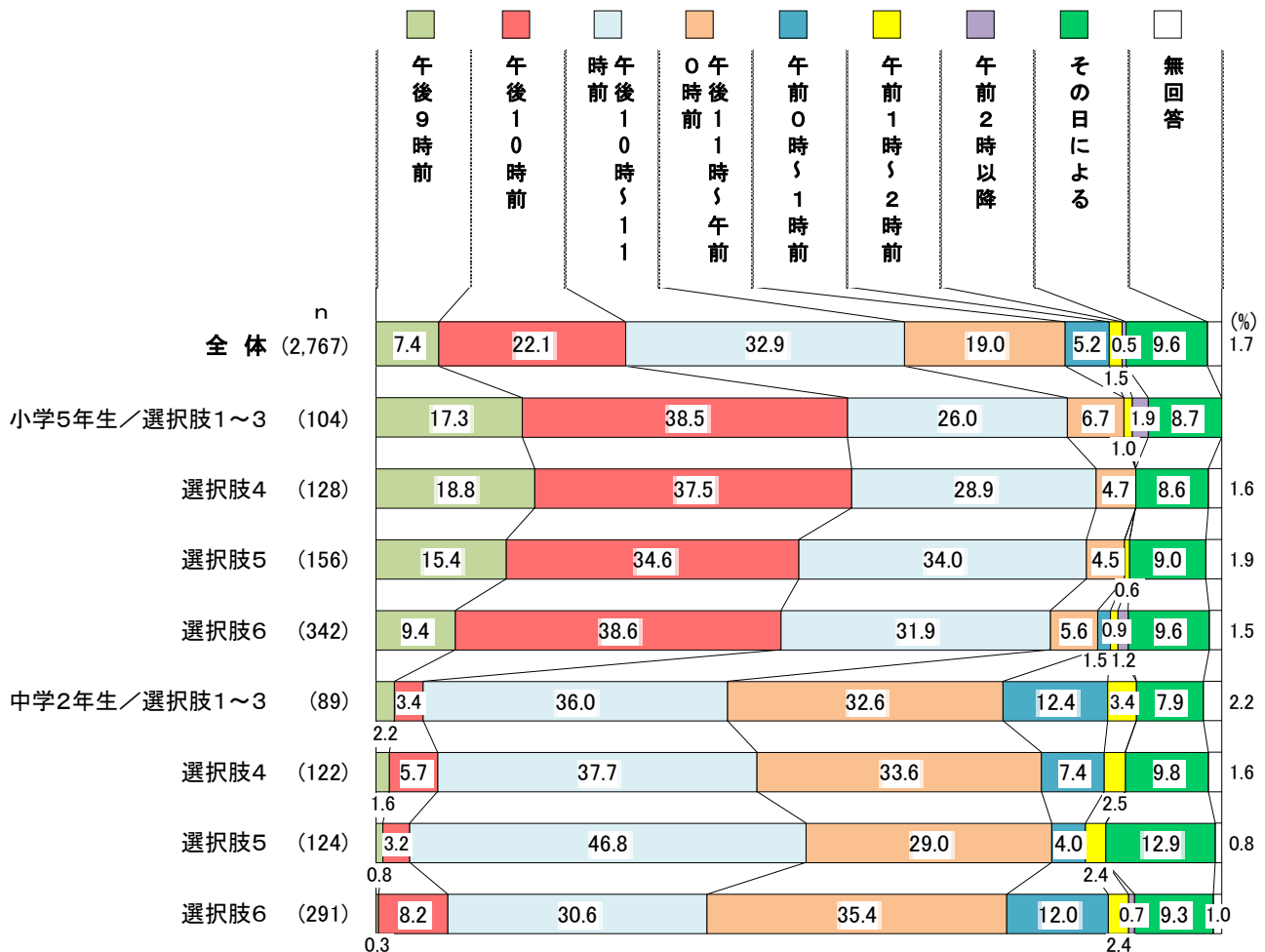


学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「午後10時前」が最も高く、選択肢5と6では「午後10時～11時前」も3割台となっている。中学2年生では選択肢6で「午後11時～午前0時前」が最も高く、その他の層では「午後10時～11時前」が最も高くなっている。

【図表39 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	午後9時前	午後10時前	午後10時～11時前	午後11時～午前0時前	午前0時～午前1時前	午前1時～午前2時前	午前2時以降	その日による	無回答
全 体	2,767	205	612	909	527	143	42	15	267	47
	100.0	7.4	22.1	32.9	19.0	5.2	1.5	0.5	9.6	1.7
小学5年生／選択肢1～3	104	18	40	27	7	—	1	2	9	—
	100.0	17.3	38.5	26.0	6.7	—	1.0	1.9	8.7	—
選択肢4	128	24	48	37	6	—	—	—	11	2
	100.0	18.8	37.5	28.9	4.7	—	—	—	8.6	1.6
選択肢5	156	24	54	53	7	—	1	—	14	3
	100.0	15.4	34.6	34.0	4.5	—	0.6	—	9.0	1.9
選択肢6	342	32	132	109	19	5	3	4	33	5
	100.0	9.4	38.6	31.9	5.6	1.5	0.9	1.2	9.6	1.5
中学2年生／選択肢1～3	89	2	3	32	29	11	3	—	7	2
	100.0	2.2	3.4	36.0	32.6	12.4	3.4	—	7.9	2.2
選択肢4	122	2	7	46	41	9	3	—	12	2
	100.0	1.6	5.7	37.7	33.6	7.4	2.5	—	9.8	1.6
選択肢5	124	1	4	58	36	5	3	—	16	1
	100.0	0.8	3.2	46.8	29.0	4.0	2.4	—	12.9	0.8
選択肢6	291	1	24	89	103	35	7	2	27	3
	100.0	0.3	8.2	30.6	35.4	12.0	2.4	0.7	9.3	1.0



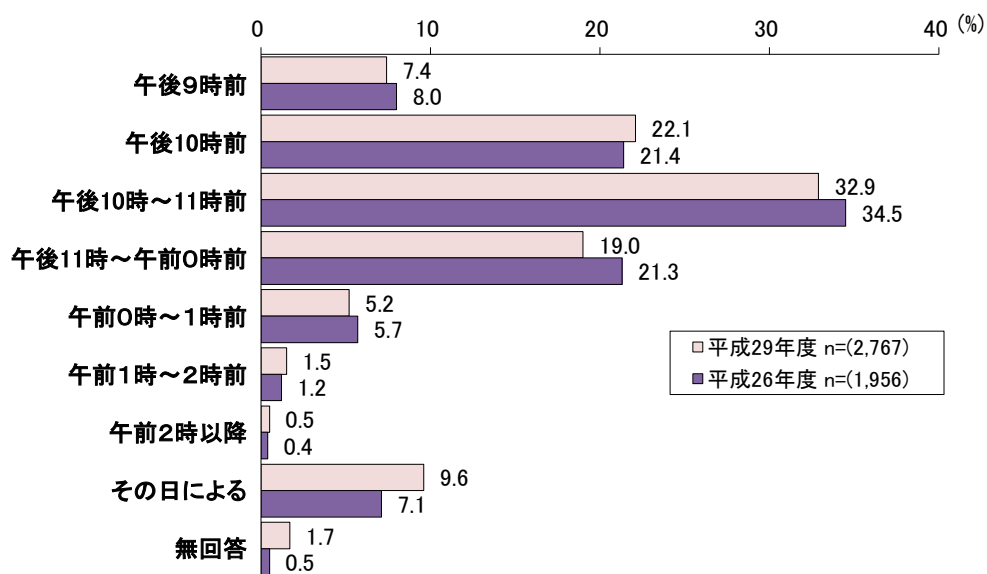
経年比較

平成26年度と比較すると、「午後11時～午前0時前」「午後10時～11時前」などが減少している。一方で、「その日による」が増加している。

＜図表40 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	午後9時前	午後10時前	午後10時～11時前	午後11時～午前0時前	午前0時～1時前	午前1時～2時前	午前2時以降	その日による	無回答
平成29年度	2,767	205	612	909	527	143	42	15	267	47
	100.0	7.4	22.1	32.9	19.0	5.2	1.5	0.5	9.6	1.7
平成26年度	1,956	156	418	674	417	111	24	8	139	9
	100.0	8.0	21.4	34.5	21.3	5.7	1.2	0.4	7.1	0.5



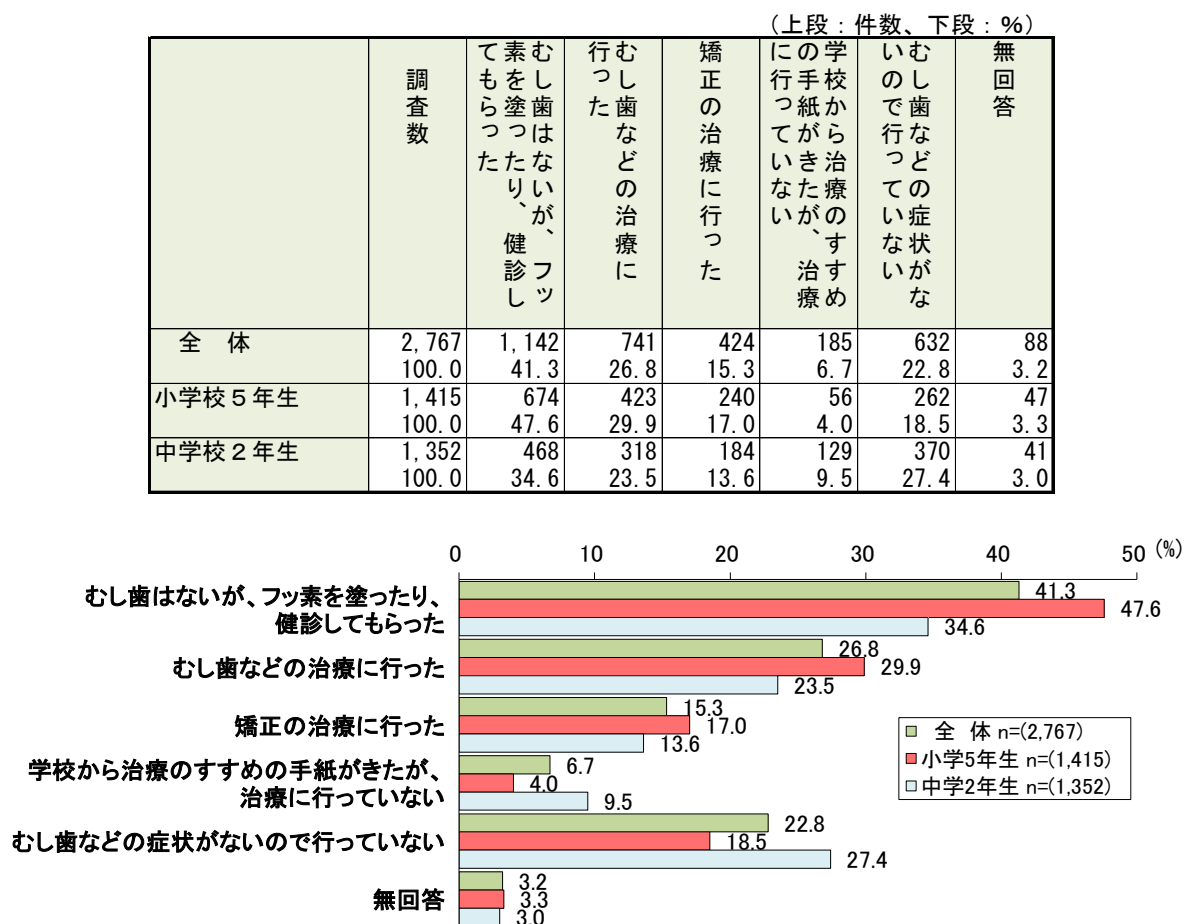
(6) 1年間の歯科医への通院状況

歯の健康状態が悪いと、全身の健康に影響が出ることがあります。そこで、皆さんの歯に関して質問をします。この1年間に歯医者に行きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。[子ども・問12]

全体では「むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった」41.3%が最も高く、次いで「むし歯などの治療に行った」26.8%、「むし歯などの症状がないので行っていない」22.8%、「矯正の治療に行った」15.3%、「学校から治療のすすめの手紙がきたが、治療に行っていない」6.7%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった」が最も高く、特に小学5年生で4割台である。次いで、小学5年生では「むし歯などの治療に行った」、中学2年生では「むし歯などの症状がないので行っていない」となっている。

【図表41 全体・学年別】



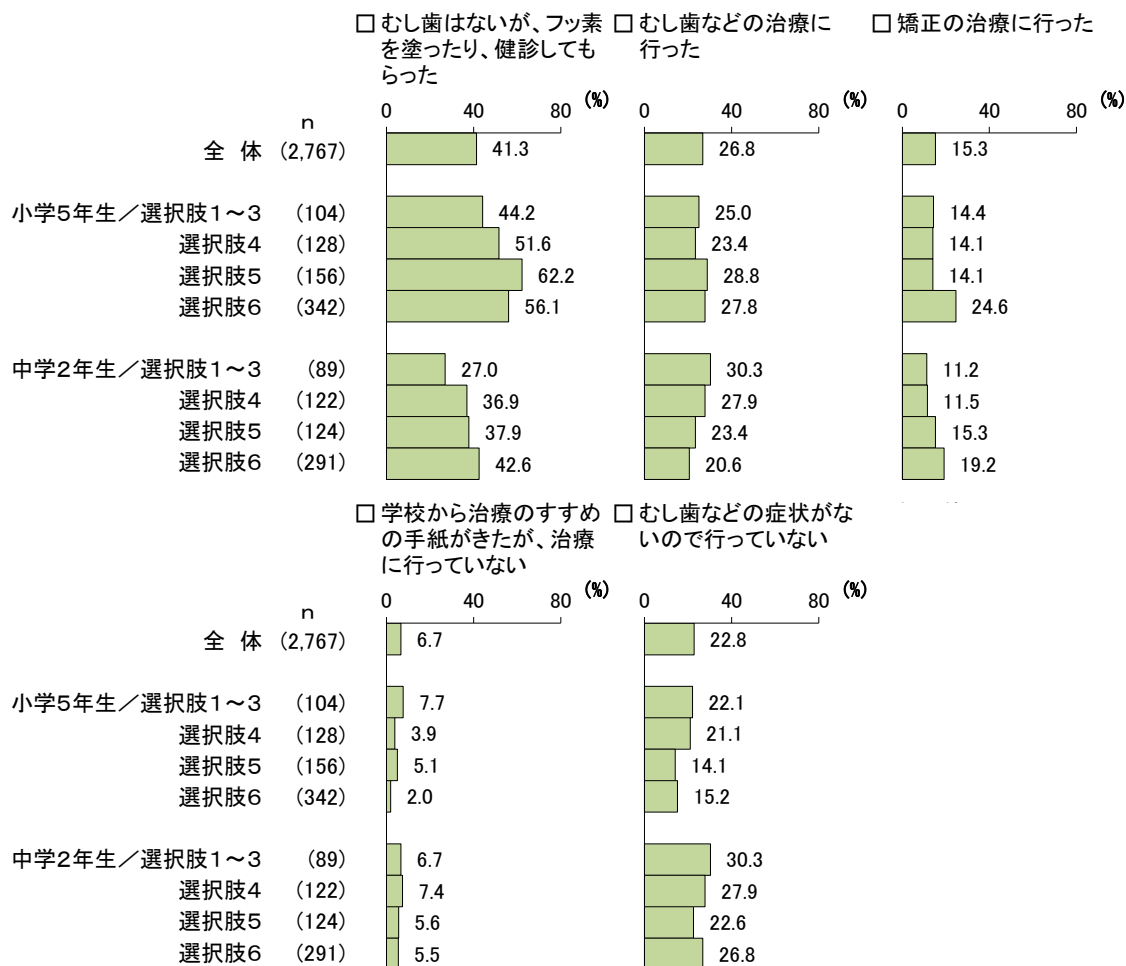
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3では「むし歯などの治療に行った」「むし歯などの症状がないので行っていない」が高い。その他の層では「むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった」が最も高く、特に小学5年生では選択肢4から6で過半数となっている。

【図表42 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	て素む もをし ら塗歯 つは たり 、健 診フ ッ	行む つし た歯 な の 治 療 に	矯 正 の 治 療 に 行 っ た	にの学 行手校 つ紙か てがら いき治 ない療 が、の す 治す 療め	いむ のし で歯 行な っど の 症 状 が な
全 体	2,767 100.0	1,142 41.3	741 26.8	424 15.3	185 6.7	632 22.8
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	46 44.2	26 25.0	15 14.4	8 7.7	23 22.1
選択肢4	128 100.0	66 51.6	30 23.4	18 14.1	5 3.9	27 21.1
選択肢5	156 100.0	97 62.2	45 28.8	22 14.1	8 5.1	22 14.1
選択肢6	342 100.0	192 56.1	95 27.8	84 24.6	7 2.0	52 15.2
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	24 27.0	27 30.3	10 11.2	6 6.7	27 30.3
選択肢4	122 100.0	45 36.9	34 27.9	14 11.5	9 7.4	34 27.9
選択肢5	124 100.0	47 37.9	29 23.4	19 15.3	7 5.6	28 22.6
選択肢6	291 100.0	124 42.6	60 20.6	56 19.2	16 5.5	78 26.8



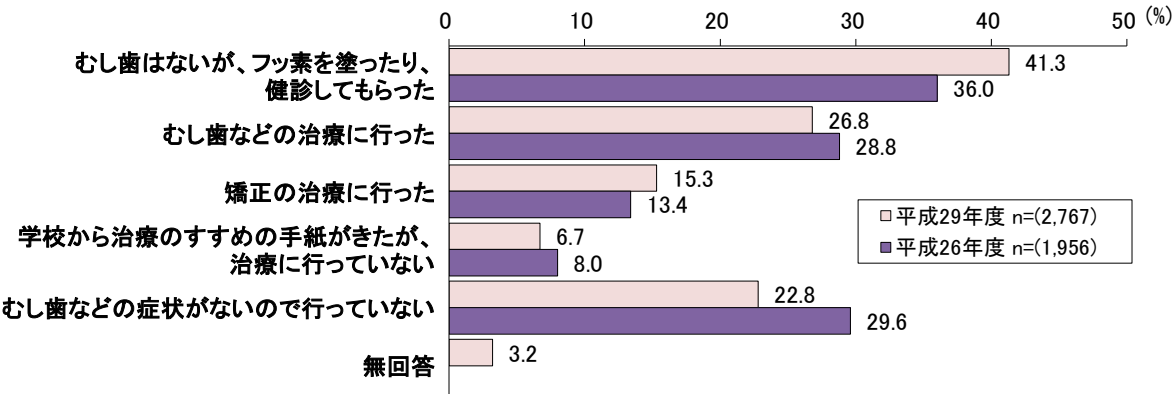
経年比較

平成26年度と比較すると、「むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった」が増加しており、「矯正の治療に行った」も増加している。

一方で、「むし歯などの症状がないので行っていない」が減少しており、「むし歯などの治療に行った」、「学校から治療のすすめの手紙がきたが、治療に行っていない」なども減少している。

＜図表43 経年比較＞

		(上段：件数、下段：%)					
	調査数	むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった	むし歯などの治療に行った	矯正の治療に行った	学校から治療のすすめの手紙がきたが、治療に行っていない	むし歯などの症状がないので行っていない	無回答
平成29年度	2,767 100.0	1,142 41.3	741 26.8	424 15.3	185 6.7	632 22.8	88 3.2
平成26年度	1,956 100.0	705 36.0	563 28.8	262 13.4	156 8.0	578 29.6	- -



第2章 調査の結果詳細

(7) 自分の健康状態（主観的）

あなたは自分の健康状態についてどう感じていますか。最もあてはまるものに一つ○をしてください。[子ども・問13／保護者・問21]

子ども調査は、全体では「普通」49.0%が最も高く、次いで「よい」27.8%、「どちらかといえばよい」11.6%、「どちらかといえばよくない」6.9%、「よくない」2.7%となっている。

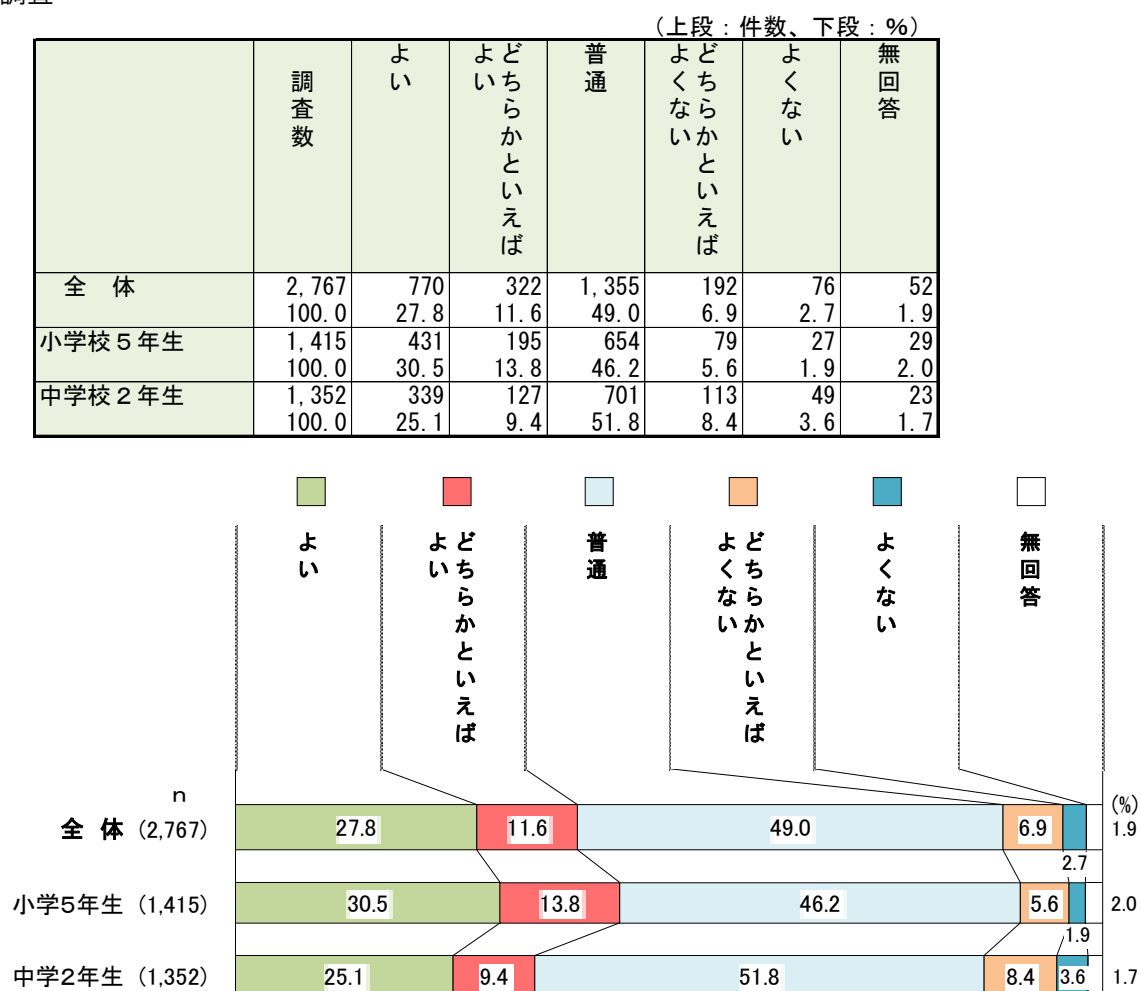
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「普通」が最も高く、特に中学2年生で過半数である。また、『よい』（「よい」＋「どちらかといえばよい」）との回答は、小学5年生では4割台となっている。

保護者調査は、全体では「普通」55.1%が最も高く、次いで「よい」24.5%、「どちらかといえばよくない」9.8%、「どちらかといえばよい」6.5%、「よくない」3.5%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「普通」が過半数で最も高くなっている。

【図表44 全体・学年別】

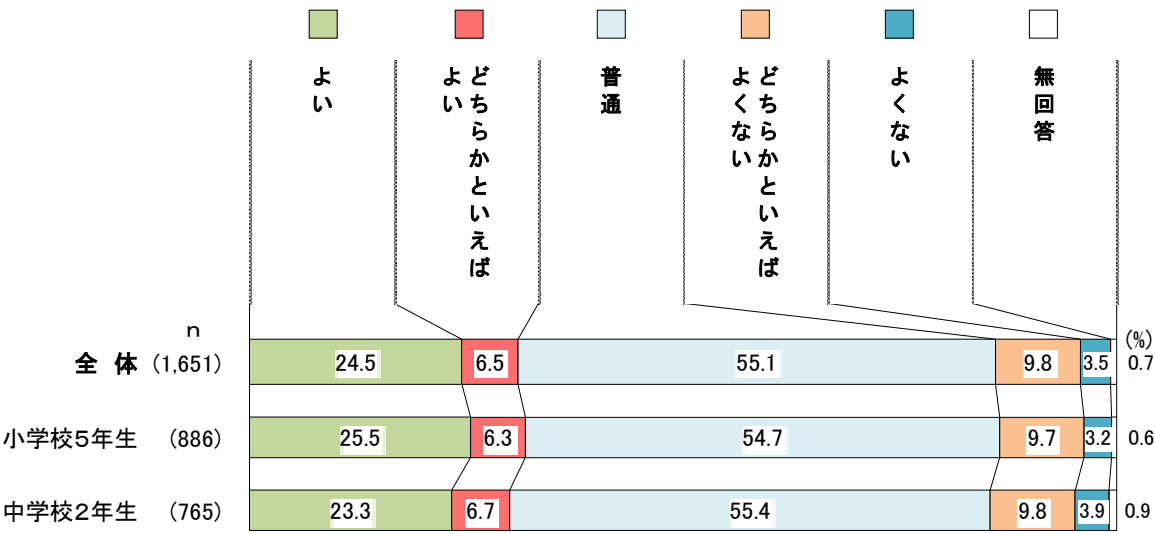
■子ども調査



■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	よい	どちらかといえば	普通	どちらかといえば よくない	よくない	無回答
全 体	1,651 100.0	404 24.5	107 6.5	909 55.1	161 9.8	58 3.5	12 0.7
小学校5年生	886 100.0	226 25.5	56 6.3	485 54.7	86 9.7	28 3.2	5 0.6
中学校2年生	765 100.0	178 23.3	51 6.7	424 55.4	75 9.8	30 3.9	7 0.9



第2章 調査の結果詳細

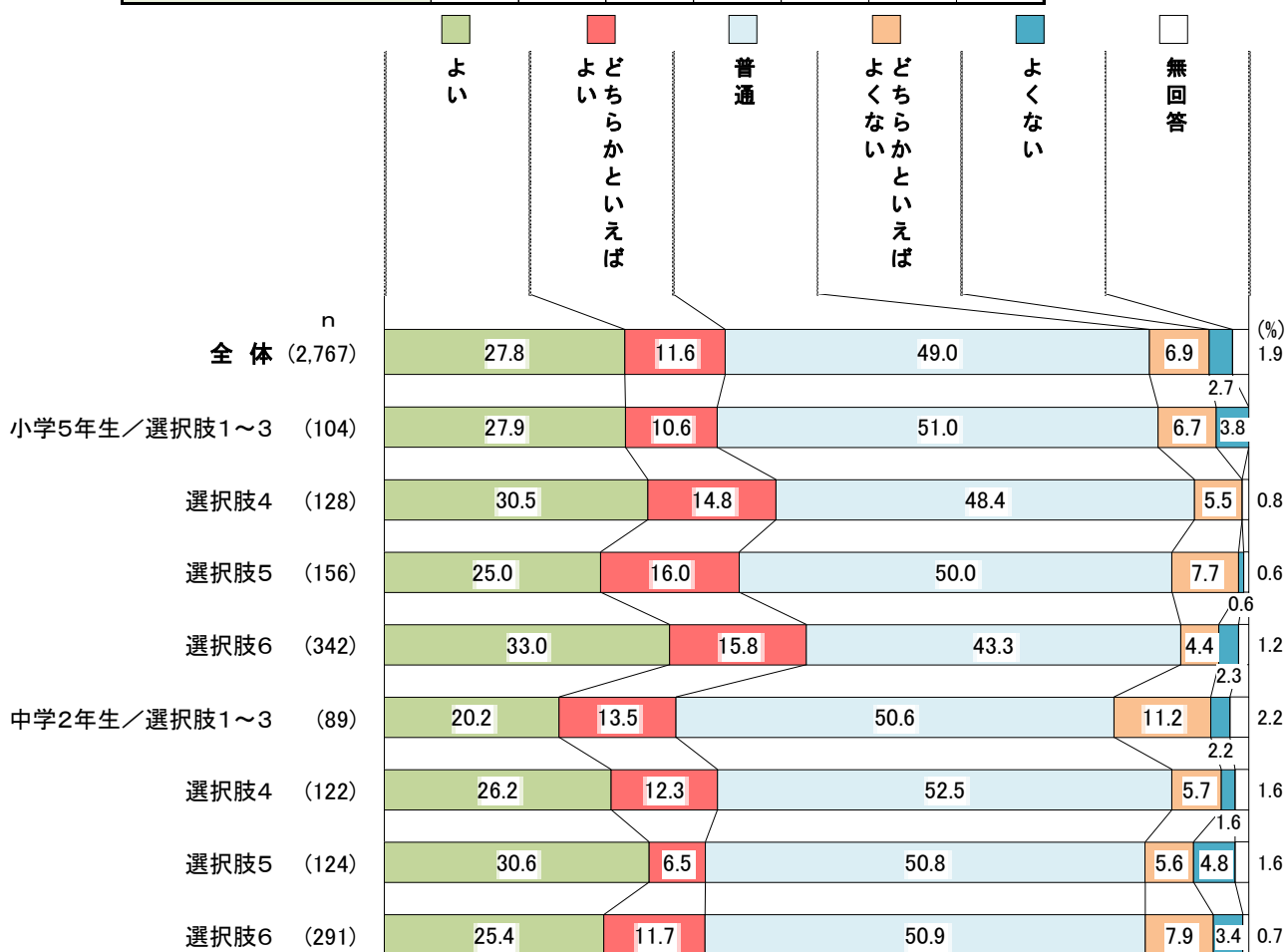
学年×可処分所得別でみると、子ども調査では、小学5年生の選択肢6で『よい』が最も高く、その他の層では「普通」が最も高くなっている。また、小学5年生の選択肢1～3と中学2年生の選択肢1～3、5、6では『よくない』（「よくない」＋「どちらかといえばよくない」）が1割台となっている。

【図表45 学年×可処分所得別】

■ 子ども調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	よい	どちらかといえば	普通	どちらかといえばよくない	よくない	無回答
全 体	2,767 100.0	770 27.8	322 11.6	1,355 49.0	192 6.9	76 2.7	52 1.9
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	29 27.9	11 10.6	53 51.0	7 6.7	4 3.8	— —
選択肢4	128 100.0	39 30.5	19 14.8	62 48.4	7 5.5	— —	1 0.8
選択肢5	156 100.0	39 25.0	25 16.0	78 50.0	12 7.7	1 0.6	1 0.6
選択肢6	342 100.0	113 33.0	54 15.8	148 43.3	15 4.4	8 2.3	4 1.2
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	18 20.2	12 13.5	45 50.6	10 11.2	2 2.2	2 2.2
選択肢4	122 100.0	32 26.2	15 12.3	64 52.5	7 5.7	2 1.6	2 1.6
選択肢5	124 100.0	38 30.6	8 6.5	63 50.8	7 5.6	6 4.8	2 1.6
選択肢6	291 100.0	74 25.4	34 11.7	148 50.9	23 7.9	10 3.4	2 0.7

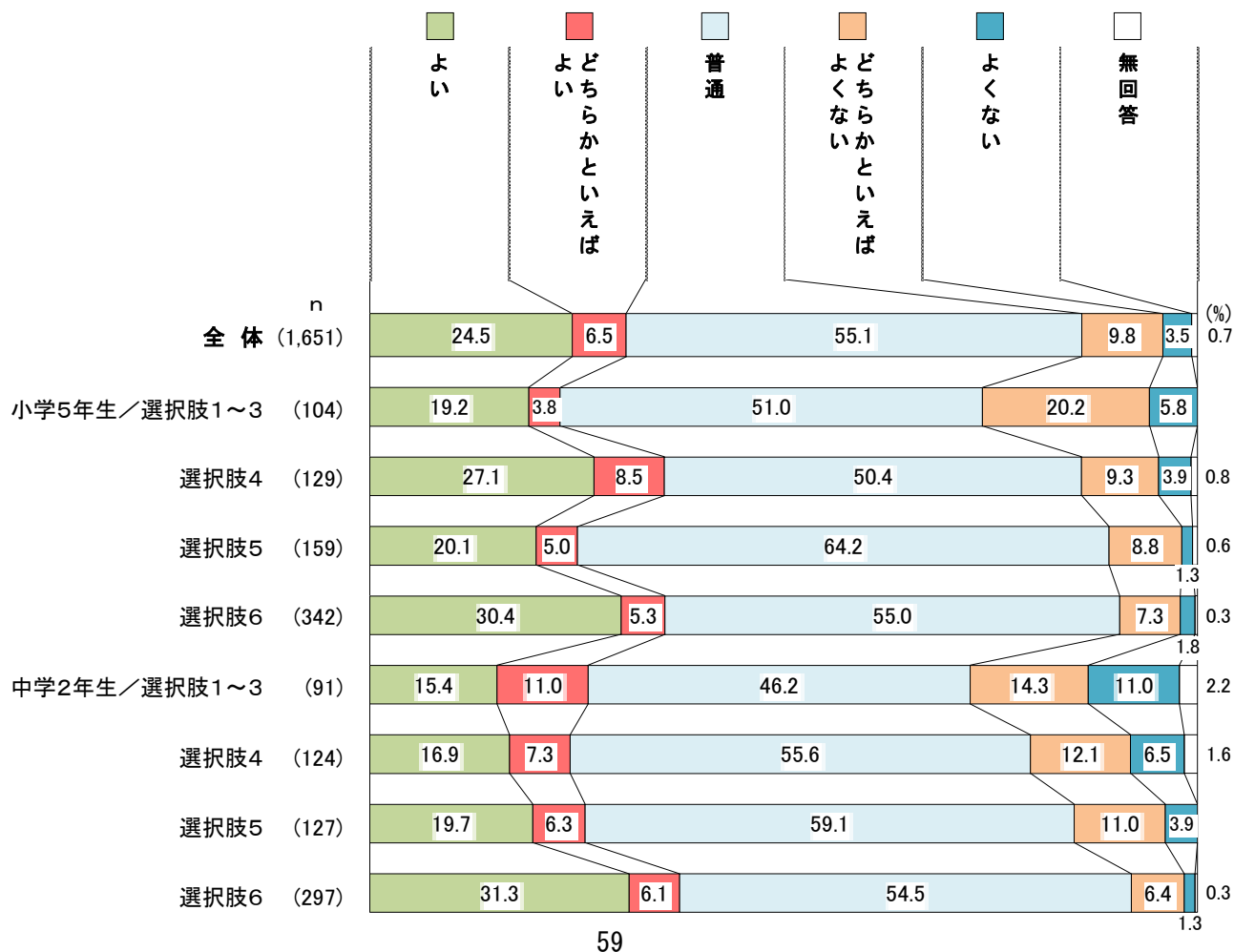


保護者調査では、小学5年生・中学2年生のいずれの層も「普通」が最も高く、特に小学5年生の選択肢5で6割台となっている。また、小学5年生・中学2年生ともに選択肢1～3で『よくない』が4人に1人となっている。

■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	よい	よい どちらか といえば	普通	よく ないか といえば	よく ない	無 回 答
全 体	1,651 100.0	404 24.5	107 6.5	909 55.1	161 9.8	58 3.5	12 0.7
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	20 19.2	4 3.8	53 51.0	21 20.2	6 5.8	— —
選択肢4	129 100.0	35 27.1	11 8.5	65 50.4	12 9.3	5 3.9	1 0.8
選択肢5	159 100.0	32 20.1	8 5.0	102 64.2	14 8.8	2 1.3	1 0.6
選択肢6	342 100.0	104 30.4	18 5.3	188 55.0	25 7.3	6 1.8	1 0.3
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	14 15.4	10 11.0	42 46.2	13 14.3	10 11.0	2 2.2
選択肢4	124 100.0	21 16.9	9 7.3	69 55.6	15 12.1	8 6.5	2 1.6
選択肢5	127 100.0	25 19.7	8 6.3	75 59.1	14 11.0	5 3.9	— —
選択肢6	297 100.0	93 31.3	18 6.1	162 54.5	19 6.4	4 1.3	1 0.3



(8) ふだんの健康のための取り組み

健康であるためにふだんから行っていることについて、次の1番から8番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ○をしてください。[子ども・問14／保護者・問22]

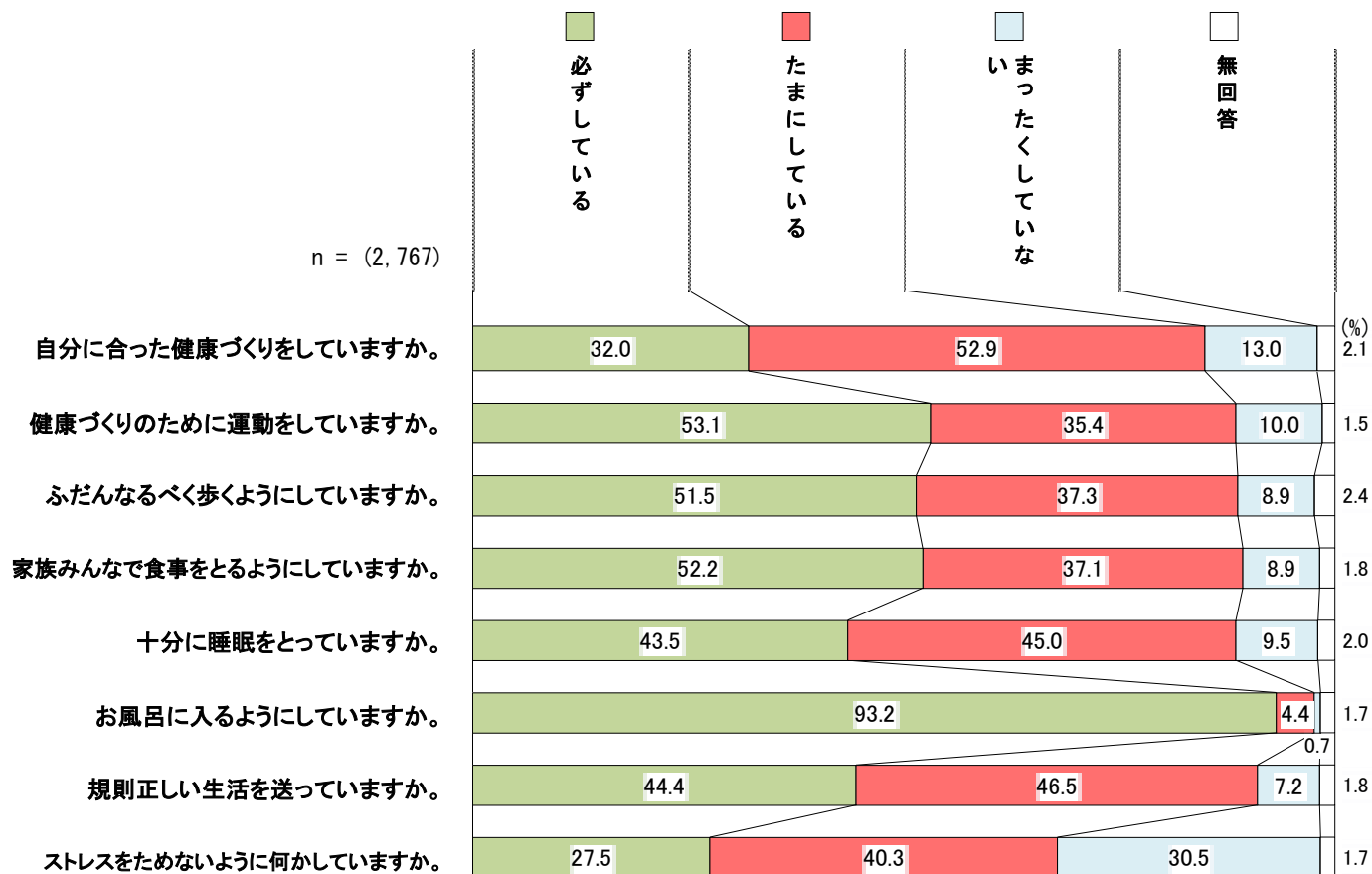
子ども、保護者とも、全体では全ての項目で『している』(「必ずしている」+「たまにしている」)が過半数を占めている。

その中で割合が高いのは「お風呂に入るようにしていますか。」と「規則正しい生活を送っていますか。」、「家族みんなで食事をとるようにしていますか。」であり、約9割となっている。

【図表46 子ども調査・全体】

(上段：件数、下段：%)

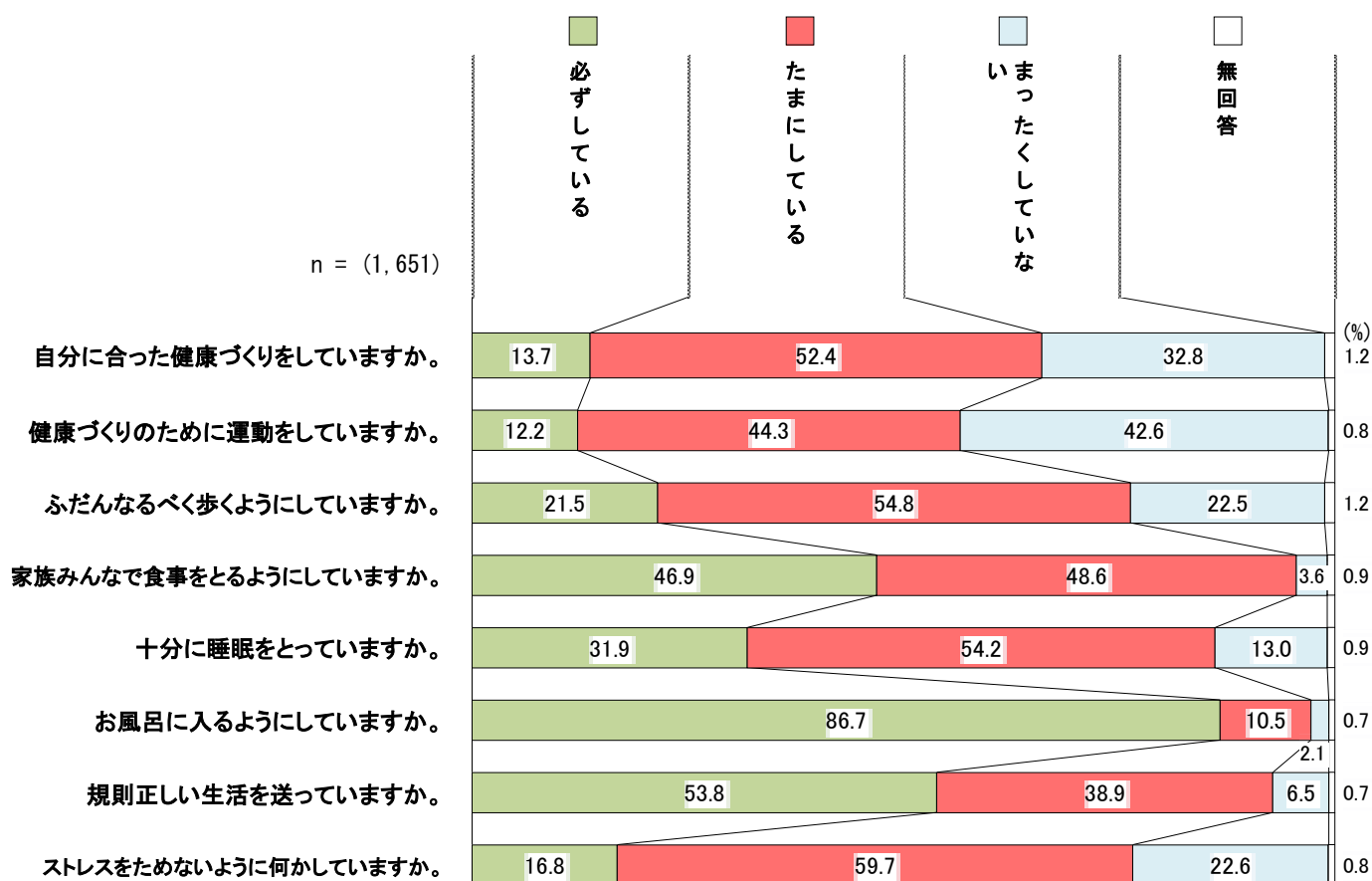
	調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしてない	無回答
自分に合った健康づくりをしていますか。	2,767 100.0	885 32.0	1,464 52.9	361 13.0	57 2.1
健康づくりのために運動をしていますか。	2,767 100.0	1,469 53.1	980 35.4	277 10.0	41 1.5
ふだんなるべく歩くようにしていますか。	2,767 100.0	1,424 51.5	1,032 37.3	245 8.9	66 2.4
家族みんなで食事をとるようにしていますか。	2,767 100.0	1,445 52.2	1,026 37.1	245 8.9	51 1.8
十分に睡眠をとっていますか。	2,767 100.0	1,204 43.5	1,245 45.0	264 9.5	54 2.0
お風呂に入るようにしていますか。	2,767 100.0	2,578 93.2	123 4.4	18 0.7	48 1.7
規則正しい生活を送っていますか。	2,767 100.0	1,229 44.4	1,288 46.5	199 7.2	51 1.8
ストレスをためないように何かしていますか。	2,767 100.0	761 27.5	1,114 40.3	845 30.5	47 1.7



【図表47 保護者調査・全体】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	必ず してい	たま にして	ま たくし	無 回 答
自分に合った健康づくりをしていますか。	1,651 100.0	226 13.7	865 52.4	541 32.8	19 1.2
健康づくりのために運動をしていますか。	1,651 100.0	202 12.2	732 44.3	703 42.6	14 0.8
ふだんなるべく歩くようにしていますか。	1,651 100.0	355 21.5	904 54.8	372 22.5	20 1.2
家族みんなで食事をとるようにしていますか。	1,651 100.0	774 46.9	802 48.6	60 3.6	15 0.9
十分に睡眠をとっていますか。	1,651 100.0	526 31.9	895 54.2	215 13.0	15 0.9
お風呂に入るようにしていますか。	1,651 100.0	1,431 86.7	174 10.5	34 2.1	12 0.7
規則正しい生活を送っていますか。	1,651 100.0	888 53.8	643 38.9	108 6.5	12 0.7
ストレスをためないように何かしていますか。	1,651 100.0	278 16.8	986 59.7	373 22.6	14 0.8

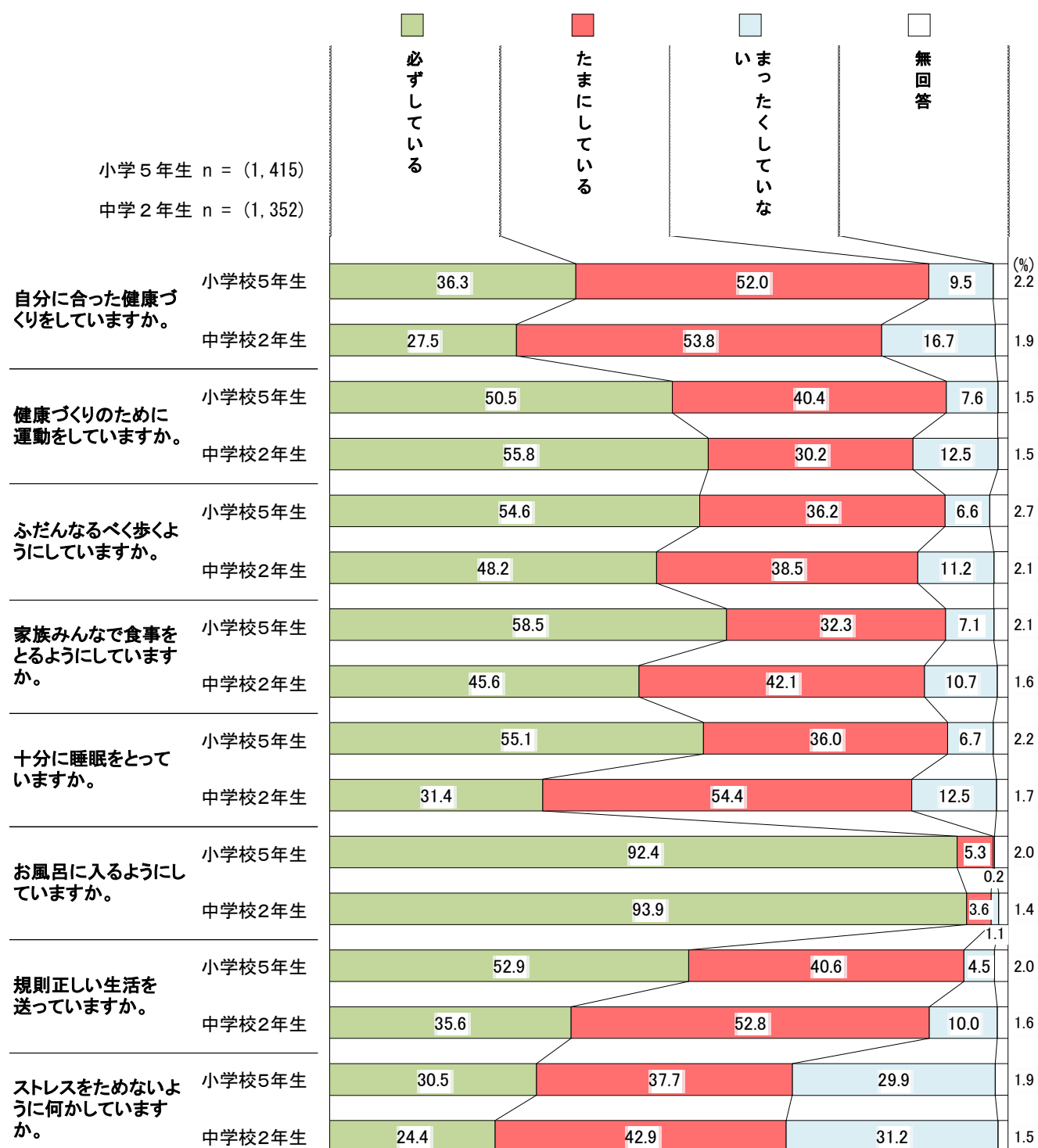


第2章 調査の結果詳細

子ども調査を学年別にみると、小学5年生・中学2年生ともに全ての項目で『している』（「必ずしている」＋「たまにしている」）が過半数となっており、特に「お風呂に入るようにしていますか。」は9割台と高い。また、「健康づくりのために運動をしていますか。」「ふだんなるべく歩くようにしていますか。」「家族みんなで食事をするようにしていますか。」「十分に睡眠をとっていますか。」「規則正しい生活を送っていますか。」はいずれも小学5年生で9割台、中学2年生で8割台となっており、いずれも小学5年生の方が中学2年生よりも高くなっている。一方で、「まったくしていない」が「ストレスをためないように何かしていますか。」で小学5年生・中学2年生ともに約3割と高くなっている。

【図表48 子ども調査・学年別】

		(上段：件数、下段：%)				
		調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
自分に合った健康づくりをしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	513 36.3	736 52.0	135 9.5	31 2.2
	中学校2年生	1,352 100.0	372 27.5	728 53.8	226 16.7	26 1.9
健康づくりのために運動をしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	714 50.5	572 40.4	108 7.6	21 1.5
	中学校2年生	1,352 100.0	755 55.8	408 30.2	169 12.5	20 1.5
ふだんなるべく歩くようにしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	772 54.6	512 36.2	93 6.6	38 2.7
	中学校2年生	1,352 100.0	652 48.2	520 38.5	152 11.2	28 2.1
家族みんなで食事をするようにしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	828 58.5	457 32.3	100 7.1	30 2.1
	中学校2年生	1,352 100.0	617 45.6	569 42.1	145 10.7	21 1.6
十分に睡眠をとっていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	780 55.1	509 36.0	95 6.7	31 2.2
	中学校2年生	1,352 100.0	424 31.4	736 54.4	169 12.5	23 1.7
お風呂に入るようにしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	1,308 92.4	75 5.3	3 0.2	29 2.0
	中学校2年生	1,352 100.0	1,270 93.9	48 3.6	15 1.1	19 1.4
規則正しい生活を送っていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	748 52.9	574 40.6	64 4.5	29 2.0
	中学校2年生	1,352 100.0	481 35.6	714 52.8	135 10.0	22 1.6
ストレスをためないように何かしていますか。	小学校5年生	1,415 100.0	431 30.5	534 37.7	423 29.9	27 1.9
	中学校2年生	1,352 100.0	330 24.4	580 42.9	422 31.2	20 1.5



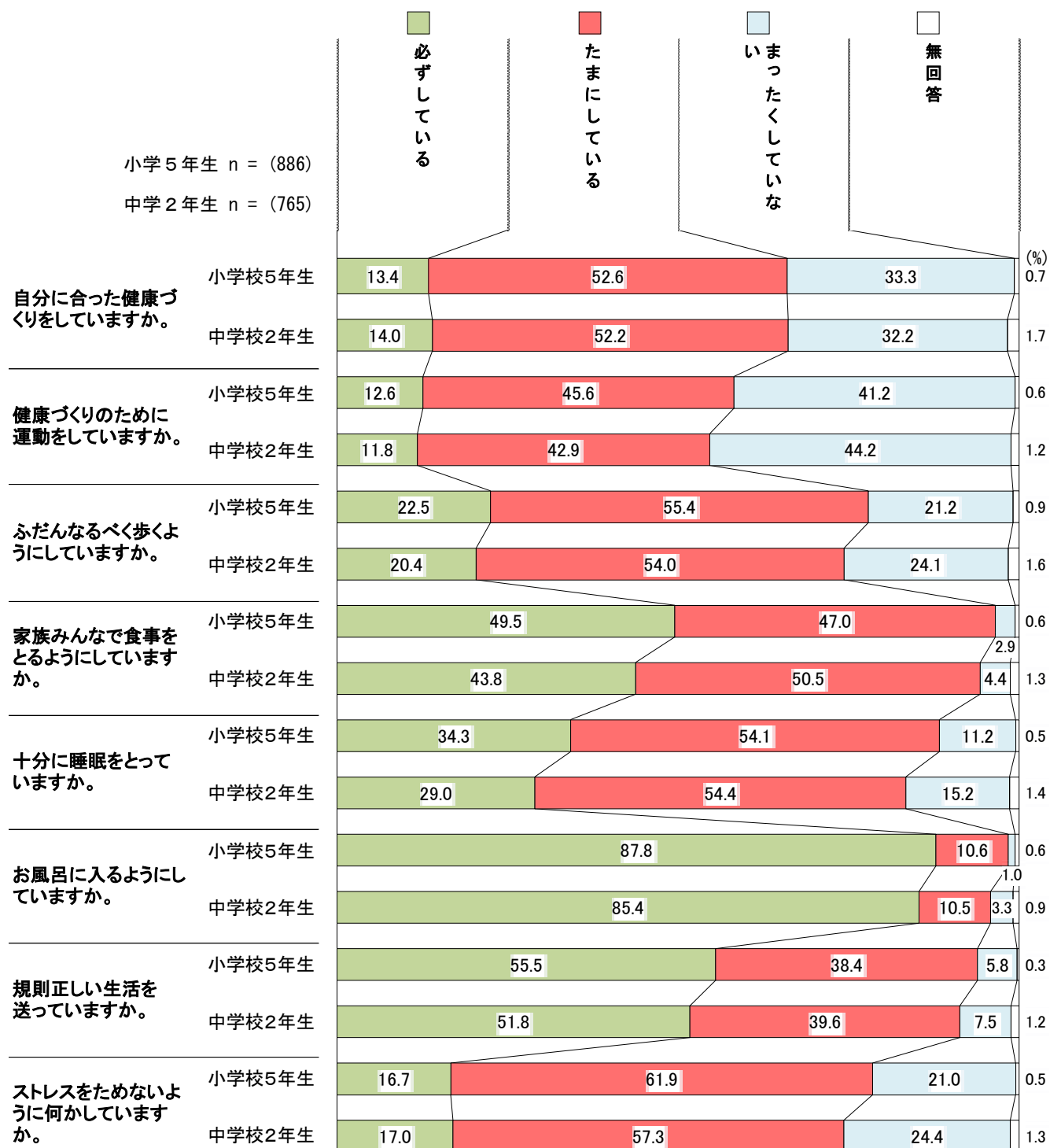
第2章 調査の結果詳細

保護者調査を学年別にみると、小学5年生・中学2年生ともに全ての項目で『している』（「必ずしている」＋「たまにしている」）が過半数となっており、特に「家族みんなで食事をするようにしていますか。」「お風呂に入るようにしていますか。」「規則正しい生活を送っていますか。」は9割台と高い。また、小学5年生・中学2年生ともに「十分に睡眠をとっていますか。」は8割台、「ふだんなるべく歩くようにしていますか。」「ストレスをためないように何かしていますか。」は7割台、「健康づくりのために運動をしていますか。」は5割台となっており、いずれの項目も小学5年生の方が中学2年生よりも高くなっている。一方で、小学5年生・中学2年生ともに「まったくしていない」が「健康づくりのために運動をしていますか。」で4割台、「自分に合った健康づくりをしていますか。」が3割台となっている。

【図表49 保護者調査・学年別】

(上段：件数、下段：%)

		調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
自分に合った健康づくりをしていますか。	小学校5年生	886 100.0	119 13.4	466 52.6	295 33.3	6 0.7
	中学校2年生	765 100.0	107 14.0	399 52.2	246 32.2	13 1.7
健康づくりのために運動をしていますか。	小学校5年生	886 100.0	112 12.6	404 45.6	365 41.2	5 0.6
	中学校2年生	765 100.0	90 11.8	328 42.9	338 44.2	9 1.2
ふだんなるべく歩くようにしていますか。	小学校5年生	886 100.0	199 22.5	491 55.4	188 21.2	8 0.9
	中学校2年生	765 100.0	156 20.4	413 54.0	184 24.1	12 1.6
家族みんなで食事をするようにしていますか。	小学校5年生	886 100.0	439 49.5	416 47.0	26 2.9	5 0.6
	中学校2年生	765 100.0	335 43.8	386 50.5	34 4.4	10 1.3
十分に睡眠をとっていますか。	小学校5年生	886 100.0	304 34.3	479 54.1	99 11.2	4 0.5
	中学校2年生	765 100.0	222 29.0	416 54.4	116 15.2	11 1.4
お風呂に入るようにしていますか。	小学校5年生	886 100.0	778 87.8	94 10.6	9 1.0	5 0.6
	中学校2年生	765 100.0	653 85.4	80 10.5	25 3.3	7 0.9
規則正しい生活を送っていますか。	小学校5年生	886 100.0	492 55.5	340 38.4	51 5.8	3 0.3
	中学校2年生	765 100.0	396 51.8	303 39.6	57 7.5	9 1.2
ストレスをためないように何かしていますか。	小学校5年生	886 100.0	148 16.7	548 61.9	186 21.0	4 0.5
	中学校2年生	765 100.0	130 17.0	438 57.3	187 24.4	10 1.3

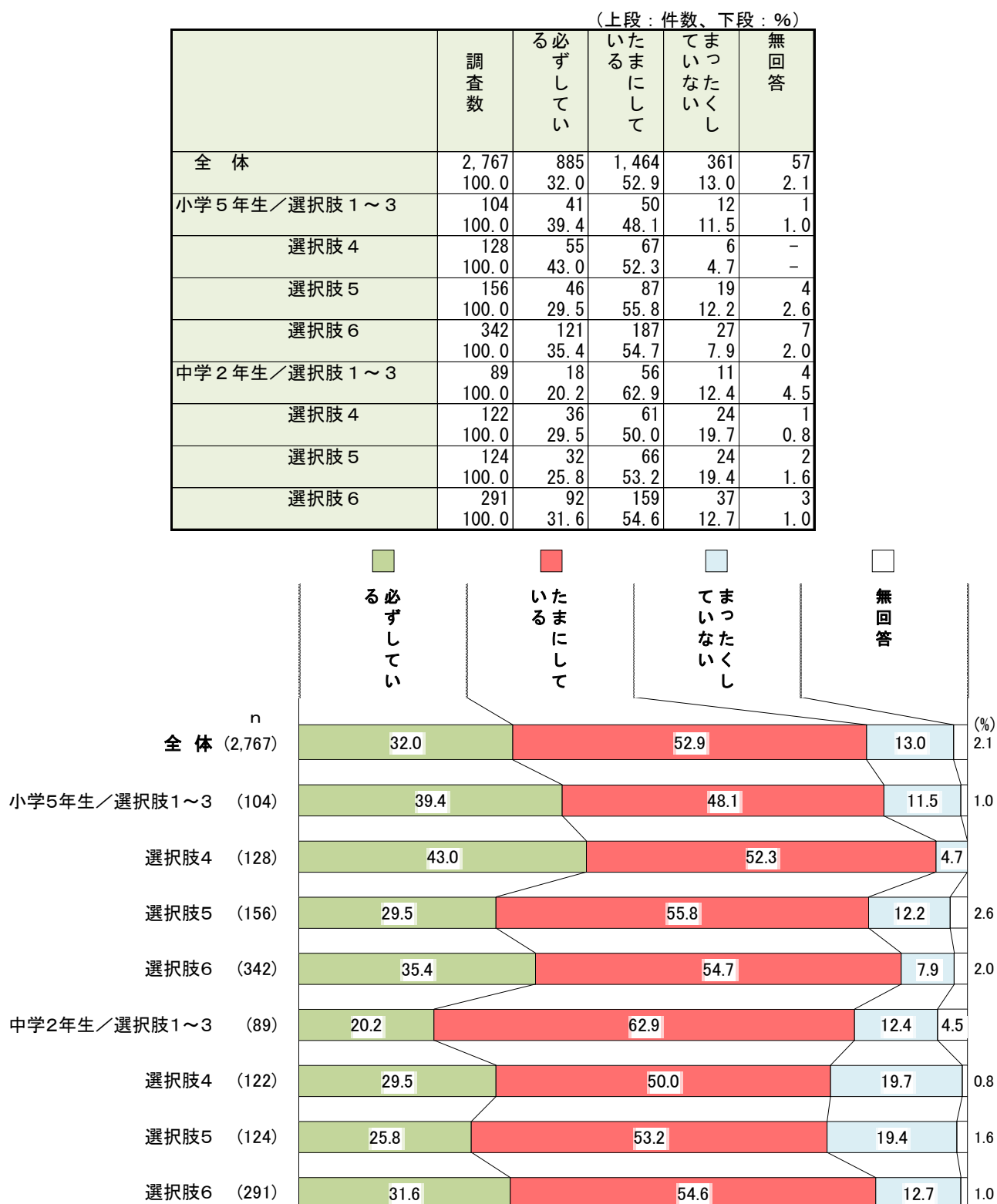


第2章 調査の結果詳細

＜子ども調査：自分に合った健康づくりをしていますか。＞

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が7割を超えており、特に小学5年生の選択肢4と6では9割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢4と5では「まったくしていない」が約2割となっている。

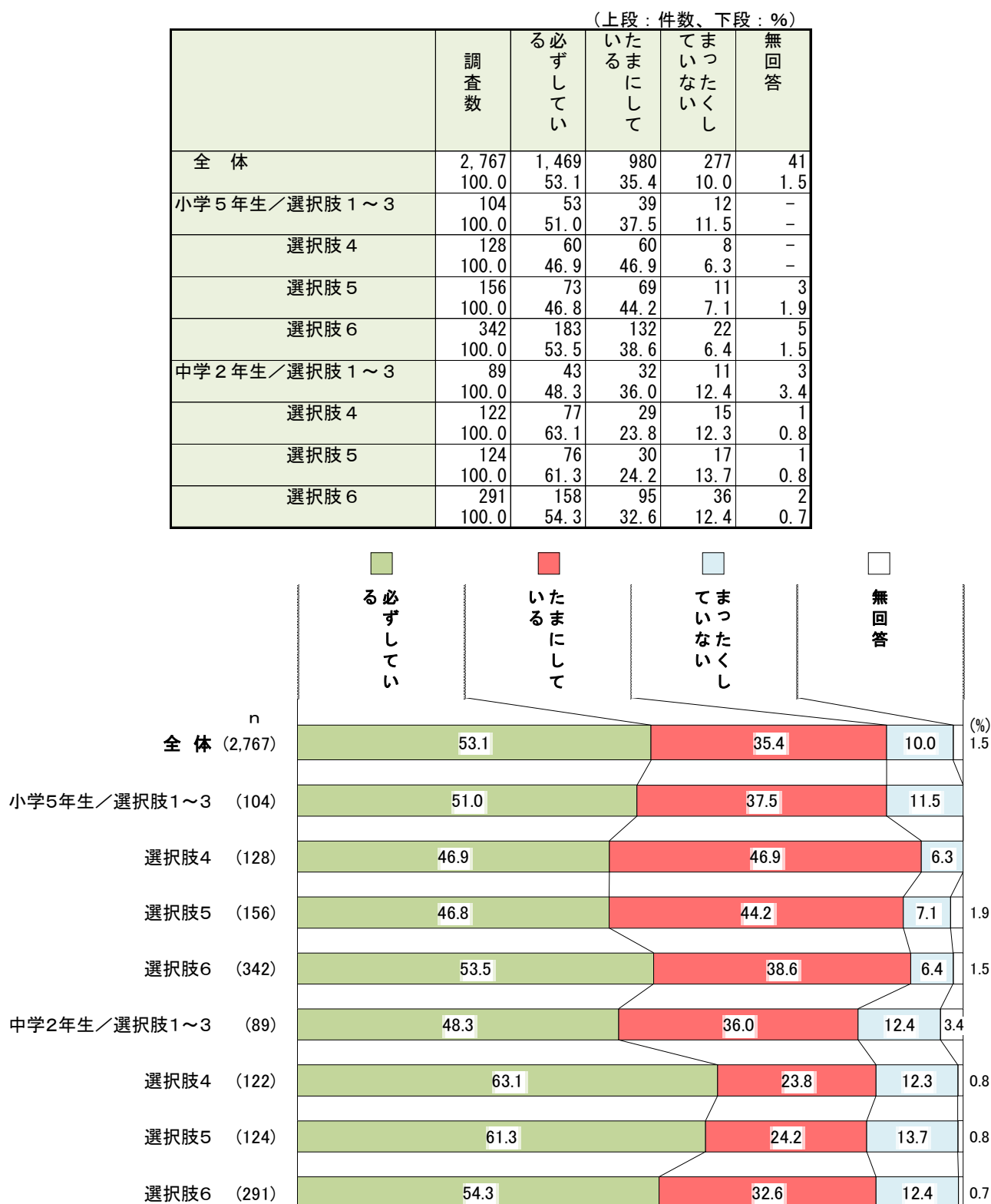
【図表50 子ども調査・学年×可処分所得別】



<子ども調査：健康づくりのために運動をしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が8割を超えており、特に小学5年生の選択肢4から6では9割台となっている。

【図表51 子ども調査・学年×可処分所得別】

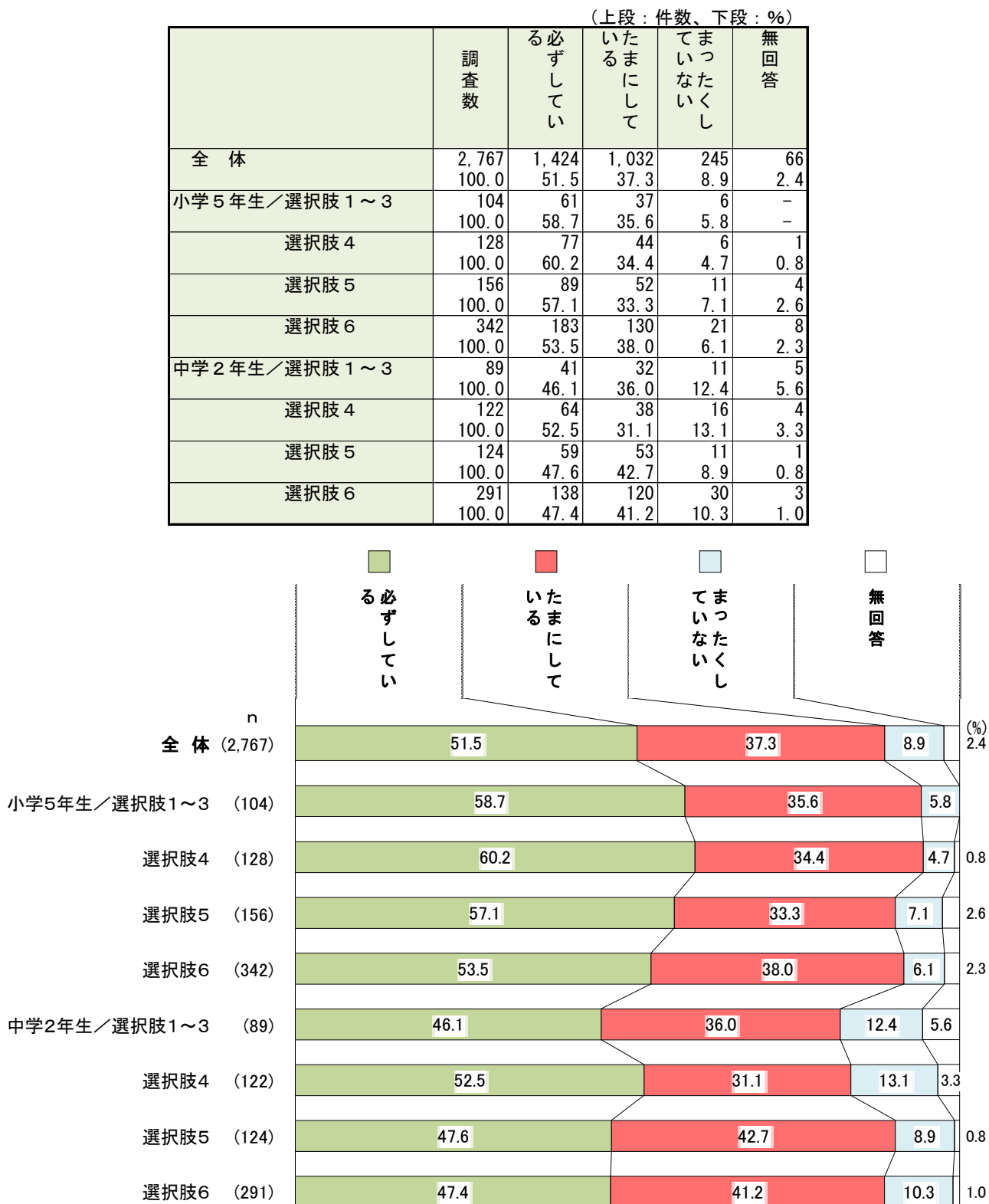


第2章 調査の結果詳細

<子ども調査：ふだんなるべく歩くようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が8割を超えており、特に小学5年生すべての層と中学2年生の選択肢5では9割台となっている。

【図表52 子ども調査・学年×可処分所得別】



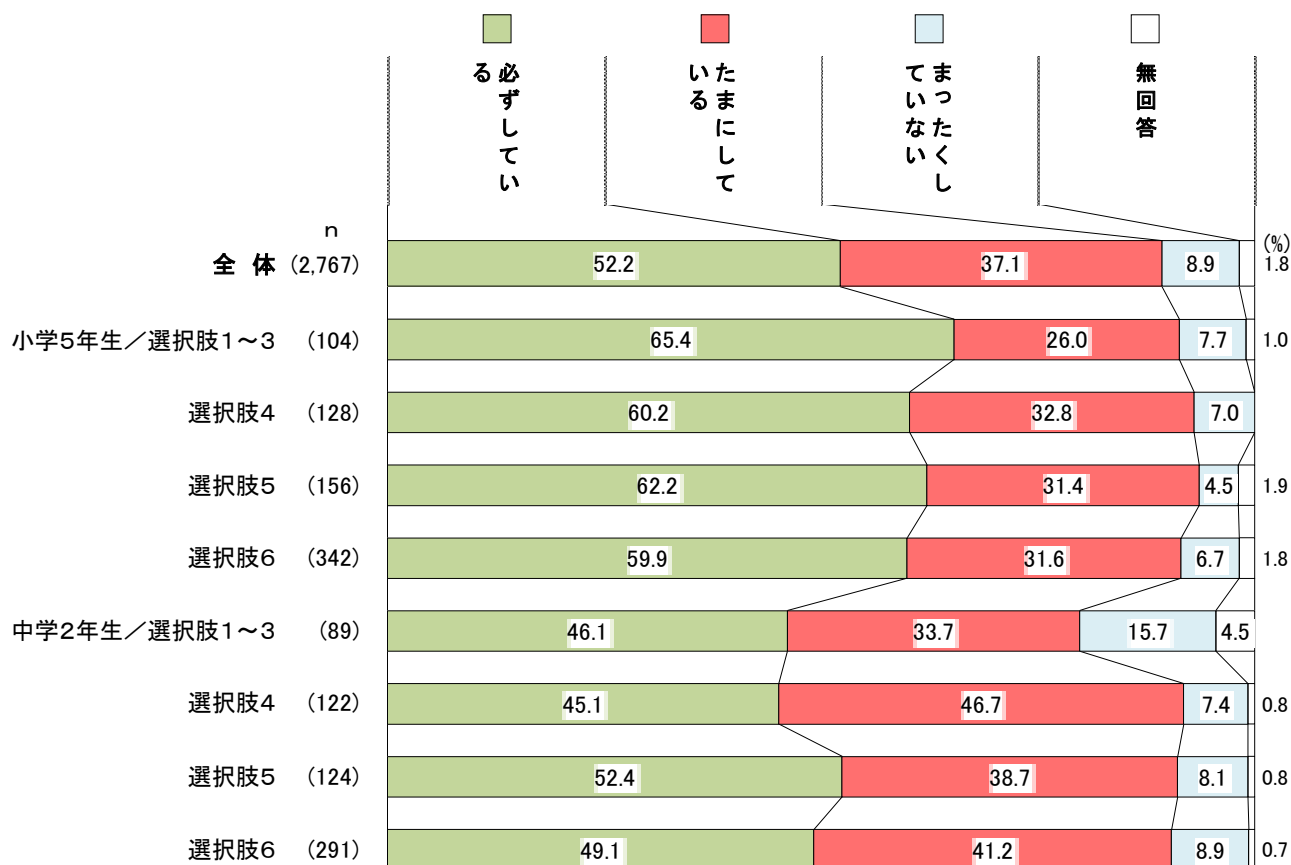
<子ども調査：家族みんなで食事をとるようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3以外の層で『している』が9割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢1～3では「まったくしていない」が1割台となっている。

【図表53 子ども調査・学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	る必ず してい	いた るまに して	てま いた なくし	無 回 答
全 体	2,767 100.0	1,445 52.2	1,026 37.1	245 8.9	51 1.8
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	68 65.4	27 26.0	8 7.7	1 1.0
選択肢4	128 100.0	77 60.2	42 32.8	9 7.0	- -
選択肢5	156 100.0	97 62.2	49 31.4	7 4.5	3 1.9
選択肢6	342 100.0	205 59.9	108 31.6	23 6.7	6 1.8
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	41 46.1	30 33.7	14 15.7	4 4.5
選択肢4	122 100.0	55 45.1	57 46.7	9 7.4	1 0.8
選択肢5	124 100.0	65 52.4	48 38.7	10 8.1	1 0.8
選択肢6	291 100.0	143 49.1	120 41.2	26 8.9	2 0.7



第2章 調査の結果詳細

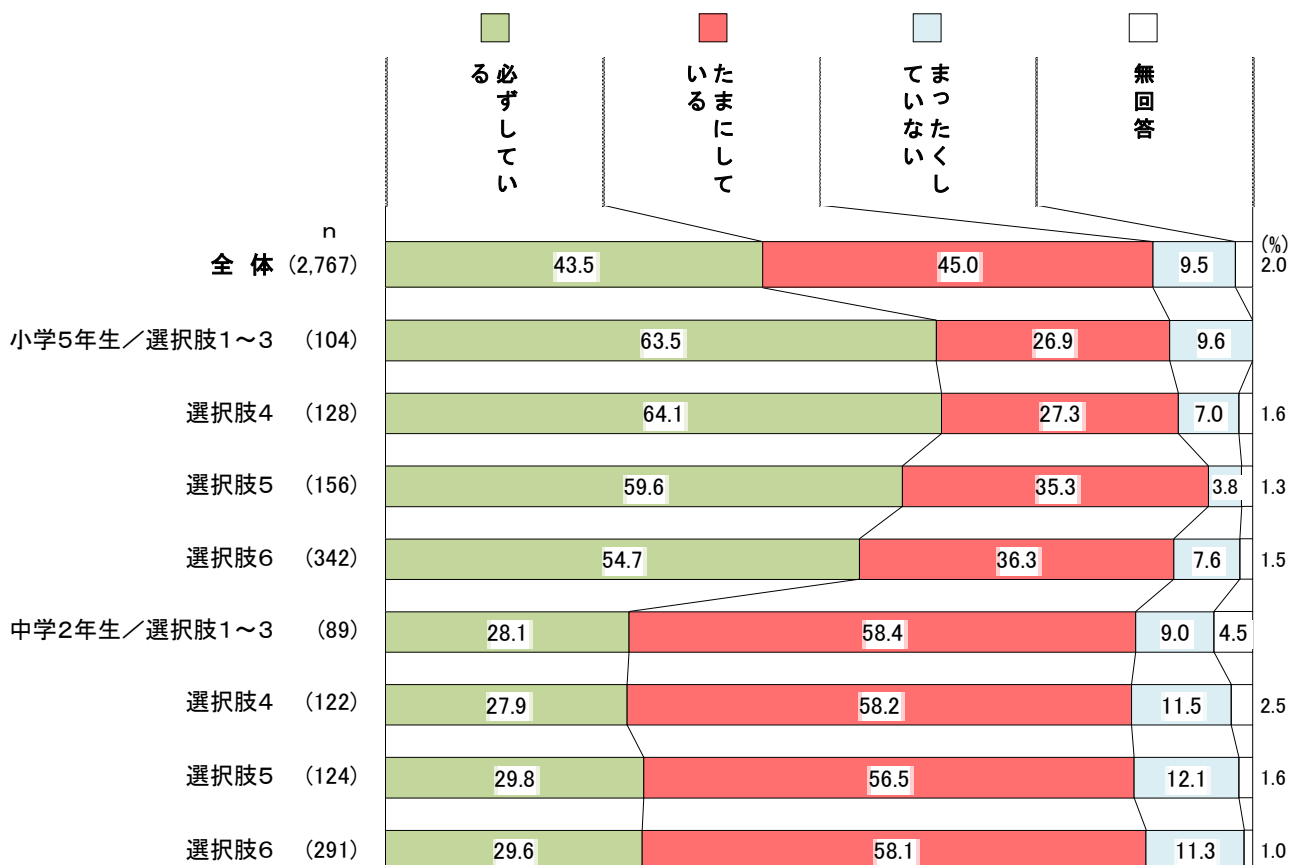
<子ども調査：十分に睡眠をとっていますか。>

学年×可処分所得別でみると、『している』が小学5年生ではいずれの層も9割台、中学2年生ではいずれの層も8割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢4から6では「まったくしていない」が1割台となっている。

【図表54 子ども調査・学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	る必ず してい	いた るまに して	てま いた なくし	無 回 答
全 体	2,767 100.0	1,204 43.5	1,245 45.0	264 9.5	54 2.0
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	66 63.5	28 26.9	10 9.6	— —
選択肢4	128 100.0	82 64.1	35 27.3	9 7.0	2 1.6
選択肢5	156 100.0	93 59.6	55 35.3	6 3.8	2 1.3
選択肢6	342 100.0	187 54.7	124 36.3	26 7.6	5 1.5
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	25 28.1	52 58.4	8 9.0	4 4.5
選択肢4	122 100.0	34 27.9	71 58.2	14 11.5	3 2.5
選択肢5	124 100.0	37 29.8	70 56.5	15 12.1	2 1.6
選択肢6	291 100.0	86 29.6	169 58.1	33 11.3	3 1.0



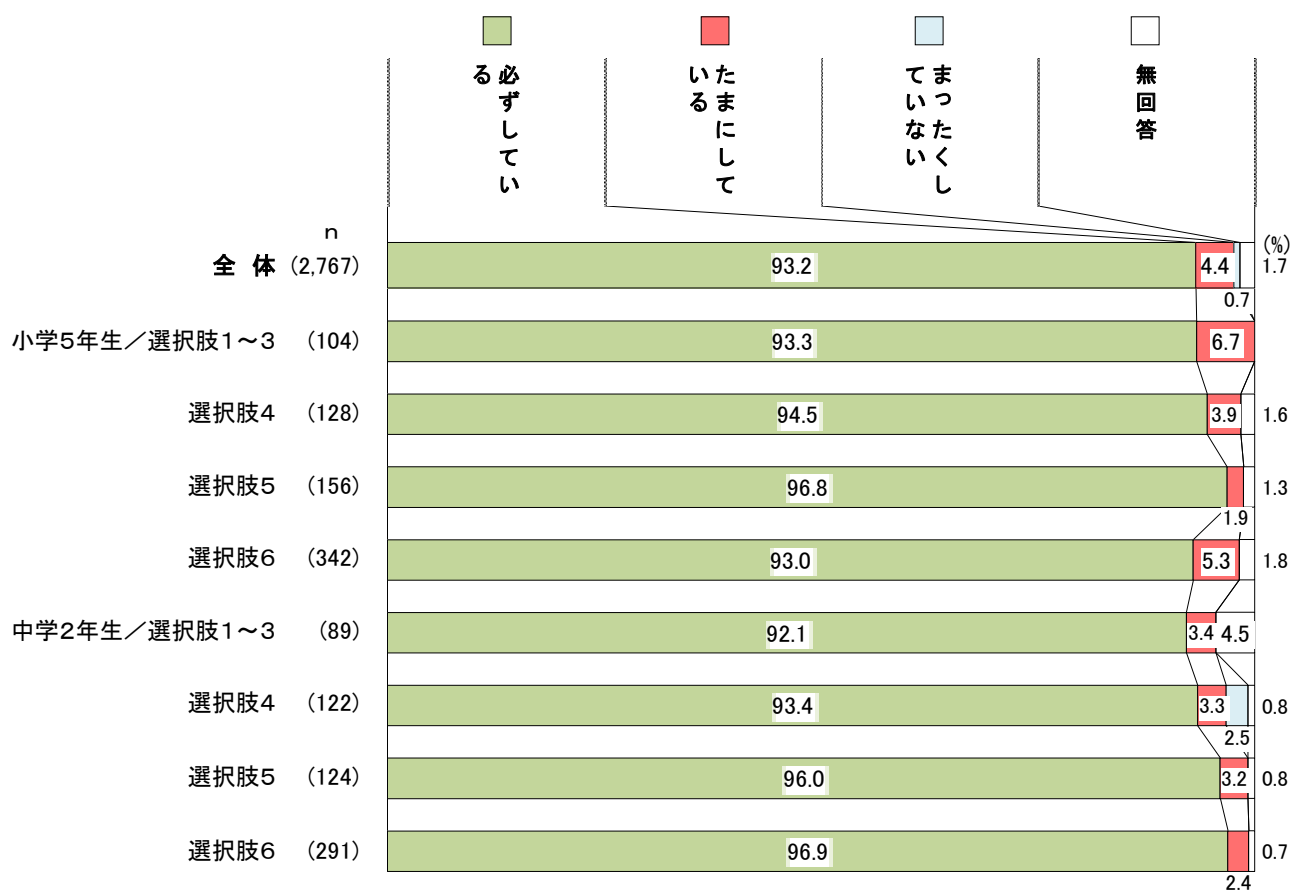
<子ども調査：お風呂に入るようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「必ずしている」が9割台となっている。

【図表55 子ども調査・学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	必ず してい	いた るま にして	てま いた なくし	無 回 答
全 体	2,767 100.0	2,578 93.2	123 4.4	18 0.7	48 1.7
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	97 93.3	7 6.7	— —	— —
選択肢4	128 100.0	121 94.5	5 3.9	— —	2 1.6
選択肢5	156 100.0	151 96.8	3 1.9	— —	2 1.3
選択肢6	342 100.0	318 93.0	18 5.3	— —	6 1.8
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	82 92.1	3 3.4	— —	4 4.5
選択肢4	122 100.0	114 93.4	4 3.3	3 2.5	1 0.8
選択肢5	124 100.0	119 96.0	4 3.2	— —	1 0.8
選択肢6	291 100.0	282 96.9	7 2.4	— —	2 0.7



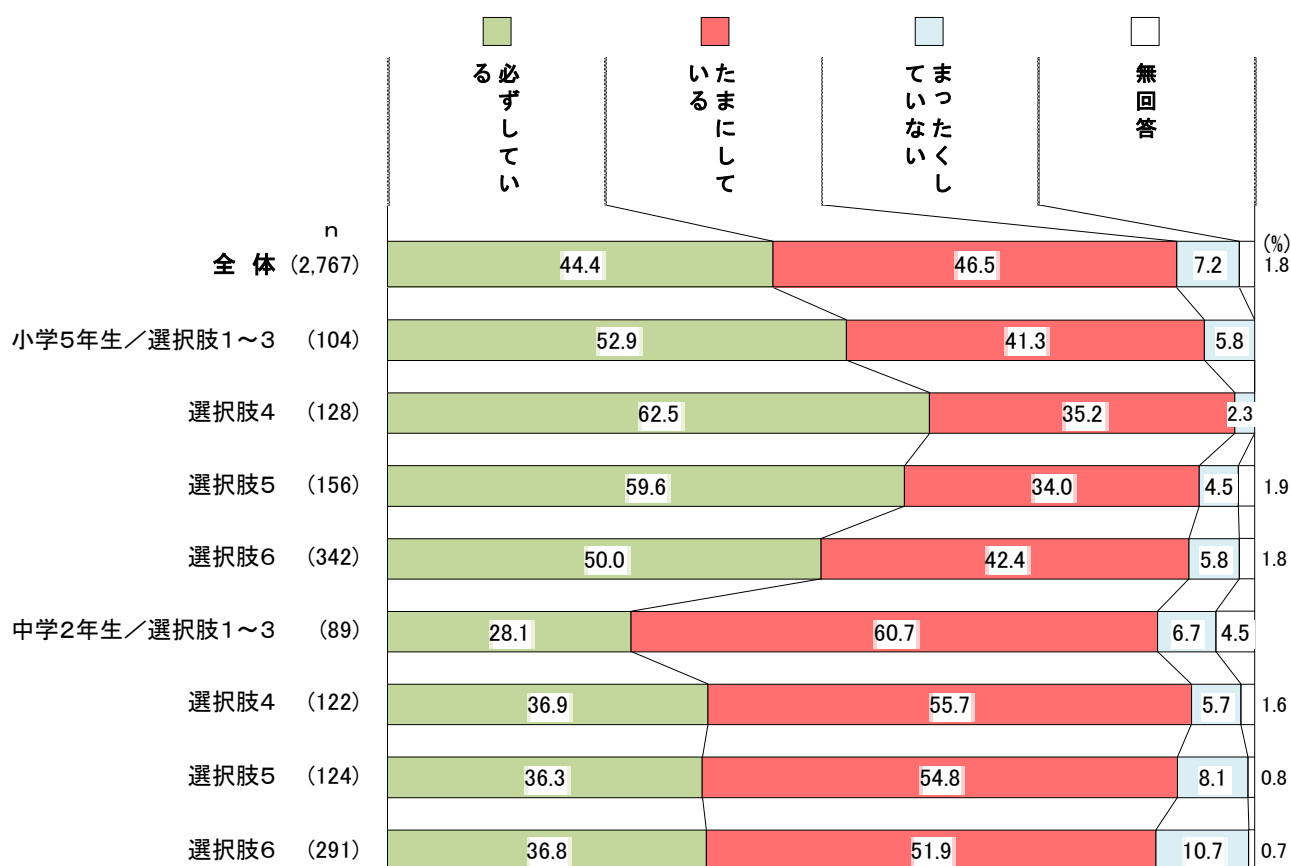
第2章 調査の結果詳細

＜子ども調査：規則正しい生活を送っていますか。＞

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3と6以外の層で『している』が9割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢6では「まったくしていない」が1割台となっている。

【図表56 子ども調査・学年×可処分所得別】

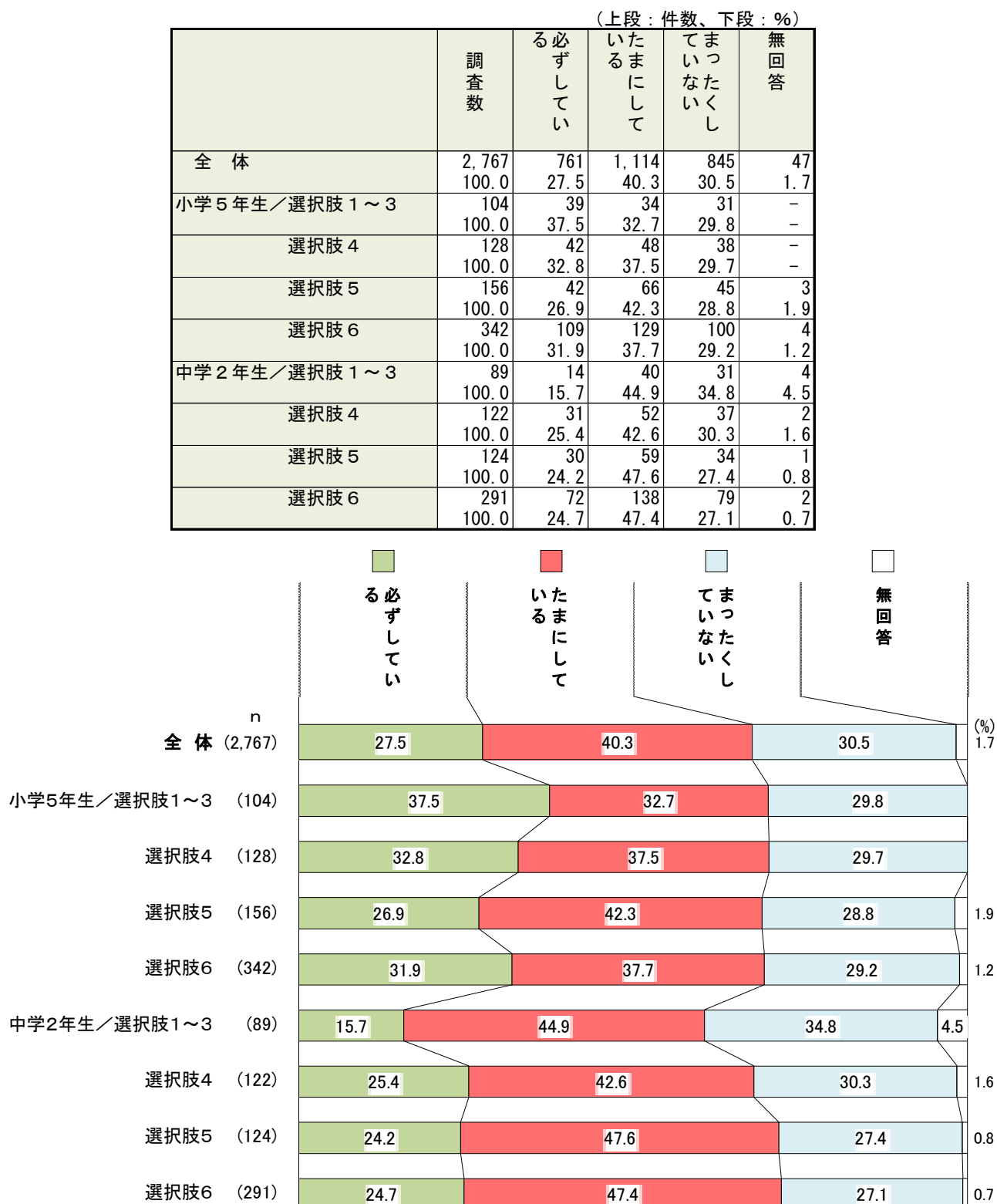
(上段：件数、下段：%)					
	調査数	る必ず してい	いた るまに して	てま いた なくし	無 回 答
全 体	2,767 100.0	1,229 44.4	1,288 46.5	199 7.2	51 1.8
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	55 52.9	43 41.3	6 5.8	— —
選択肢4	128 100.0	80 62.5	45 35.2	3 2.3	— —
選択肢5	156 100.0	93 59.6	53 34.0	7 4.5	3 1.9
選択肢6	342 100.0	171 50.0	145 42.4	20 5.8	6 1.8
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	25 28.1	54 60.7	6 6.7	4 4.5
選択肢4	122 100.0	45 36.9	68 55.7	7 5.7	2 1.6
選択肢5	124 100.0	45 36.3	68 54.8	10 8.1	1 0.8
選択肢6	291 100.0	107 36.8	151 51.9	31 10.7	2 0.7



<子ども調査：ストレスをためないように何かしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が6割を超えている。一方で、中学2年生の選択肢1～3と4では「まったくしていない」が3割台となっている。

【図表57 子ども調査・学年×可処分所得別】

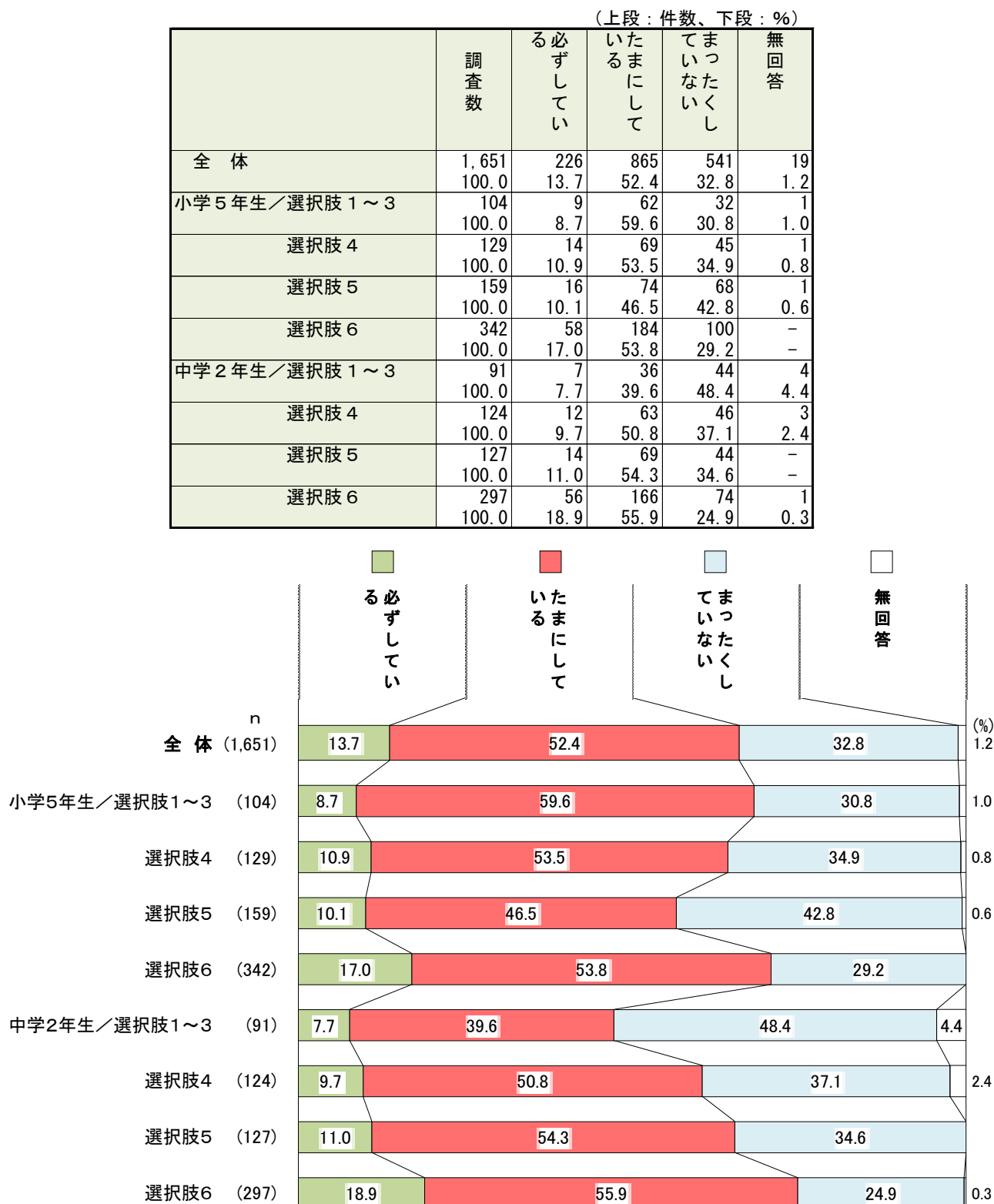


第2章 調査の結果詳細

<保護者調査：自分に合った健康づくりをしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3以外の層では『している』が過半数となっており、小学5年生と中学2年生の選択肢6とともに7割台となっている。一方で、小学5年生の選択肢5と中学2年生の選択肢1～3で「まったくしていない」が4割台となっている。

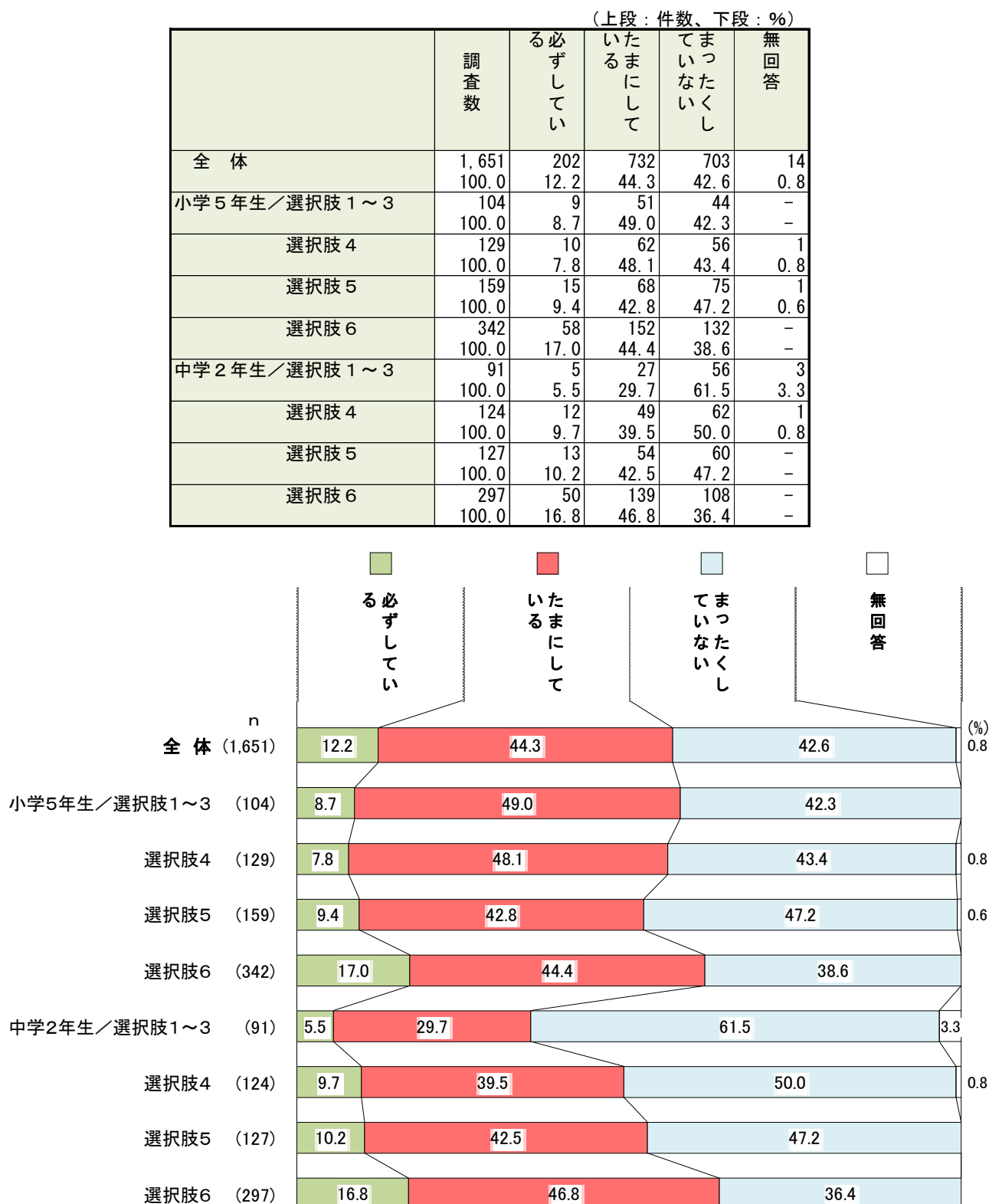
【図表58 保護者調査・学年×可処分所得別】



<保護者調査：健康づくりのために運動をしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3と4以外の層では『している』が過半数となっており、小学5年生と中学2年生の選択肢6でともに6割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢1～3で「まったくしていない」が6割台、選択肢4で5割となっている。

【図表59 保護者調査・学年×可処分所得別】

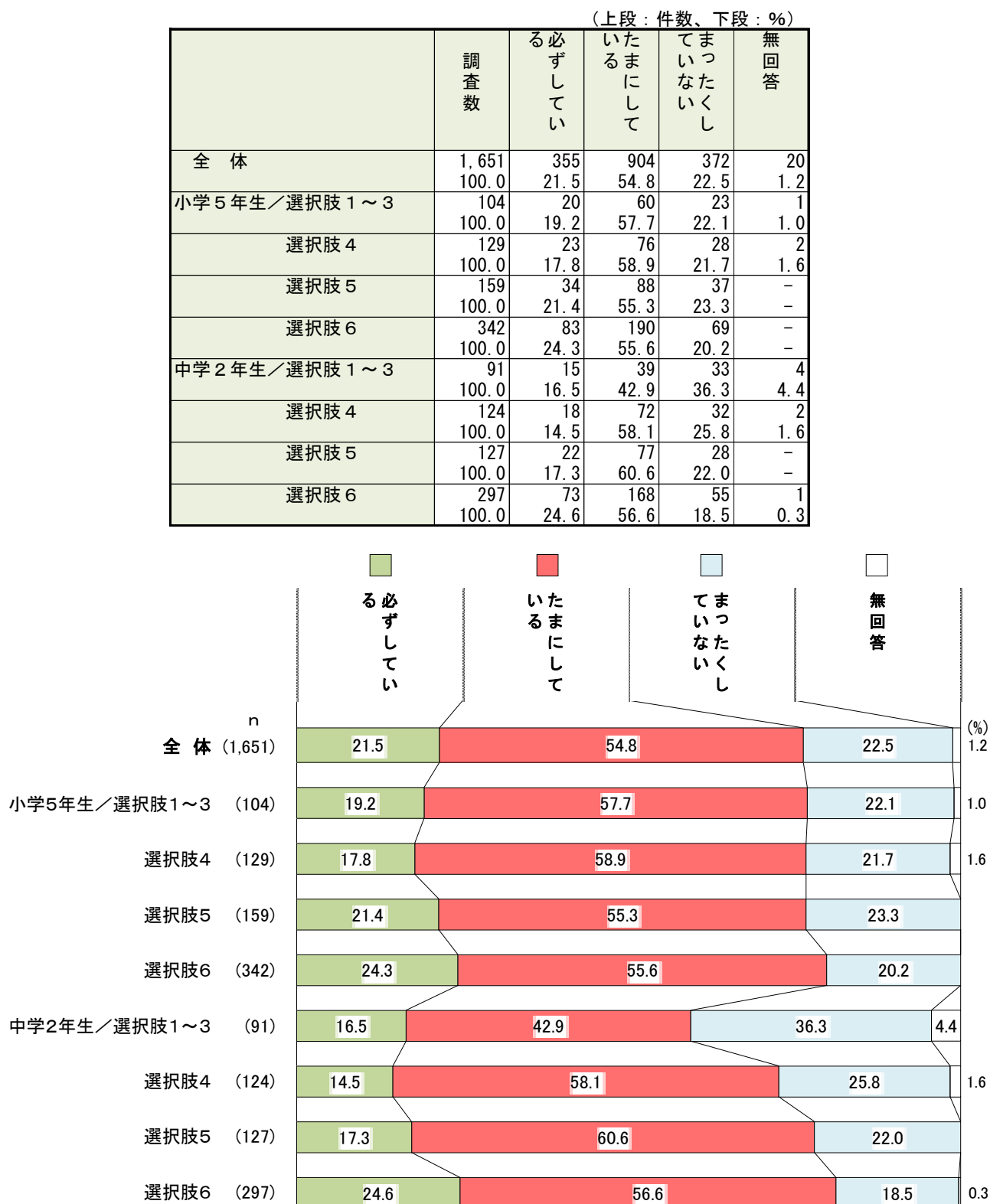


第2章 調査の結果詳細

<保護者調査：ふだんなるべく歩くようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が過半数となっており、特に中学2年生の選択肢6では8割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢1～3では「まったくしていない」が3割台となっている。

【図表60 保護者調査・学年×可処分所得別】



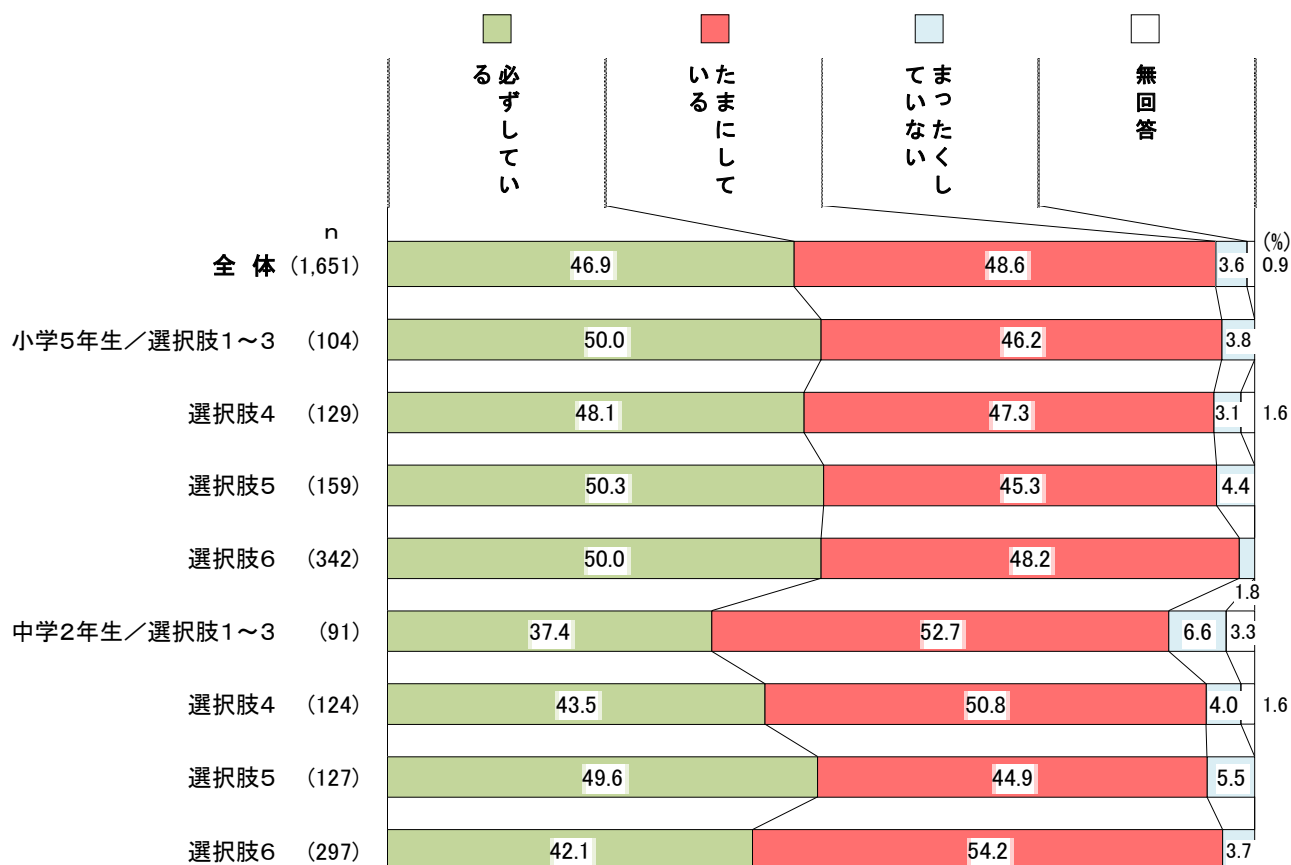
<保護者調査：家族みんなで食事をとるようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が9割を超えている。

【図表61 保護者調査・学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	る必ず してい	いた るまに して	てま いた なくし	無 回 答
全 体	1,651 100.0	774 46.9	802 48.6	60 3.6	15 0.9
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	52 50.0	48 46.2	4 3.8	— —
選択肢4	129 100.0	62 48.1	61 47.3	4 3.1	2 1.6
選択肢5	159 100.0	80 50.3	72 45.3	7 4.4	— —
選択肢6	342 100.0	171 50.0	165 48.2	6 1.8	— —
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	34 37.4	48 52.7	6 6.6	3 3.3
選択肢4	124 100.0	54 43.5	63 50.8	5 4.0	2 1.6
選択肢5	127 100.0	63 49.6	57 44.9	7 5.5	— —
選択肢6	297 100.0	125 42.1	161 54.2	11 3.7	— —

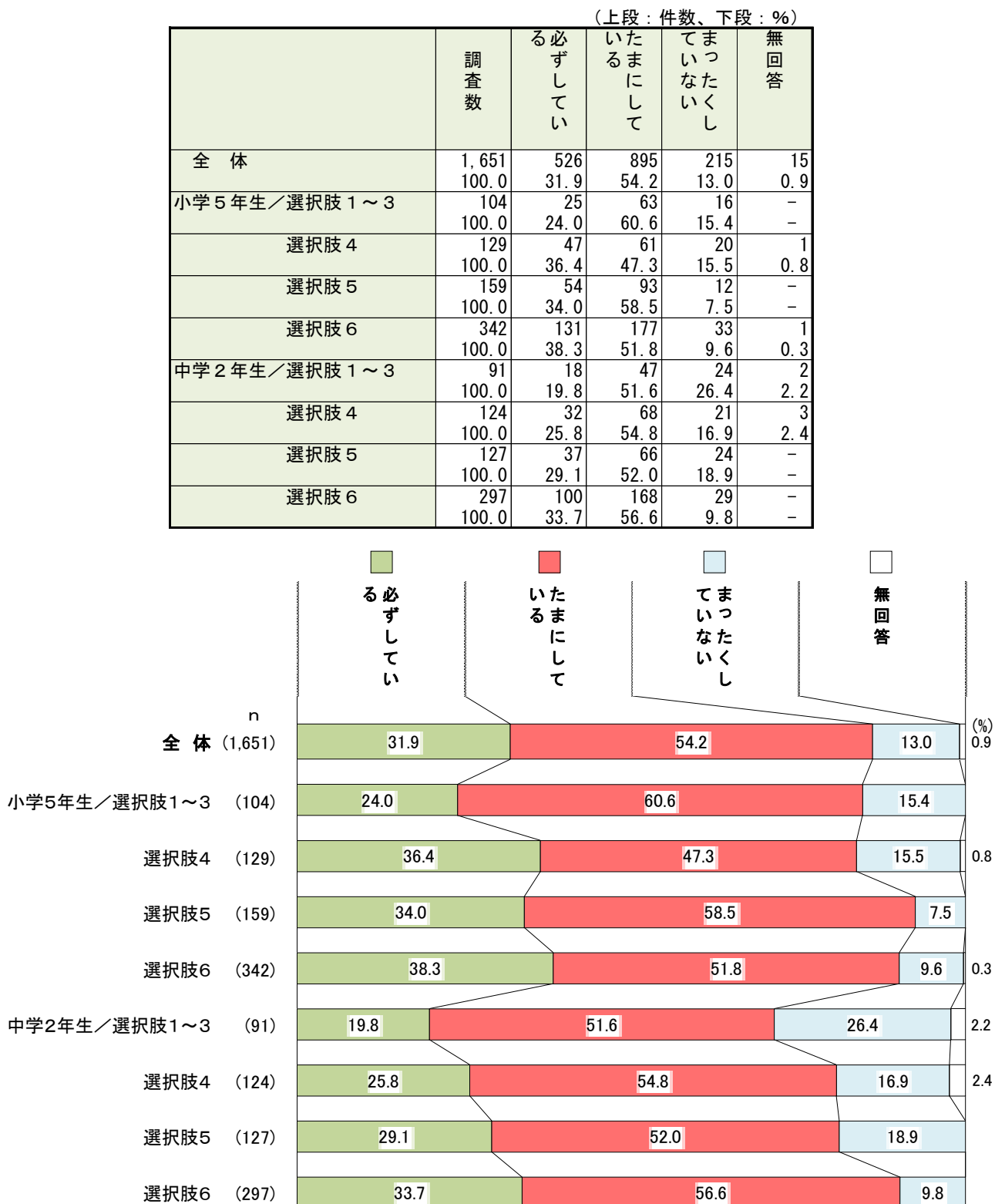


第2章 調査の結果詳細

＜保護者調査：十分に睡眠をとっていますか。＞

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が7割を超えており、選択肢6ではともに9割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢1～3では「まったくしていない」が4人に1人となっている。

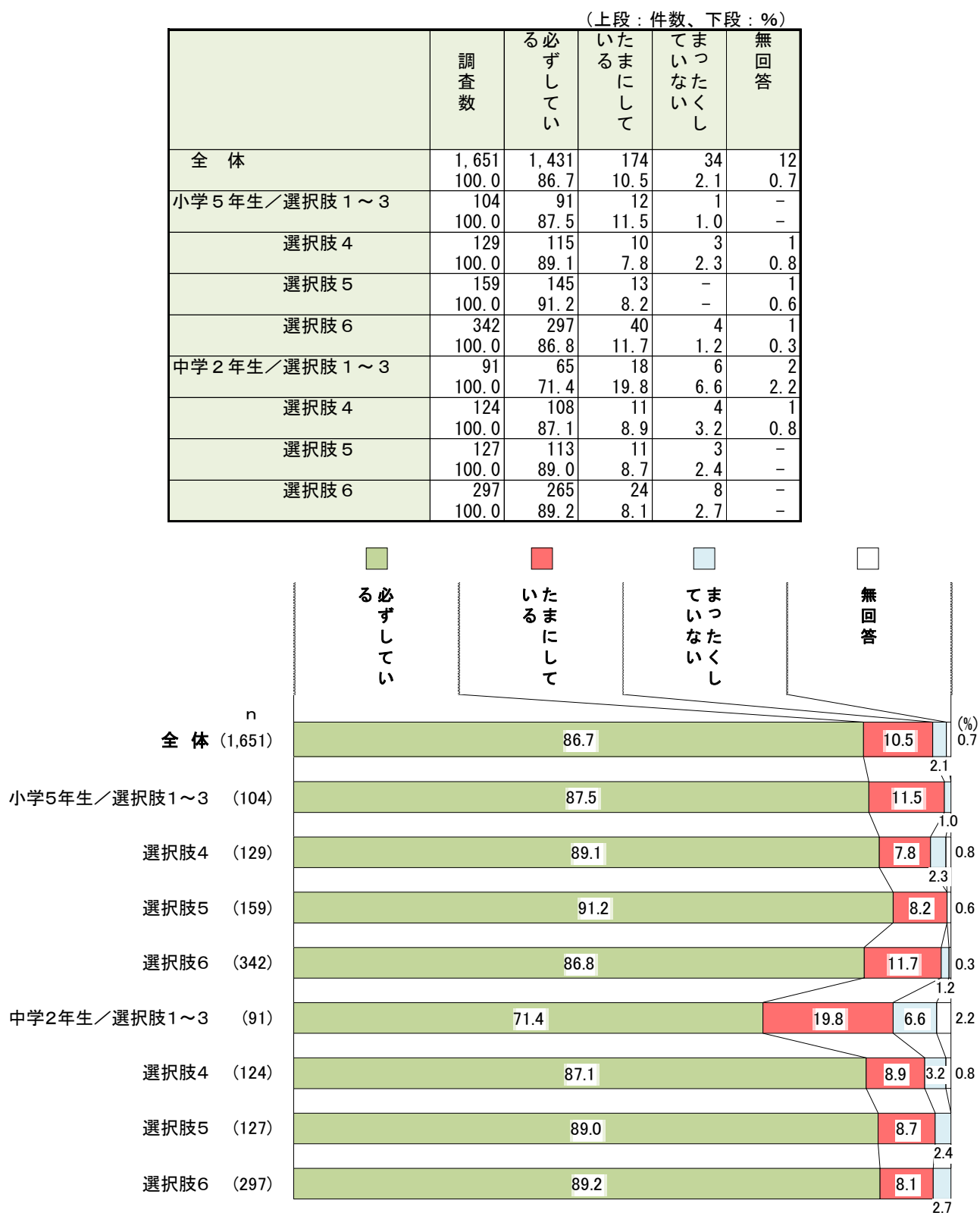
【図表62 保護者調査・学年×可処分所得別】



<保護者調査：お風呂に入るようにしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が9割を超えており、特に小学5年生の選択肢5では「必ずしている」が9割台となっている。

【図表63 保護者調査・学年×可処分所得別】

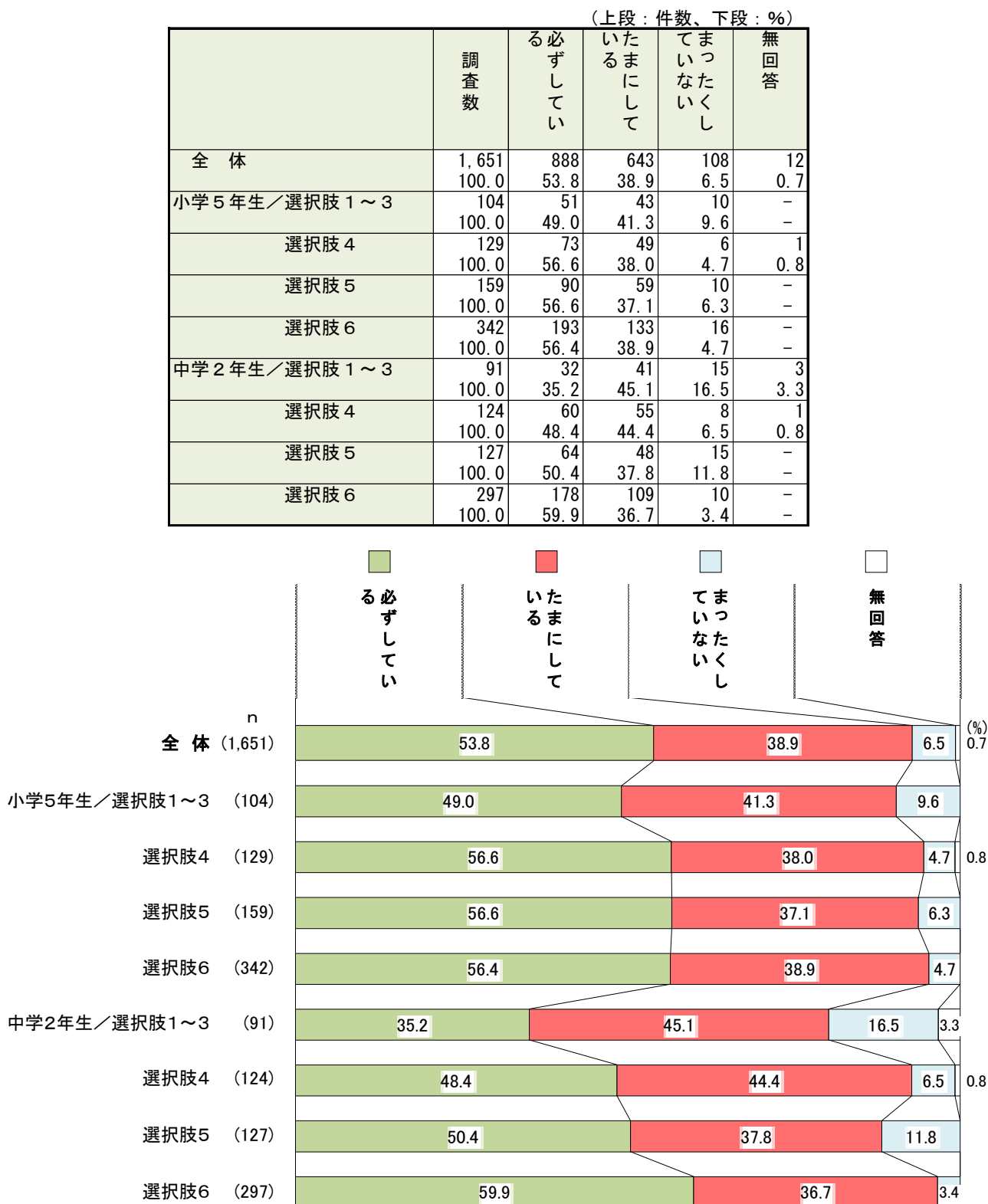


第2章 調査の結果詳細

<保護者調査：規則正しい生活を送っていますか。>

学年×可処分所得別でみると、中学2年生の選択肢1～3と5以外の層で『している』が9割台となっている。一方で、中学2年生の選択肢1～3と5では「まったくしていない」が1割台となっている。

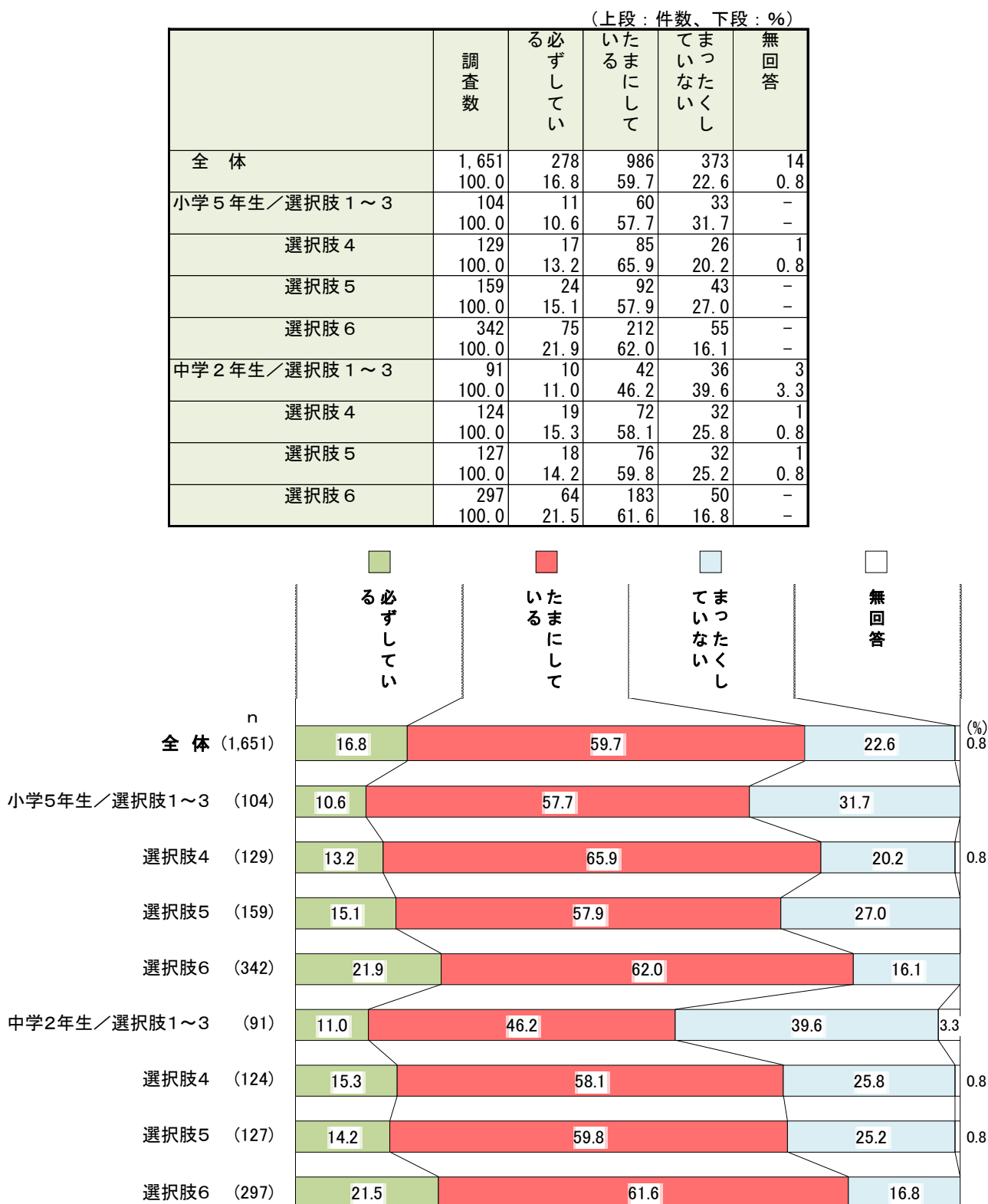
【図表64 保護者調査・学年×可処分所得別】



<保護者調査：ストレスをためないように何かしていますか。>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も『している』が過半数となっており、特に選択肢6でともに8割を超えている。一方で、小学5年生・中学2年生ともに選択肢1～3では「まったくしていない」が3割台となっている。

【図表65 保護者調査・学年×可処分所得別】



経年比較

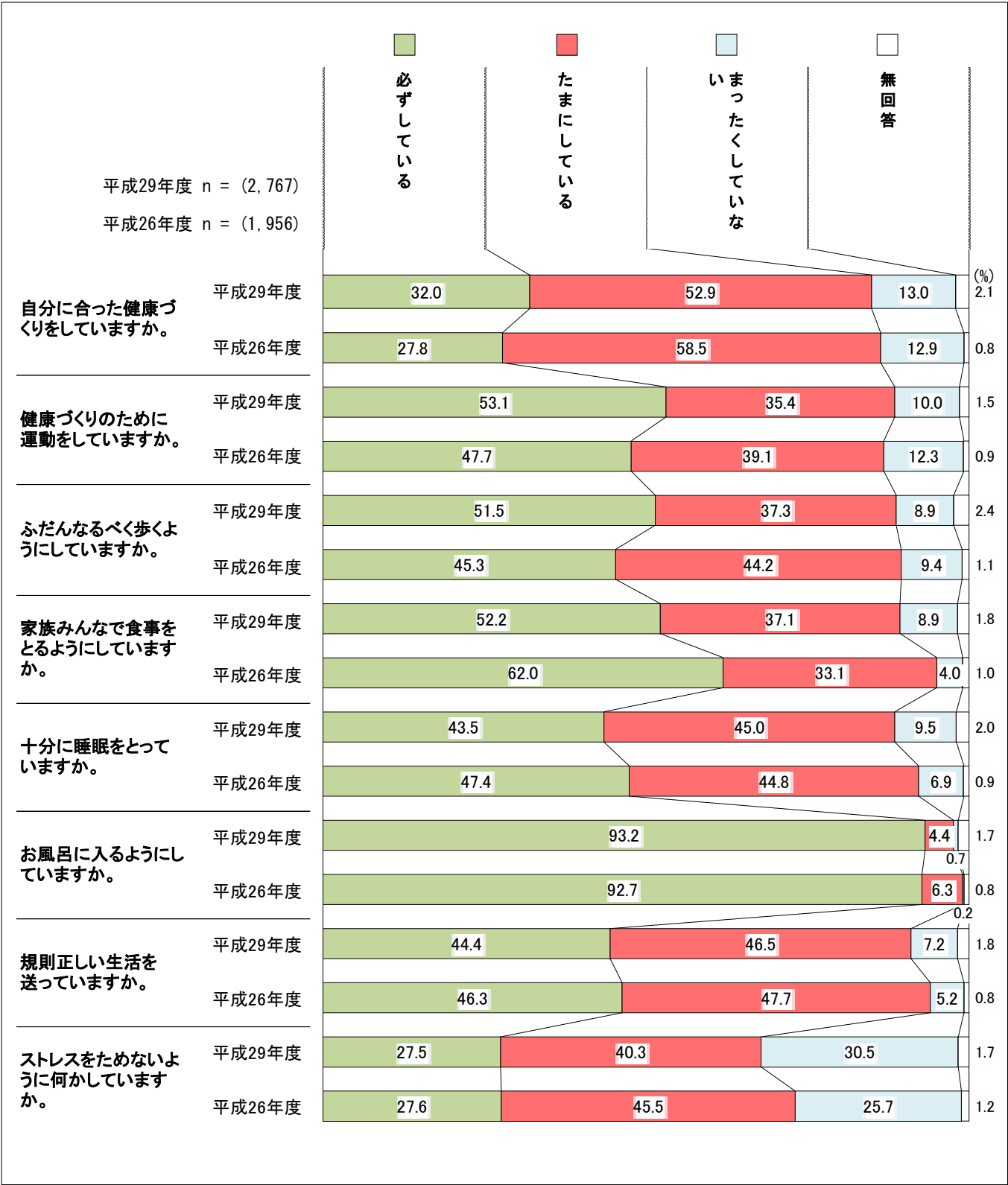
子ども調査の結果を平成26年度と比較すると、「健康づくりのために運動をしていますか。」では『している』（「必ずしている」＋「たまにしている」）が増加し、「まったくしていない」が減少している。

一方で、「家族みんなで食事をするようにしていますか。」「ストレスをためないように何かしていますか。」「十分に睡眠をとっていますか。」「規則正しい生活を送っていますか。」などでは『している』が減少し、「まったくしていない」が増加している。

＜図表66 子ども調査・経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

		調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
自分に合った健康づくりをしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	885 32.0	1,464 52.9	361 13.0	57 2.1
	平成26年度	1,956 100.0	543 27.8	1,144 58.5	253 12.9	16 0.8
健康づくりのために運動をしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	1,469 53.1	980 35.4	277 10.0	41 1.5
	平成26年度	1,956 100.0	933 47.7	765 39.1	240 12.3	18 0.9
ふだんなるべく歩くようにしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	1,424 51.5	1,032 37.3	245 8.9	66 2.4
	平成26年度	1,956 100.0	886 45.3	865 44.2	184 9.4	21 1.1
家族みんなで食事をするようにしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	1,445 52.2	1,026 37.1	245 8.9	51 1.8
	平成26年度	1,956 100.0	1,212 62.0	647 33.1	78 4.0	19 1.0
十分に睡眠をとっていますか。	平成29年度	2,767 100.0	1,204 43.5	1,245 45.0	264 9.5	54 2.0
	平成26年度	1,956 100.0	927 47.4	877 44.8	135 6.9	17 0.9
お風呂に入るようにしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	2,578 93.2	123 4.4	18 0.7	48 1.7
	平成26年度	1,956 100.0	1,814 92.7	124 6.3	3 0.2	15 0.8
規則正しい生活を送っていますか。	平成29年度	2,767 100.0	1,229 44.4	1,288 46.5	199 7.2	51 1.8
	平成26年度	1,956 100.0	906 46.3	933 47.7	102 5.2	15 0.8
ストレスをためないように何かしていますか。	平成29年度	2,767 100.0	761 27.5	1,114 40.3	845 30.5	47 1.7
	平成26年度	1,956 100.0	540 27.6	890 45.5	502 25.7	24 1.2



(9) 自由意見（健康について）

子ども 小学5年生 抜粋

- 朝ねむくて学校行くのがだるい
- あつい日はねच्छゅうしょうやびょうきにならないようにエアコンがあったらいいと思います。
- ストレスがたまっている
- やっぱ体をうごかさなかったらけんこうにもよくないしすぐびょうきやたいちょうがわるくなるといふのをいまわかりました。
- 最近、ねむくて授業をききのがしてしまうことがある。

子ども 中学2年生 抜粋

- 規則正しい生活がおくれない
- 歩きタバコなど外で吸っている人がいてめいわくです。かいぜんしてくださいおねがいします。
- ストレスたまる。部活の休みなさすぎる
- 学校に行くのが楽しい。夜、12:00くらいにならないと寝ることができない

保護者 小学5年生 抜粋

- 1日1日があっという間に過ぎてしまい、本来やりたかった事が出来ない事が多い。歳をとるとなかなか思い通りにいかず。そんな中でも、子供の成長には日々驚かされ、日中は小言を言う事が多いが、寝顔をみると健康に育ち幸せだと感じる。この気持ちはいつまでも大事にしていかなければと思います。
- 子供の将来の学費、家族の生活のためにフルタイム正社員で働いているが、腰も首も痛いし、疲れも取れない。本当はもっと短時間の仕事で、もっと子供と関わって過ごしたい気持ちでいっぱいである。お金の心配（学費や生活費）をしなければ、もっと時間も気持ちも余裕をもった生活ができるし子供と関わる時間も増えるのにと感じます。
- 朝練の後、学校内で軽く朝食をとれる等、食事に関して臨機応変に対応してほしい。例えば朝食がとれずに登校してしまった場合、給食まで食べないのは体に良くないしかわいそうだから、おにぎりやパンだけでも持たせたい。
- メンタルの病気を持っているので、子育てや家事を行うのが辛い

保護者 中学2年生 抜粋

- インフルの予防接種、学校でやってほしい。
- 両親（義両親）が近くに住んでいない為どうしても子どもの病気の時など困る事がある。ファミサポなども気になるがやはり他人にお願いするのは気になる。中学生になり、楽にはなったが下の子がまだ低学年なので不安はある。
- ・中学生はとにかく忙しい。部活（朝練）勉強（塾）習い事などで睡眠時間が少なくなっているのが大変だと感じています。
・塾に行かないと授業内容についていけないと言われるので仕方なく行かせていますが金銭的に厳しいです
- 自分の子も含めてとっても疲れている子供が多いと感じる。元気がなく覇気がない。活き活きと笑顔のあふれるのびのびとした子供の姿を見たい。一人一人が役割を持って、責任を持って活躍できる社会になってほしい。

3. 地域での活動について

(1) 地域での活動経験・活動意向

自分の住んでいる地域で、次のような活動をしたことがありますか。また、今後経験してみたいと思いますか。次の1番から5番までの質問について、まず、経験があるかないかについて回答してください。そして、経験がないと答えた人は、今後経験してみたいかについて回答してください。それぞれ最もあてはまるものに一つ○をつけてください。また、あてはまるものがない人は、6番の「その他」にどのような活動をしたいのか、具体的に記入してください。

[子ども・問15]

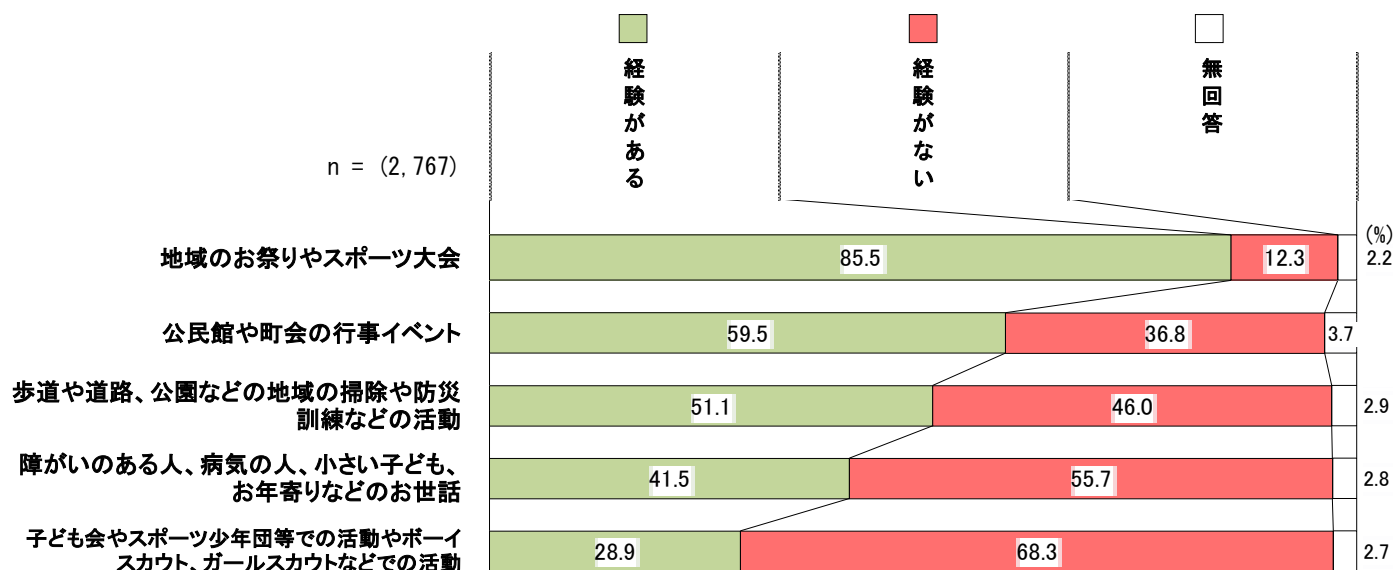
活動経験あるものとしては、全体では「地域のお祭りやスポーツ大会」85.5%が最も高く、次いで「公民館や町会の行事イベント」59.5%、「歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動」51.1%となっている。

「その他」活動の主な記述内容は『学校同士の交流会』『他の自治体との交流』『ボランティア活動』などとなっている。

【図表67 活動経験・全体】

(上段：件数、下段：%)

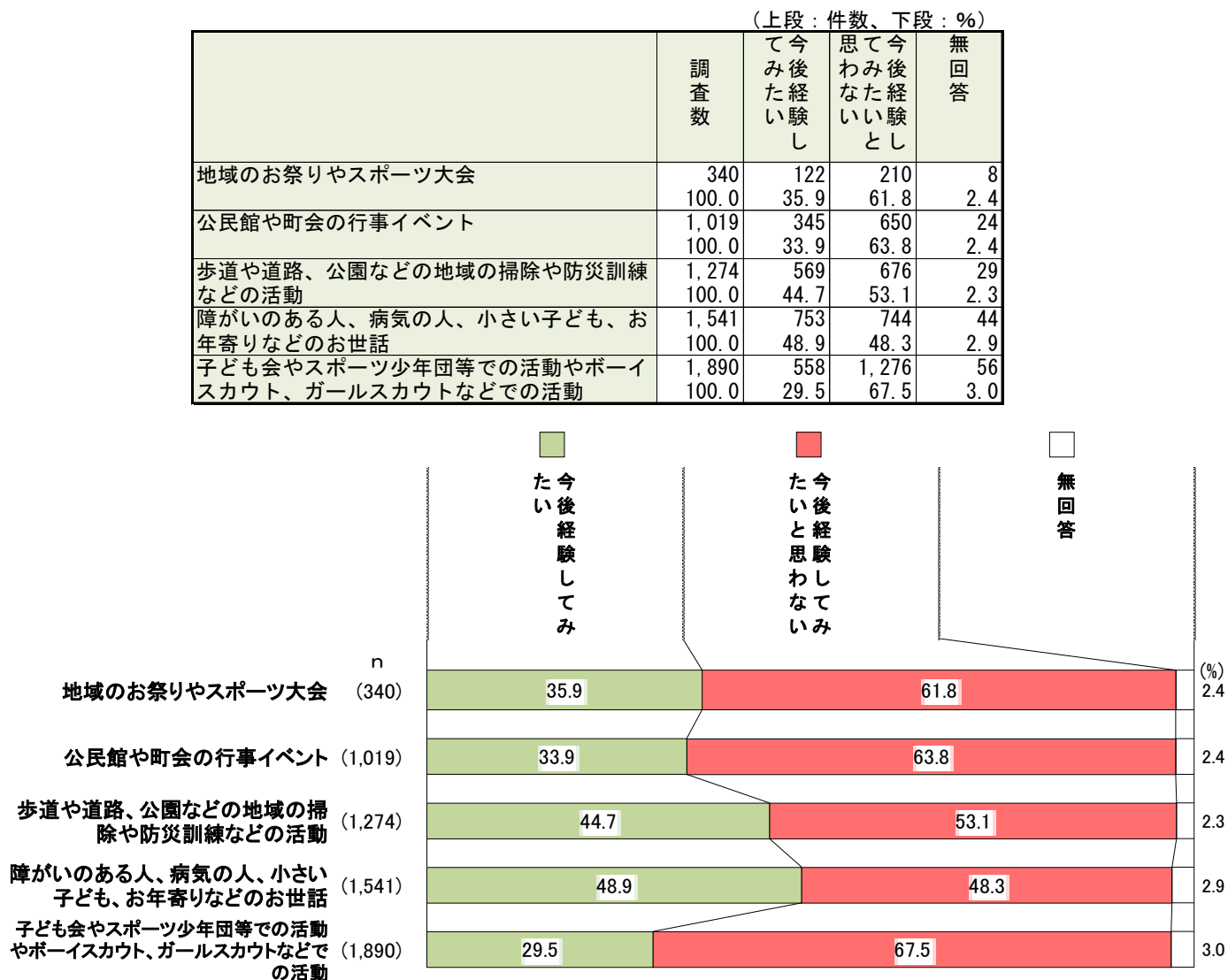
	調査数	経験がある	経験がない	無回答
地域のお祭りやスポーツ大会	2,767	2,365	340	62
	100.0	85.5	12.3	2.2
公民館や町会の行事イベント	2,767	1,645	1,019	103
	100.0	59.5	36.8	3.7
歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動	2,767	1,414	1,274	79
	100.0	51.1	46.0	2.9
障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話	2,767	1,148	1,541	78
	100.0	41.5	55.7	2.8
子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動	2,767	801	1,890	76
	100.0	28.9	68.3	2.7



第2章 調査の結果詳細

経験がないと答えた人の今後の活動意向としては、全体では「障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話」48.9%が最も高くなっている。また、「歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動」44.7%、「地域のお祭りやスポーツ大会」35.9%となっているが、「今後経験してみたいと思わない」の方が、「経験してみたい」を上回っている。

【図表68 活動意向・全体】

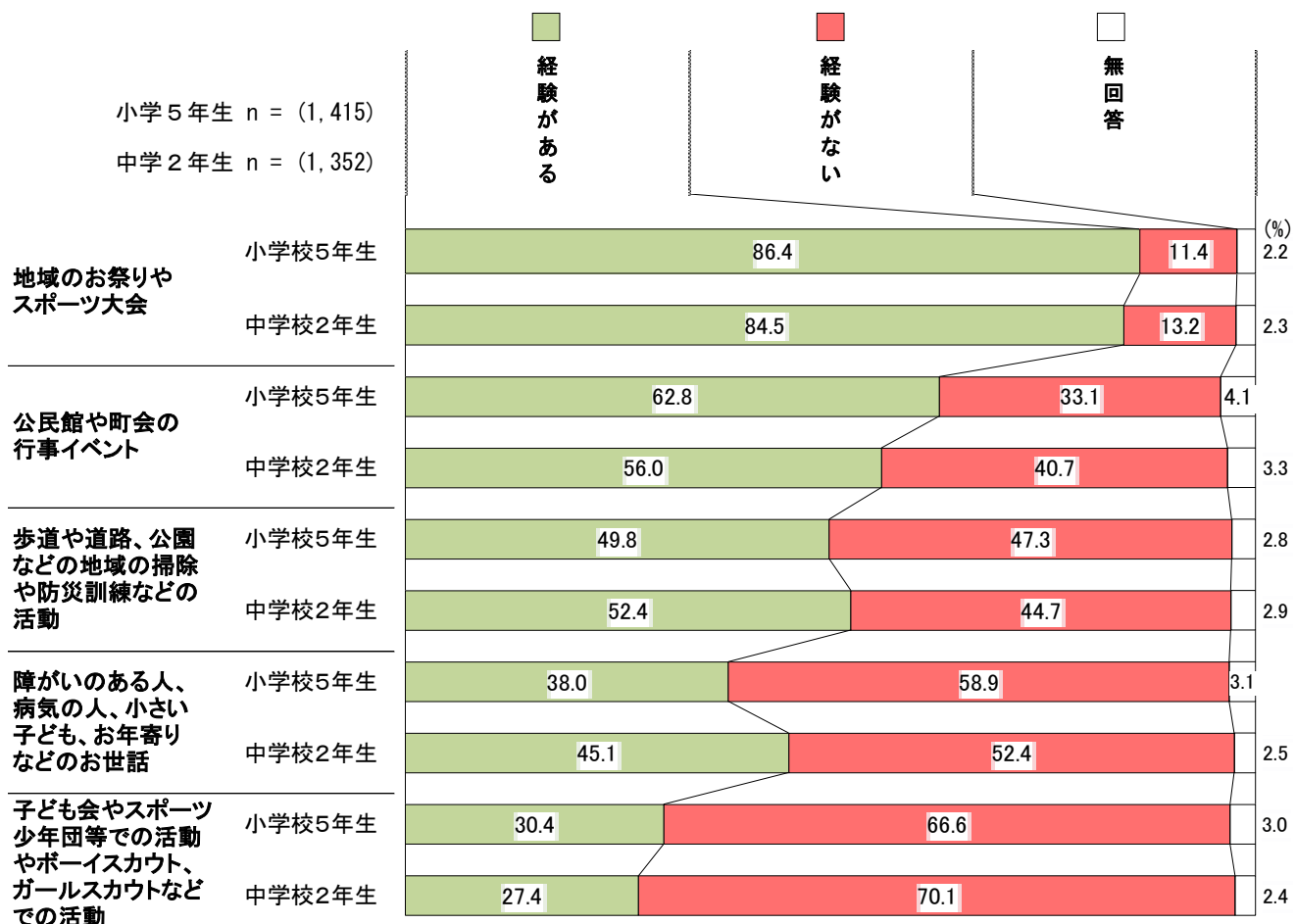


活動経験を学年別にみると、「経験がある」は「地域のお祭りやスポーツ大会」で小学5年生・中学2年生でともに8割台と高く、「公民館や町会の行事イベント」でも小学5年生・中学2年生でともに過半数となっている。一方で、「経験がない」は「障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話」「子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動」で小学5年生・中学2年生でともに、いずれも過半数となっている。

【図表69 活動経験・学年別】

(上段：件数、下段：%)

		調査数	経験がある	経験がない	無回答
地域のお祭りやスポーツ大会	小学校 5 年生	1,415 100.0	1,222 86.4	162 11.4	31 2.2
	中学校 2 年生	1,352 100.0	1,143 84.5	178 13.2	31 2.3
公民館や町会の行事イベント	小学校 5 年生	1,415 100.0	888 62.8	469 33.1	58 4.1
	中学校 2 年生	1,352 100.0	757 56.0	550 40.7	45 3.3
歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動	小学校 5 年生	1,415 100.0	705 49.8	670 47.3	40 2.8
	中学校 2 年生	1,352 100.0	709 52.4	604 44.7	39 2.9
障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話	小学校 5 年生	1,415 100.0	538 38.0	833 58.9	44 3.1
	中学校 2 年生	1,352 100.0	610 45.1	708 52.4	34 2.5
子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動	小学校 5 年生	1,415 100.0	430 30.4	942 66.6	43 3.0
	中学校 2 年生	1,352 100.0	371 27.4	948 70.1	33 2.4

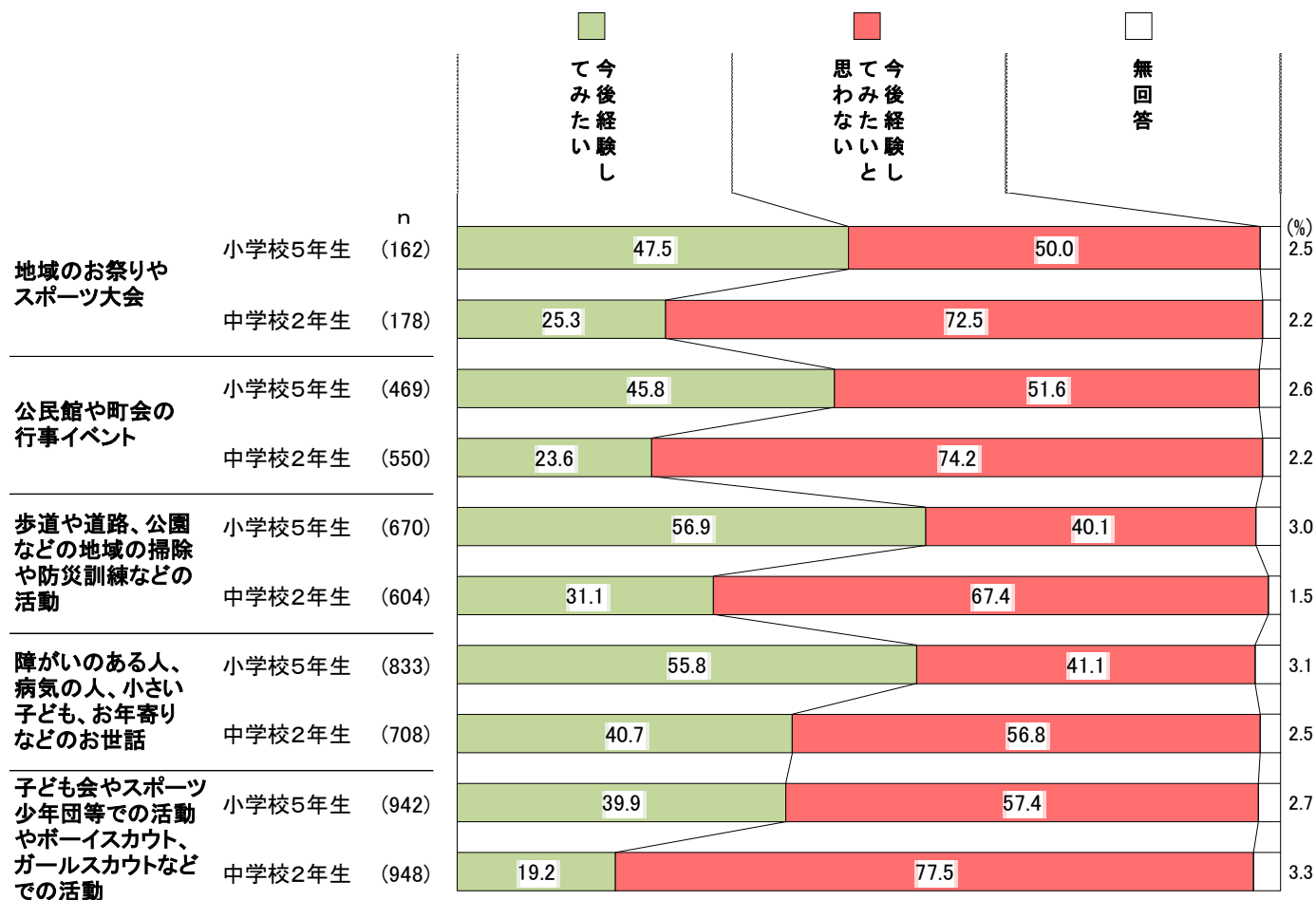


第2章 調査の結果詳細

経験がないと答えた人の活動意向を学年別にみると、「今後経験してみたい」は小学5年生で「歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動」「障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話」が過半数となっている。一方で、「今後経験してみたいと思わない」は中学2年生で「地域のお祭りやスポーツ大会」「公民館や町会の行事イベント」「子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動」で、いずれも7割台と高くなっている。

【図表70 活動意向・学年別】

		(上段：件数、下段：%)			
		調査数	て今後 みたい 経験し	思て今 わみ後 なたい 経験し	無 回 答
地域のお祭りやスポーツ大会	小学校5年生	162	77	81	4
	中学校2年生	178	45	129	4
公民館や町会の行事イベント	小学校5年生	469	215	242	12
	中学校2年生	550	130	408	12
歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動	小学校5年生	670	381	269	20
	中学校2年生	604	188	407	9
障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話	小学校5年生	833	465	342	26
	中学校2年生	708	288	402	18
子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動	小学校5年生	942	376	541	25
	中学校2年生	948	182	735	31

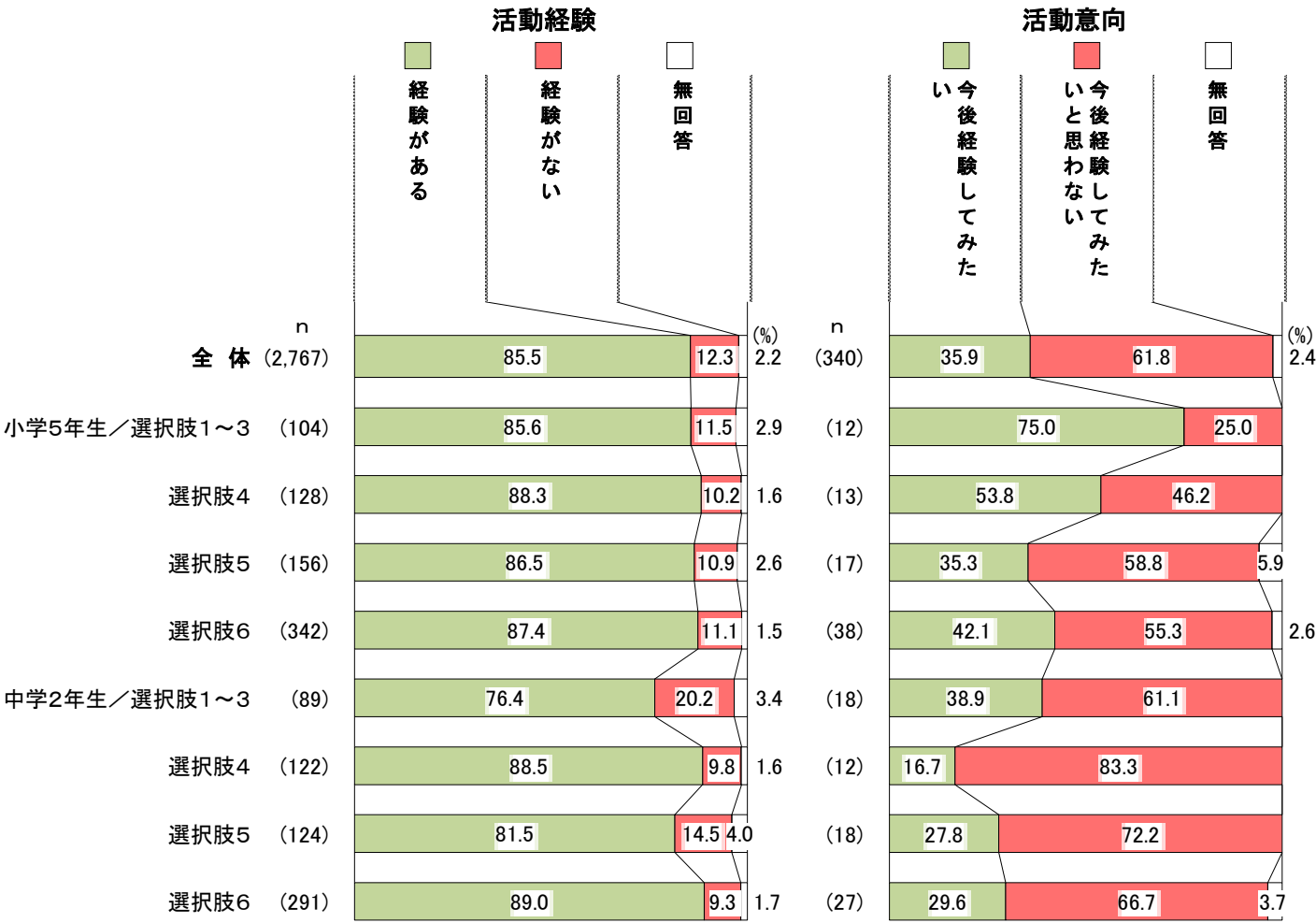


＜地域のお祭りやスポーツ大会＞

学年×可処分所得別でみると、活動経験はいずれの層も「経験がある」が7割を超えている。一方で、中学2年生の選択肢1～3で「経験がない」が2割を超えている。

【図表71 活動経験／活動意向・学年×可処分所得別】

	調査数	活動経験			調査数	活動意向		
		経験がある	経験がない	無回答		今後経験してみたい	今後経験してみたいと思わない	無回答
全 体	2,767 100.0	2,365 85.5	340 12.3	62 2.2	340 100.0	122 35.9	210 61.8	8 2.4
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	89 85.6	12 11.5	3 2.9	12 100.0	9 75.0	3 25.0	—
選択肢4	128 100.0	113 88.3	13 10.2	2 1.6	13 100.0	7 53.8	6 46.2	—
選択肢5	156 100.0	135 86.5	17 10.9	4 2.6	17 100.0	6 35.3	10 58.8	1 5.9
選択肢6	342 100.0	299 87.4	38 11.1	5 1.5	38 100.0	16 42.1	21 55.3	1 2.6
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	68 76.4	18 20.2	3 3.4	18 100.0	7 38.9	11 61.1	—
選択肢4	122 100.0	108 88.5	12 9.8	2 1.6	12 100.0	2 16.7	10 83.3	—
選択肢5	124 100.0	101 81.5	18 14.5	5 4.0	18 100.0	5 27.8	13 72.2	—
選択肢6	291 100.0	259 89.0	27 9.3	5 1.7	27 100.0	8 29.6	18 66.7	1 3.7



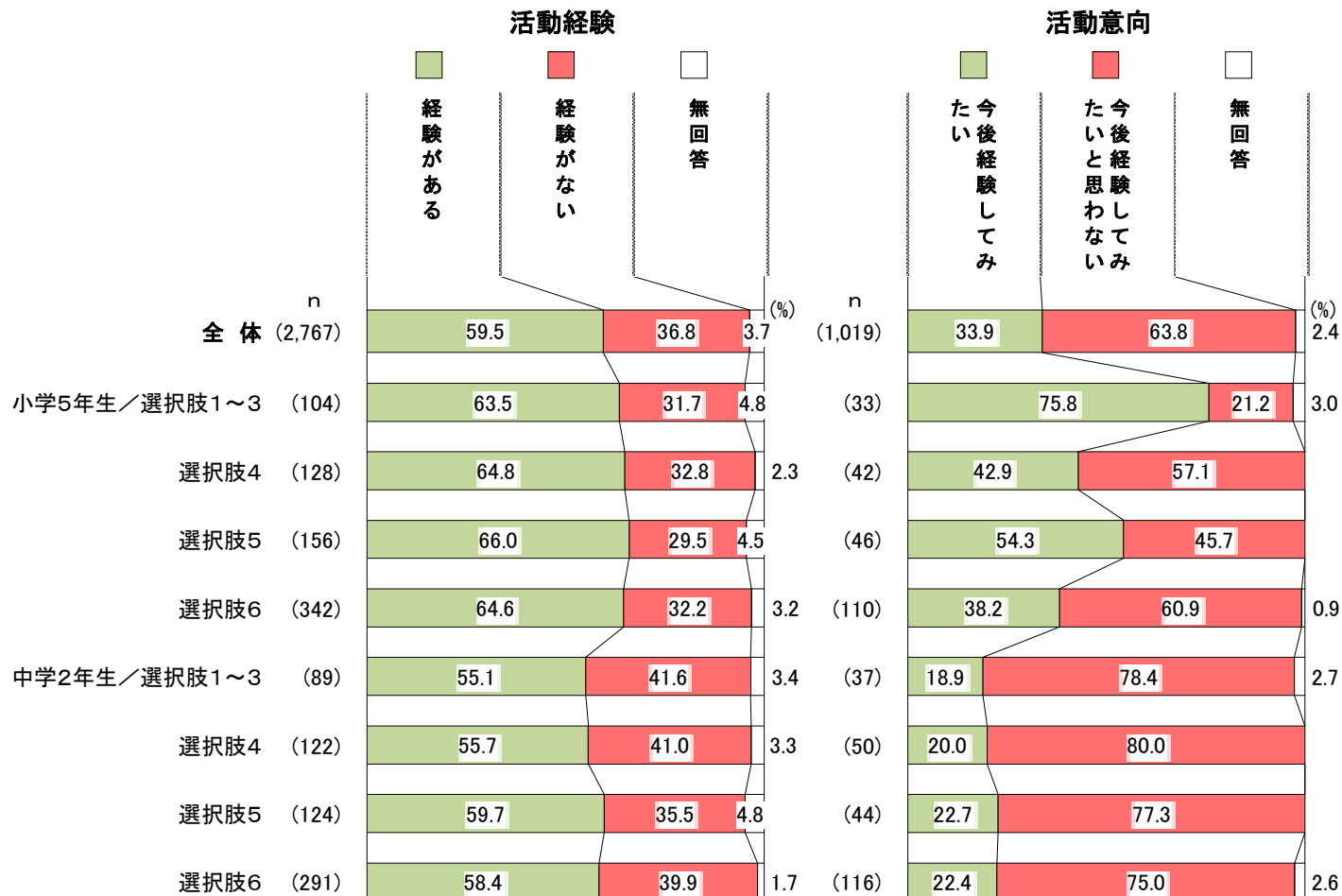
第2章 調査の結果詳細

<公民館や町会の行事イベント>

学年×可処分所得別でみると、活動経験はいずれの層も「経験がある」が過半数となっている。経験がないと答えた人の活動意向は、小学5年生の選択肢1～3で「今後経験してみたい」が7割を超えている。中学2年生ではいずれの層も「今後経験してみたいと思わない」が7割を超えている。

【図表72 活動経験／活動意向・学年×可処分所得別】

	調査数	活動経験			調査数	活動意向		
		経験がある	経験がない	無回答		て今後たい経験し	思て今後たい経験し	無回答
全 体	2,767 100.0	1,645 59.5	1,019 36.8	103 3.7	1,019 100.0	345 33.9	650 63.8	24 2.4
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	66 63.5	33 31.7	5 4.8	33 100.0	25 75.8	7 21.2	1 3.0
選択肢4	128 100.0	83 64.8	42 32.8	3 2.3	42 100.0	18 42.9	24 57.1	—
選択肢5	156 100.0	103 66.0	46 29.5	7 4.5	46 100.0	25 54.3	21 45.7	—
選択肢6	342 100.0	221 64.6	110 32.2	11 3.2	110 100.0	42 38.2	67 60.9	1 0.9
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	49 55.1	37 41.6	3 3.4	37 100.0	7 18.9	29 78.4	1 2.7
選択肢4	122 100.0	68 55.7	50 41.0	4 3.3	50 100.0	10 20.0	40 80.0	—
選択肢5	124 100.0	74 59.7	44 35.5	6 4.8	44 100.0	10 22.7	34 77.3	—
選択肢6	291 100.0	170 58.4	116 39.9	5 1.7	116 100.0	26 22.4	87 75.0	3 2.6

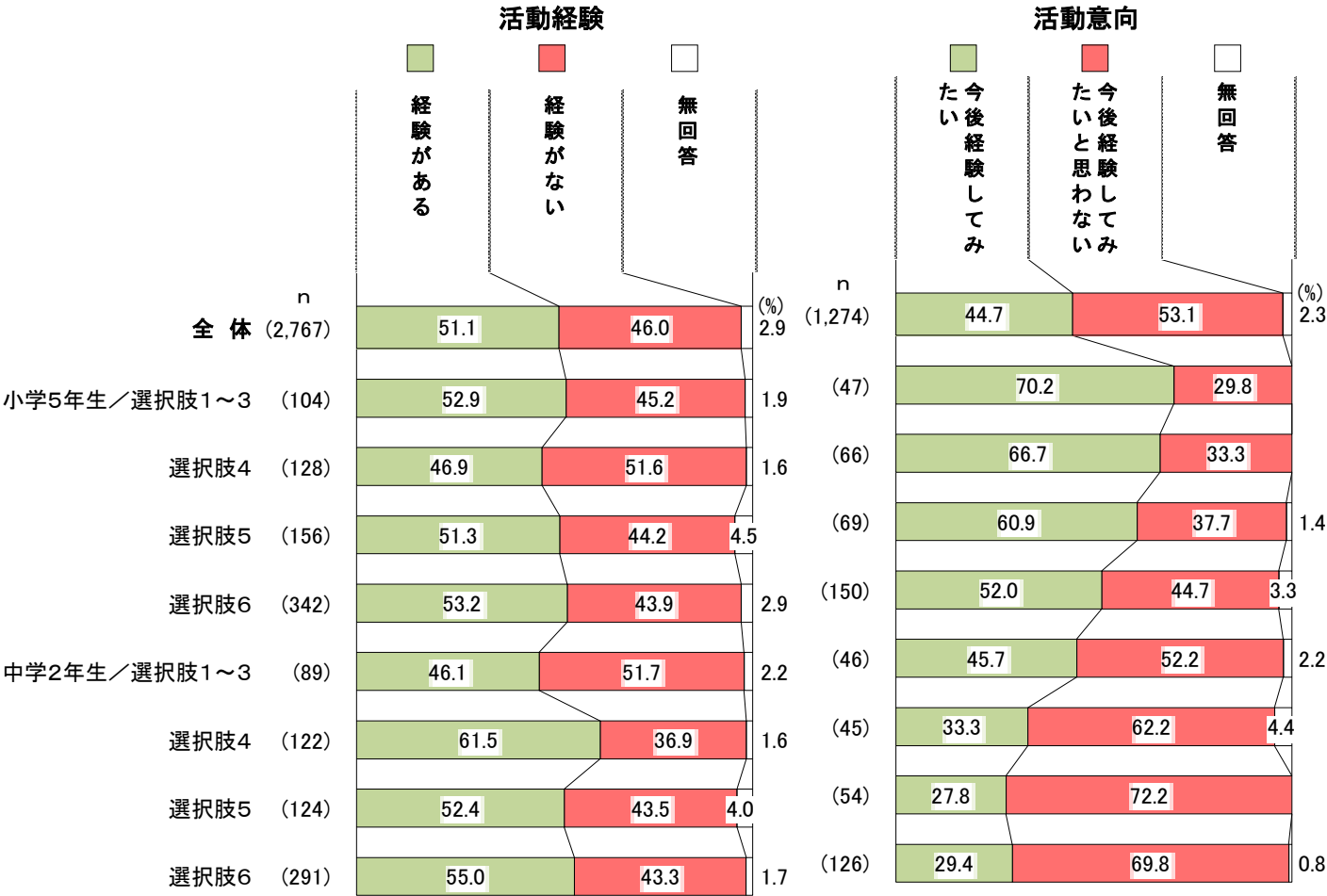


＜歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動＞

学年×可処分所得別でみると、活動経験は小学5年生の選択肢4、中学2年生の選択肢1～3以外で「経験がある」が過半数となっている。経験がないと答えた人の活動意向は、小学5年生の選択肢1～3で「今後経験してみたい」が7割を超えている。一方で、中学2年生では選択肢5で「今後経験してみたいと思わない」が7割を超えている。

【図表73 活動経験／活動意向・学年×可処分所得別】

	調査数	活動経験			調査数	活動意向		
		経験がある	経験がない	無回答		て今後 たい 経験 し	思て今 わみ後 なた経 ない験 とし	無 回 答
全 体	2,767 100.0	1,414 51.1	1,274 46.0	79 2.9	1,274 100.0	569 44.7	676 53.1	29 2.3
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	55 52.9	47 45.2	2 1.9	47 100.0	33 70.2	14 29.8	－
選択肢4	128 100.0	60 46.9	66 51.6	2 1.6	66 100.0	44 66.7	22 33.3	－
選択肢5	156 100.0	80 51.3	69 44.2	7 4.5	69 100.0	42 60.9	26 37.7	1 1.4
選択肢6	342 100.0	182 53.2	150 43.9	10 2.9	150 100.0	78 52.0	67 44.7	5 3.3
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	41 46.1	46 51.7	2 2.2	46 100.0	21 45.7	24 52.2	1 2.2
選択肢4	122 100.0	75 61.5	45 36.9	2 1.6	45 100.0	15 33.3	28 62.2	2 4.4
選択肢5	124 100.0	65 52.4	54 43.5	5 4.0	54 100.0	15 27.8	39 72.2	－
選択肢6	291 100.0	160 55.0	126 43.3	5 1.7	126 100.0	37 29.4	88 69.8	1 0.8



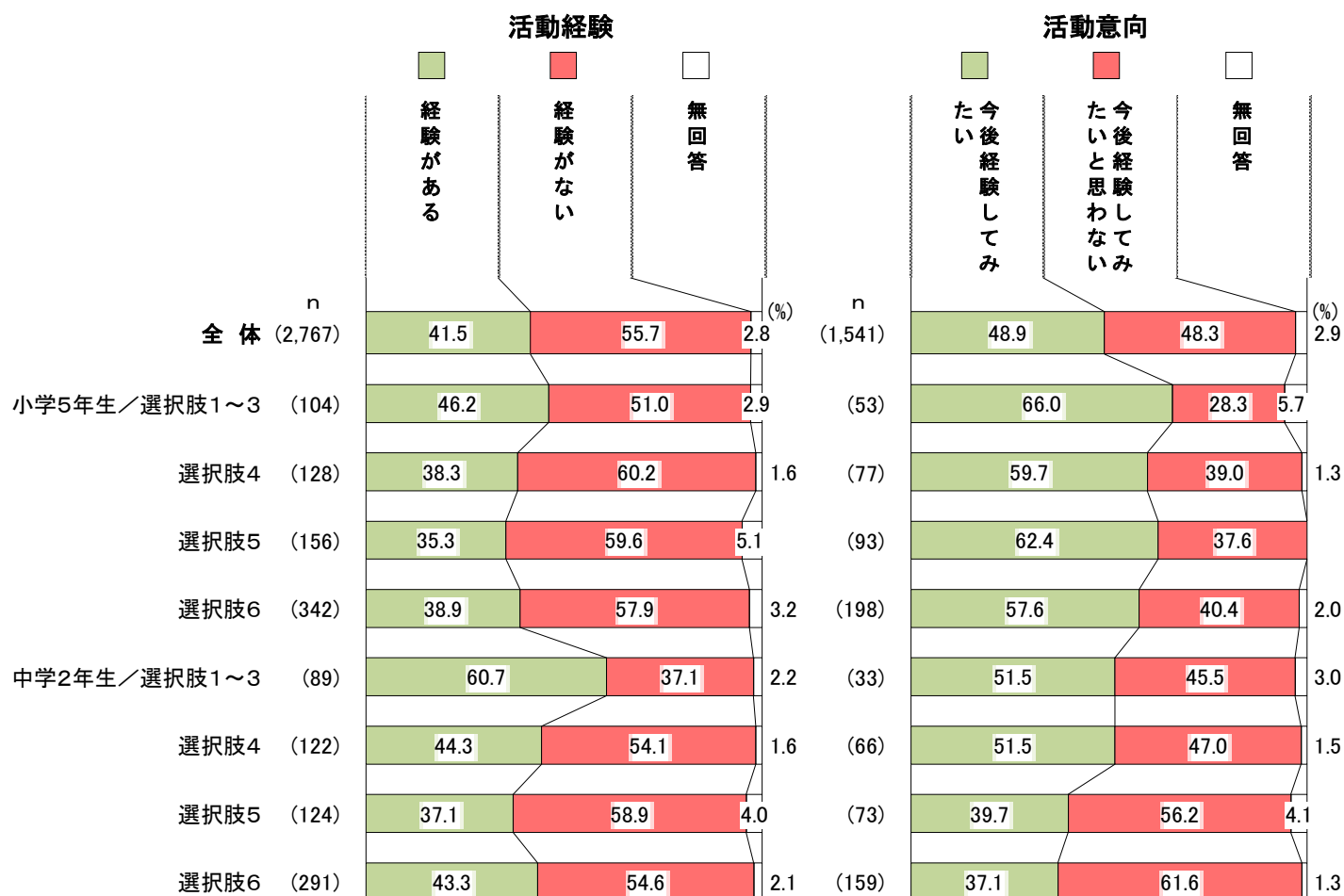
第2章 調査の結果詳細

＜障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話＞

学年×可処分所得別でみると、活動経験は中学2年生の選択肢1～3で「経験がある」が約6割となっている。経験がないと答えた人の活動意向は、小学5年生ではいずれの層も「今後経験してみたい」が過半数である。一方で、中学2年生では選択肢5と6で「今後経験してみたいと思わない」が過半数となっている。

【図表74 活動経験／活動意向・学年×可処分所得別】

	調査数	活動経験			調査数	活動意向		
		経験がある	経験がない	無回答		て今後たい経験し	思て今後たい経験とし	無回答
全 体	2,767 100.0	1,148 41.5	1,541 55.7	78 2.8	1,541 100.0	753 48.9	744 48.3	44 2.9
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	48 46.2	53 51.0	3 2.9	53 100.0	35 66.0	15 28.3	3 5.7
選択肢4	128 100.0	49 38.3	77 60.2	2 1.6	77 100.0	46 59.7	30 39.0	1 1.3
選択肢5	156 100.0	55 35.3	93 59.6	8 5.1	93 100.0	58 62.4	35 37.6	— —
選択肢6	342 100.0	133 38.9	198 57.9	11 3.2	198 100.0	114 57.6	80 40.4	4 2.0
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	54 60.7	33 37.1	2 2.2	33 100.0	17 51.5	15 45.5	1 3.0
選択肢4	122 100.0	54 44.3	66 54.1	2 1.6	66 100.0	34 51.5	31 47.0	1 1.5
選択肢5	124 100.0	46 37.1	73 58.9	5 4.0	73 100.0	29 39.7	41 56.2	3 4.1
選択肢6	291 100.0	126 43.3	159 54.6	6 2.1	159 100.0	59 37.1	98 61.6	2 1.3

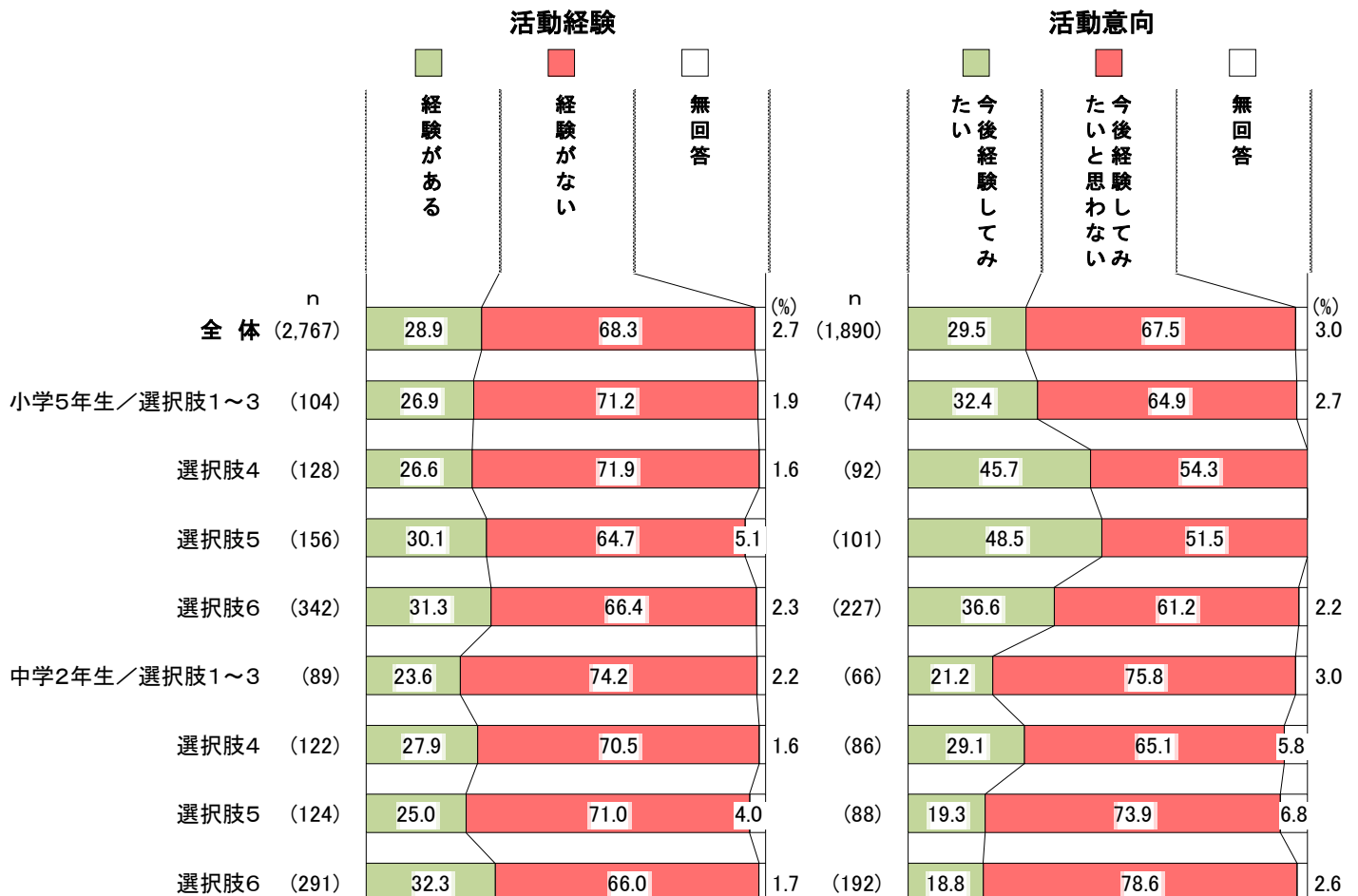


＜子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動＞

学年×可処分所得別でみると、活動経験はいずれの層も「経験がない」が6割を超えている。経験がないと答えた人の活動意向は、いずれの層も「今後経験してみたいと思わない」が過半数となっており、特に中学2年生の選択肢1～3、5、6で7割を超えている。

【図表75 活動経験／活動意向・学年×可処分所得別】

	調査数	活動経験			調査数	活動意向		
		経験がある	経験がない	無回答		て今後 みたい 経験し	て今後 みたい 経験し	無回答
全 体	2,767	801	1,890	76	1,890	558	1,276	56
	100.0	28.9	68.3	2.7	100.0	29.5	67.5	3.0
小学5年生／選択肢1～3	104	28	74	2	74	24	48	2
	100.0	26.9	71.2	1.9	100.0	32.4	64.9	2.7
選択肢4	128	34	92	2	92	42	50	—
	100.0	26.6	71.9	1.6	100.0	45.7	54.3	—
選択肢5	156	47	101	8	101	49	52	—
	100.0	30.1	64.7	5.1	100.0	48.5	51.5	—
選択肢6	342	107	227	8	227	83	139	5
	100.0	31.3	66.4	2.3	100.0	36.6	61.2	2.2
中学2年生／選択肢1～3	89	21	66	2	66	14	50	2
	100.0	23.6	74.2	2.2	100.0	21.2	75.8	3.0
選択肢4	122	34	86	2	86	25	56	5
	100.0	27.9	70.5	1.6	100.0	29.1	65.1	5.8
選択肢5	124	31	88	5	88	17	65	6
	100.0	25.0	71.0	4.0	100.0	19.3	73.9	6.8
選択肢6	291	94	192	5	192	36	151	5
	100.0	32.3	66.0	1.7	100.0	18.8	78.6	2.6



経年比較

平成26年度と比較すると、活動経験については、「障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話」では「経験がある」が増加している。

一方で、「公民館や町会の行事イベント」「子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動」では「経験がない」が増加している。

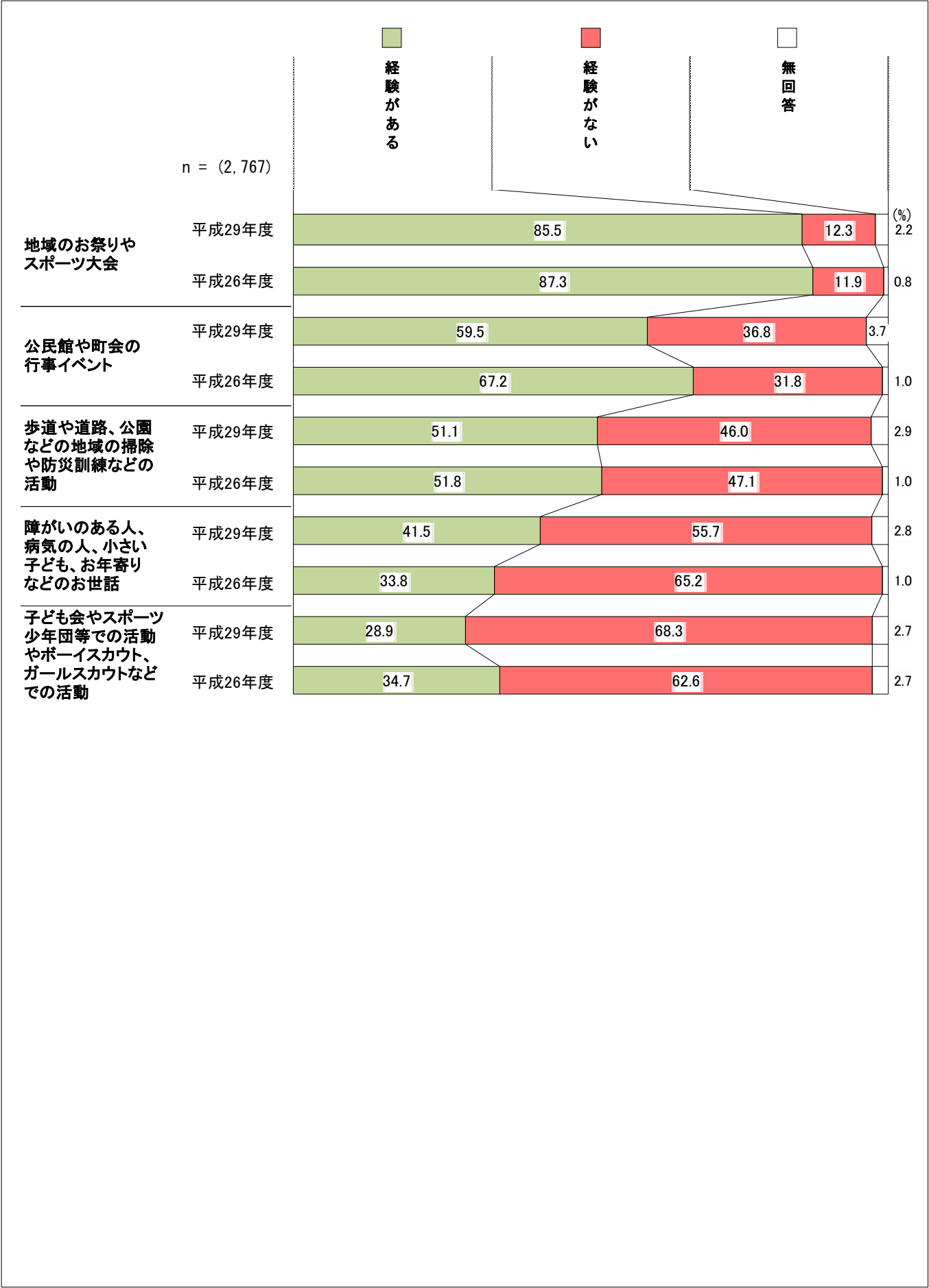
また、経験がないと答えた人の活動意向については、「公民館や町会の行事イベント」、「歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動」「障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話」「子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動」では「今後経験してみたい」が増加している。

一方で、「地域のお祭りやスポーツ大会」では「今後経験してみたいと思わない」が増加している。

＜図表76 活動経験・経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

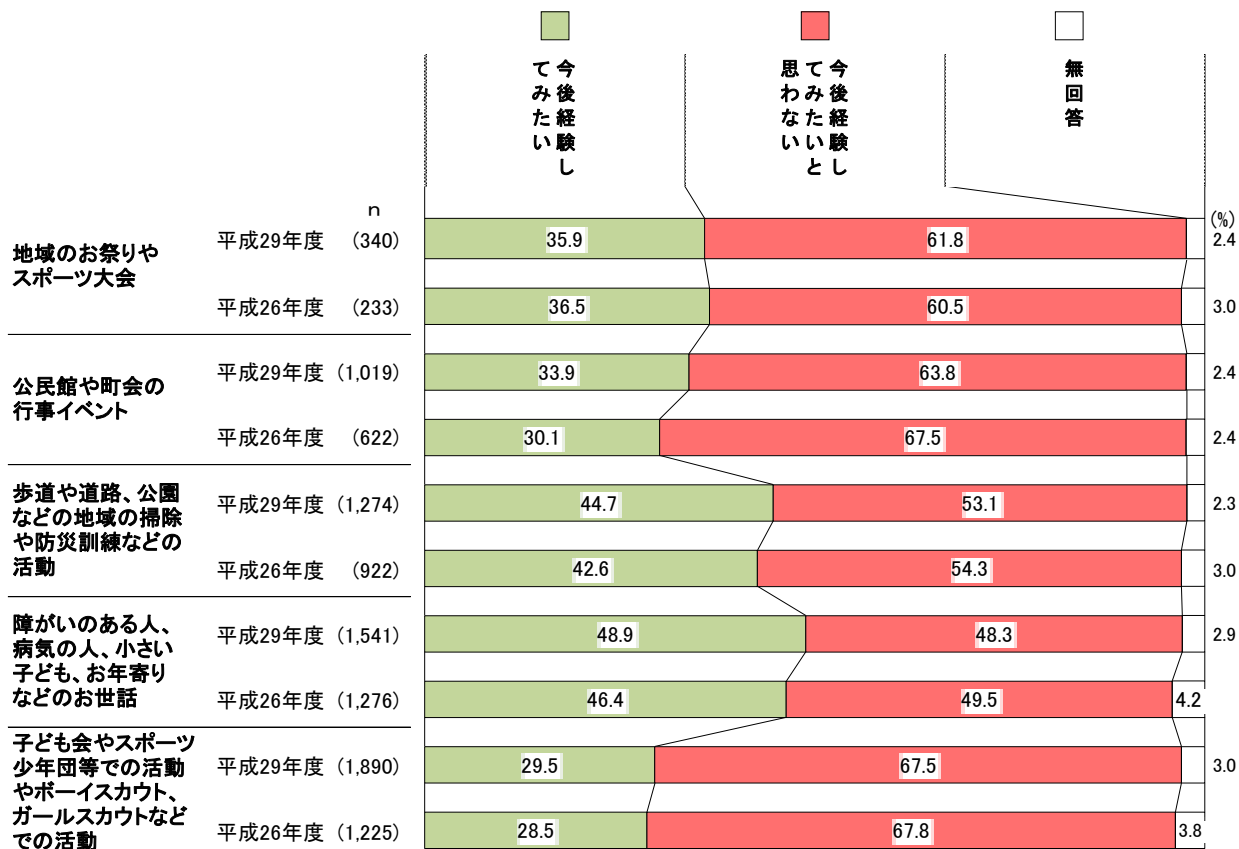
		調査数	経験がある	経験がない	無回答
地域のお祭りやスポーツ大会	平成29年度	2,767 100.0	2,365 85.5	340 12.3	62 2.2
	平成26年度	1,956 100.0	1,707 87.3	233 11.9	16 0.8
公民館や町会の行事イベント	平成29年度	2,767 100.0	1,645 59.5	1,019 36.8	103 3.7
	平成26年度	1,956 100.0	1,315 67.2	622 31.8	19 1.0
歩道や道路、公園などの地域の掃除や防災訓練などの活動	平成29年度	2,767 100.0	1,414 51.1	1,274 46.0	79 2.9
	平成26年度	1,956 100.0	1,014 51.8	922 47.1	20 1.0
障がいのある人、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話	平成29年度	2,767 100.0	1,148 41.5	1,541 55.7	78 2.8
	平成26年度	1,956 100.0	661 33.8	1,276 65.2	19 1.0
子ども会やスポーツ少年団等での活動やボーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動	平成29年度	2,767 100.0	801 28.9	1,890 68.3	76 2.7
	平成26年度	1,956 100.0	678 34.7	1,225 62.6	53 2.7



＜図表77 活動意向・経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

		調 査 数	て 今 後 の 経 験 し	思 て 今 後 の 経 験 と し	無 回 答
地域のお祭りやスポーツ 大会	平成29年度	340 100.0	122 35.9	210 61.8	8 2.4
	平成26年度	233 100.0	85 36.5	141 60.5	7 3.0
公民館や町会の行事イベ ント	平成29年度	1,019 100.0	345 33.9	650 63.8	24 2.4
	平成26年度	622 100.0	187 30.1	420 67.5	15 2.4
歩道や道路、公園などの 地域の掃除や防災訓練な どの活動	平成29年度	1,274 100.0	569 44.7	676 53.1	29 2.3
	平成26年度	922 100.0	393 42.6	501 54.3	28 3.0
障がいのある人、病気の 人、小さい子ども、お年 寄りなどのお世話	平成29年度	1,541 100.0	753 48.9	744 48.3	44 2.9
	平成26年度	1,276 100.0	592 46.4	631 49.5	53 4.2
子ども会やスポーツ少年 団等での活動やボーイス カウト、ガールスカウト などでの活動	平成29年度	1,890 100.0	558 29.5	1,276 67.5	56 3.0
	平成26年度	1,225 100.0	349 28.5	830 67.8	46 3.8



(2) 自由意見（地域での活動について）

子ども 小学5年生 抜粋

- ・道がぼこぼこしていてけがをしてしまうとこわい！
・冬は道がくらい！！
・変な人が出たら、おじさんやおばさん、学校の先生や大人の人が見回りをしてくれるとうれしい！
- 最近、あいさつをしても返してくれない人がいるので、もっとあいさつを活性化させた方が、みんなが気持ちよく生活できると思います。
- コンビニとかが、少しきょうりがあるから近くにほしいなと思いました。地域の行事がもう少し多いと良いなと思いました。その行事は自分が人見知りだから、ご近所さんと仲良くなれるような行事がいいなと思いました。

子ども 中学2年生 抜粋

- もっと、地域の人たちが仲良くなれたら、いいと思う。その方が治安もよくなるし、何かあったときに助かる。
- 集会的にある団地や大通りのある袖ヶ浦団地（のようなところ）は、御年配の方がよく子供も見ているので事件が起きにくくて安全だなと思います。

保護者 小学5年生 抜粋

- 民間の保育サービスや放課後デイサービスなどはもっとわかりやすく広報してほしいです。友人が利用していてわかりました。
- 地域の活動（運動会、掃除など）に参加される方が少なく、高齢の方ばかり。若い方に引っ越して来てほしい。地域を活性化してほしい。
- 習志野市内には、こども食堂のような場所がない。ひとり親で親の帰宅が遅めの小学生がいられる居場所があったら良いと思う。
- 子供が大きくなり、仕事を始めたいと思っても近くに両親がいないし、一時保育はなかなかとれず、仕事ができない。引越し前の地域で、自治会のボランティアの方が無料であずかってくれたりして助かってました。公園でボール遊びができなかったり、子供の遊ぶ場所が少ない。子供たちが楽しく遊べて悩みを相談できる場所、地域で助け合えるともっと子育てしやすいと思いました。
- 不審者対策や子どもの居場所を広げるためにも、地域での活動をふやしたり参加者が増えるような工夫をしたりして、地域で子ども達を見守る・育てる・ような場が増え地域に根づく子どもの育成を考えていかないとならないと思う。希薄になりつつある近所づきあいや高齢者とのかわりを広くもち、心も育てていければ良いなと思う。地域活動活性化のための人材づくりも必要だと感じる。若い人、子育て世代の人がどんどん活躍して盛り上げていけると良いと思う。

保護者 中学2年生 抜粋

- ファミリーサポートセンターの会員になっていますが、数年何もしていないのにたまに会報だけが届きます。税金のむだ使いだと思います。利用していない家庭は自動的に削除してほしい。

第2章 調査の結果詳細

会報はどの家庭も必要ないと思います。

- 母子家庭の方などに制服やカバンをゆずりたい、洋服もいつも捨てています。バザーではなく、誰かに使って頂ける様に市役所などに寄付できると良いと思います。学校のバザーやフリマもあるけれど、そのお金も無いと言ってる母子家庭の方もいると思う。もし欲しい方を募集するなら母子家庭や父子家庭の方優先して欲しい。
- 地域の人を子育てにもっと取り入れたらいいと思います。(特別なことではなく放課後の交流など)
- 子どもが乳幼児の頃は本当に自分の時間がなく、実家も遠く助けがなかったので、気軽に気分転換できる場があったらいいなと思っていたと思います。
- 子どもセンターの利用はして楽しく参加してはいましたが、子どもと楽しむ以外にも母親自身の充実できる時間も過ごせるプログラムがあればリフレッシュできるのと思います。現在子どもが就学すると思うのは留守番させるには心配なので、学童保育の単発利用ができるような施設があるといいなと思います。
- 子育ては祖父母も含め、多くの手でしていきたいものです。その事により、子供は色々な立場に立った考えを持つようになるのかと考えるようになりました。

4. 習志野市について

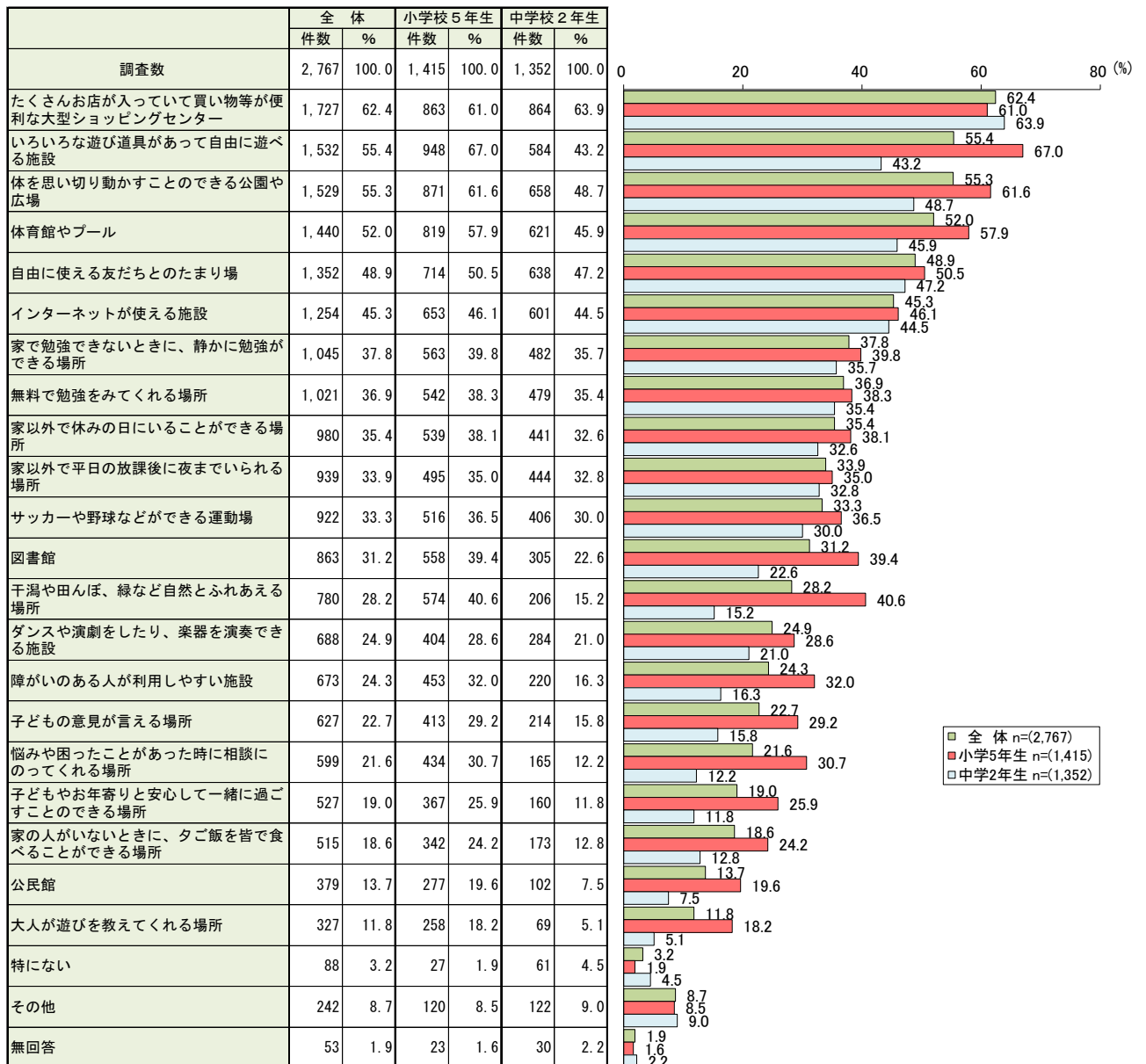
(1) 習志野市にあったらいいと思う場所や施設

習志野市にあったらいいと思う場所や施設はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。[子ども・問16]

全体では「たくさんお店が入っていて買い物等が便利な大型ショッピングセンター」62.4%が最も高く、次いで「いろいろな遊び道具があって自由に遊べる施設」55.4%、「体を思い切り動かすことのできる公園や広場」55.3%、「体育館やプール」52.0%、「自由に使える友だちとのたまり場」48.9%となっている。

「その他」の主な記述内容は『映画館』『駄菓子屋』『ゲームセンター』『動物たちと触れ合える場所』などとなっている。

【図表78 全体・学年別】



第2章 調査の結果詳細

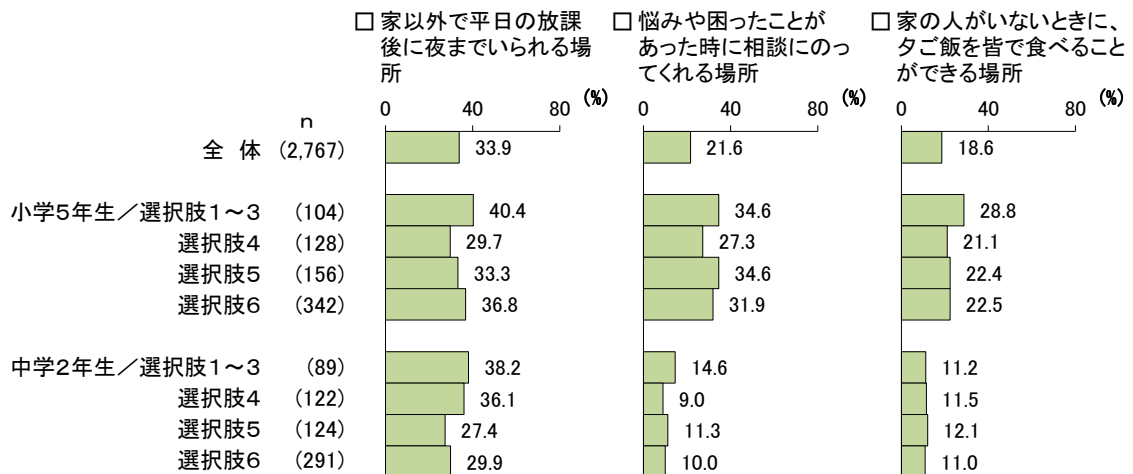
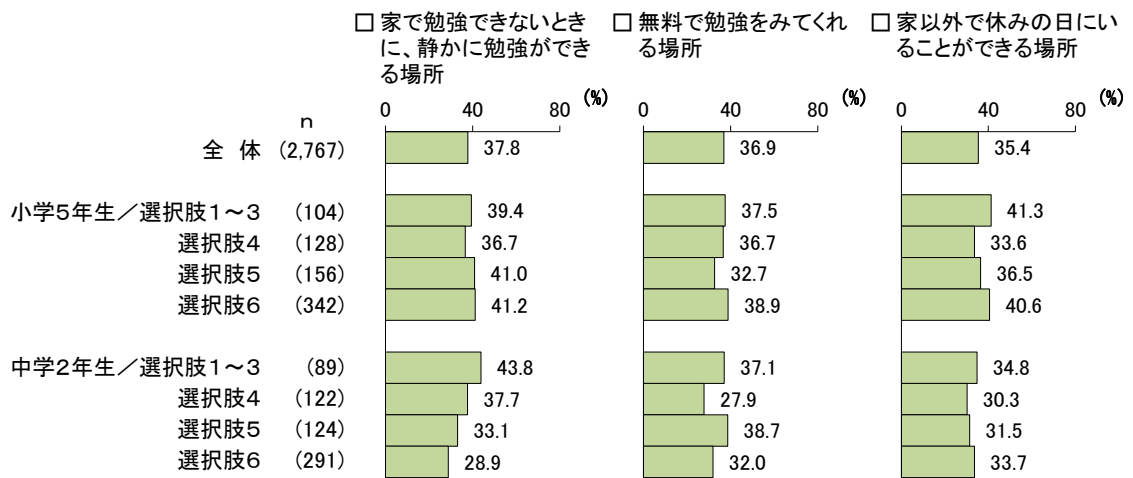
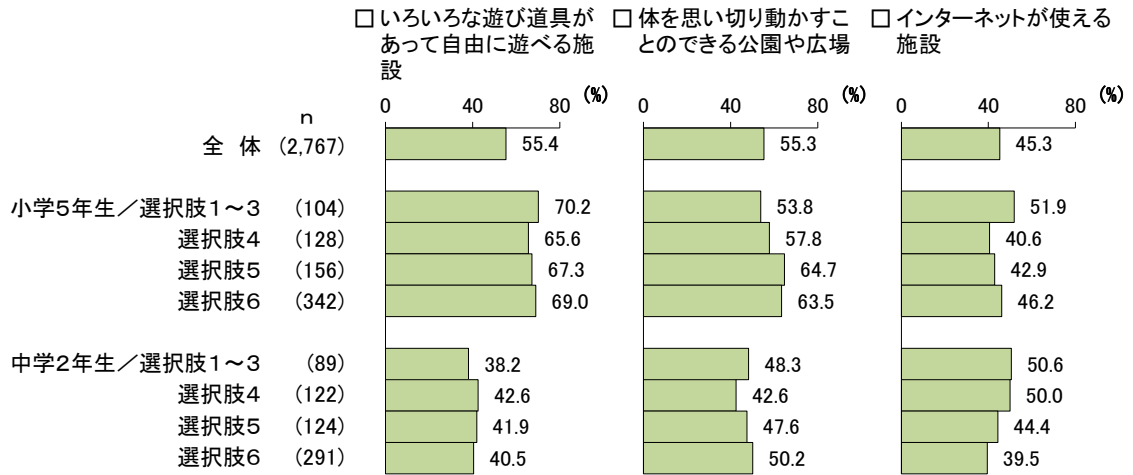
抜粋した9項目について、学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「いろいろな遊び道具があって自由に遊べる施設」が最も高く、次いで「体を思い切り動かすことのできる公園や広場」となっている。また、選択肢1～3では「インターネットが使える施設」が5割台、「家以外で平日の放課後に夜までいられる場所」が4割台、「家の人がいないときに、夕ご飯を皆で食べることができる場所」が約3割と、他の層より高くなっている。

中学2年生では選択肢1～3と4で「インターネットが使える施設」が最も高い。選択肢5と6では「体を思い切り動かすことのできる公園や広場」が最も高くなっている。また、選択肢1～3では「家で勉強できないときに、静かに勉強ができる場所」が4割台と、他の層より高くなっている。

【図表79 学年×可処分所得別（抜粋）】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	いろいろな遊び道具があつて自由に遊べる施設	体を思い切り動かすことのできる公園や広場	インターネットが使える施設	家で勉強できないときに、静かに勉強ができる場所	無料で勉強をみてる場所	家以外で休みの日にいることができる場所	家で以外で平日の放課後に夜までいられる場所	時間に相対的なことがあつた場所	夕ご飯を皆で食べるときに、家で人がいないときに、夕ご飯を皆で食べるときに、家で人がいないときに、夕ご飯を皆で食べるときに、
全 体	2,767 100.0	1,532 55.4	1,529 55.3	1,254 45.3	1,045 37.8	1,021 36.9	980 35.4	939 33.9	599 21.6	515 18.6
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	73 70.2	56 53.8	54 51.9	41 39.4	39 37.5	43 41.3	42 40.4	36 34.6	30 28.8
選択肢4	128 100.0	84 65.6	74 57.8	52 40.6	47 36.7	47 36.7	43 33.6	38 29.7	35 27.3	27 21.1
選択肢5	156 100.0	105 67.3	101 64.7	67 42.9	64 41.0	51 32.7	57 36.5	52 33.3	54 34.6	35 22.4
選択肢6	342 100.0	236 69.0	217 63.5	158 46.2	141 41.2	133 38.9	139 40.6	126 36.8	109 31.9	77 22.5
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	34 38.2	43 48.3	45 50.6	39 43.8	33 37.1	31 34.8	34 38.2	13 14.6	10 11.2
選択肢4	122 100.0	52 42.6	52 42.6	61 50.0	46 37.7	34 27.9	37 30.3	44 36.1	11 9.0	14 11.5
選択肢5	124 100.0	52 41.9	59 47.6	55 44.4	41 33.1	48 38.7	39 31.5	34 27.4	14 11.3	15 12.1
選択肢6	291 100.0	118 40.5	146 50.2	115 39.5	84 28.9	93 32.0	98 33.7	87 29.9	29 10.0	32 11.0

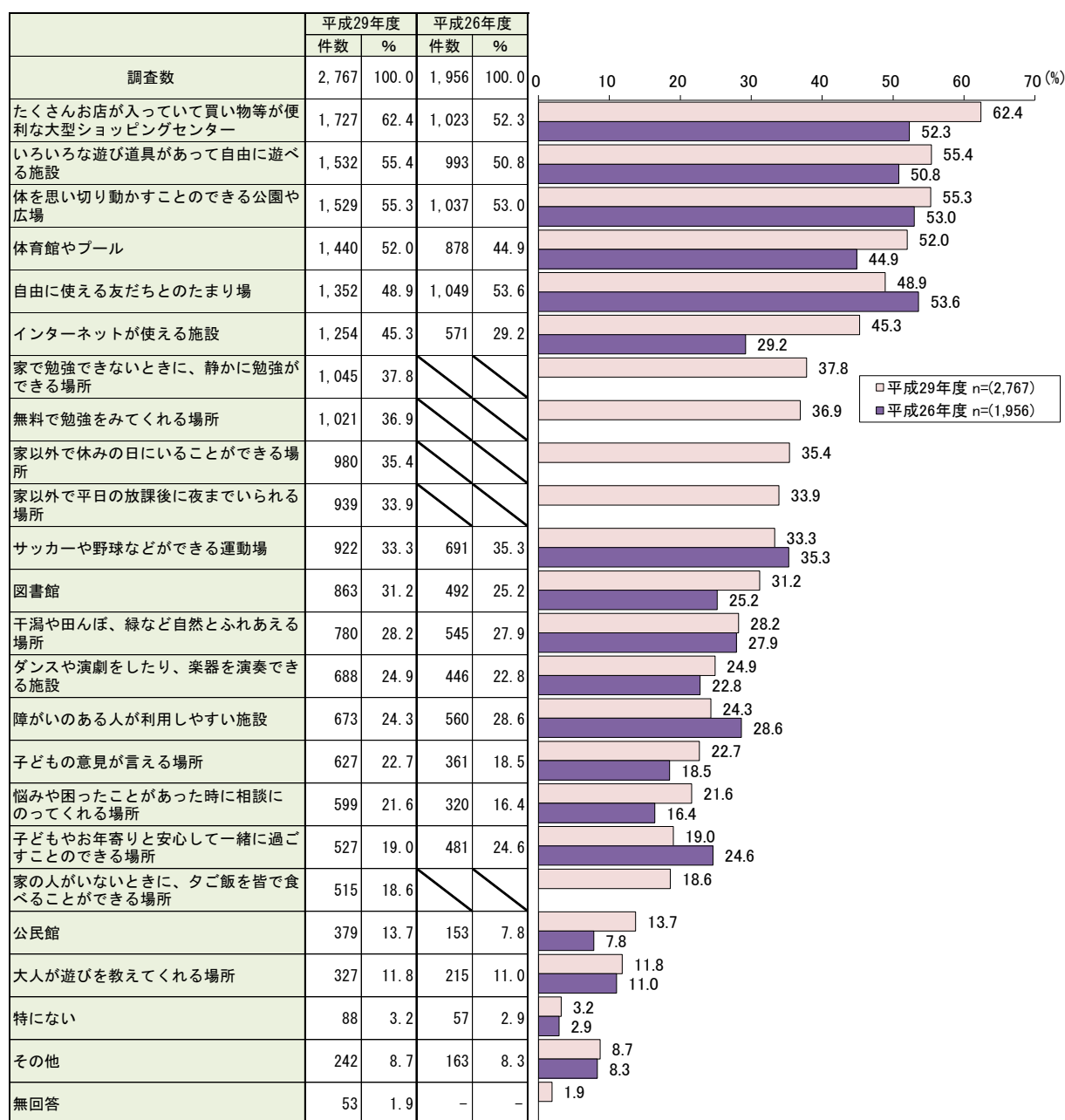


経年比較

平成26年度と比較すると、「インターネットが使える施設」「たくさんお店が入っていて買い物等が便利な大型ショッピングセンター」が大きく増加しており、「体育館やプール」「図書館」「公民館」なども増加している。

一方で、「子どもやお年寄りと安心して一緒に過ごすことのできる場所」、「自由に使える友だちとのたまり場」「障がいのある人が利用しやすい施設」「サッカーや野球などができる運動場」などが減少している。

＜図表80 経年比較＞



※「家で勉強できないときに、静かに勉強ができる場所」「無料で勉強をみてくれる場所」「家以外で休みの日にいることができる場所」「家以外で平日の放課後に夜までいられる場所」「家の人がいないときに、夕ご飯を皆で食べることができる場所」は、今回調査（平成29年度）からの選択肢である。

(2) 行事など市からのお知らせの受け取り方

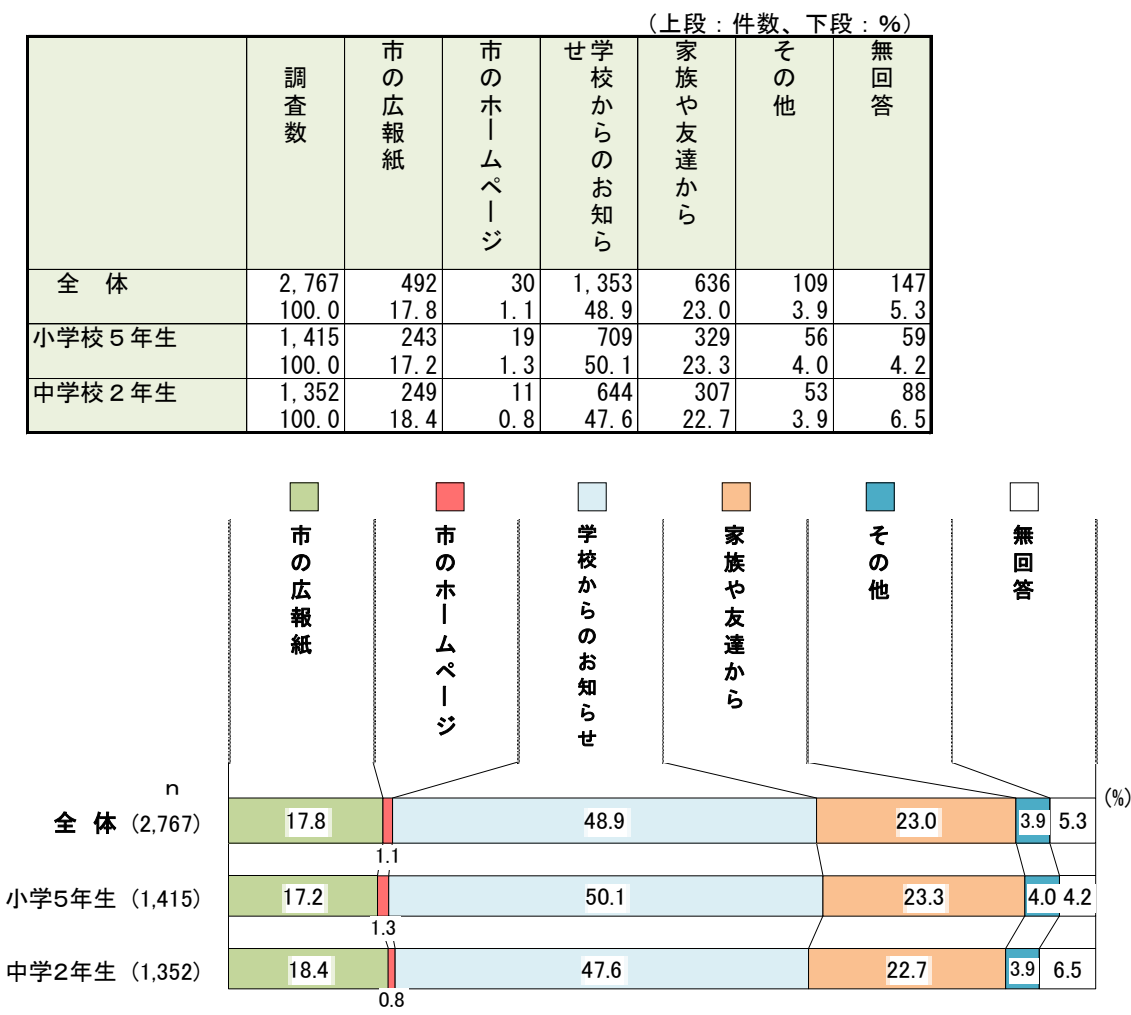
行事など市からのお知らせはどのように受け取ることが多いですか。最もあてはまるものについて○をつけてください。[子ども・問17]

全体では「学校からのお知らせ」48.9%が最も高く、次いで「家族や友達から」23.0%、「市の広報紙」17.8%、「その他」3.9%、「市のホームページ」1.1%となっている。

「その他」の主な記述内容は『回覧板』『マンションの掲示板』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「学校からのお知らせ」が最も高くなっており、次いで「家族や友達から」となっている。

【図表81 全体・学年別】



(3) 自由意見（習志野市について）

子ども 小学5年生 抜粋

- 習志野市に、自然を増やしたり、障がいを持っている人が安心にらせる施設を造ったほうが良いと思った。
- もうすこし、しずかにべんきょうのできる場所ってないかな
- ・無料で勉強をみてもらいたい。
・何の音もしないしずかな所がほしい
- 公園がたくさんあってほしい（おもしろい遊具、長～いすべり台とか）
- ボールをつかって遊べる公園が少ない。

子ども 中学2年生 抜粋

- 中学生になって、学校の帰りがおそくなり、近所のきぼう号にまにあわなくなっていました。図書館にはなかなか行けないので、本をもっとよめる場所・システムがあるとうれしいです。
- ・雨の日に遊びたいのに遊ぶ場所がないのでなんとかしてほしい。
・野球やサッカーを思い切りできる場所がない
- 学校の帰りの時、夜けっこう暗いから、もう少し電灯をつけてほしい
- 習志野市はすごく過ごしやすく好きです。友達とかも仲良くできているので、本当に楽しいです。
- 新習志野公民館の自主室のような場所が袖ヶ浦公民館などにもほしいなと思います。

保護者 小学5年生 抜粋

- 習志野市は子育てに対して多くの対応をしてくれていると思います。ありがたく感じております。その一方学校の先生方の多忙さが心配です。早く～遅くまで働いて、ご自身の充実・健康を保障されているのでしょうか。親・子にすぐ分かりやすい支援と共に、支援下さっている方へ金・人・モノが回るようにお考え下さい。
- 近くに祖父母がおらず、共働きなので学童やファミリーサポートを利用したり、遠くから祖父母に来てもらったりして子育てしてます。時間の制限やサポートさんの都合もあり調整が難しい時もありました。子供達で留守番することもあり。困った時に子どもがかけこめる場所が近くにあるといいなと思います。
- 子供（2才）を一時的に預ってほしい時に、保育所の月3回までの利用をしたいのに、なかなか予約がとりづらく、リフレッシュできません。実家も遠いので、預ってくれる所がもっとあればいいのにとおもいます。2才児でも行けるこども園のような所があればいいのにとおもいます。北九州市に以前いましたが、子育てしやすく子供を預ける場も充実しています。参考にしたいです。
習志野市は音楽が盛んですが、音楽だけに偏らず色々な事に力を入れてほしい。音楽に興味がない子はちょっとかわいそう。
- 子供が小さい時は、いろいろ相談できる所があるように感じますが、逆に思春期・反抗期ぐらいの小学生高学年～の相談は学校の先生以外に少ない気がします。
小さい時よりも大きくなってからの方が、対応が難しく相談できる場所があったら、とても

心強いです。宜しくお願いします。

- 子育てにおいて、夫婦の意見が合わなくて（こちらは相手の意見を聞いても相手は自分の意見をかたくなに言い通す）つらい気持ちになります。男性がもっと子育てについて学べる機会を積極的に（なかば強制的に）受けれる講座などを開いてもらえればいいのと思います。母親は聞く機会が多いのでよりよい教育、今の時代に合った考えを学べますが、男性は周囲の意見を聞くことさえ少ないと思います。

保護者 中学2年生 抜粋

- 小学高学年から大学卒業までに非常に大きな経済的負担がある。一番費用がかかる時の公的（お金）の支援がほしい。
- 少子化が深刻となっているが、子育ての大変さは全く改善されているとは思えない。それなりの教育を受けさせ学力をつけさせるには、家庭の教育費が莫大にかかるため、子供を2人持つのが精一杯です。塾に頼らず（頼りすぎず）学校の勉強だけで希望する子には大学に行けるような社会になって欲しいです。公立での質の高い授業や、先生の育成に力をいれてほしい。今の子供たちが、将来しっかり働き納税してもらうためには教育はとても大事と思う。一方で、勉強だけでできれば良いと言う訳でなく、思いやりやゆたかな心を持った人間の育成も大切だと思います。お金が幸せの全てとは言わないが、経済的に豊かでないと幸せになれないと思います。習志野市も税金を上手に使ってより良い社会になるよう頑張って欲しいです。
- ・歩行者用、自転車用の道路が狭く危ない（歩道の段差も高い）
・あたご橋の下（左右）が通りにくく、通行者が多く危ない
・横断歩道や白線が消えている
・学校の老朽化がヒドイ。部分補修では不十分。子どもの学校生活は“今”です。後まわしにはしないで“今”環境を整備してほしい。
- 公共機関で、老若男女が喜んで使用出来るような施設がない。
- 京成大久保～津田沼方面に行く道路は歩道がとても狭く危ないのに暴走している車やスマホを使いながらの車が多い。大人でも気をつけないとひやっとする事があるので、小さい子供がいつか大きな事故にまきこまれないか心配に感じています。

5. インターネットの利用について

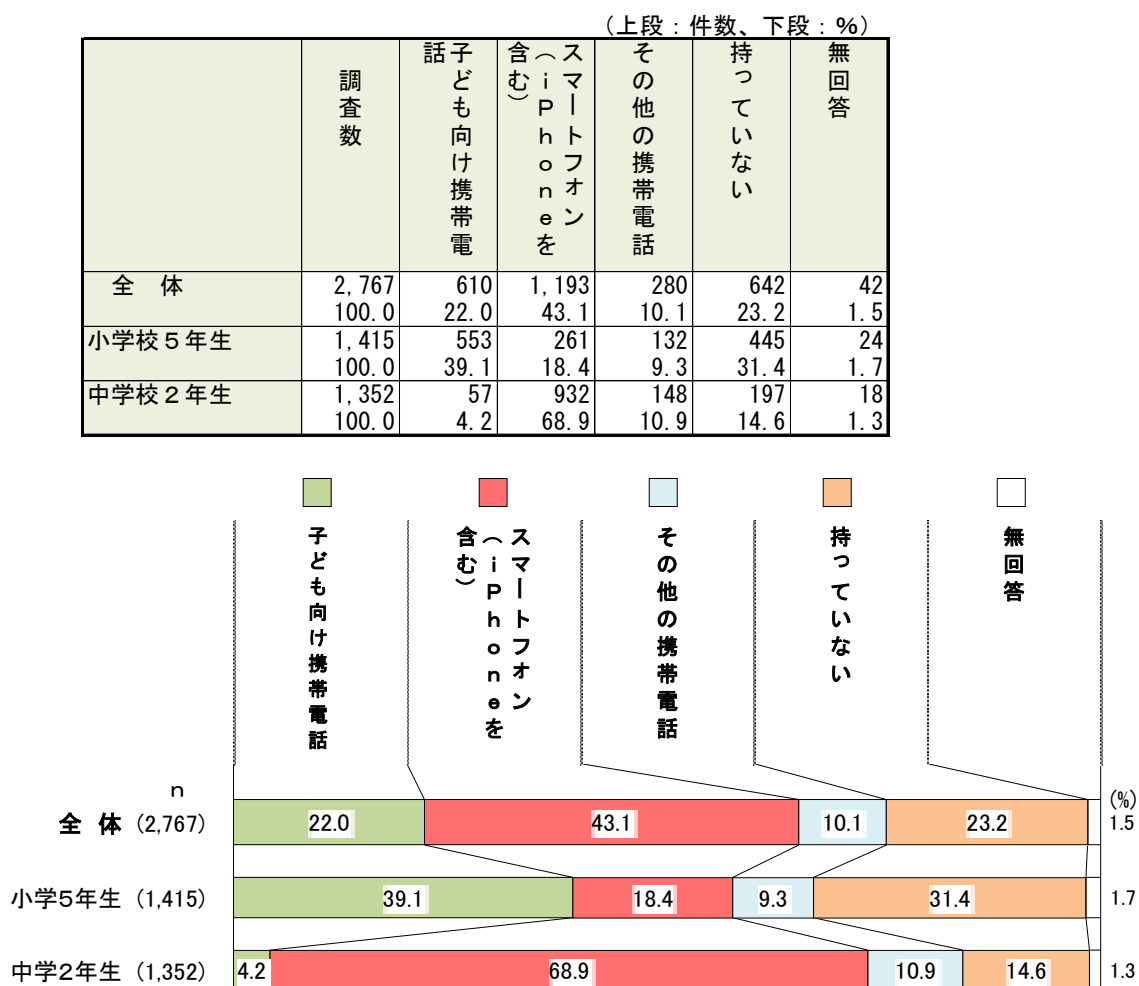
(1) 携帯電話の所有状況

携帯電話を持っていますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問18]

全体では「スマートフォン（iPhoneを含む）」43.1%が最も高く、次いで「持っていない」23.2%、「子ども向け携帯電話」22.0%、「その他の携帯電話」10.1%となっている。

学年別でみると、小学5年生では「子ども向け携帯電話」が約4割で最も高く、次いで「持っていない」が3割台となっている。中学2年生では「スマートフォン（iPhoneを含む）」が約7割で最も高くなっており、次いで「持っていない」「その他の携帯電話」となっている。

【図表82 全体・学年別】

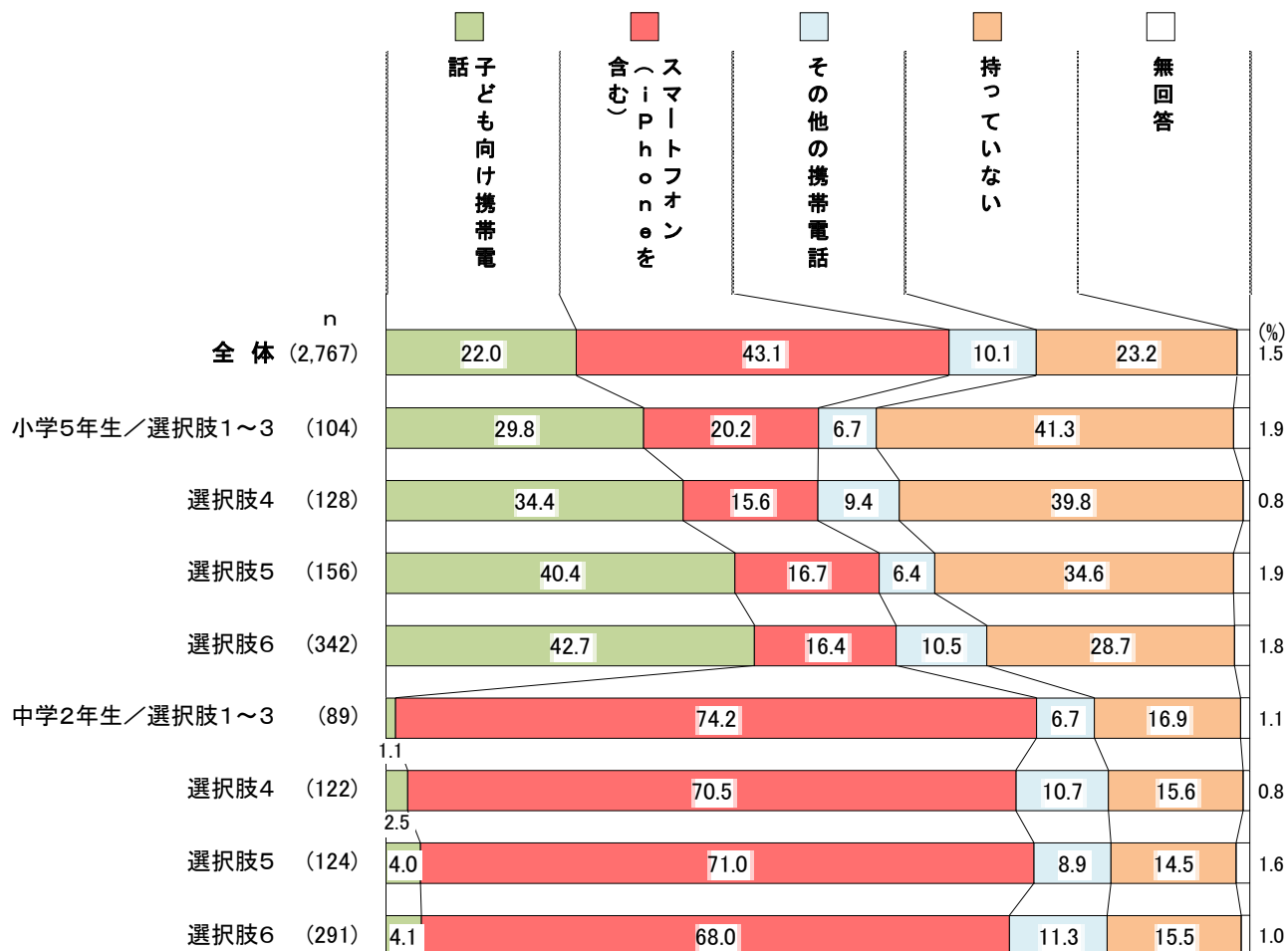


学年×可処分所得別でみると、小学5年生では選択肢1～3と4では「持っていない」が約4割で最も高くなっている。一方で、選択肢5と6では「子ども向け携帯電話」が4割を超えて最も高い。中学2年生ではいずれの層も「スマートフォン（iPhoneを含む）」が最も高くなっている。

【図表83 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

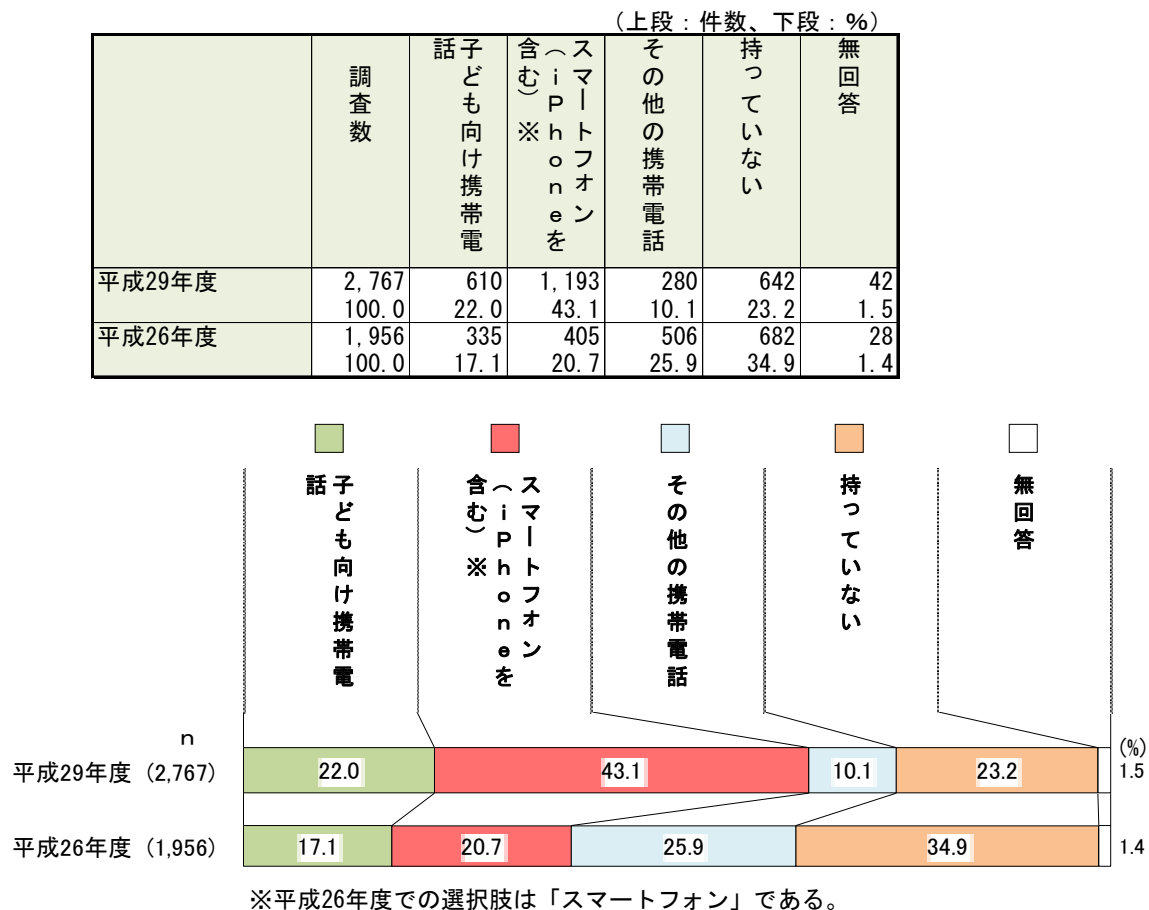
	調査数	子ども向け携帯電話	スマートフォン（iPhoneを含む）	その他の携帯電話	持っていない	無回答
全 体	2,767	610	1,193	280	642	42
	100.0	22.0	43.1	10.1	23.2	1.5
小学5年生／選択肢1～3	104	31	21	7	43	2
	100.0	29.8	20.2	6.7	41.3	1.9
選択肢4	128	44	20	12	51	1
	100.0	34.4	15.6	9.4	39.8	0.8
選択肢5	156	63	26	10	54	3
	100.0	40.4	16.7	6.4	34.6	1.9
選択肢6	342	146	56	36	98	6
	100.0	42.7	16.4	10.5	28.7	1.8
中学2年生／選択肢1～3	89	1	66	6	15	1
	100.0	1.1	74.2	6.7	16.9	1.1
選択肢4	122	3	86	13	19	1
	100.0	2.5	70.5	10.7	15.6	0.8
選択肢5	124	5	88	11	18	2
	100.0	4.0	71.0	8.9	14.5	1.6
選択肢6	291	12	198	33	45	3
	100.0	4.1	68.0	11.3	15.5	1.0



経年比較

平成26年度と比較すると、「スマートフォン（iPhoneを含む）」が大きく増加している。一方で、「その他の携帯電話」「持っていない」が大きく減少している。

<図表84 経年比較>



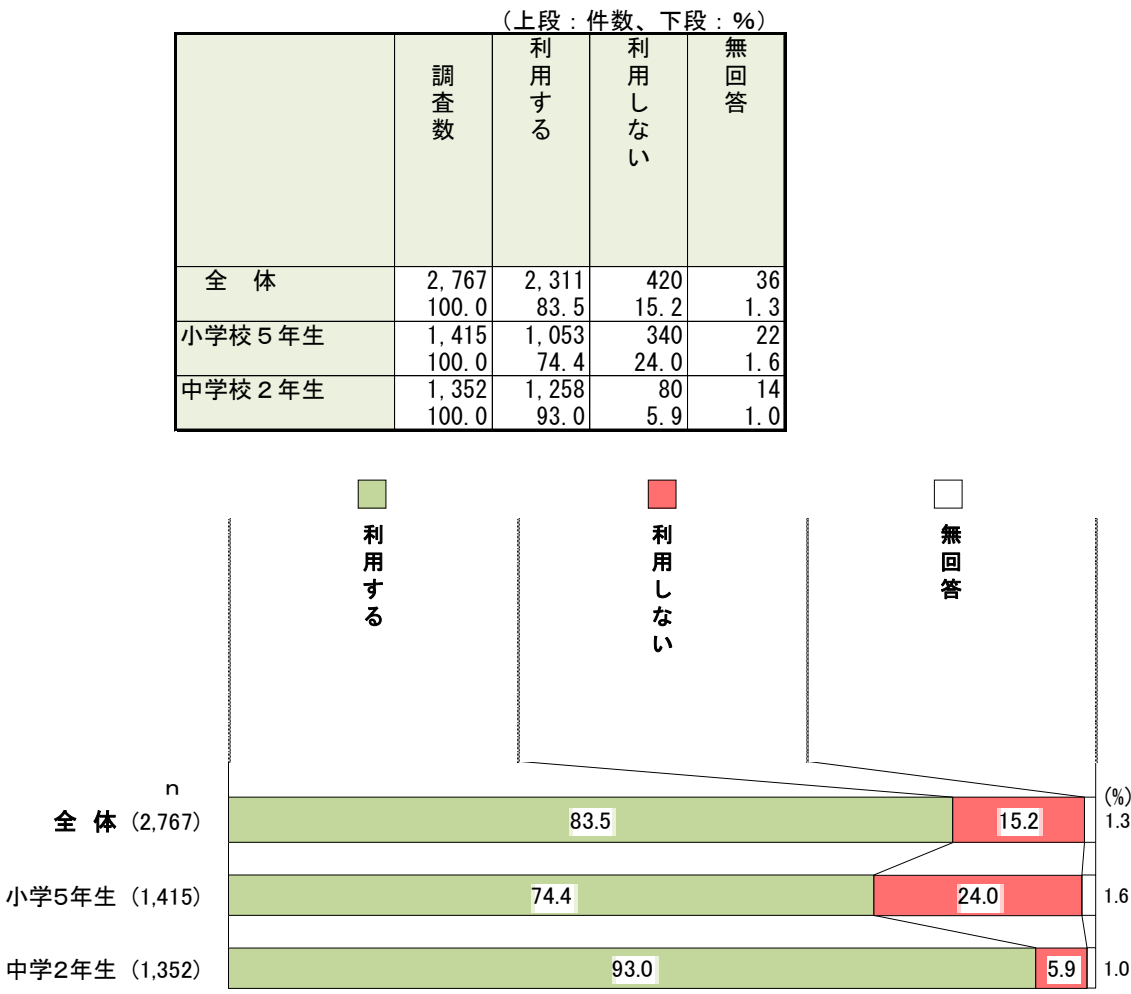
(2) インターネットの利用状況

携帯電話やスマートフォン、パソコンでインターネットを利用しますか。あてはまるもの
一つ○をつけてください。[子ども・問19]

全体では「利用する」83.5%が最も高く、一方で「利用しない」は15.2%となっている。

学年別でみると、小学5年生・中学2年生とも「利用する」が最も高く、小学5年生では7割台、
中学2年生では9割台となっている。一方で、「利用しない」は小学5年生で2割台となっている。

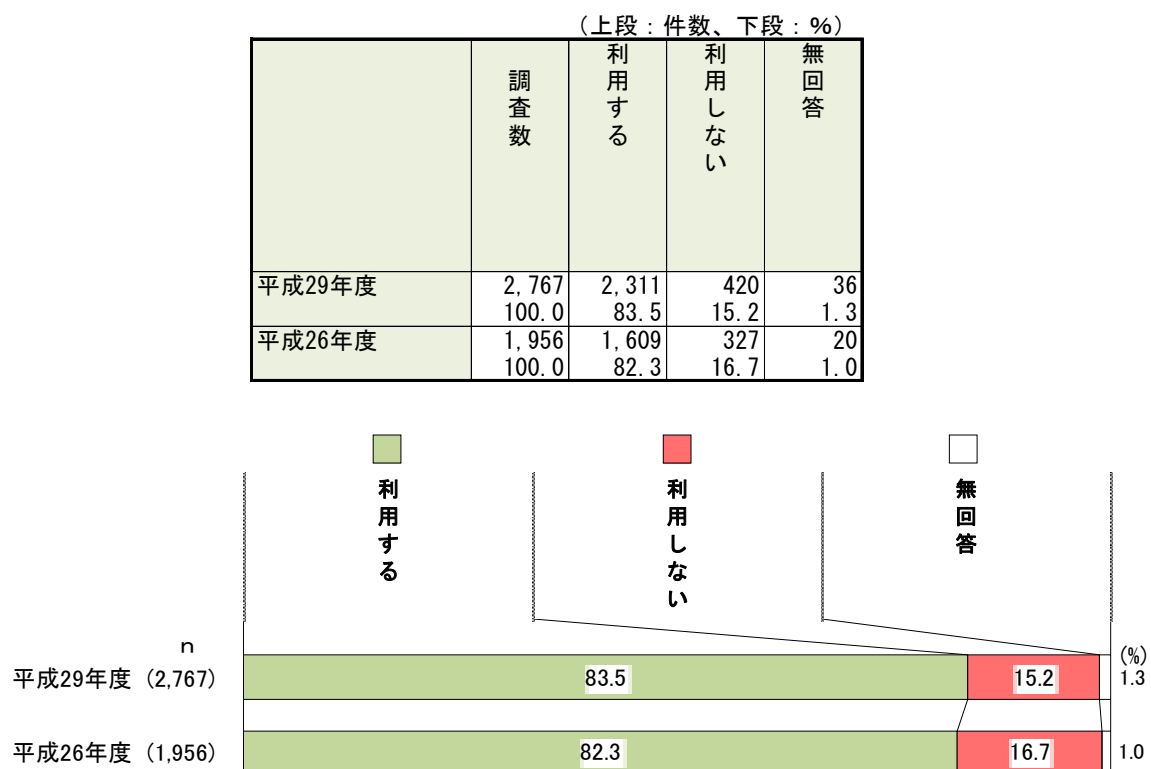
【図表85 全体・学年別】



経年比較

平成26年度と比較すると、「利用する」は増加している。一方で、「利用しない」は減少している。

<図表86 経年比較>



(3) インターネットを利用する主な目的

インターネットの利用状況の「利用する」に○をつけた方にお聞きます。インターネットを利用する主な目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

[子ども・問20]

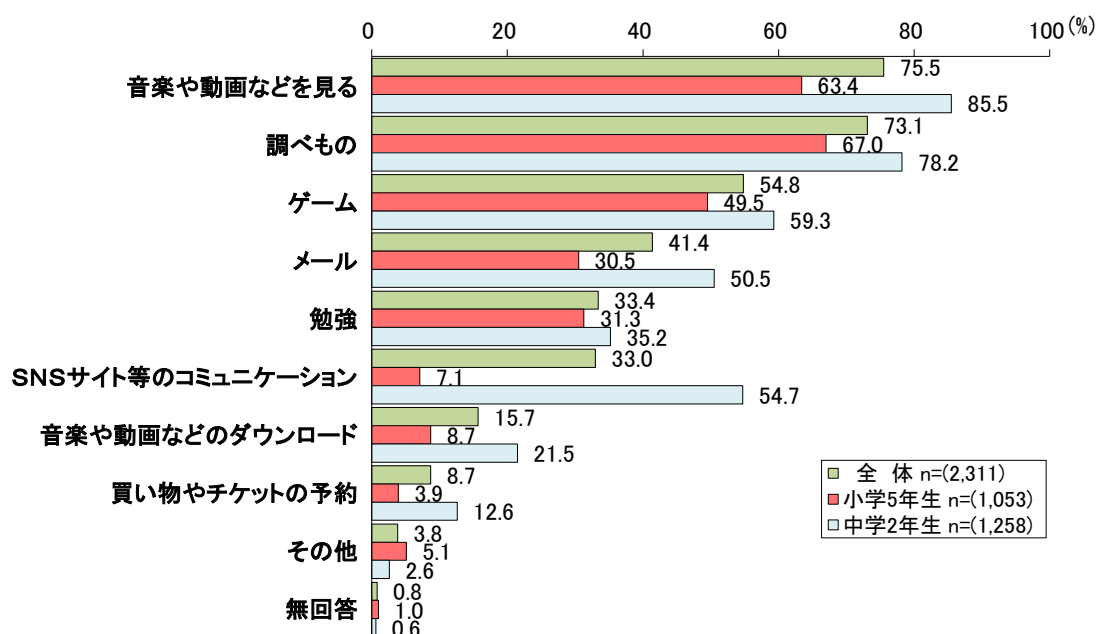
全体では「音楽や動画などを見る」75.5%が最も高く、次いで「調べもの」73.1%、「ゲーム」54.8%、「メール」41.4%、「勉強」33.4%となっている。

「その他」の主な記述内容は『電話』『小説を読む』『漫画を読む』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「調べもの」「音楽や動画などを見る」が6割台で高い。中学2年生では「音楽や動画などを見る」が8割台で最も高くなっており、次いで「調べもの」が7割台となっている。「ゲーム」は小学5年生で約半数、中学2年生で約6割となっている。また、「SNSサイト等のコミュニケーション」「メール」は中学2年生で5割台となっている。

【図表87 全体・学年別】

	調査数	音楽や動画などを見る	調べもの	ゲーム	メール	勉強	SNSサイト等のコミュニケーション	音楽や動画などのダウンロード	買い物やチケットの予約	その他	無回答
全体	2,311	1,744	1,689	1,267	956	773	763	363	200	87	19
	100.0	75.5	73.1	54.8	41.4	33.4	33.0	15.7	8.7	3.8	0.8
小学校5年生	1,053	668	705	521	321	330	75	92	41	54	11
	100.0	63.4	67.0	49.5	30.5	31.3	7.1	8.7	3.9	5.1	1.0
中学校2年生	1,258	1,076	984	746	635	443	688	271	159	33	8
	100.0	85.5	78.2	59.3	50.5	35.2	54.7	21.5	12.6	2.6	0.6



第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「音楽や動画などを見る」「調べもの」が6割台と高く、選択肢1～3と4では「ゲーム」が過半数となっている。また、選択肢1～3では「勉強」も4割台と高くなっている。中学2年生ではいずれの層も「音楽や動画などを見る」が8割台で最も高く、次いで「調べもの」が約8割となっている。また、「ゲーム」「SNSサイト等のコミュニケーション」も過半数となっている。

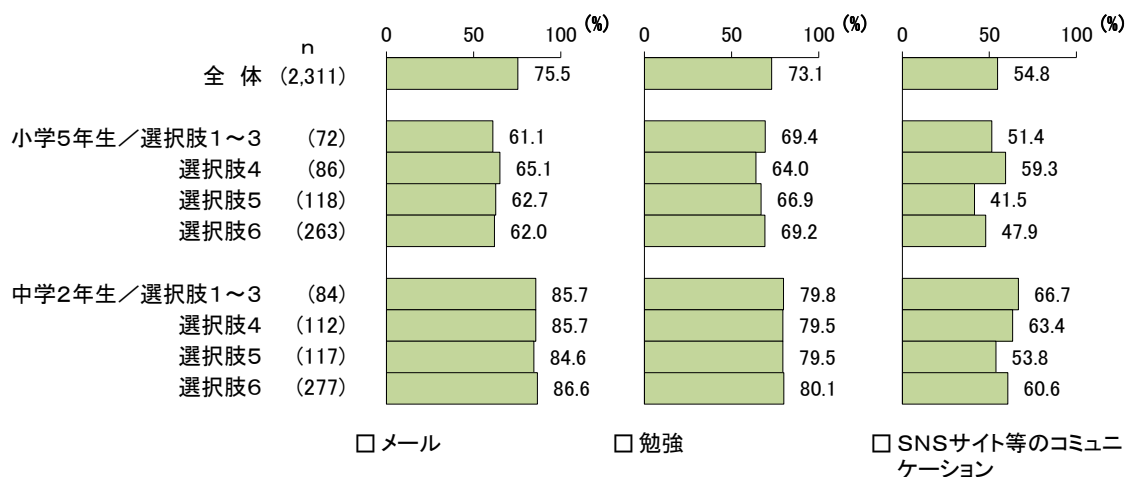
【図表88 学年×可処分所得別（上位6項目）】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	ど音楽や動画などを見る	調べもの	ゲーム	メール	勉強	等SのNシコミサユニット
全 体	2,311 100.0	1,744 75.5	1,689 73.1	1,267 54.8	956 41.4	773 33.4	763 33.0
小学5年生／選択肢1～3	72 100.0	44 61.1	50 69.4	37 51.4	21 29.2	30 41.7	8 11.1
選択肢4	86 100.0	56 65.1	55 64.0	51 59.3	27 31.4	24 27.9	4 4.7
選択肢5	118 100.0	74 62.7	79 66.9	49 41.5	33 28.0	31 26.3	5 4.2
選択肢6	263 100.0	163 62.0	182 69.2	126 47.9	68 25.9	88 33.5	14 5.3
中学2年生／選択肢1～3	84 100.0	72 85.7	67 79.8	56 66.7	39 46.4	33 39.3	50 59.5
選択肢4	112 100.0	96 85.7	89 79.5	71 63.4	52 46.4	37 33.0	71 63.4
選択肢5	117 100.0	99 84.6	93 79.5	63 53.8	59 50.4	33 28.2	60 51.3
選択肢6	277 100.0	240 86.6	222 80.1	168 60.6	126 45.5	107 38.6	164 59.2

□ 音楽や動画などを見る □ 調べもの

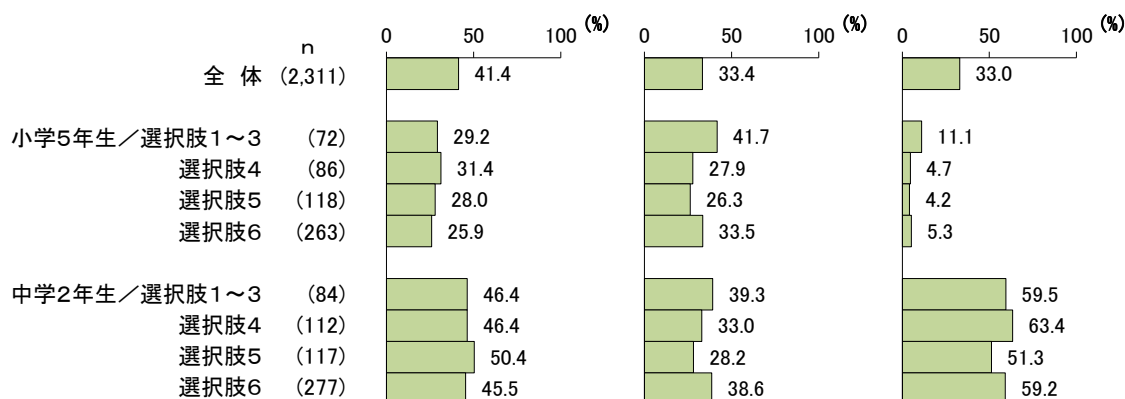
□ ゲーム



□ メール

□ 勉強

□ SNSサイト等のコミュニケーション



経年比較

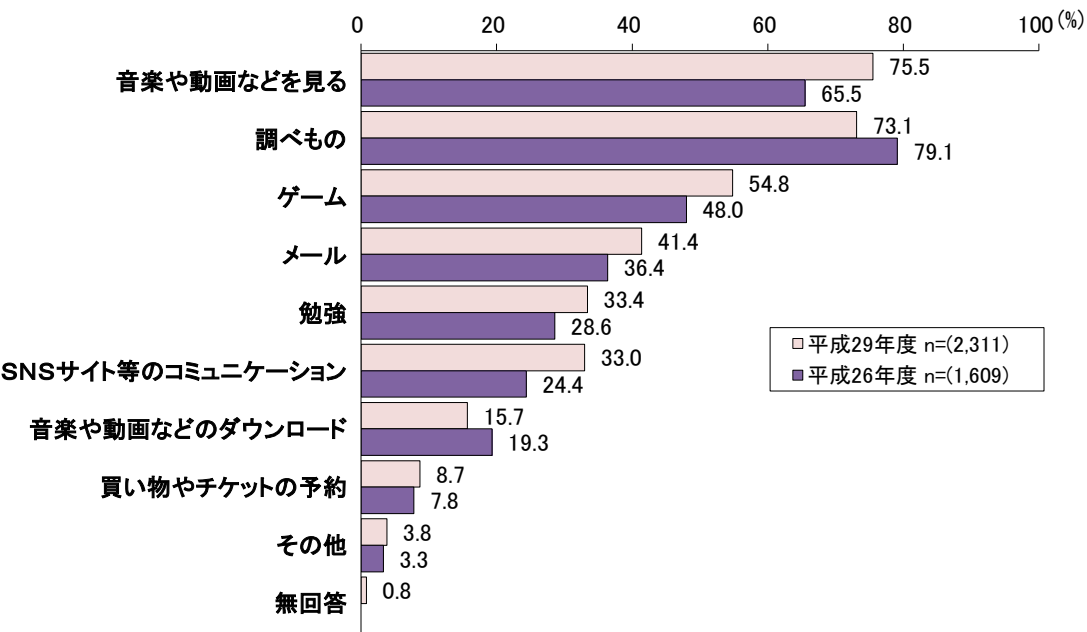
平成26年度と比較すると、「音楽や動画などを見る」「SNSサイト等のコミュニケーション」が大きく増加しており、「ゲーム」「メール」「勉強」なども増加している。

一方で、「調べもの」「音楽や動画などのダウンロード」が減少している。

＜図表89 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	音楽や動画などを見る	調べもの	ゲーム	メール	勉強	SNSサイト等のコミュニケーション	音楽や動画などのダウンロード	買い物やチケットの予約	その他	無回答
平成29年度	2,311	1,744	1,689	1,267	956	773	763	363	200	87	19
	100.0	75.5	73.1	54.8	41.4	33.4	33.0	15.7	8.7	3.8	0.8
平成26年度	1,609	1,054	1,272	773	585	460	393	311	126	53	-
	100.0	65.5	79.1	48.0	36.4	28.6	24.4	19.3	7.8	3.3	-



第2章 調査の結果詳細

(4) インターネットの利用時間（一日平均）

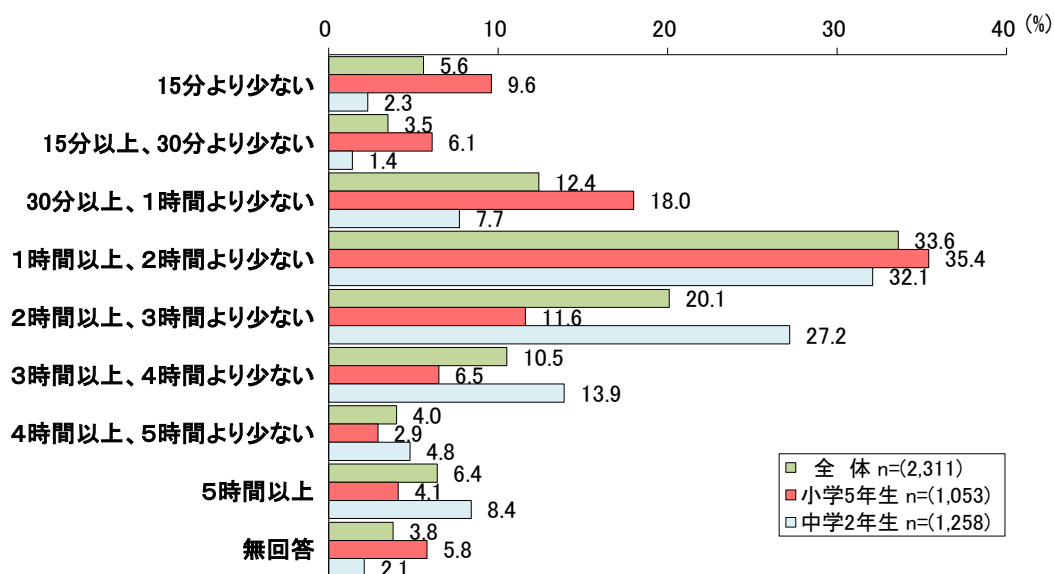
インターネットの利用状況の「利用する」に○をつけた方にお聞きします。携帯電話やスマートフォンなどで一日に平均どれくらいインターネットを利用しますか。[子ども・問21]

全体では「1時間以上、2時間より少ない」33.6%が最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」20.1%、「30分以上、1時間より少ない」12.4%、「3時間以上、4時間より少ない」10.5%、「5時間以上」6.4%となっている。また、一日の利用時間の平均は1.9時間となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「1時間以上、2時間より少ない」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「30分以上、1時間より少ない」、中学2年生は「2時間以上、3時間より少ない」となっている。また、一日の利用時間の平均は、小学5年生で1.4時間、中学2年生で2.2時間となっている。

【図表90 全体・学年別】

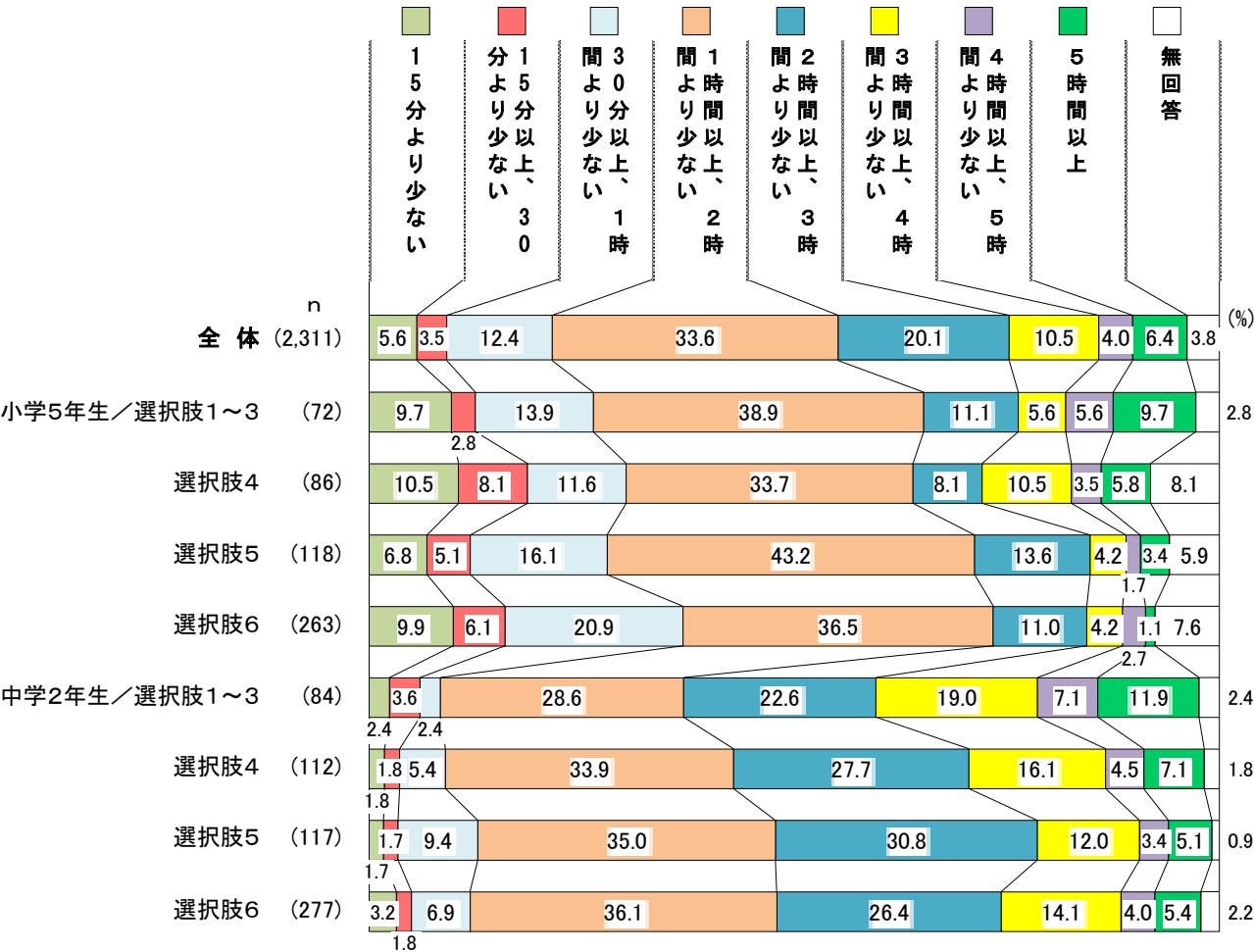
		(上段：件数、下段：%)								
	調査数	15分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上、4時間より少ない	4時間以上、5時間より少ない	5時間以上	無回答	
全 体	2,311	130	82	287	777	464	243	92	149	87
	100.0	5.6	3.5	12.4	33.6	20.1	10.5	4.0	6.4	3.8
小学校5年生	1,053	101	64	190	373	122	68	31	43	61
	100.0	9.6	6.1	18.0	35.4	11.6	6.5	2.9	4.1	5.8
中学校2年生	1,258	29	18	97	404	342	175	61	106	26
	100.0	2.3	1.4	7.7	32.1	27.2	13.9	4.8	8.4	2.1



学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「1時間以上、2時間より少ない」が最も高く、次いで小学5年生では「30分以上、1時間より少ない」、中学2年生では「2時間以上、3時間より少ない」となっている。また、中学2年生・小学5年生の選択肢1～3では「5時間以上」が約1割となっている。

【図表91 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)										
	調査数	15分より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間より少ない、2時間より少ない	2時間より少ない、3時間より少ない	3時間より少ない、4時間より少ない	4時間より少ない、5時間より少ない	5時間以上	無回答
全 体	2,311 100.0	130 5.6	82 3.5	287 12.4	777 33.6	464 20.1	243 10.5	92 4.0	149 6.4	87 3.8
小学5年生／選択肢1～3	72 100.0	7 9.7	2 2.8	10 13.9	28 38.9	8 11.1	4 5.6	4 5.6	7 9.7	2 2.8
選択肢4	86 100.0	9 10.5	7 8.1	10 11.6	29 33.7	7 8.1	9 10.5	3 3.5	5 5.8	7 8.1
選択肢5	118 100.0	8 6.8	6 5.1	19 16.1	51 43.2	16 13.6	5 4.2	2 1.7	4 3.4	7 5.9
選択肢6	263 100.0	26 9.9	16 6.1	55 20.9	96 36.5	29 11.0	11 4.2	7 2.7	3 1.1	20 7.6
中学2年生／選択肢1～3	84 100.0	2 2.4	3 3.6	2 2.4	24 28.6	19 22.6	16 19.0	6 7.1	10 11.9	2 2.4
選択肢4	112 100.0	2 1.8	2 1.8	6 5.4	38 33.9	31 27.7	18 16.1	5 4.5	8 7.1	2 1.8
選択肢5	117 100.0	2 1.7	2 1.7	11 9.4	41 35.0	36 30.8	14 12.0	4 3.4	6 5.1	1 0.9
選択肢6	277 100.0	9 3.2	5 1.8	19 6.9	100 36.1	73 26.4	39 14.1	11 4.0	15 5.4	6 2.2



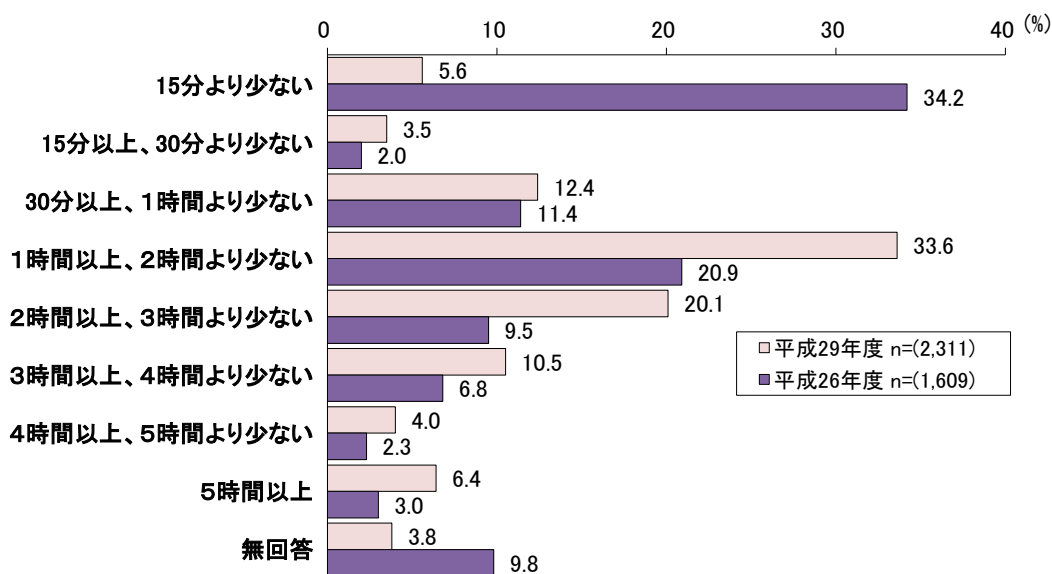
経年比較

平成26年度と比較すると、「15分より少ない」が大きく減少している。

一方で、「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」が大きく増加し、「3時間以上、4時間より少ない」「5時間以上」なども増加している。

＜図表92 経年比較＞

		(上段：件数、下段：%)								
	調査数	15分より少ない	30分以上、15分より少ない	1時間以上、30分より少ない	2時間以上、1時間より少ない	3時間以上、2時間より少ない	4時間以上、3時間より少ない	5時間以上、4時間より少ない	5時間以上	無回答
平成29年度	2,311	130	82	287	777	464	243	92	149	87
	100.0	5.6	3.5	12.4	33.6	20.1	10.5	4.0	6.4	3.8
平成26年度	1,609	551	32	183	336	153	110	37	49	158
	100.0	34.2	2.0	11.4	20.9	9.5	6.8	2.3	3.0	9.8



(5) 自由意見（インターネットの利用について）

子ども 小学5年生 抜粋

- インターネットやスマートフォンはタバコや車のように使用する年れいをきめたほうが良いと思う。
- インターネットをつかった勉強がしたい（プログラムなど）

子ども 中学2年生 抜粋

- 親がスマホくれない
- けいたいをいじっているととまらないので、時間になると電源きれるけいたいほしい。

保護者 小学5年生 抜粋

- 習志野市内の小学校において、学校別に特色がある（他地域のことは知らないのですが）と感じています。例えば体育重視や音楽など。とてもいいことだとは思いますが、海外からのうちは転校生で情報もないままだったので、学校の情報などホームページなりに記載があるとよかったなあと思っています。
- 自分の子どもには、スマホを持たせていませんが、クラスメイトは持っている子がけっこういるようです。トラブルも耳にします。小・中高生は、マモリーノの用なキッズ携帯フィーチャーフォンの使用に限定しスマホ等は18才以上からなどの条例があればいいのになと思っています。

保護者 中学2年生 抜粋

- 近頃の子供達の置かれている状況は親から見るととても殺伐としている様に思われます。情報をネットを介して取り込み常に危険と隣り合わせとなっている気がします。親が知らない内に深刻なケースに陥ってしまう子供達も少なくないと思います。そんな時に親には言いにくいけど、ラインなどで習志野市などの公共機関に相談できる窓口などがあるとSOSを出しやすいのかなと思います。
- 家族が全員スマホを持つようになってから、会話がとても減っていると感じる。経済的にも余裕がなく毎日があっという間に過ぎてしまう。
- スマホの普及による、子供達の学習の低下、コミュニケーション能力の低下、文章力の低下、etc 人格形成に大きな問題が生じていることが不安でなりません。子供にいくら、ルールやマナーを教えても、大人はどうなのか。正しい言葉、日本語、マナーを守れているのか。大人がしっかり手本とならねばならないのに、残念ながら正しい大人も少ないと思います。最後は、やはり“自分”“家庭教育”なのだなあと思います。
- 子供達がゲームが好きなのですが、うまくいかない時もありそのことでイライラしたり、さげさんだりして、よくトラブルになり困っています。

6. 学びについて

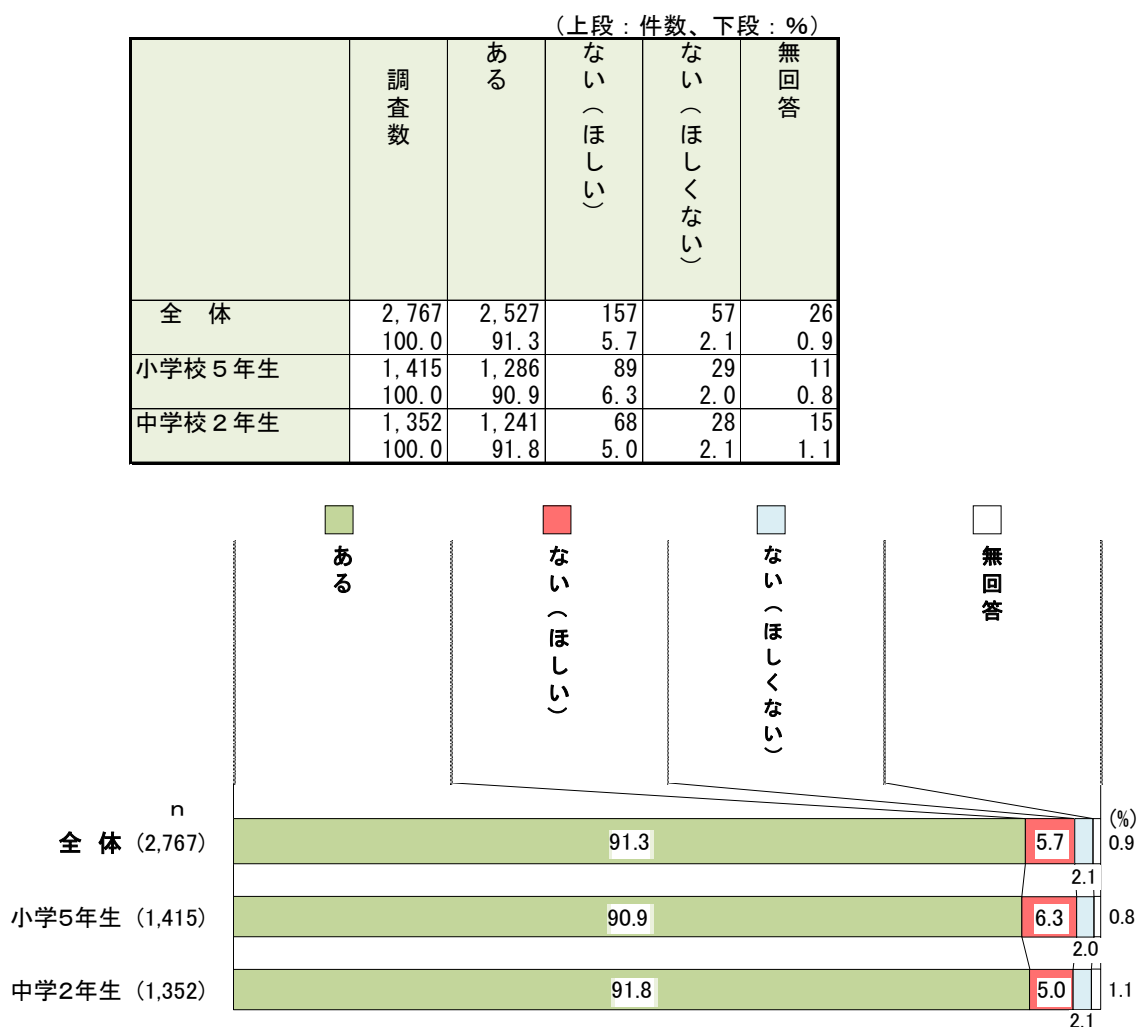
(1) 自宅の学習場所の有無

自宅に宿題や勉強ができる場所がありますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問22]

全体では「ある」91.3%が最も高く、一方で「ない（ほしい）」5.7%、「ない（ほしくない）」2.1%となっている。

学年別でみると、小学5年生・中学2年生とも「ある」が9割台と最も高くなっている。

【図表93 全体・学年別】



(2) 授業時間以外の1日あたりの勉強時間

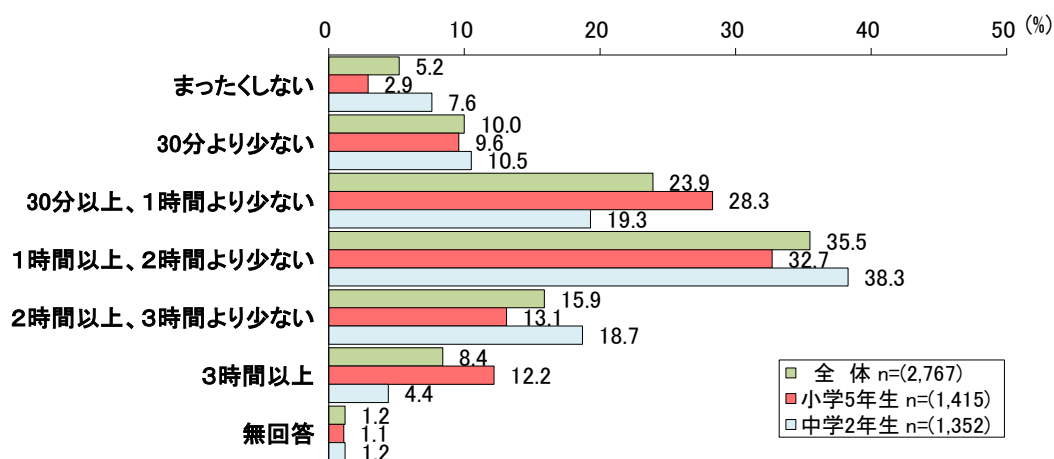
学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。) 最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問23]

全体では「1時間以上、2時間より少ない」35.5%が最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」23.9%、「2時間以上、3時間より少ない」15.9%、「30分より少ない」10.0%、「3時間以上」8.4%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「1時間以上、2時間より少ない」が3割台で最も高くなっており、次いで小学5年生は「30分以上、1時間より少ない」が2割台、中学2年生は「30分以上、1時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」が約2割となっている。

【図表94 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)								
	調査数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
全 体	2,767	144	278	661	981	439	232	32
	100.0	5.2	10.0	23.9	35.5	15.9	8.4	1.2
小学校5年生	1,415	41	136	400	463	186	173	16
	100.0	2.9	9.6	28.3	32.7	13.1	12.2	1.1
中学校2年生	1,352	103	142	261	518	253	59	16
	100.0	7.6	10.5	19.3	38.3	18.7	4.4	1.2

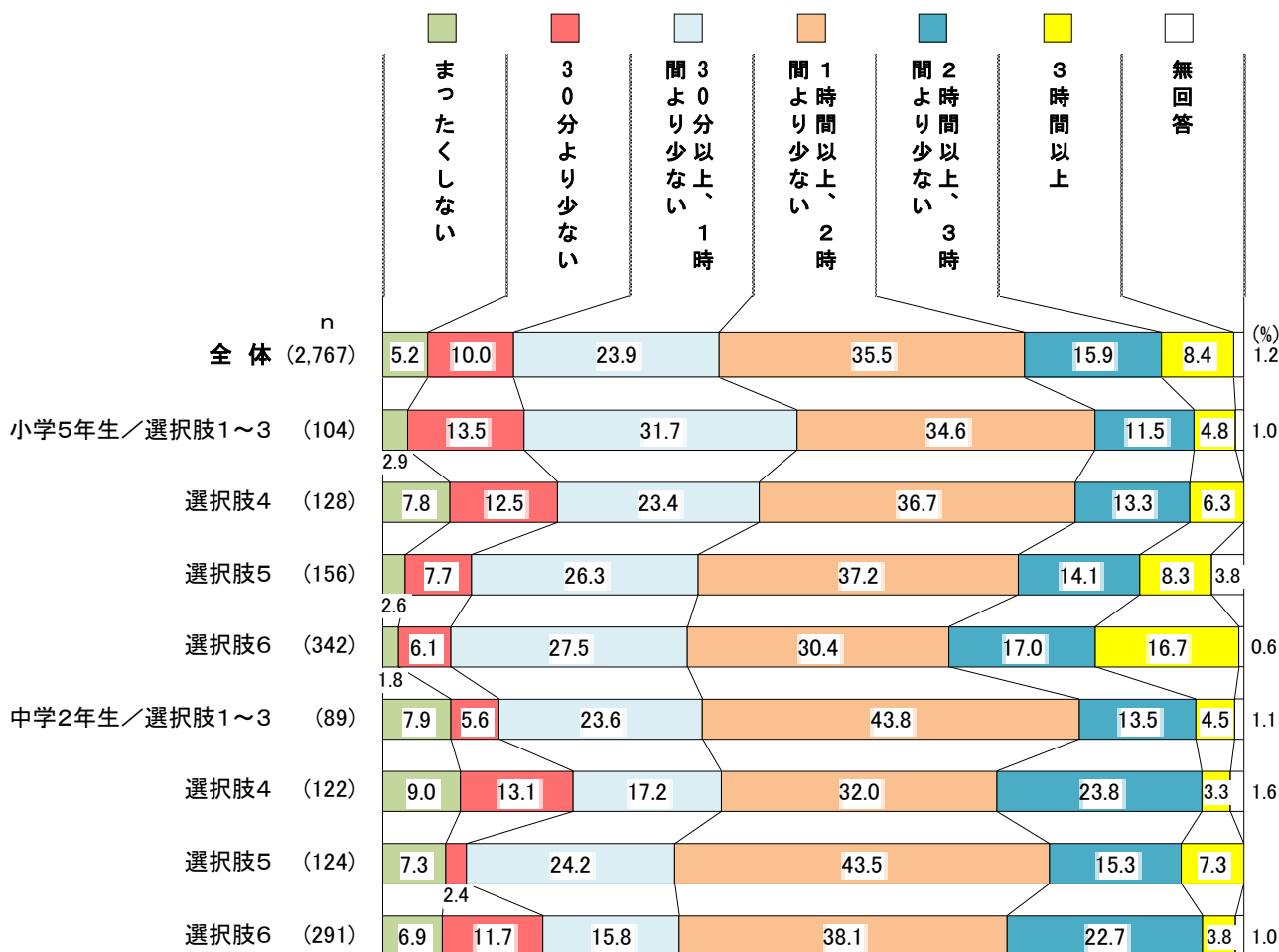


第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「1時間以上、2時間より少ない」が最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」となっている。また、選択肢6では「3時間以上」が1割台となっている。中学2年生ではいずれの層も「1時間以上、2時間より少ない」が最も高く、特に選択肢1～3と5で4割を超えている。

【図表95 学年×可処分所得別】

	調査数	まったくしない	30分より少ない	間30分以上、1時間より少ない	間1時間以上、2時間より少ない	間2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
全 体	2,767 100.0	144 5.2	278 10.0	661 23.9	981 35.5	439 15.9	232 8.4	32 1.2
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	3 2.9	14 13.5	33 31.7	36 34.6	12 11.5	5 4.8	1 1.0
選択肢4	128 100.0	10 7.8	16 12.5	30 23.4	47 36.7	17 13.3	8 6.3	—
選択肢5	156 100.0	4 2.6	12 7.7	41 26.3	58 37.2	22 14.1	13 8.3	6 3.8
選択肢6	342 100.0	6 1.8	21 6.1	94 27.5	104 30.4	58 17.0	57 16.7	2 0.6
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	7 7.9	5 5.6	21 23.6	39 43.8	12 13.5	4 4.5	1 1.1
選択肢4	122 100.0	11 9.0	16 13.1	21 17.2	39 32.0	29 23.8	4 3.3	2 1.6
選択肢5	124 100.0	9 7.3	3 2.4	30 24.2	54 43.5	19 15.3	9 7.3	—
選択肢6	291 100.0	20 6.9	34 11.7	46 15.8	111 38.1	66 22.7	11 3.8	3 1.0



(3) 学校の授業の理解状況

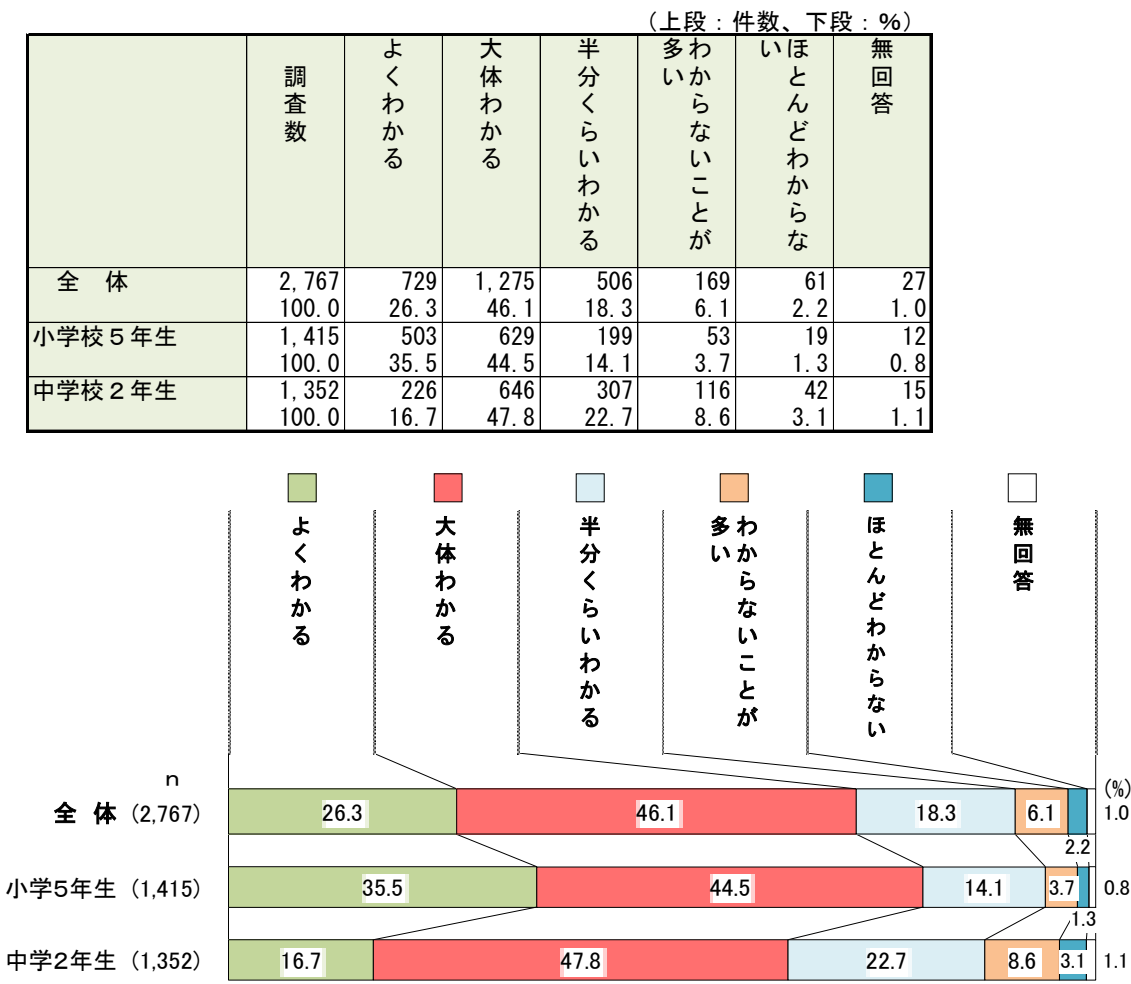
学校の授業はどのくらいわかりますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

[子ども・問24]

全体では「大体わかる」46.1%が最も高く、次いで「よくわかる」26.3%、「半分くらいわかる」18.3%、「わからないことが多い」6.1%、「ほとんどわからない」2.2%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「大体わかる」が4割台で最も高くなっており、次いで小学5年生は「よくわかる」が3割台、中学2年生は「半分くらいわかる」が2割台となっている。

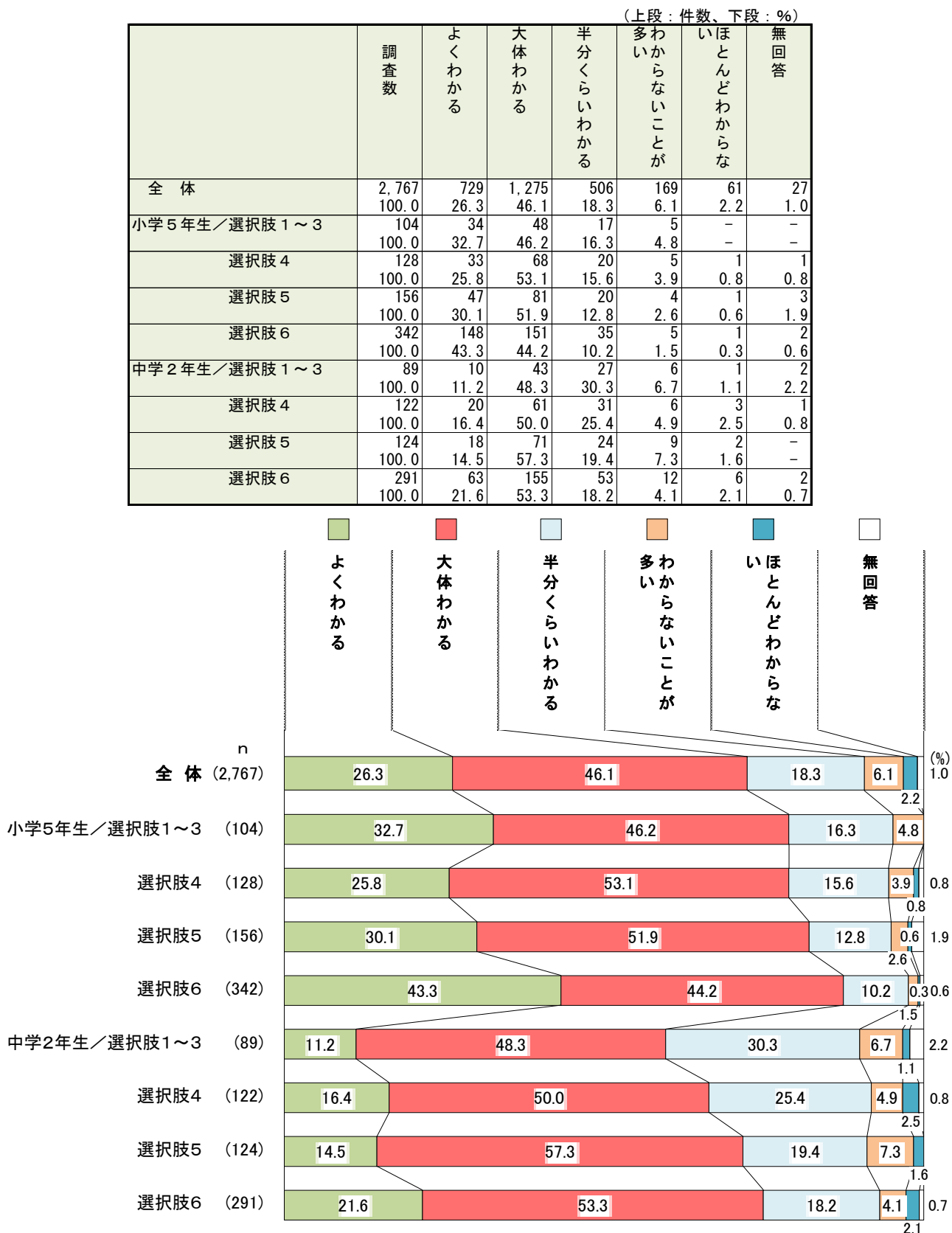
【図表96 全体・学年別】



第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「大体わかる」が最も高い。次いで「よくわかる」が高くなっており、選択肢6では4割台となっている。中学2年生ではいずれの層も「大体わかる」が最も高い。次いで、選択肢1～3、4、5では「半分くらいわかる」が高く、選択肢1～3では3割、選択肢4では4人に1人となっている。

【図表97 学年×可処分所得別】



(4) 授業が分からなくなった時期

学校の授業の理解状況で「半分くらいわかる」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」のいずれかに答えた方にお聞きます。授業が分からなくなったのはいつ頃ですか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問25]

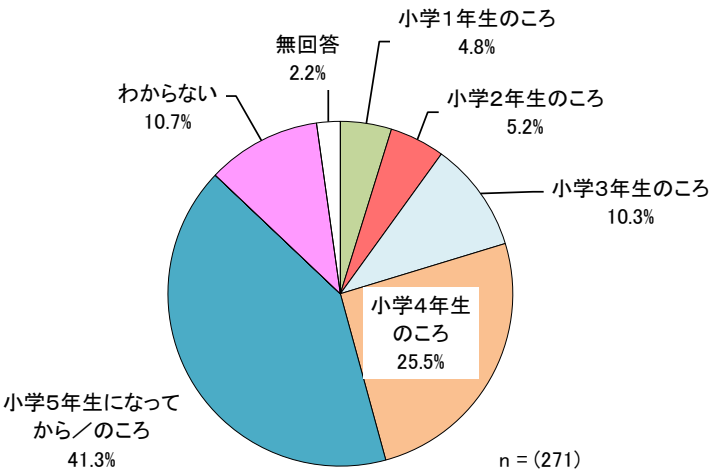
学年別でみると、小学5年生では「小学5年生になってから／のころ」が4割台で最も高く、次いで「小学4年生のころ」「小学3年生のころ」となっている。

中学2年生では「中学1年生のころ」が約4割で最も高く、次いで「中学2年生になってから」となっている。

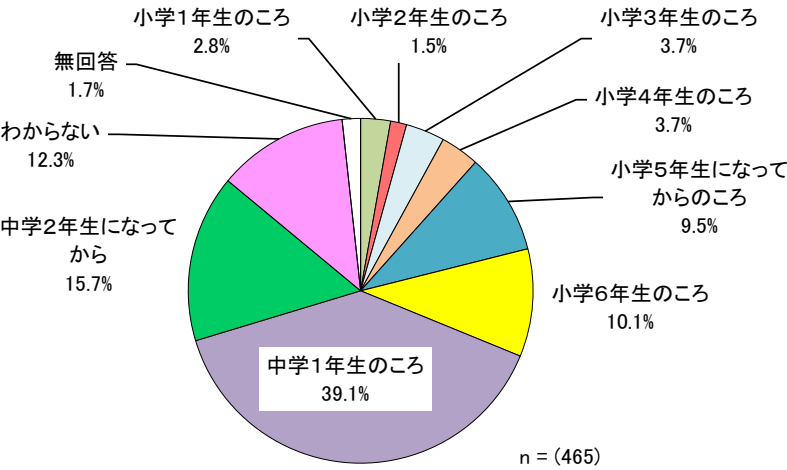
【図表98 学年別】

		(上段：件数、下段：%)									
	調査数	小学1年生のころ	小学2年生のころ	小学3年生のころ	小学4年生のころ	小学5年生のころ	小学6年生のころ	中学1年生のころ	中学2年生のころ	わからない	無回答
小学校5年生	271 100.0	13 4.8	14 5.2	28 10.3	69 25.5	112 41.3	-	-	-	29 10.7	6 2.2
中学校2年生	465 100.0	13 2.8	7 1.5	17 3.7	17 3.7	44 9.5	47 10.1	182 39.1	73 15.7	57 12.3	8 1.7

小学5年生



中学2年生



(5) 自由意見（学びについて）

子ども 小学5年生 抜粋

- 学校生活、部活が毎日とっても楽しいと感じる。
- 学校にいと楽しい 勉強していて理解するとうれしい
- いつもたくさんの人が仲よくしてくれて学校がとっても楽しいです。なやみを聞いてもらえる人もいるので安心します。
- 自分とあまり接していない先生とかに、分からない事がしっかりと聞きに行けない。

子ども 中学2年生 抜粋

- 夏は、とても学校内があつく、授業に集中できない。冬は、とても学校内がさむく、ノートにうまく字が書けない（手がかじかんでいる為）
- 学校の先生は、もっと子どもにみんなで遊べるような休日をつくるべきだと思う。子どもに必要なことは、部活と勉強と、遊びもあると思うから。その中で一番、心の底から楽しめる、「友達との遊び」のための休日は必要！
- 学校ではあまりたのしむことができなく、学校にいたくないこと。
- 部活を頑張ろうと思いますが、けっこうつらいことが多くて帰る時間もおそく、勉強する時間がないため将来の進学が心配です。

保護者 小学5年生 抜粋

- ・子供がある程度大きくなるまで、側にいてあげたいが、夫1人の給与が増えるどころが下がっているの、働こうと思っている。しかし、条件が合う所はなかなかない。
・節約しても節約しても家計は厳しい。子供に習い事や塾に通わせたいが、難しい。子供の学力や能力・成績もお金で買う時代。焦る。
- 長女が今年の春から私立高校に通っています。夢があり、大学進学も希望している為、私（母）もパートを2ヶ所かけもちしています。まだ小学校の子供の相手をほとんど出来ません。3人子供がいと、経済的負担がとて大きいです。もっと子育て支援拡大して欲しいです。
- 母子家庭の為、とにかく毎日働く収入を得ることに重点が置かれ、子どもの習い事も中々させてあげられませんでした。学校の授業以外にも復習や英語もそろそろ習わせたい、夏休みどこかに連れて行ってあげたい。でも殆どどれもできません。収入の格差＝教育の格差と社会的になっています。連鎖は一代では済まない仕組みになっています。日本は先進国の中で母子家庭の生活レベルの低さはダントツ最下位です。子ども教育にもっとお金をかけてくれるような社会的なしくみは必要だと思います。消費税10%ははっきりいって恐怖です。
- 中学生の部活で遠征があり公共交通機関を利用します。大人料金はかなり負担がかかります。必要な金額と捻出していますが、何とかならないものかと日々感じています。小学生も修学旅行費・給食費・教材費を合わせると月1万円では足りません。でも全て子どもにとってはありがたい制度ですが。中学にあがるための制服、カバン、体操服などそろそろ一式で10万では足りません。制服をもう少し安価にする事はできないものかと思っています。

保護者 中学2年生 抜粋

- ・何てことない毎日ですが、家族で顔を合わせご飯を食べたりテレビを見たり、話したりととても穏やかで幸せだと感じてます。
・学習支援はしていただけると助かります。
- 中学生が「塾に行かなければ希望の高校に入れない」のはおかしい。学校でもっと学習指導をしてほしい。(塾に行かなくとも偏差値50の高校には入れるようにして欲しいです)部活動も文化的な活動もあってよいのではないかと。スポーツ選手になる訳ではないので、休みはしっかりとらせて欲しい。
- 中学校の部活動の休みが少なく、先生、生徒共に負担が大きいと思います。公立中学の部活動は健康、体力づくりで良いと思っています。特に県外への遠征などは学校や市で制限をしても良いのではと感じます。
- 不登校を克服された方がいらっしゃれば、お話をうかがいたいのです。ただ、子供が動き出すのを待つしかないのか、何かできることがあるかを知りたいです。中学生なので、進路を相談できたり、心地良い居場所があればいいと思います。不登校の講演会などあれば参加したいです。学習障害の子に効果的な勉強方法や学習支援があれば知りたいです。
- 学校の勉強に対する姿勢が他市と比べるとあまり熱心ではないように思う。塾に通わせないと到底間に合わない現状。でも、塾に必ずしも通わせられるわけではないが、学校のフォローもあまりない様に思う。

7. 将来について

(1) 希望する最終進学先

自分（お子さん）の最終進学先について、どこまで希望しますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問26／保護者・問16]

子ども調査は、全体では「大学・短期大学」41.3%が最も高く、次いで「考えたことがない」13.2%、「専門学校・高等専門学校」12.6%、「高校」11.1%、「わからない」9.8%となっている。

学年別でみると、全体と同様に「大学・短期大学」が最も高く、小学5年生で3割台、中学2年生で5割台となっている。次いで、小学5年生では「考えたことがない」、中学2年生では「わからない」となっている。

保護者調査は、全体では「大学・短期大学」78.0%が最も高く、次いで「わからない」7.5%となっている。

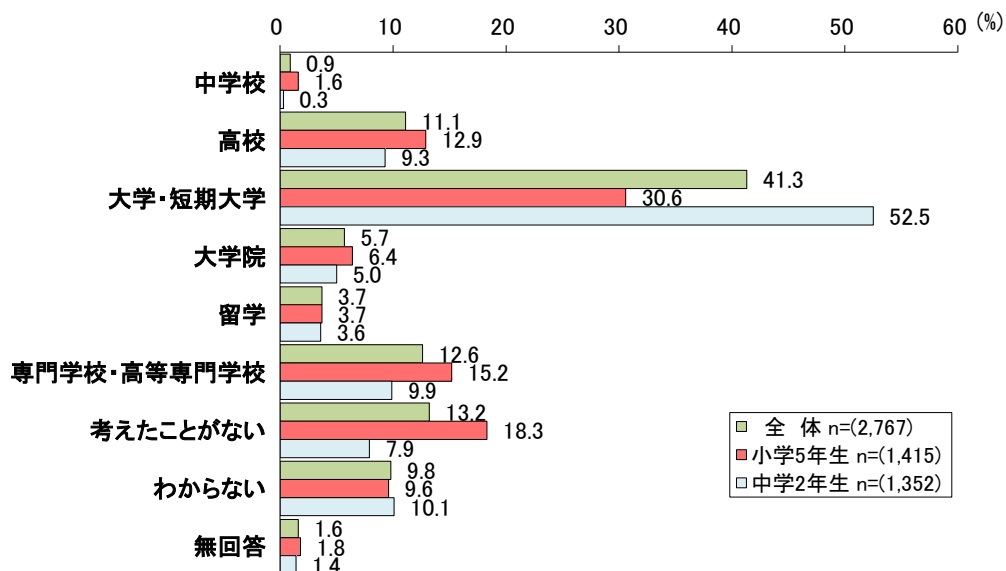
学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「大学・短期大学」が7割台と最も高くなっている。

【図表99 全体・学年別】

■子ども調査

(上段：件数、下段：%)

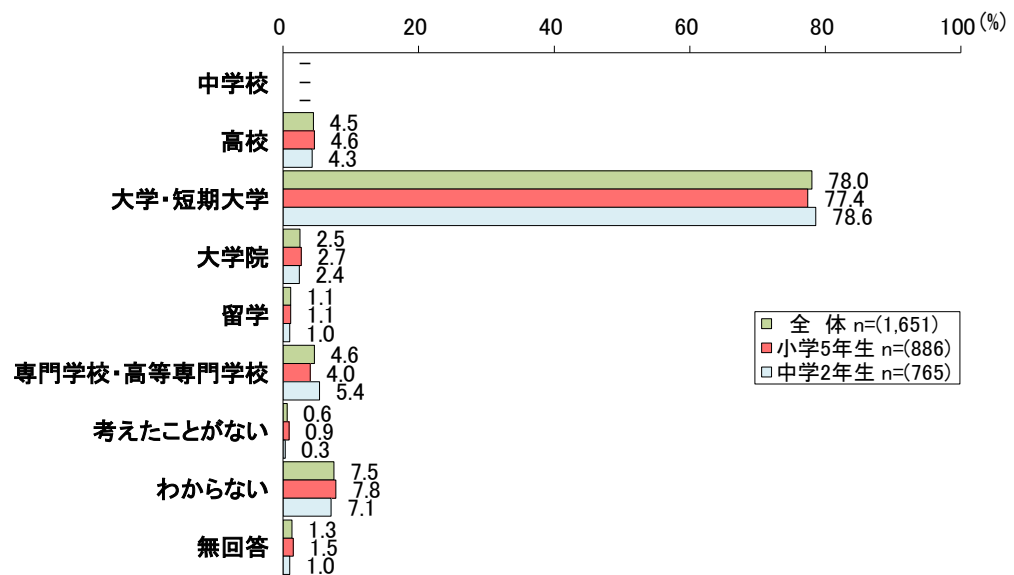
	調査数	中学校	高校	大学・短期大学	大学院	留学	専門学校・高等専門学校	考えたことがない	わからない	無回答
全 体	2,767	26	308	1,143	158	101	349	366	272	44
	100.0	0.9	11.1	41.3	5.7	3.7	12.6	13.2	9.8	1.6
小学校5年生	1,415	22	182	433	90	53	215	259	136	25
	100.0	1.6	12.9	30.6	6.4	3.7	15.2	18.3	9.6	1.8
中学校2年生	1,352	4	126	710	68	48	134	107	136	19
	100.0	0.3	9.3	52.5	5.0	3.6	9.9	7.9	10.1	1.4



■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	中学校	高校	大学・短期大学	大学院	留学	専門学校・高等専門学校	考えたことがない	わからない	無回答
全 体	1,651 100.0	- -	74 4.5	1,287 78.0	42 2.5	18 1.1	76 4.6	10 0.6	123 7.5	21 1.3
小学校5年生	886 100.0	- -	41 4.6	686 77.4	24 2.7	10 1.1	35 4.0	8 0.9	69 7.8	13 1.5
中学校2年生	765 100.0	- -	33 4.3	601 78.6	18 2.4	8 1.0	41 5.4	2 0.3	54 7.1	8 1.0



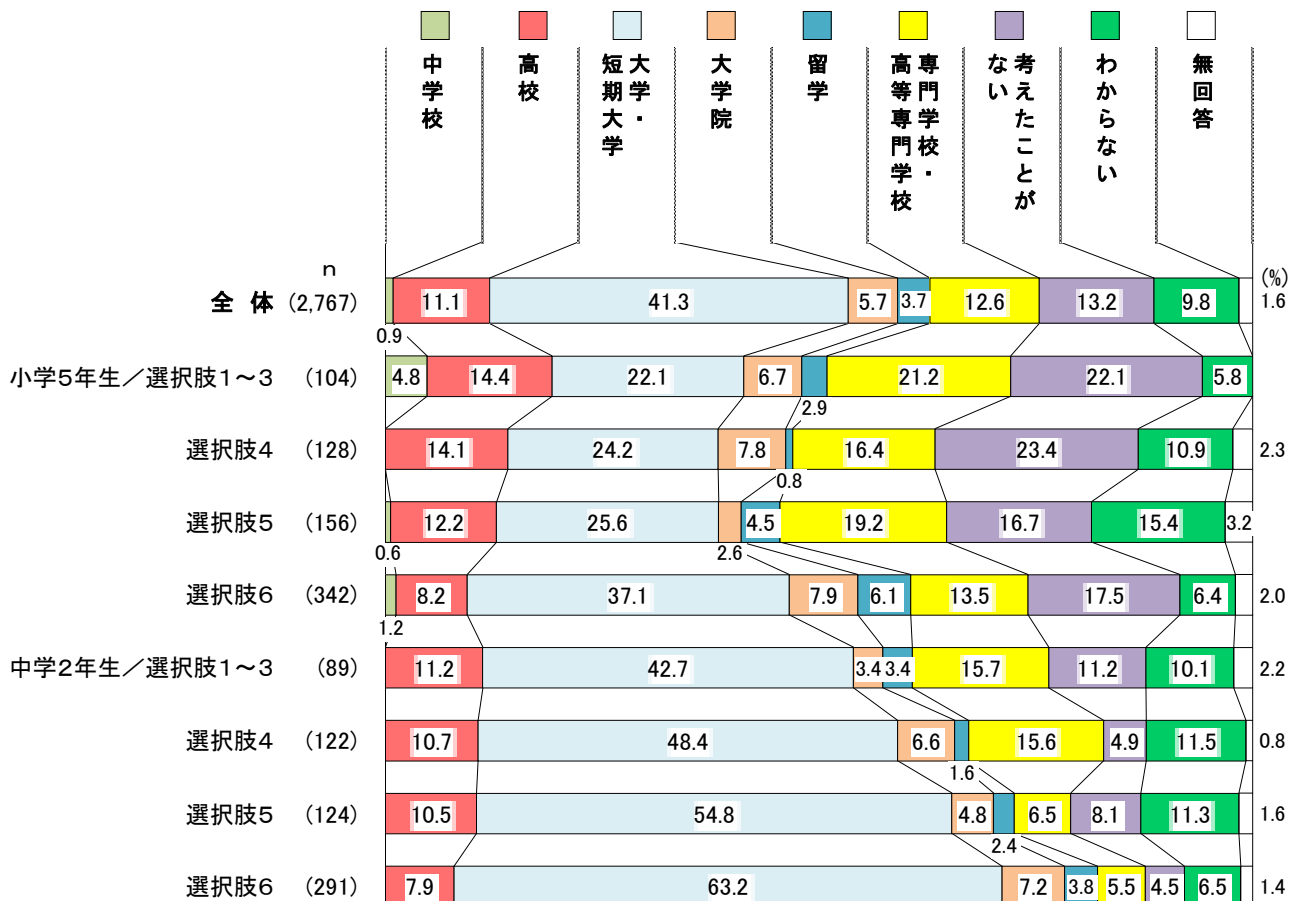
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、子ども調査では、小学5年生の選択肢1～3で「大学・短期大学」「考えたことがない」がともに高く、その他の層では「大学・短期大学」が最も高く、選択肢6で3割台となっている。中学2年生ではいずれの層も「大学・短期大学」が最も高く、特に選択肢5と6で過半数となっている。次いで、選択肢1～3と4では「専門学校・高等専門学校」が1割台となっている。

【図表100 学年×可処分所得別】

■子ども調査

	調査数	中学校	高校	短大・大学	大学院	留学	高等専門学校・校	考えたことがない	わからない	無回答
全 体	2,767	26	308	1,143	158	101	349	366	272	44
	100.0	0.9	11.1	41.3	5.7	3.7	12.6	13.2	9.8	1.6
小学5年生／選択肢1～3	104	5	15	23	7	3	22	23	6	—
	100.0	4.8	14.4	22.1	6.7	2.9	21.2	22.1	5.8	—
選択肢4	128	—	18	31	10	1	21	30	14	3
	100.0	—	14.1	24.2	7.8	0.8	16.4	23.4	10.9	2.3
選択肢5	156	1	19	40	4	7	30	26	24	5
	100.0	0.6	12.2	25.6	2.6	4.5	19.2	16.7	15.4	3.2
選択肢6	342	4	28	127	27	21	46	60	22	7
	100.0	1.2	8.2	37.1	7.9	6.1	13.5	17.5	6.4	2.0
中学2年生／選択肢1～3	89	—	10	38	3	3	14	10	9	2
	100.0	—	11.2	42.7	3.4	3.4	15.7	11.2	10.1	2.2
選択肢4	122	—	13	59	8	2	19	6	14	1
	100.0	—	10.7	48.4	6.6	1.6	15.6	4.9	11.5	0.8
選択肢5	124	—	13	68	6	3	8	10	14	2
	100.0	—	10.5	54.8	4.8	2.4	6.5	8.1	11.3	1.6
選択肢6	291	—	23	184	21	11	16	13	19	4
	100.0	—	7.9	63.2	7.2	3.8	5.5	4.5	6.5	1.4

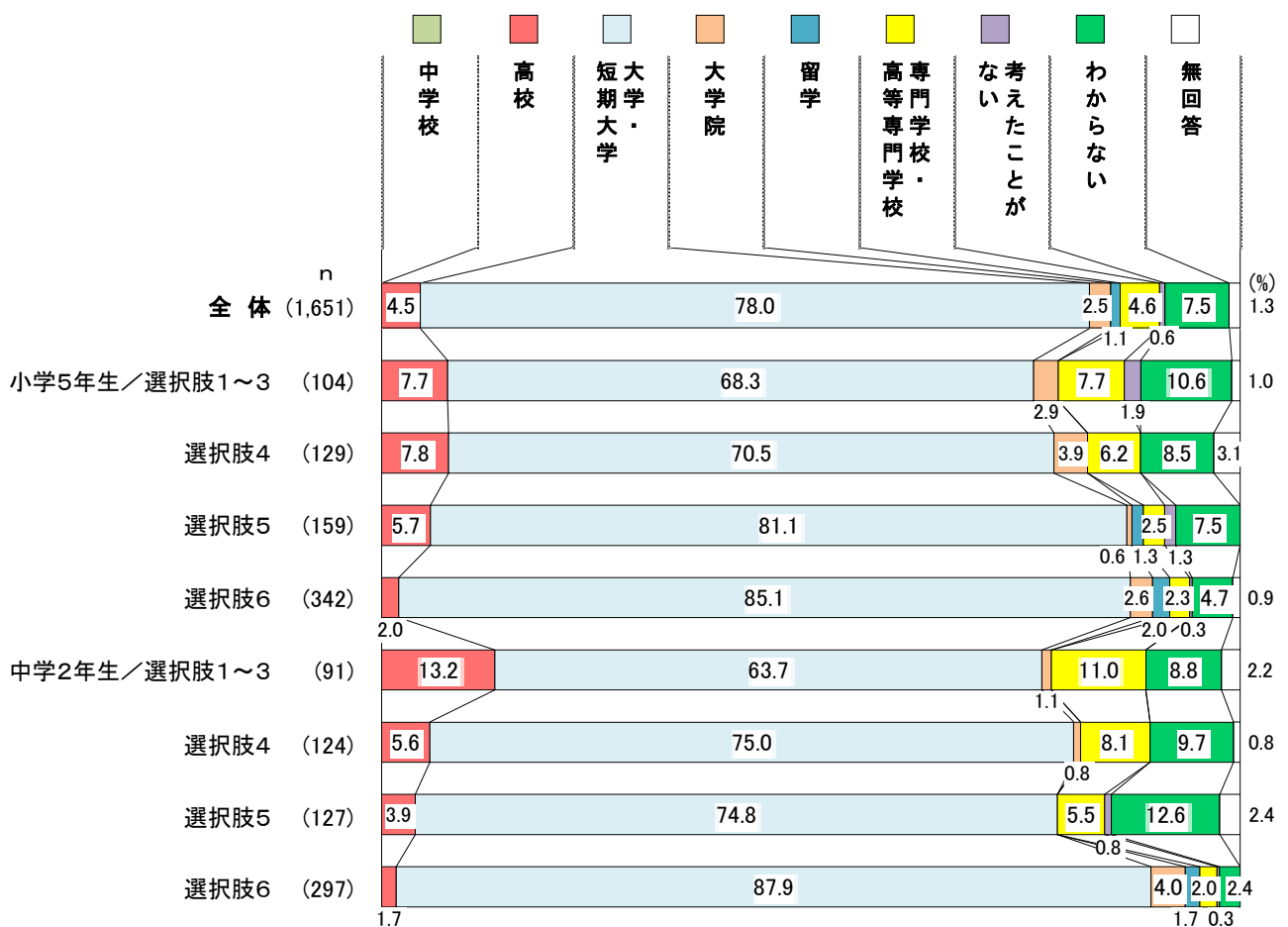


保護者調査では、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「大学・短期大学」が最も高く、特に小学5年生の選択肢5と6、中学2年生の選択肢6で8割台となっている。

■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	中学校	高校	短大・ 短期大学	大学院	留学	高等専門 学校・ 専門学校	考えた ことが ない	わからない	無回答
全 体	1,651	-	74	1,287	42	18	76	10	123	21
	100.0	-	4.5	78.0	2.5	1.1	4.6	0.6	7.5	1.3
小学5年生／選択肢1～3	104	-	8	71	3	-	8	2	11	1
	100.0	-	7.7	68.3	2.9	-	7.7	1.9	10.6	1.0
選択肢4	129	-	10	91	5	-	8	-	11	4
	100.0	-	7.8	70.5	3.9	-	6.2	-	8.5	3.1
選択肢5	159	-	9	129	1	2	4	2	12	-
	100.0	-	5.7	81.1	0.6	1.3	2.5	1.3	7.5	-
選択肢6	342	-	7	291	9	7	8	1	16	3
	100.0	-	2.0	85.1	2.6	2.0	2.3	0.3	4.7	0.9
中学2年生／選択肢1～3	91	-	12	58	1	-	10	-	8	2
	100.0	-	13.2	63.7	1.1	-	11.0	-	8.8	2.2
選択肢4	124	-	7	93	1	-	10	-	12	1
	100.0	-	5.6	75.0	0.8	-	8.1	-	9.7	0.8
選択肢5	127	-	5	95	-	-	7	1	16	3
	100.0	-	3.9	74.8	-	-	5.5	0.8	12.6	2.4
選択肢6	297	-	5	261	12	5	6	1	7	-
	100.0	-	1.7	87.9	4.0	1.7	2.0	0.3	2.4	-



(2) 希望通りの学校まで進むと思うか

自分（お子さん）が最終進学先の希望通りの学校まで進むことになると思いますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問27／保護者・問17]

子ども調査は、全体では「わからない」43.4%が最も高く、次いで「思う」35.4%、「思わない」18.6%となっている。

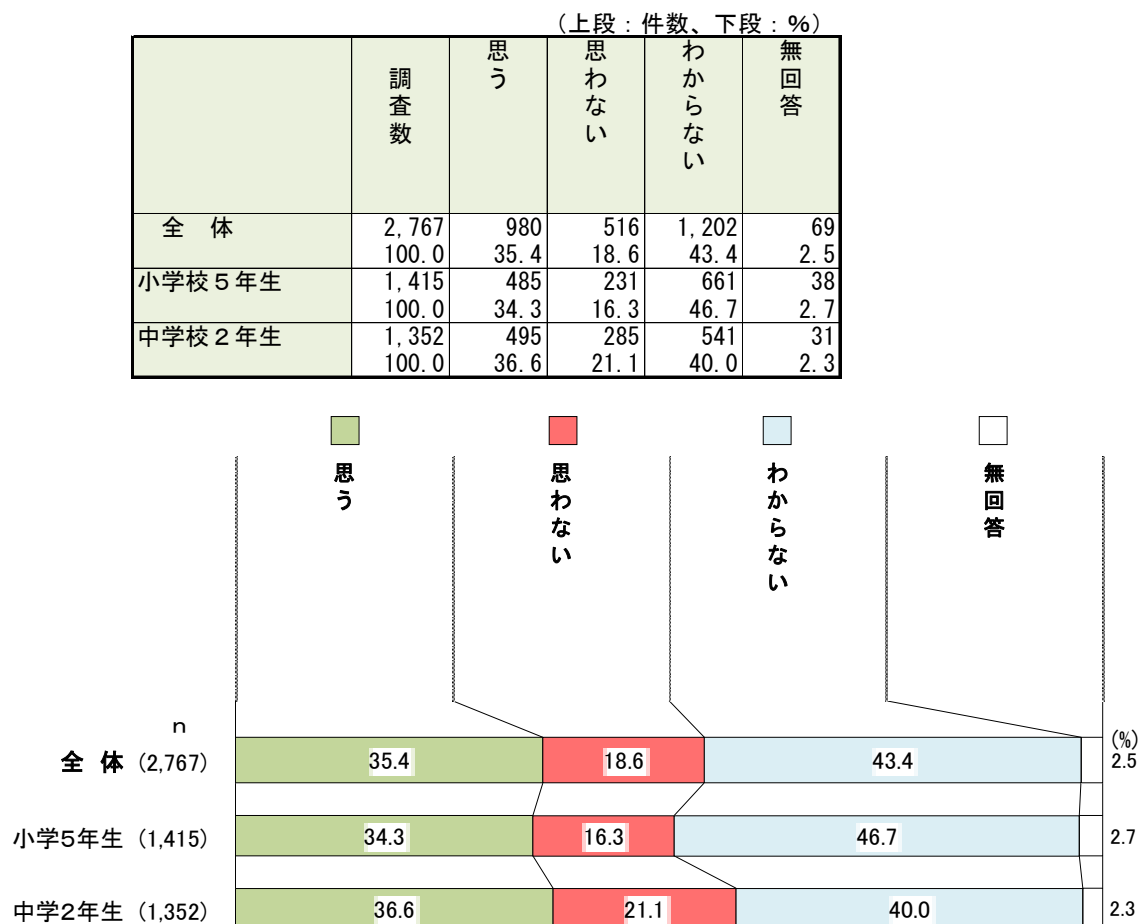
学年別でみると、全体と同様に「わからない」が最も高く、小学5年生・中学2年生ともに「思う」が3割台となっている。一方で、中学2年生では「思わない」が2割台となっている。

保護者調査は、全体では「わからない」49.8%が最も高く、次いで「思う」43.3%、「思わない」5.5%となっている。

学年別でみると、全体と同様に「わからない」が最も高く、小学5年生・中学2年生ともに「思う」が4割台となっている。

【図表101 全体・学年別】

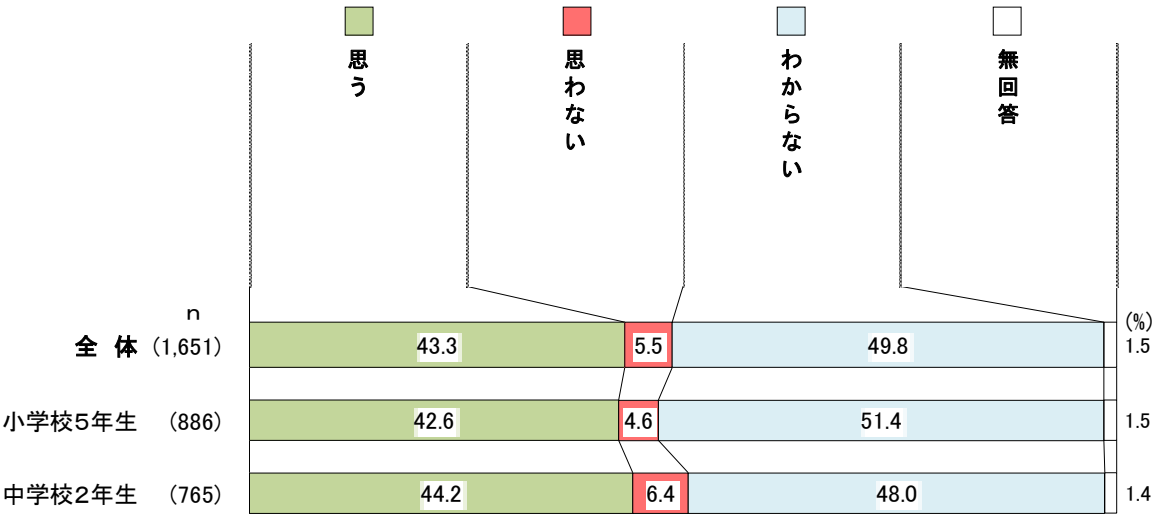
■子ども調査



■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	思う	思わない	わからない	無回答
全 体	1,651 100.0	715 43.3	90 5.5	822 49.8	24 1.5
小学校5年生	886 100.0	377 42.6	41 4.6	455 51.4	13 1.5
中学校2年生	765 100.0	338 44.2	49 6.4	367 48.0	11 1.4



第2章 調査の結果詳細

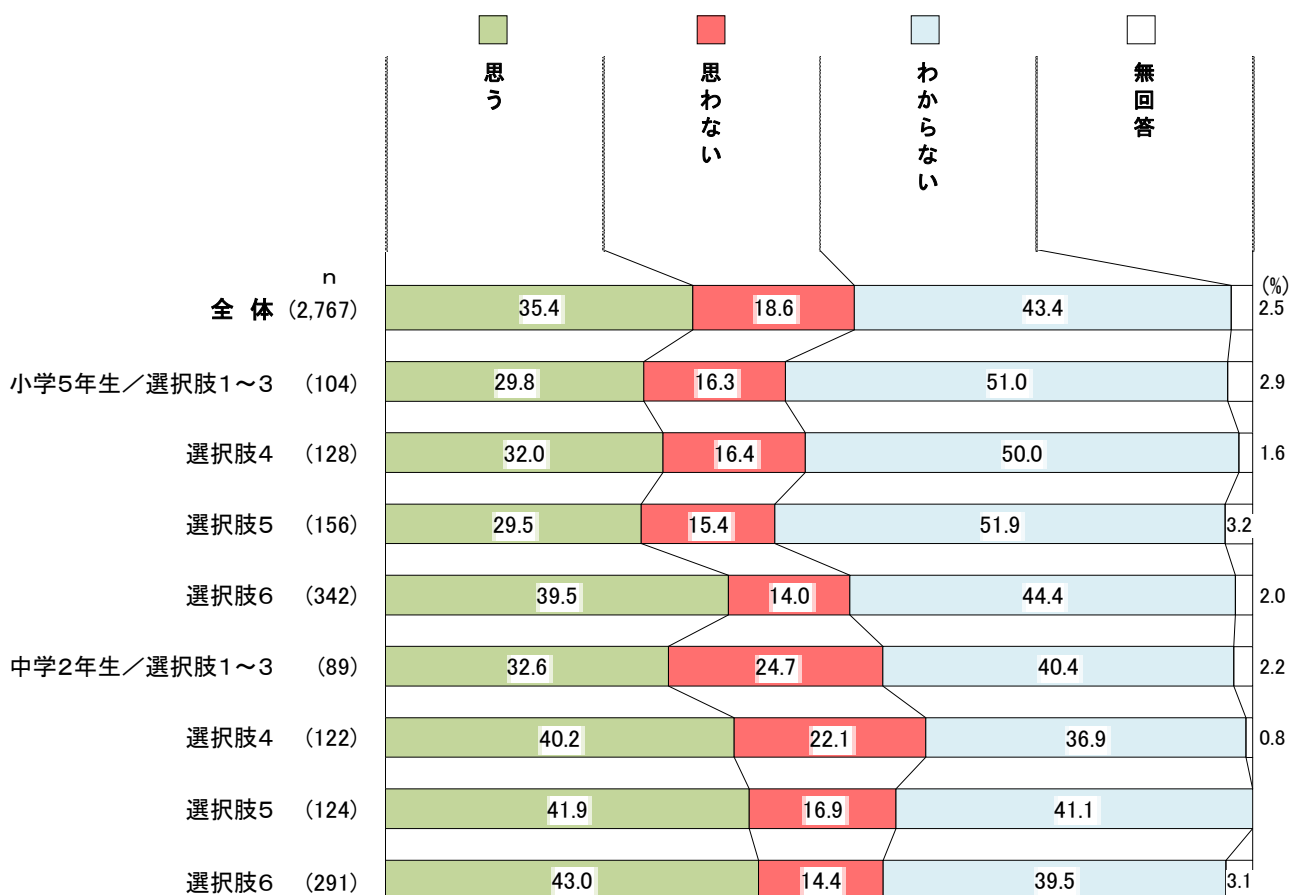
学年×可処分所得別でみると、子ども調査では、小学5年生のいずれの層も「わからない」が最も高く、次いで「思う」が高くなっている。中学2年生では選択肢1～3で「わからない」、選択肢4から6で「思う」が最も高くなっている。

【図表102 学年×可処分所得別】

■子ども調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	思う	思わない	わからない	無回答
全 体	2,767 100.0	980 35.4	516 18.6	1,202 43.4	69 2.5
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	31 29.8	17 16.3	53 51.0	3 2.9
選択肢4	128 100.0	41 32.0	21 16.4	64 50.0	2 1.6
選択肢5	156 100.0	46 29.5	24 15.4	81 51.9	5 3.2
選択肢6	342 100.0	135 39.5	48 14.0	152 44.4	7 2.0
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	29 32.6	22 24.7	36 40.4	2 2.2
選択肢4	122 100.0	49 40.2	27 22.1	45 36.9	1 0.8
選択肢5	124 100.0	52 41.9	21 16.9	51 41.1	— —
選択肢6	291 100.0	125 43.0	42 14.4	115 39.5	9 3.1

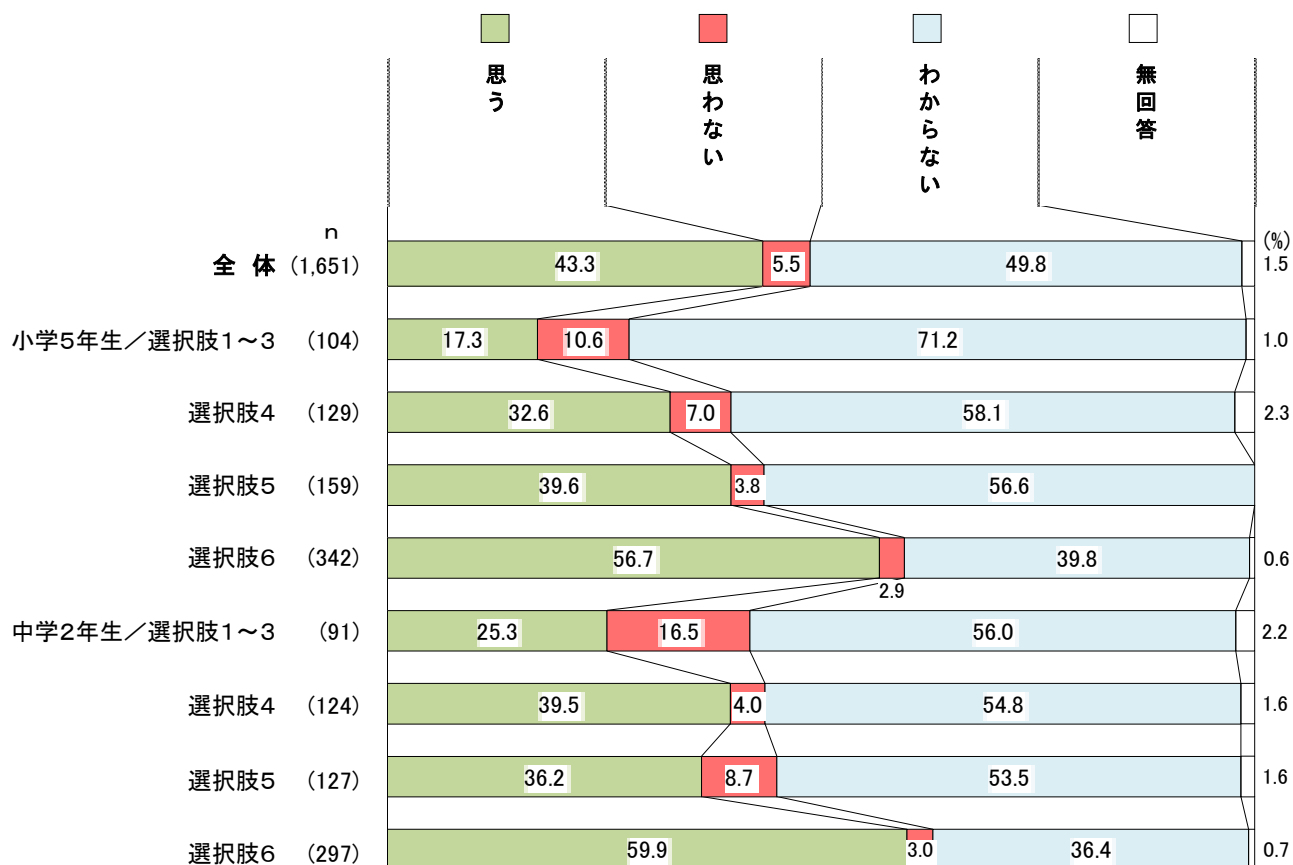


保護者調査では、小学5年生・中学2年生ともに選択肢1～3、4、5で「わからない」が最も高く、小学5年生の選択肢1～3では7割を超えている。一方で、選択肢6で「思う」が過半数となっている。

■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	思う	思わない	わからない	無回答
全 体	1,651 100.0	715 43.3	90 5.5	822 49.8	24 1.5
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	18 17.3	11 10.6	74 71.2	1 1.0
選択肢4	129 100.0	42 32.6	9 7.0	75 58.1	3 2.3
選択肢5	159 100.0	63 39.6	6 3.8	90 56.6	— —
選択肢6	342 100.0	194 56.7	10 2.9	136 39.8	2 0.6
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	23 25.3	15 16.5	51 56.0	2 2.2
選択肢4	124 100.0	49 39.5	5 4.0	68 54.8	2 1.6
選択肢5	127 100.0	46 36.2	11 8.7	68 53.5	2 1.6
選択肢6	297 100.0	178 59.9	9 3.0	108 36.4	2 0.7



(3) 希望通りの学校まで進むと思わない理由

希望通りの学校まで進むと思うかで「思わない」と答えた方にお聞きます。あてはまるものすべてに○をつけてください。[子ども・問28／保護者・問18]

子ども調査は、全体では「自分の学力から」81.6%が最も高く、次いで「経済的な余裕がないから」14.7%、「おうちの大人の人の希望と異なるから」10.9%、「その他」5.6%、「特に理由はない」4.8%となっている。

「その他」の主な記述内容は『自信がない』『将来がわからない』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「自分の学力から」が最も高くなっており、小学5年生で7割台、中学2年生で8割台となっている。

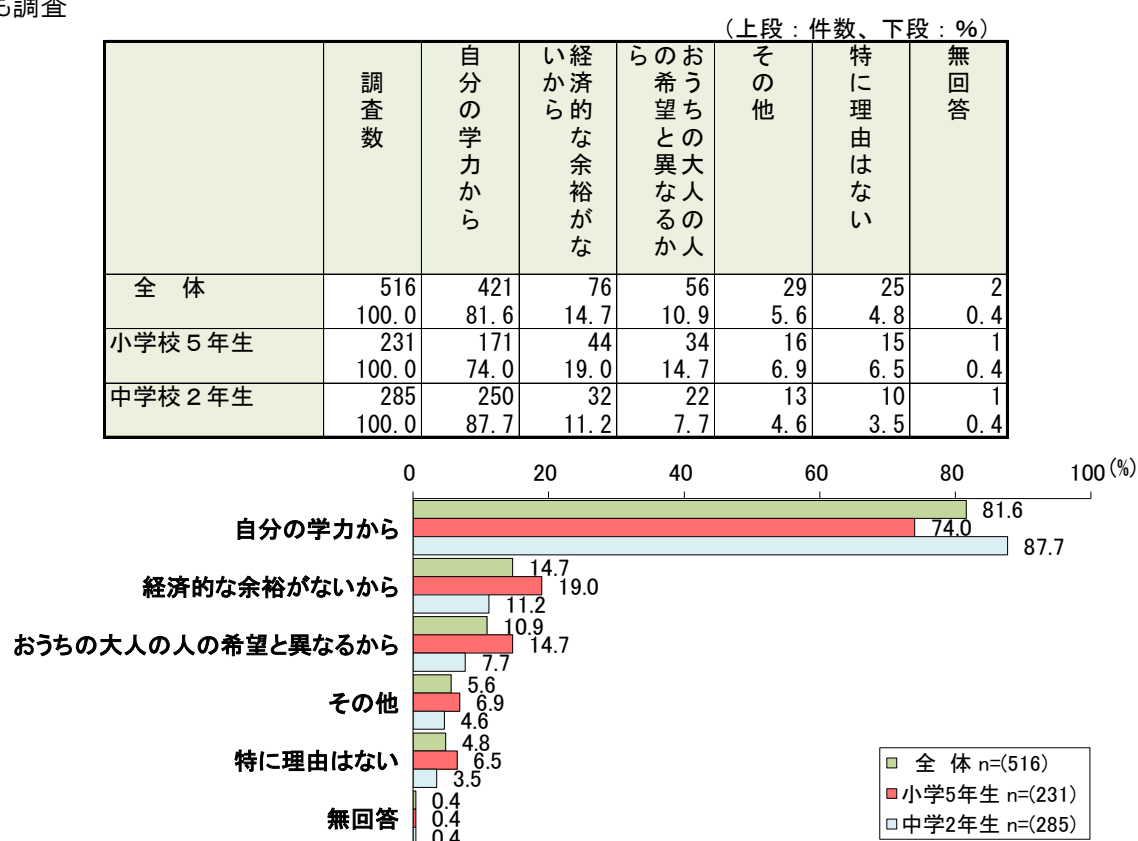
保護者調査は、全体では「子どもの学力から」47.8%が最も高く、次いで「経済的な余裕がないから」46.7%、「子ども本人の希望と異なるから」23.3%、「その他」20.0%、「特に理由はない」6.7%となっている。

「その他」の主な記述内容は『本人の希望がまだわからない』『子どものやる気がわからない』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「子どもの学力から」が5割台で最も高く、次いで「経済的な余裕がないから」、中学2年生では「経済的な余裕がないから」「子どもの学力から」がともに4割台となっている。また、中学2年生では「子ども本人の希望と異なるから」が3割台となっている。

【図表103 全体・学年別】

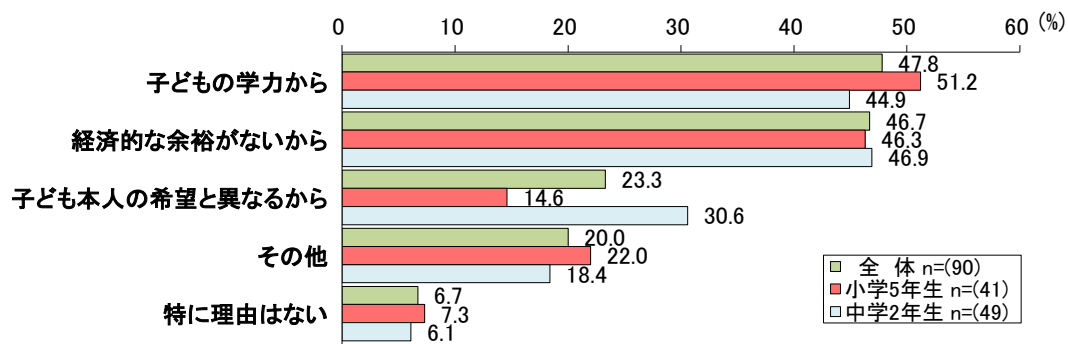
■子ども調査



■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	子どもの学力から	経済的な余裕がないから	子ども本人の希望と異なるから	その他	特に理由はない
全 体	90 100.0	43 47.8	42 46.7	21 23.3	18 20.0	6 6.7
小学校5年生	41 100.0	21 51.2	19 46.3	6 14.6	9 22.0	3 7.3
中学校2年生	49 100.0	22 44.9	23 46.9	15 30.6	9 18.4	3 6.1



第2章 調査の結果詳細

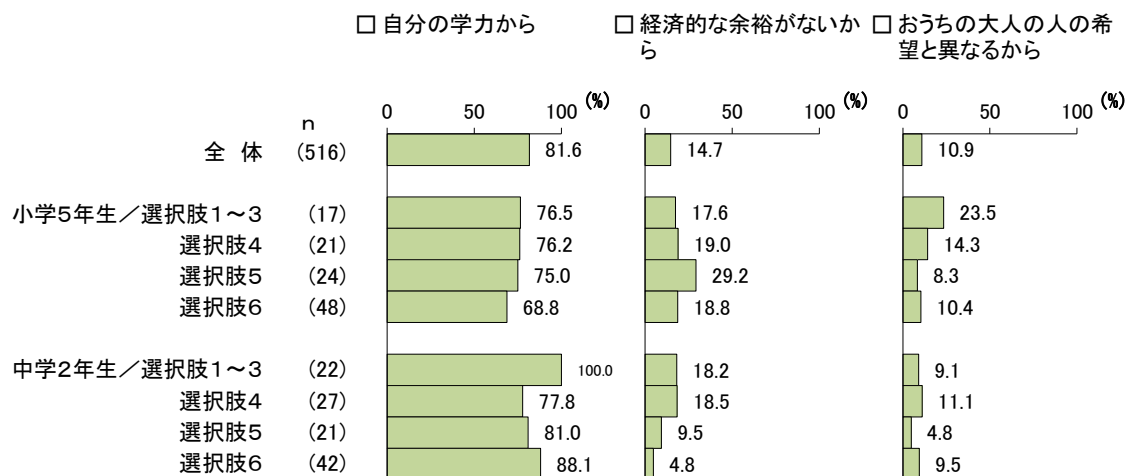
学年×可処分所得別でみると、子ども調査では、回答者が少ないため参考程度にとどめるが、いずれの層も「自分の学力から」が最も高くなっている。また、小学5年生の選択肢5では「経済的な余裕がないから」、小学5年生の選択肢1～3では「おうちの大人の人の希望と異なるから」が高くなっている。

【図表104 学年×可処分所得別】

■子ども調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	自分の学力から	経済的な余裕がないから	おうちの大人の人の希望と異なるから
全 体	516 100.0	421 81.6	76 14.7	56 10.9
小学5年生／選択肢1～3	17 100.0	13 76.5	3 17.6	4 23.5
選択肢4	21 100.0	16 76.2	4 19.0	3 14.3
選択肢5	24 100.0	18 75.0	7 29.2	2 8.3
選択肢6	48 100.0	33 68.8	9 18.8	5 10.4
中学2年生／選択肢1～3	22 100.0	22 100.0	4 18.2	2 9.1
選択肢4	27 100.0	21 77.8	5 18.5	3 11.1
選択肢5	21 100.0	17 81.0	2 9.5	1 4.8
選択肢6	42 100.0	37 88.1	2 4.8	4 9.5

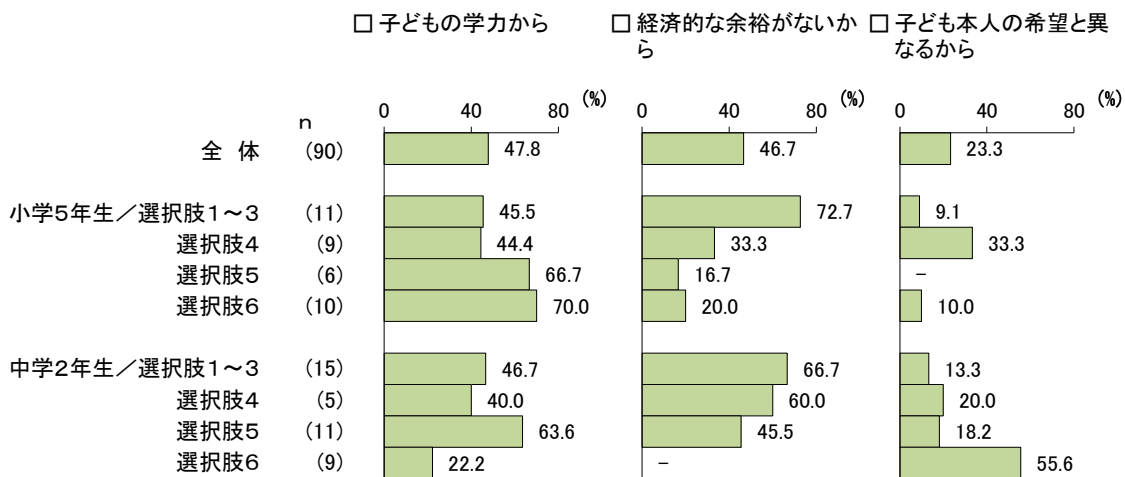


保護者調査では、回答者が少ないため参考程度にとどめるが、小学5年生・中学2年生ともに選択肢1～3、中学2年生の選択肢4で「経済的な余裕がないから」、小学5年生の選択肢6と中学2年生の選択肢5で「子どもの学力から」が高くなっている。

■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	子どもの学力から	経済的な余裕がないから	子ども本人の希望と異なるから
全 体	90 100.0	43 47.8	42 46.7	21 23.3
小学5年生／選択肢1～3	11 100.0	5 45.5	8 72.7	1 9.1
選択肢4	9 100.0	4 44.4	3 33.3	3 33.3
選択肢5	6 100.0	4 66.7	1 16.7	— —
選択肢6	10 100.0	7 70.0	2 20.0	1 10.0
中学2年生／選択肢1～3	15 100.0	7 46.7	10 66.7	2 13.3
選択肢4	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0
選択肢5	11 100.0	7 63.6	5 45.5	2 18.2
選択肢6	9 100.0	2 22.2	— —	5 55.6



第2章 調査の結果詳細

(4) 将来の夢や目標の有無

将来の夢や目標を持っていますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

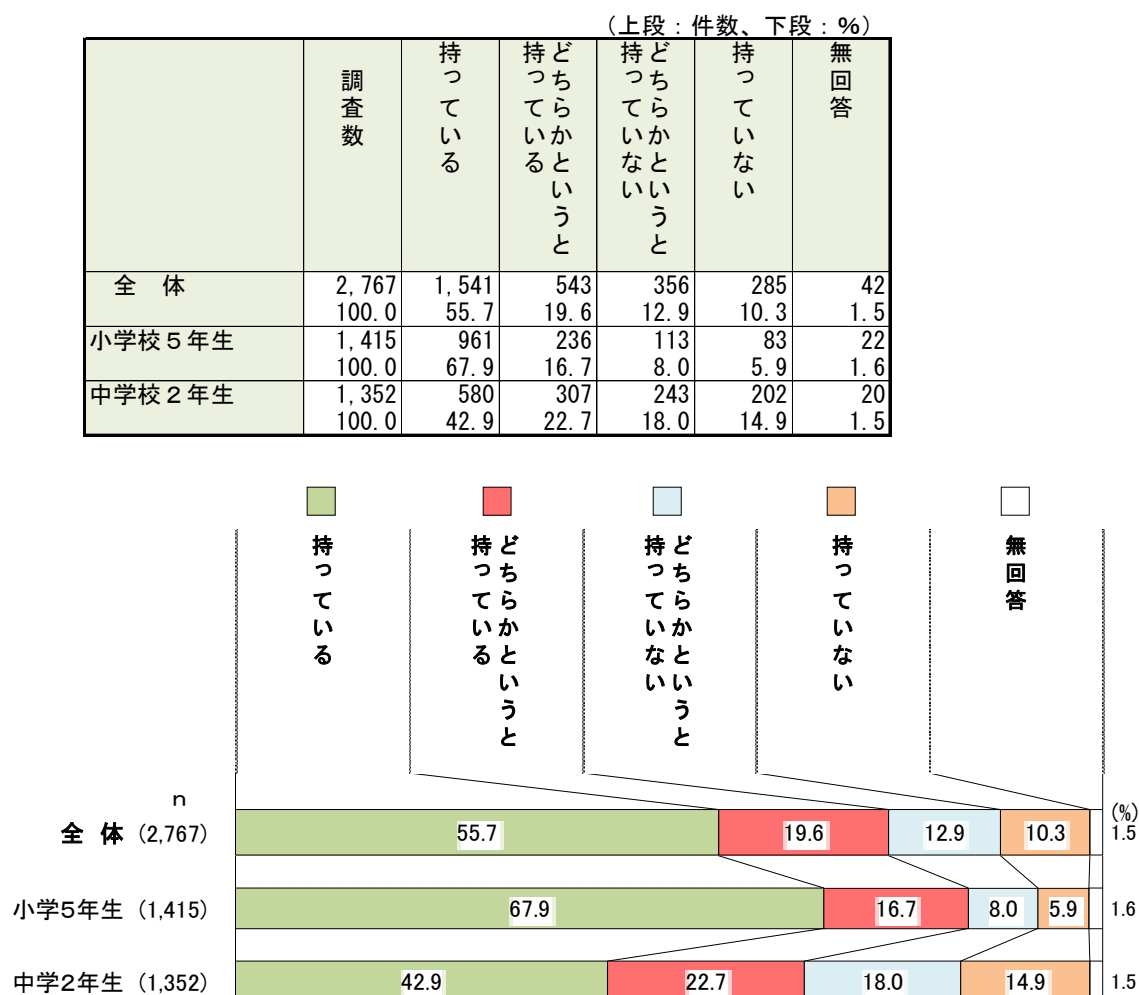
[子ども・問30]

全体では「持っている」55.7%が最も高く、次いで「どちらかというを持っている」19.6%、「どちらかというを持っていない」12.9%、「持っていない」10.3%となっている。

『持っている』（「持っている」＋「どちらかというを持っている」）との回答は75.3%、一方、『持っていない』（「持っていない」＋「どちらかというを持っていない」）との回答は23.2%であり、全体としては『持っている』人が多くなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「持っている」が最も高くなっており、小学5年生で6割台、中学2年生で4割台となっている。

【図表105 全体・学年別】

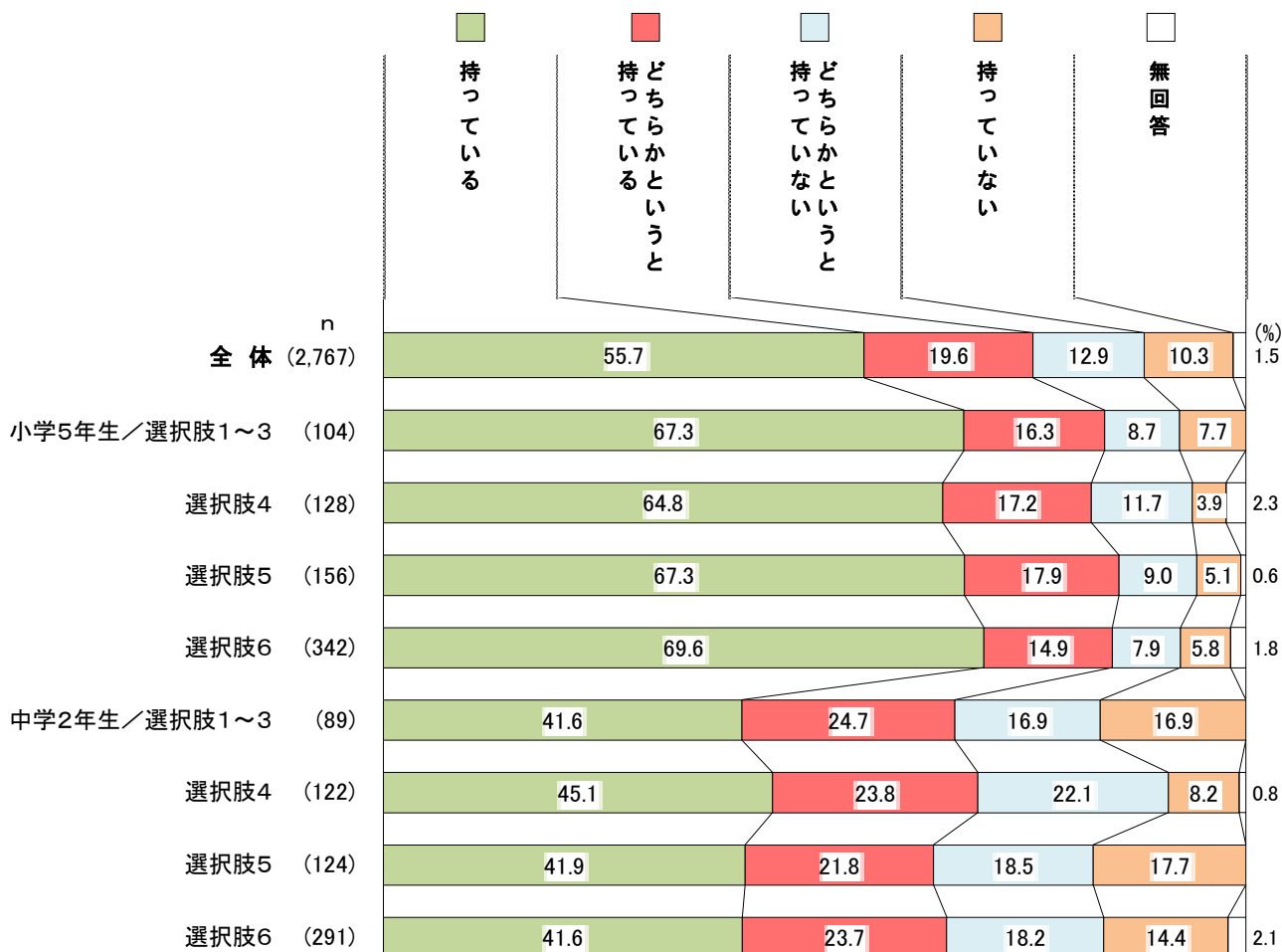


学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も『持っている』が8割台と高くなっている。中学2年生ではいずれの層も『持っている』が6割台と高く、『持っていない』が3割台となっている。

【図表106 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	持っている	どちらかというと	どちらかというと	持っていない	無回答
全 体	2,767	1,541	543	356	285	42
	100.0	55.7	19.6	12.9	10.3	1.5
小学5年生／選択肢1～3	104	70	17	9	8	—
	100.0	67.3	16.3	8.7	7.7	—
選択肢4	128	83	22	15	5	3
	100.0	64.8	17.2	11.7	3.9	2.3
選択肢5	156	105	28	14	8	1
	100.0	67.3	17.9	9.0	5.1	0.6
選択肢6	342	238	51	27	20	6
	100.0	69.6	14.9	7.9	5.8	1.8
中学2年生／選択肢1～3	89	37	22	15	15	—
	100.0	41.6	24.7	16.9	16.9	—
選択肢4	122	55	29	27	10	1
	100.0	45.1	23.8	22.1	8.2	0.8
選択肢5	124	52	27	23	22	—
	100.0	41.9	21.8	18.5	17.7	—
選択肢6	291	121	69	53	42	6
	100.0	41.6	23.7	18.2	14.4	2.1

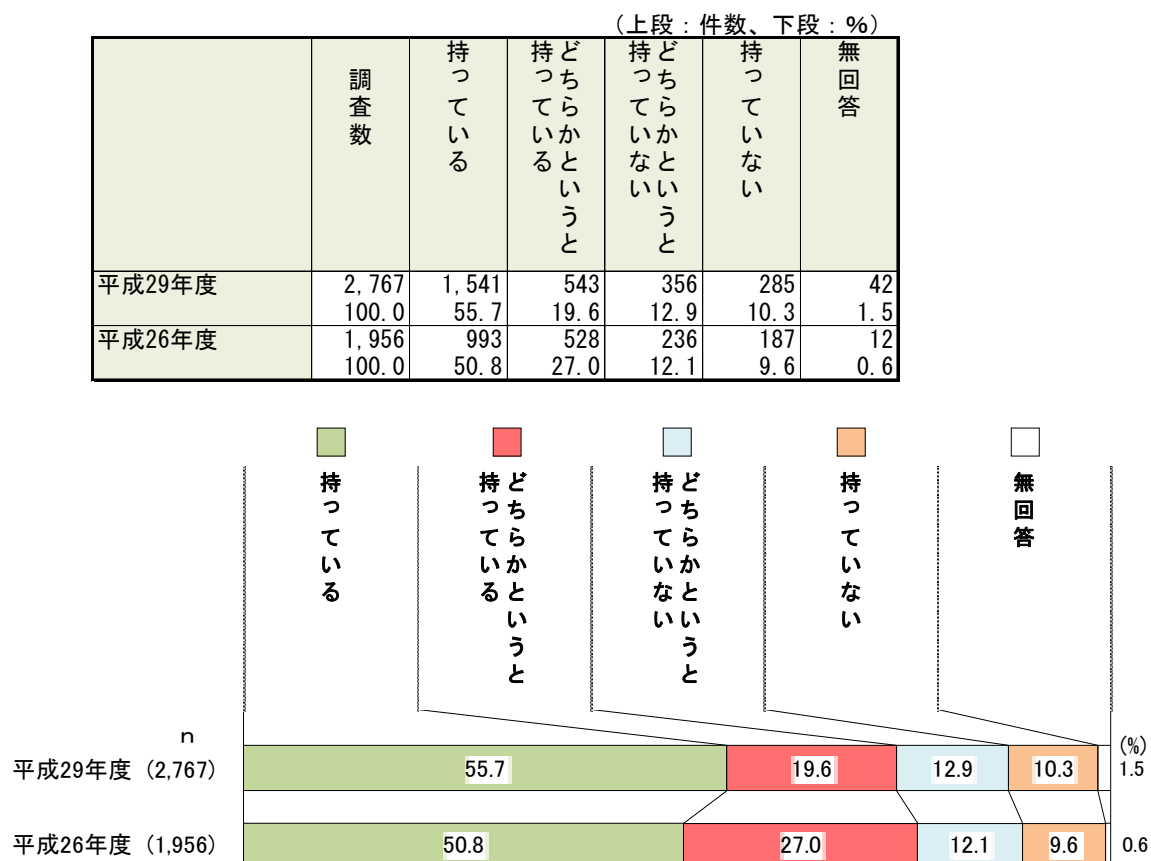


経年比較

平成26年度と比較すると、「持っている」が増加している。一方で、「どちらかというを持っている」が減少している。

『持っている』（「持っている」＋「どちらかというを持っている」）との回答は平成26年度から減少している。

<図表107 経年比較>



8. 自分自身について

(1) 何をしている時にうれしいと感じるか

あなたがふだんうれしいと感じるのは何をしている時ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。[子ども・問29]

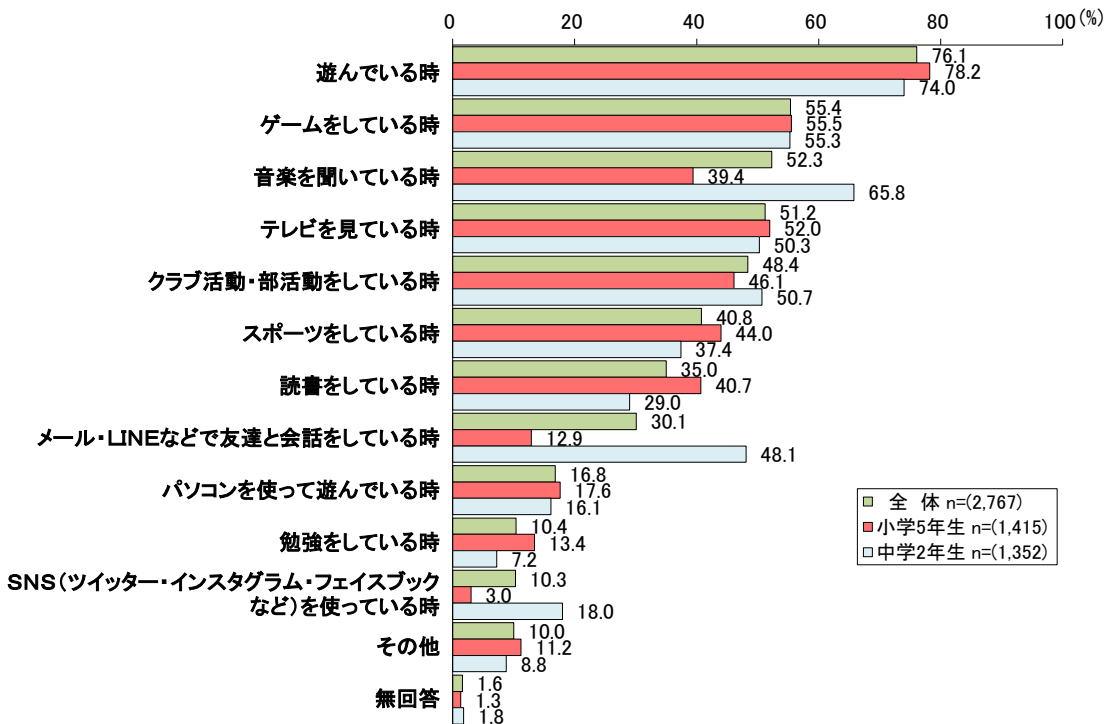
全体では「遊んでいる時」76.1%が最も高く、次いで「ゲームをしている時」55.4%、「音楽を聞いている時」52.3%、「テレビを見ている時」51.2%、「クラブ活動・部活動をしている時」48.4%となっている。

「その他」の主な記述内容は『寝る時』『家族といる時』『ご飯を食べる時』『ペットと遊んでいる時』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「遊んでいる時」が7割台で最も高くなっている。次いで、小学5年生では「ゲームをしている時」「テレビを見ている時」が5割台、中学2年生では「音楽を聞いている時」が6割台となっている。また、「メール・LINEなどで友達と会話をしている時」は中学2年生で4割台となっている。

【図表108 全体・学年別】

	調査数	遊んでいる時	ゲームをしている時	音楽を聞いている時	テレビを見ている時	いる時 クラブ活動・部活動をして	スポーツをしている時	読書をしている時	達と会話をして メール・LINEなどで友	る時 パソコンを使って遊んでい	勉強をしている時	クスタグ SNS(ツィッター・フエ イ・ブツ	その他	無回答
全体	2,767	2,107	1,533	1,448	1,416	1,338	1,128	968	833	466	287	285	277	43
	100.0	76.1	55.4	52.3	51.2	48.4	40.8	35.0	30.1	16.8	10.4	10.3	10.0	1.6
小学校5年生	1,415	1,107	786	558	736	653	622	576	183	249	190	42	158	19
	100.0	78.2	55.5	39.4	52.0	46.1	44.0	40.7	12.9	17.6	13.4	3.0	11.2	1.3
中学校2年生	1,352	1,000	747	890	680	685	506	392	650	217	97	243	119	24
	100.0	74.0	55.3	65.8	50.3	50.7	37.4	29.0	48.1	16.1	7.2	18.0	8.8	1.8



経年比較

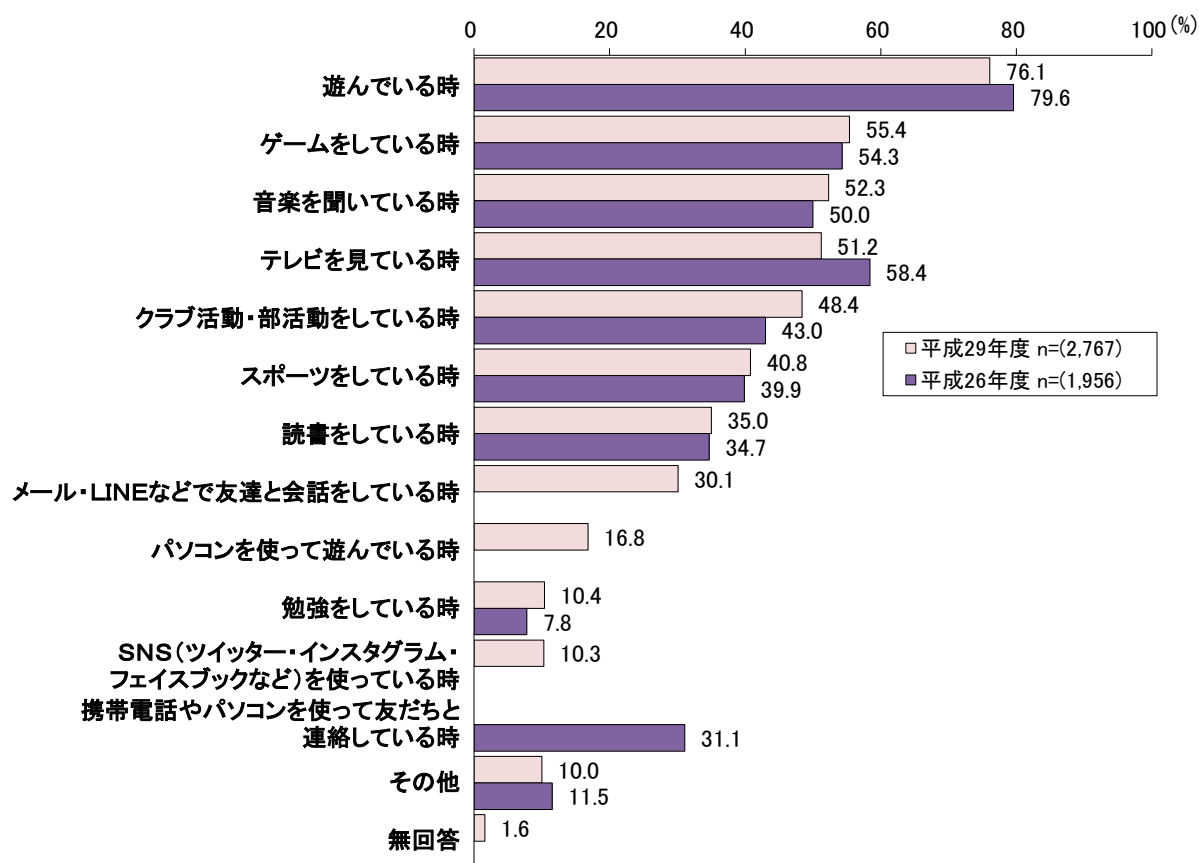
平成26年度と比較すると、「クラブ活動・部活動をしている時」、「勉強をしている時」「音楽を聞いている時」などが増加している。

一方で、「テレビを見ている時」「遊んでいる時」が減少している。

＜図表109 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)

	調査数	遊んでいる時	ゲームをしている時	音楽を聞いている時	テレビを見ている時	クラブ活動・部活動をしている時	スポーツをしている時	読書をしている時	メール・LINEなどで友達と会話をしている時	パソコンを使って遊んでいる時	勉強をしている時	SNS(ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなど)を使っている時	携帯電話やパソコンを使って友達と連絡している時	その他	無回答
平成29年度	2,767	2,107	1,533	1,448	1,416	1,338	1,128	968	833	466	287	285		277	43
	100.0	76.1	55.4	52.3	51.2	48.4	40.8	35.0	30.1	16.8	10.4	10.3		10.0	1.6
平成26年度	1,956	1,557	1,062	978	1,143	842	780	679			153		609	224	-
	100.0	79.6	54.3	50.0	58.4	43.0	39.9	34.7			7.8		31.1	11.5	-



※「メール・LINEなどで友達と会話をしている時」「パソコンを使って遊んでいる時」「SNS(ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなど)を使っている時」は、今回調査(平成29年度)からの選択肢である。また、「携帯電話やパソコンを使って友達と連絡している時」は、前回調査(平成26年度)のみの選択肢である。

(2) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことの有無

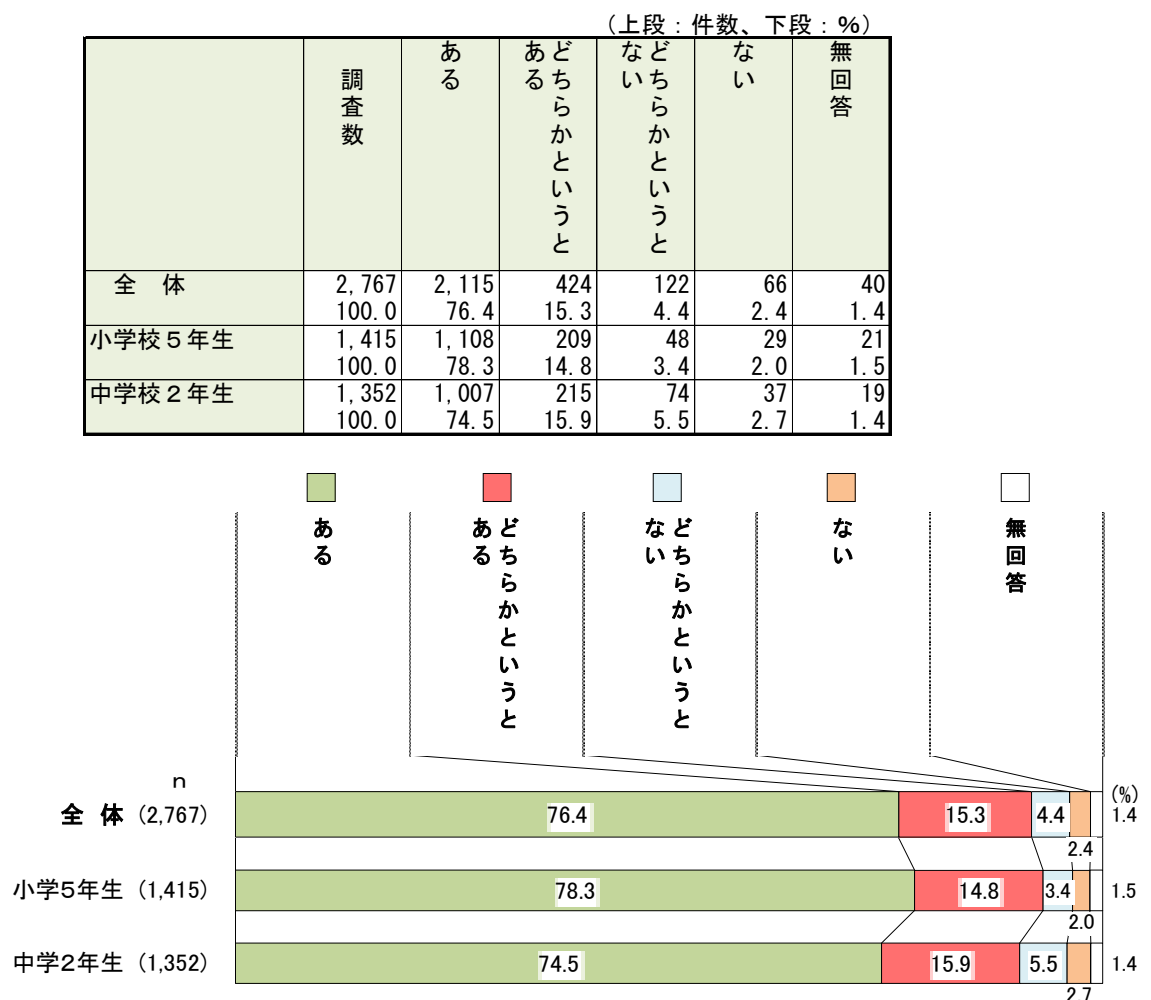
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問31]

全体では「ある」76.4%が最も高く、次いで「どちらかというところある」15.3%、「どちらかというところない」4.4%、「ない」2.4%となっている。

『ある』（「ある」＋「どちらかというところある」）との回答は91.7%、一方、『ない』（「ない」＋「どちらかというところない」）との回答は6.8%であり、全体としては『ある』人が大多数となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「持っている」が7割台で最も高くなっている。

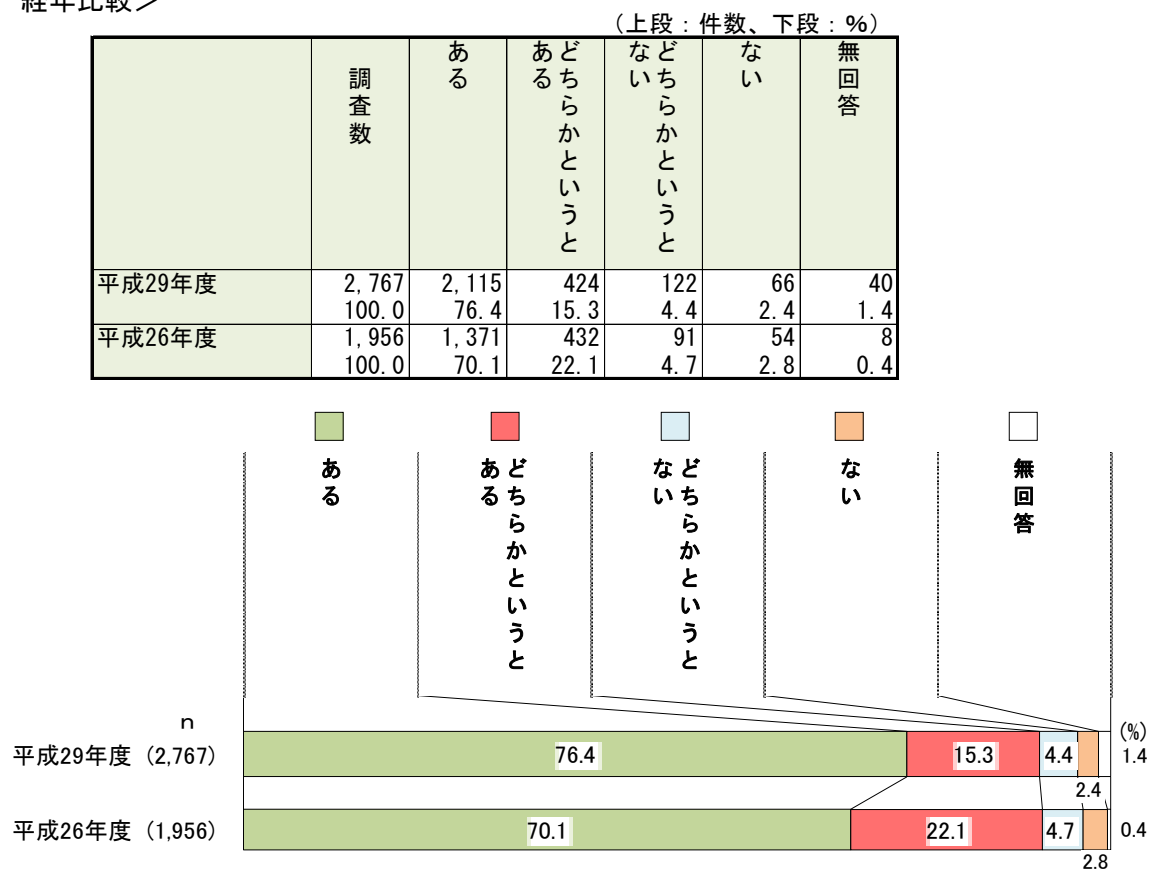
【図表110 全体・学年別】



経年比較

平成26年度と比較すると、「ある」が増加している。一方で、「どちらかというところ」が減少している。

＜図表111 経年比較＞



(3) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しているか

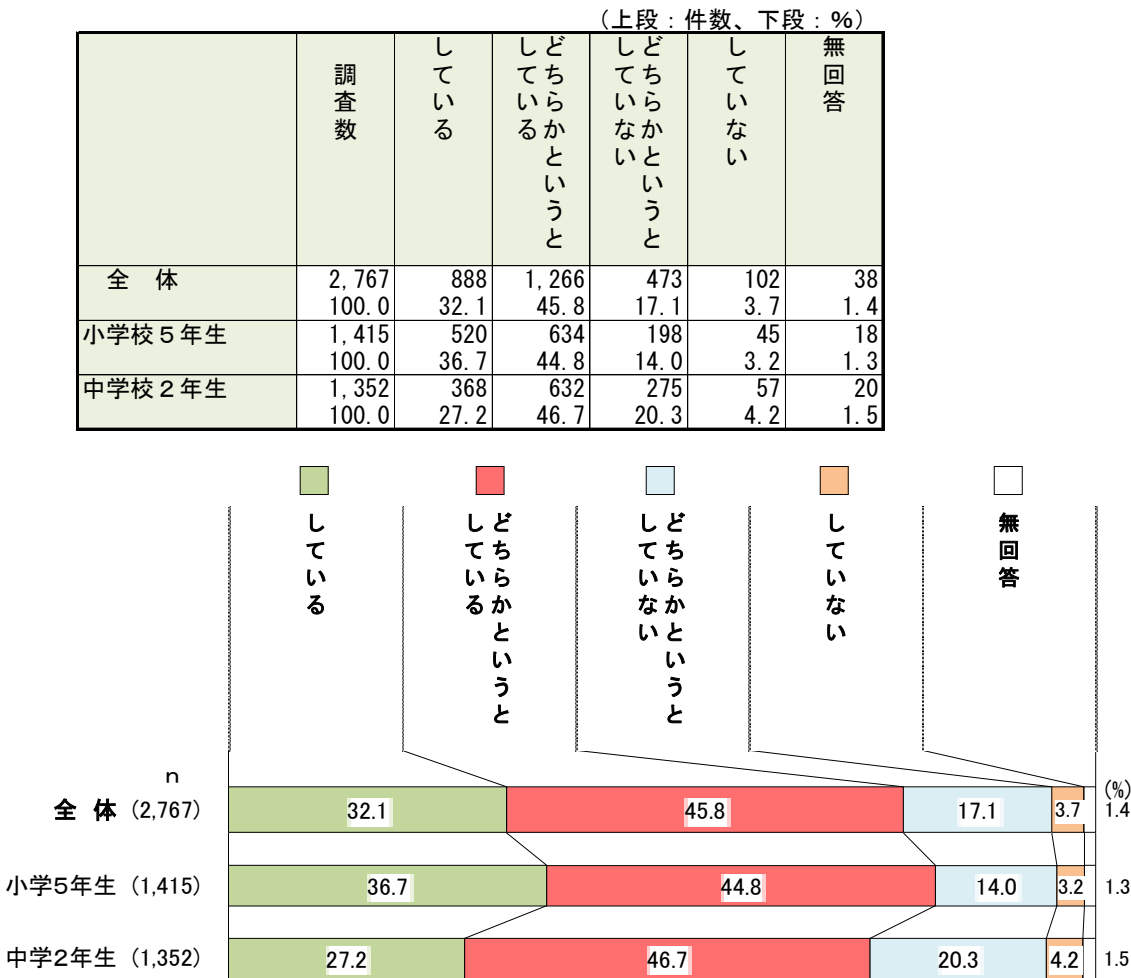
毎日の生活はうれしいことばかりではないかもしれません。難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。[子ども・問32]

全体では「どちらかというとしている」45.8%が最も高く、次いで「している」32.1%、「どちらかというとしていない」17.1%、「していない」3.7%となっている。

『している』（「している」＋「どちらかというとしている」）との回答は77.9%、一方、『していない』（「していない」＋「どちらかというとしていない」）との回答は20.8%であり、全体としては『している』人が大多数となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「どちらかというとしている」が4割台と最も高くなっている。

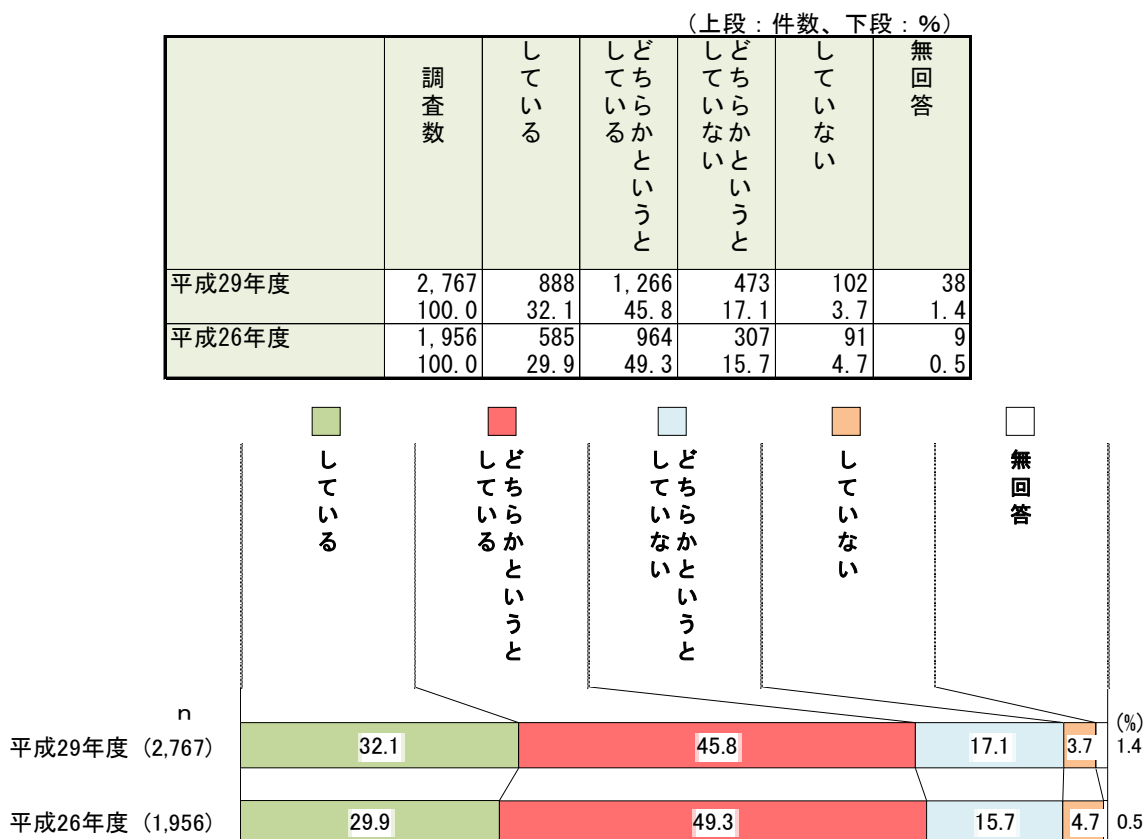
【図表112 全体・学年別】



経年比較

平成26年度と比較すると、『している』（「している」＋「どちらかというとしている」）との回答が減少している。

<図表113 経年比較>



(4) 自分によいところがあると思うか

自分にはよいところがあると思いますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。

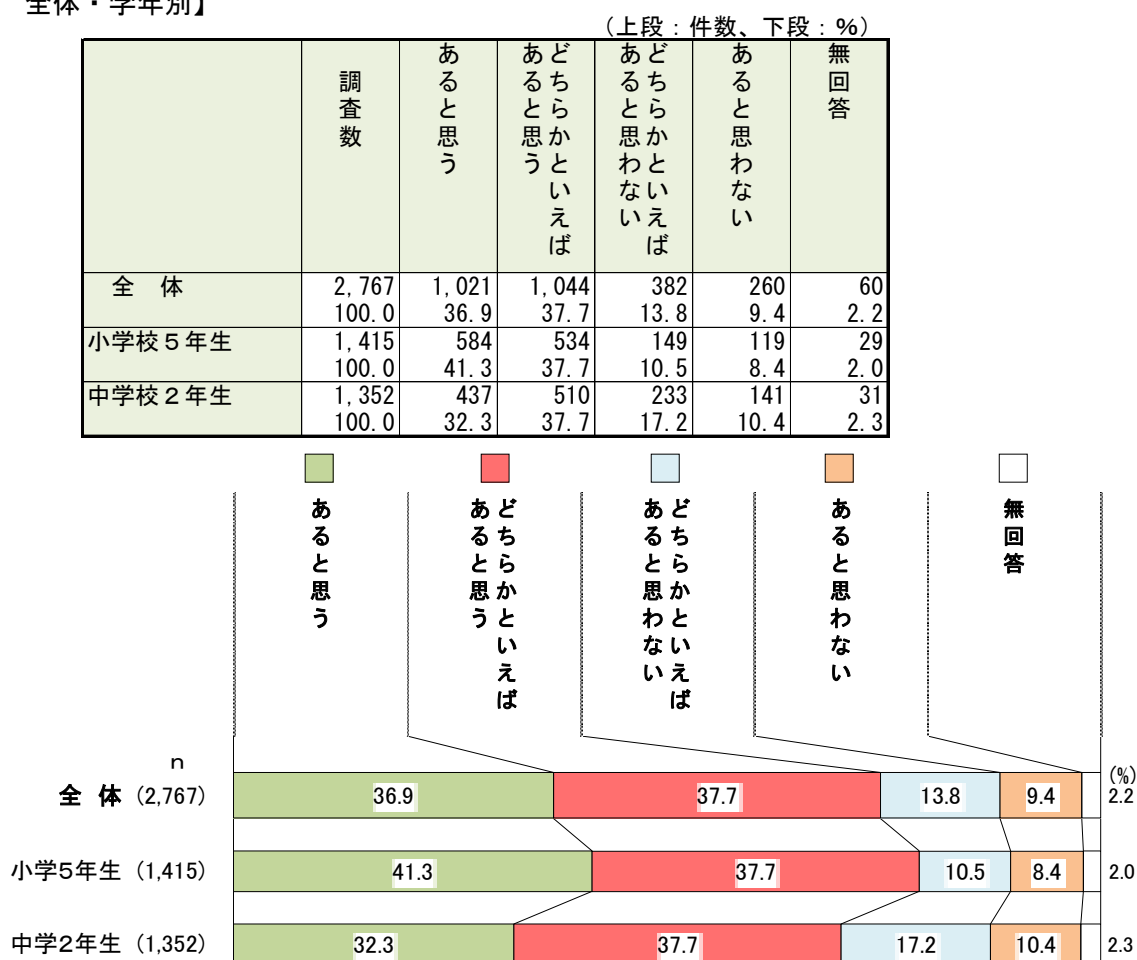
[子ども・問33]

全体では「どちらかといえばあると思う」37.7%が最も高く、次いで「あると思う」36.9%、「どちらかといえばあると思わない」13.8%、「あると思わない」9.4%となっている。

『あると思う』（「あると思う」＋「どちらかというところあると思う」）との回答は74.6%、一方、『あると思わない』（「あると思わない」＋「どちらかというところあると思わない」）との回答は23.2%であり、全体としては『ある』人が大多数となっている。

学年別でみると、小学5年生では「あると思う」が4割台で最も高く、中学2年生では「どちらかといえばあると思う」が3割台で最も高くなっている。

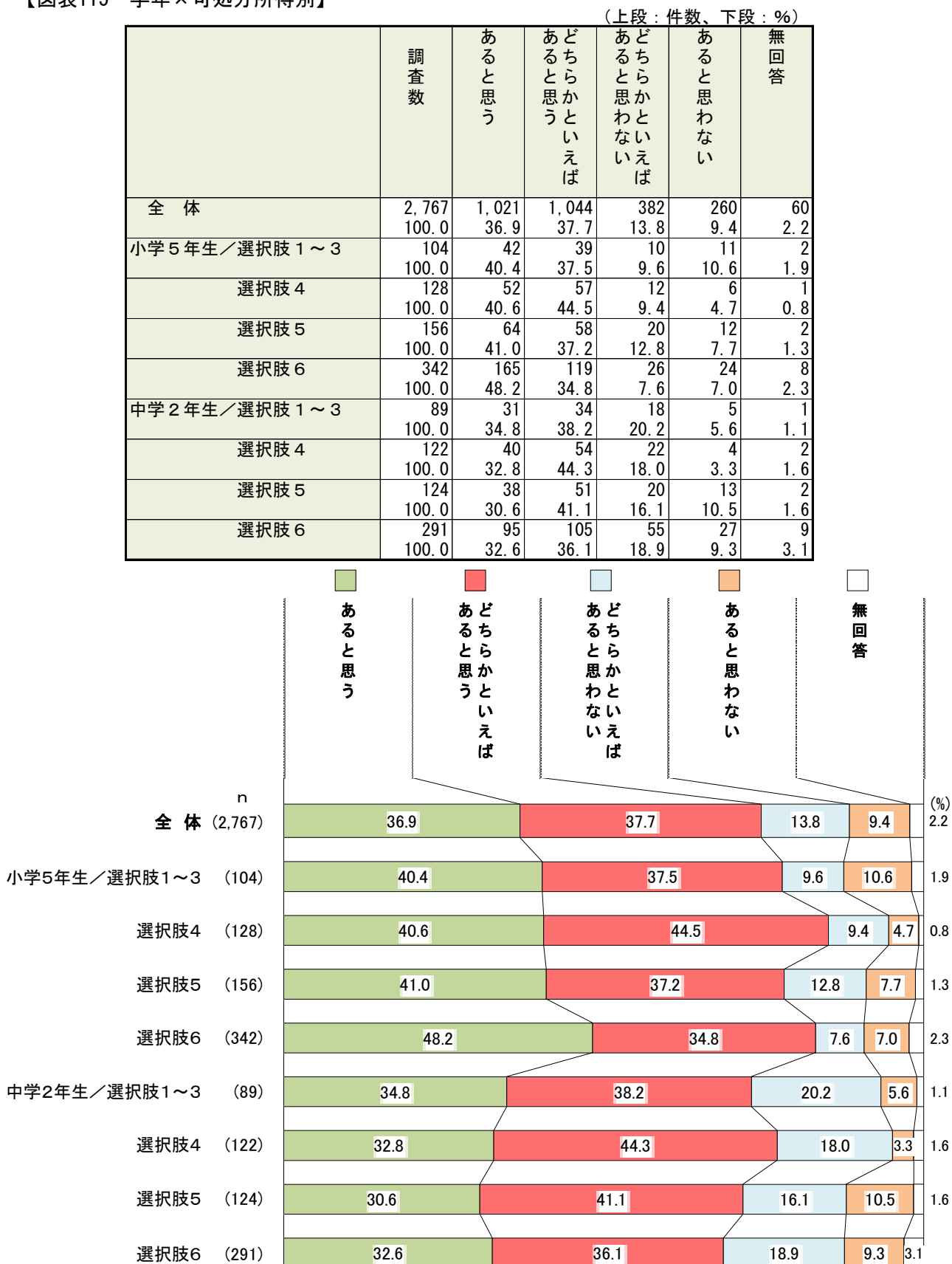
【図表114 全体・学年別】



第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も『あると思う』が7割を超えており、選択肢4と6で8割台となっている。中学2年生ではいずれの層も『あると思う』が6割を超えており、選択肢6以外の層で7割台となっている。

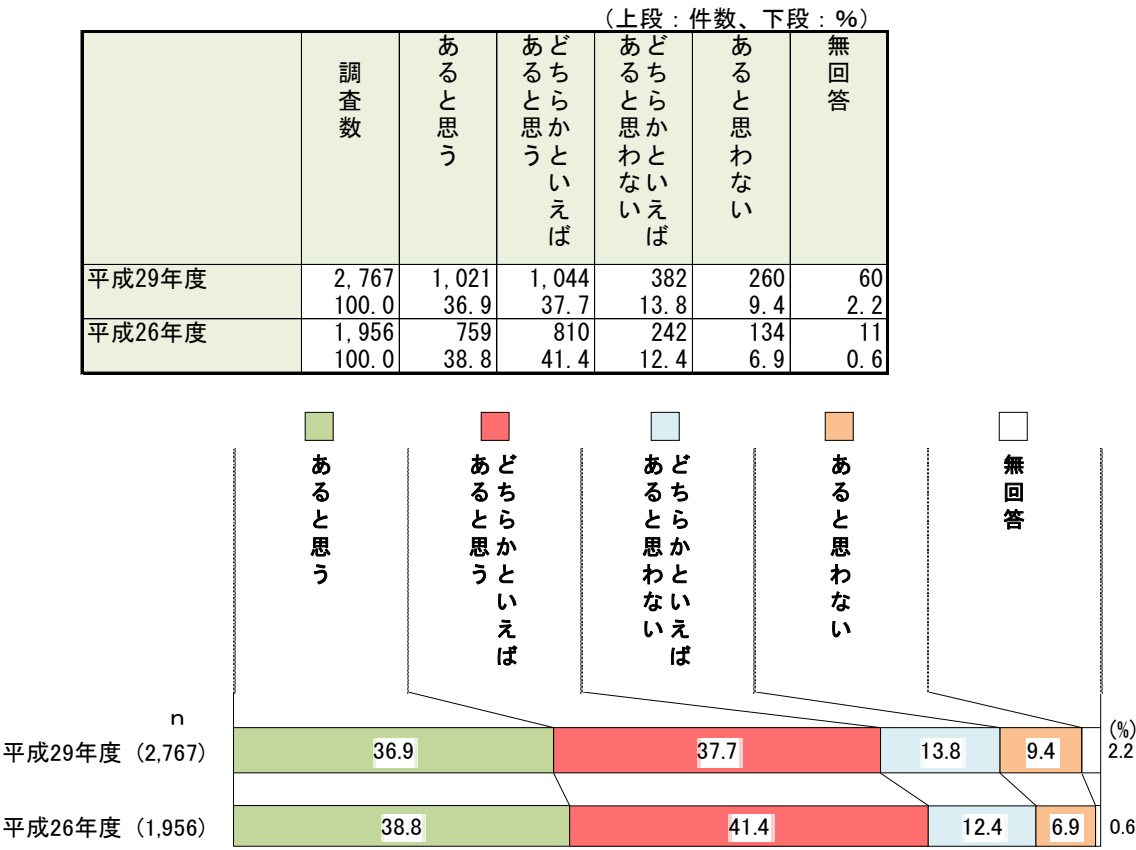
【図表115 学年×可処分所得別】



経年比較

平成26年度と比較すると、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が減少している。一方で、「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」が増加している。

<図表116 経年比較>



第2章 調査の結果詳細

(5) 自分の幸福度

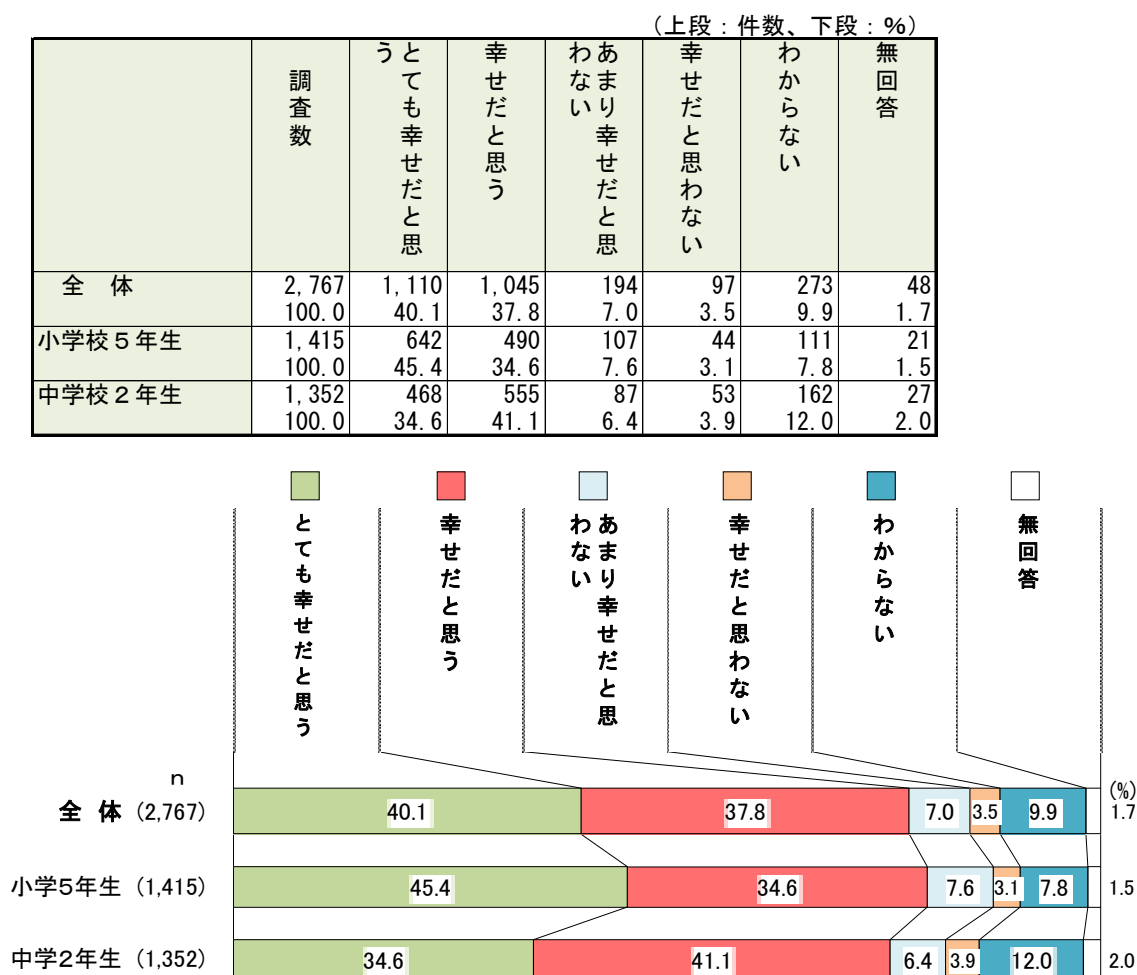
あなたは、自分が幸せだと思いますか。[子ども・問36／保護者・問23]

全体では『幸せだと思う』（「とても幸せだと思う」＋「幸せだと思う」）と思う方が子ども、保護者ともに7割以上となっている。一方で、『幸せだと思わない』（「あまり幸せだと思わない」＋「幸せだと思わない」）と思う方は、子どもで10.5%、保護者で6.3%となっている。

学年別でみると、子ども調査については、小学5年生では「とても幸せだと思う」、中学2年生では「幸せだと思う」が最も多く、『幸せだと思う』は小学5年生では8割、中学2年生では7割台となっている。保護者調査については、小学5年生・中学2年生とも「幸せだと思う」が5割台で最も多く、『幸せだと思う』は小学5年生・中学2年生ともに8割台となっている。

【図表117 全体・学年別】

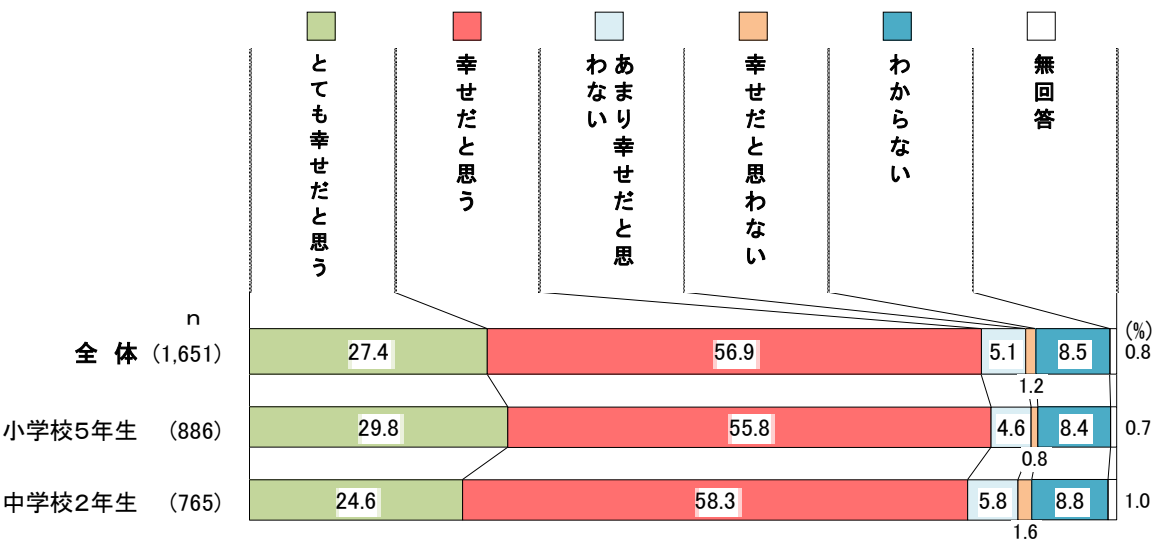
■子ども調査



■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	う と も 幸 せ だ と 思 う	幸 せ だ と 思 う	あ ま り 幸 せ だ と 思 わ な い	幸 せ だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,651 100.0	452 27.4	940 56.9	85 5.1	19 1.2	141 8.5	14 0.8
小学校5年生	886 100.0	264 29.8	494 55.8	41 4.6	7 0.8	74 8.4	6 0.7
中学校2年生	765 100.0	188 24.6	446 58.3	44 5.8	12 1.6	67 8.8	8 1.0



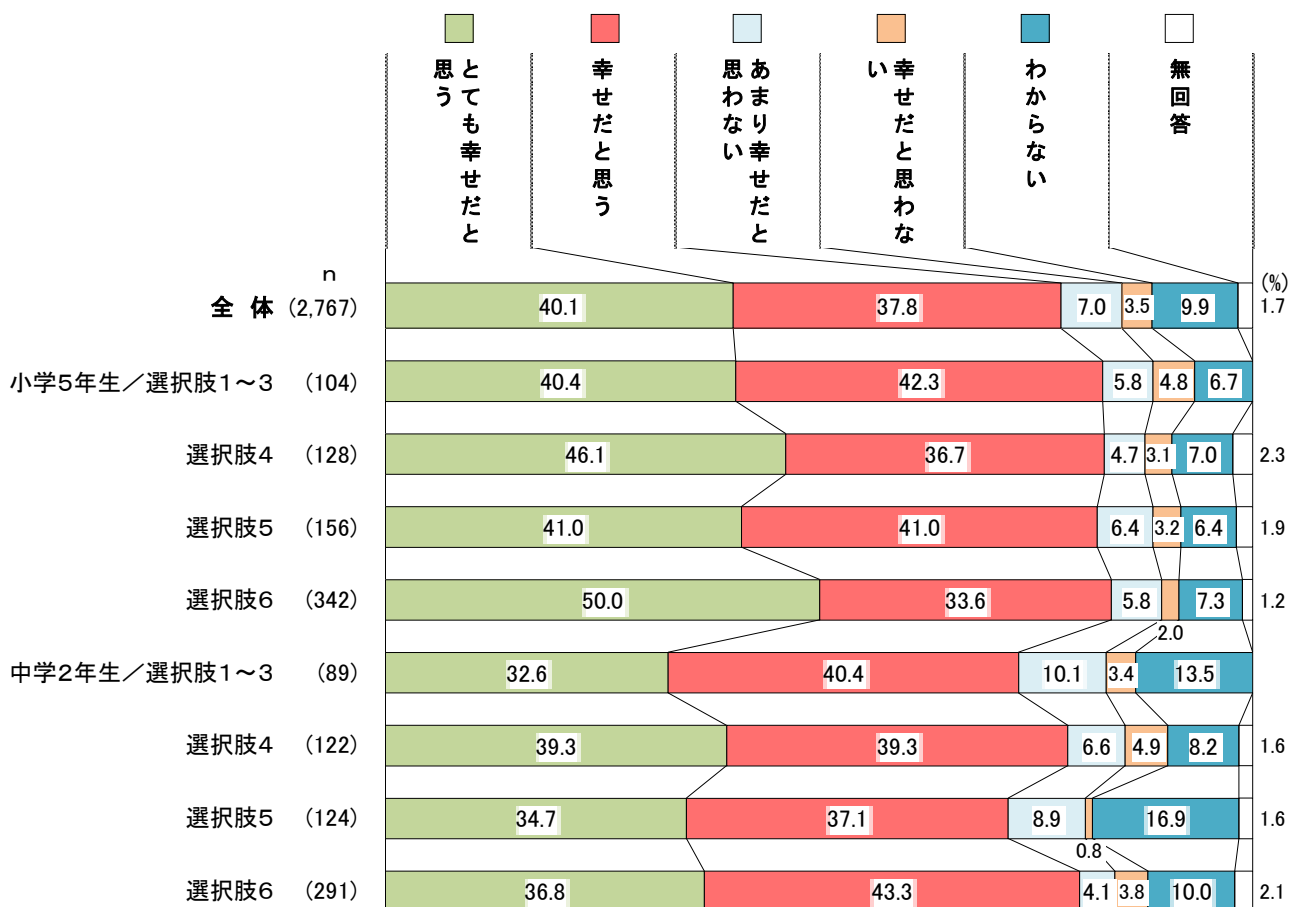
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、子ども調査では、『幸せだと思う』が小学5年生・中学2年生のいずれの層も7割を超え、小学5年生のすべての層と中学2年生の選択肢6で8割台となっている。

【図表118 学年×可処分所得別】

■子ども調査

	調査数	とても幸せだと 思う	幸せだと思う	あまり 幸せだと 思わない	い 幸せだと 思わな	わ から ない	無 回 答
全 体	2,767	1,110	1,045	194	97	273	48
	100.0	40.1	37.8	7.0	3.5	9.9	1.7
小学5年生／選択肢1～3	104	42	44	6	5	7	—
	100.0	40.4	42.3	5.8	4.8	6.7	—
選択肢4	128	59	47	6	4	9	3
	100.0	46.1	36.7	4.7	3.1	7.0	2.3
選択肢5	156	64	64	10	5	10	3
	100.0	41.0	41.0	6.4	3.2	6.4	1.9
選択肢6	342	171	115	20	7	25	4
	100.0	50.0	33.6	5.8	2.0	7.3	1.2
中学2年生／選択肢1～3	89	29	36	9	3	12	—
	100.0	32.6	40.4	10.1	3.4	13.5	—
選択肢4	122	48	48	8	6	10	2
	100.0	39.3	39.3	6.6	4.9	8.2	1.6
選択肢5	124	43	46	11	1	21	2
	100.0	34.7	37.1	8.9	0.8	16.9	1.6
選択肢6	291	107	126	12	11	29	6
	100.0	36.8	43.3	4.1	3.8	10.0	2.1

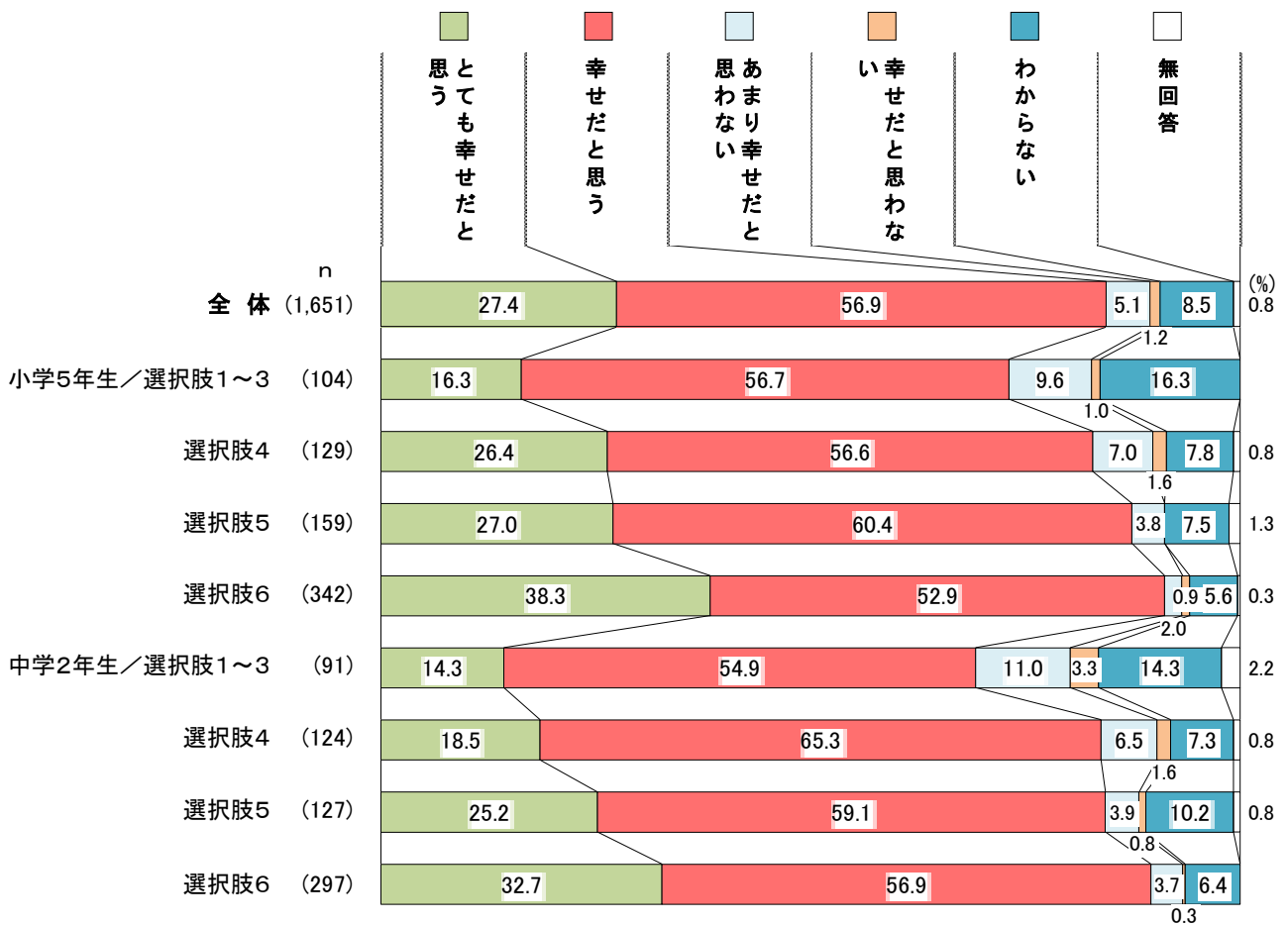


保護者調査では、『幸せだと思う』が小学5年生・中学2年生とも選択肢1～3で低く、約7割となっている。

■保護者調査

(上段：件数、下段：%)

	調査数	う と て も 幸 せ だ と 思 う	幸 せ だ と 思 う	あ ま り 幸 せ だ と 思 わ な い	幸 せ だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,651 100.0	452 27.4	940 56.9	85 5.1	19 1.2	141 8.5	14 0.8
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	17 16.3	59 56.7	10 9.6	1 1.0	17 16.3	— —
選択肢4	129 100.0	34 26.4	73 56.6	9 7.0	2 1.6	10 7.8	1 0.8
選択肢5	159 100.0	43 27.0	96 60.4	6 3.8	— —	12 7.5	2 1.3
選択肢6	342 100.0	131 38.3	181 52.9	7 2.0	3 0.9	19 5.6	1 0.3
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	13 14.3	50 54.9	10 11.0	3 3.3	13 14.3	2 2.2
選択肢4	124 100.0	23 18.5	81 65.3	8 6.5	2 1.6	9 7.3	1 0.8
選択肢5	127 100.0	32 25.2	75 59.1	5 3.9	1 0.8	13 10.2	1 0.8
選択肢6	297 100.0	97 32.7	169 56.9	11 3.7	1 0.3	19 6.4	— —



(6) 自由意見（自分自身について）

子ども 小学5年生 抜粋

- 相談にのってくれる人がいない
- 友達といると楽しいと思えることが多いですが、最近そう思えない（それについてなやみがある）人が増えている気がします。もっとそういう人が少なくなるといいと思います。
- 自分はお父さんといっしょにスポーツの練習ができた、毎日おいしいご飯を作ってくれる母がいて自分はとても幸せな人間だなと思いました。外国にはご飯を食べたくても食べれない、という人がいますから、自分はご飯を少しも残さず食べようと日ごろ感じています。また、学校にも行けて習い事にも行ける。そんなことが「幸せ」というのではないのでしょうか。今、ここに書いたことが少しでも役に立てればとてもさいわいです。
- 家族で思ったことがはっきりいえない。親の仕事のストレスをたまに（兄も）ぶつけられる。仕事で夜おそいからちょっときまずい。あまり、ほめてもらえないからがんばってむだと最近思う。

子ども 中学2年生 抜粋

- 毎日充実しているし、ストレスなどを感じたことはない。家も学校も好きだし、いつも楽しい。友達がたくさんいるからさびしいときもない。
- 自分の性格の良い所がないので、なにをいかして生きていけばいいかわからない。見つけようとしても、悪い所ばかりに目がいく。正直、一緒にいる人たちは、嫌ではないか、つらくないかと感じてしまい、なおらないイライラがつもっていく。それに、勉強を…と考えると頭が爆発しそうになる。
- 生きているのがつらいことがある
- 勉強と部活の両立が難しい。
- 自分はまだ一日一日たいせつにしていけないので、すこしでもいいからがんばろうと思います。学校で一個のことができたなら簡単かもしれないですけどこれだけで今日一日一つかしこくなれるのががんばりたいです。

保護者 小学5年生 抜粋

- 時間的な余裕がない。平日・土日も仕事の後に何かするという体力がないと感じる。又、子供も多忙、家族そろって何かするという時間は少ないと思う。このまま日々こなしていくだけで年を取ると思うとむなしくもなり、希望ももてないのでは。もし社会的にも週休3日にするなど子育て世帯に余裕を与えてほしい。そうすれば出かけることもでき、お金を使うチャンスも増え経済効果もうまれると思います。＊アンケートをとるからにはきちんと市政に反映して下さい。とりっぱなし、というのであればアンケートの意味はないと思います。
- 小5の娘。少しずつ母からはなれていく事がさみしくて仕方ない毎日です。成長と思い、見守るようにしていますが、さみしいので、テニス・ピアノと自分の時間を大切にしています。見守る所、手を出し支える所の見きわめが難しい。育児とは待つ事（子供の行動のすべてに対して）と思っています。ほめる事は簡単。でも、しかる事の難しさを子を持って初めて知りました。
- 習志野に来て3年半、今後もずっとここで生活する事に何の不安もなく快適に生活しています。ありがとうございます。

- 夫と同じ職業であるにもかかわらず、地域のこと子どものこと等全て一人でやっていることに大きな不満を感じている。一人でよくやっているなと思う一方、助けがあればよいのと思う。
- 子育てにおける金銭的な負担が大きいと思う。3人子どもがいるが、3人共に塾に通わせ、大学に進学させることに大きな不安を感じる。また、子どもの急な熱、心身の変化等で、側にいてあげたい時、仕事を休みづらいし、本当の意味での理解は得られにくいと感じているし、仕事に対しても、子供に対しても申し訳ないという気持ちを持つことがある。

保護者 中学2年生 抜粋

- 生活において最低限の収入しか稼げないので今後どのように生活をしていったら良いのか不安は尽きません。子供も大学に行くよう話をしていますが、現状を見て進学は考えていないようです。又、仕事柄早くの帰宅は難しく、子供1人の時間も多いため、切なく感じてますが、笑顔で「おかえり」と迎えてくれる子供に心から支えられています。時間にも金銭にも余裕はありませんが、子供と過ごす時間だけは守りたいと思っています。子供が元気に笑顔でいてくれるだけでも幸せです。
- 子どもが年齢的に難しい時期になり、子育ての難しさをつくづく実感しています。悩みは尽きませんが、自分だけの時間を持つなどしてなるべくストレスをためないように心がけています。幸い、相談できる人がいるので助かっていますが、1人で悩みを抱えている方達もいると思うので、市として手を差しのべて頂きたいと思います。
- 介護と子育てと同時に行うのは非常に難しい。夜間も預かってくれるような介護デイサービスの選択肢がもっと増えたら有難いと思う。高齢者の親代わりに各種の申請する場合、手続きがもっと簡潔にできると嬉しい。介護に手いっぱい子育てがおろそかになってしまう。
- 色々なことでいっぱいになってしまい、自分だけが頑張っている気になってしまう。からまわりのようなむなしさを感じてしまうことがある。自分は何をしているのか、自分の居場所があるのかわからなくなり悲しくなる時がある。

9. 施策や制度について

(1) 公的制度の利用有無

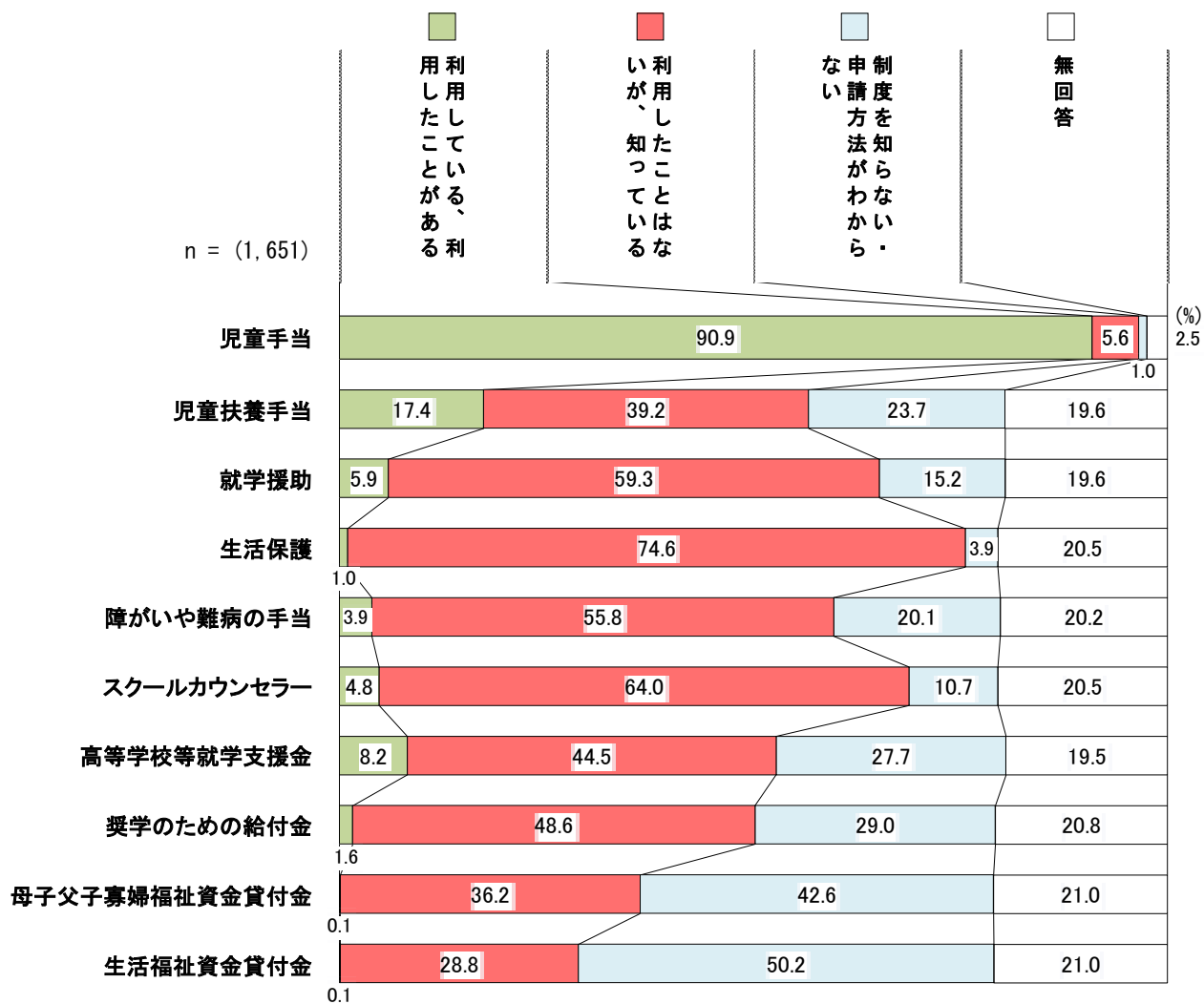
あなたの世帯では、次の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。

（それぞれ一つに○）[保護者・問5]

全体では「児童手当」は「利用している、利用したことがある」90.9%が最も高い。一方で、「制度を知らない・申請方法がわからない」は「生活福祉資金貸付金」50.2%、「母子父子寡婦福祉資金貸付金」42.6%で最も高くなっている。また、その他の制度では「利用したことはないが、知っている」が最も高くなっている。

【図表119 全体】

	調査数	(上段：件数、下段：%)			
		あ利用 る用 した こと が、	いな るい 用が した こと では	わい か・ 度 ら申 を 知 い 方 な が	無 回 答
児童手当	1,651 100.0	1,500 90.9	93 5.6	17 1.0	41 2.5
児童扶養手当	1,651 100.0	287 17.4	648 39.2	392 23.7	324 19.6
就学援助	1,651 100.0	97 5.9	979 59.3	251 15.2	324 19.6
生活保護	1,651 100.0	16 1.0	1,231 74.6	65 3.9	339 20.5
障がいや難病の手当	1,651 100.0	64 3.9	922 55.8	332 20.1	333 20.2
スクールカウンセラー	1,651 100.0	80 4.8	1,057 64.0	176 10.7	338 20.5
高等学校等就学支援金	1,651 100.0	136 8.2	735 44.5	458 27.7	322 19.5
奨学のための給付金	1,651 100.0	27 1.6	802 48.6	478 29.0	344 20.8
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1,651 100.0	2 0.1	598 36.2	704 42.6	347 21.0
生活福祉資金貸付金	1,651 100.0	1 0.1	475 28.8	829 50.2	346 21.0

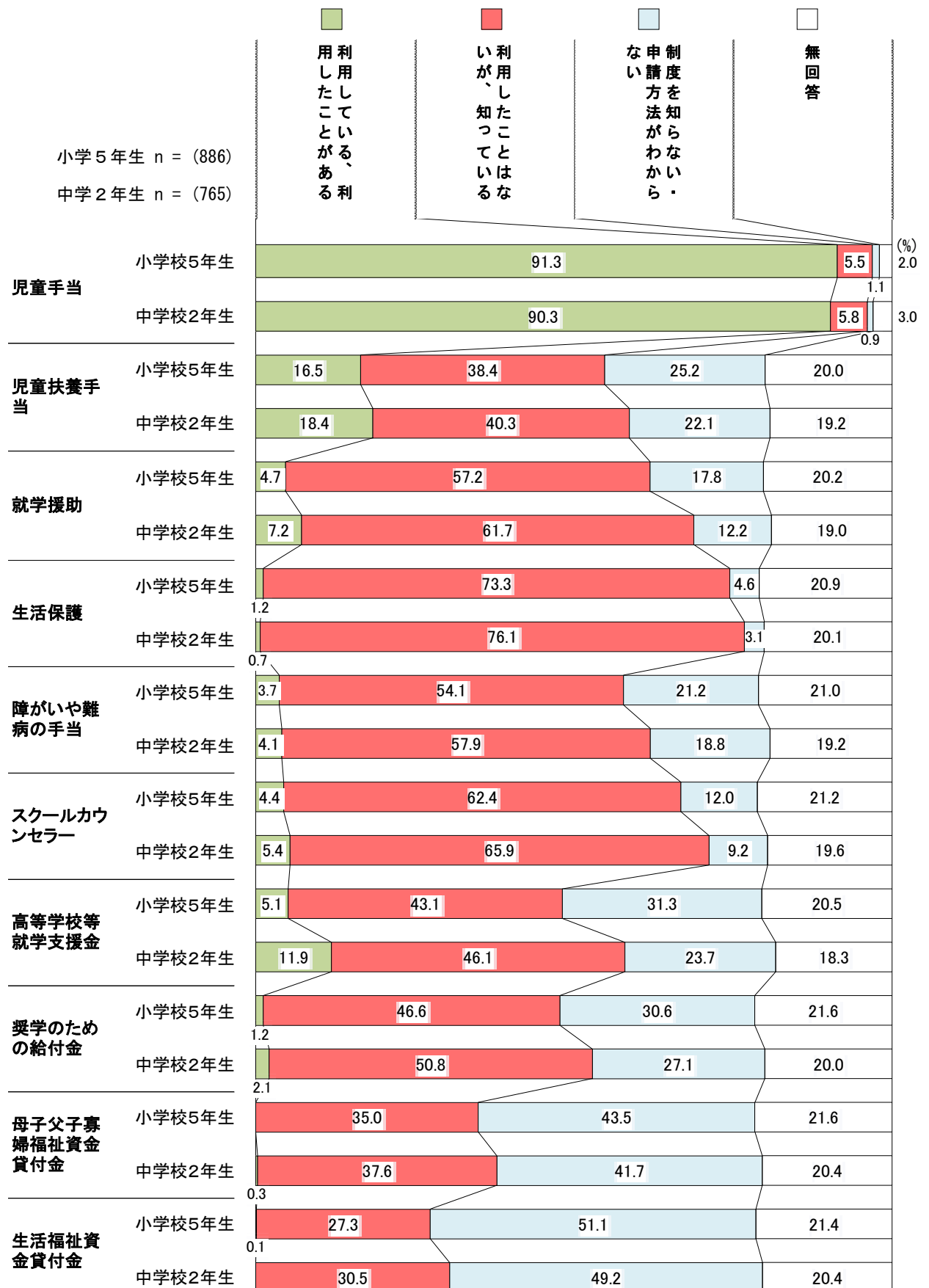


第2章 調査の結果詳細

学年別でみると、「利用している、利用したことがある」は「児童手当」で小学5年生・中学2年生ともに9割台と高く、「児童扶養手当」でも1割台となっている。また、「高等学校等就学支援金」では中学校2年生で1割台と、小学5年生よりも高くなっている。「利用したことはないが、知っている」は小学5年生・中学2年生ともに「生活保護」で7割台、「スクールカウンセラー」で6割台と高く、全ての項目で中学2年生が小学5年生よりも高くなっている。「制度を知らない・申請方法がわからない」は小学5年生・中学2年生ともに「生活福祉資金貸付金」で約5割、「母子父子寡婦福祉資金貸付金」で4割台と高く、全ての項目で小学5年生が中学2年生よりも高くなっている。

【図表120 学年別】

		(上段：件数、下段：%)				
		調査数	あ利用する利用しているが	いな利用が、知っては	わい制か・度を知らない方法が	無回答
児童手当	小学校5年生	886 100.0	809 91.3	49 5.5	10 1.1	18 2.0
	中学校2年生	765 100.0	691 90.3	44 5.8	7 0.9	23 3.0
児童扶養手当	小学校5年生	886 100.0	146 16.5	340 38.4	223 25.2	177 20.0
	中学校2年生	765 100.0	141 18.4	308 40.3	169 22.1	147 19.2
就学援助	小学校5年生	886 100.0	42 4.7	507 57.2	158 17.8	179 20.2
	中学校2年生	765 100.0	55 7.2	472 61.7	93 12.2	145 19.0
生活保護	小学校5年生	886 100.0	11 1.2	649 73.3	41 4.6	185 20.9
	中学校2年生	765 100.0	5 0.7	582 76.1	24 3.1	154 20.1
障がいや難病の手当	小学校5年生	886 100.0	33 3.7	479 54.1	188 21.2	186 21.0
	中学校2年生	765 100.0	31 4.1	443 57.9	144 18.8	147 19.2
スクールカウンセラー	小学校5年生	886 100.0	39 4.4	553 62.4	106 12.0	188 21.2
	中学校2年生	765 100.0	41 5.4	504 65.9	70 9.2	150 19.6
高等学校等就学支援金	小学校5年生	886 100.0	45 5.1	382 43.1	277 31.3	182 20.5
	中学校2年生	765 100.0	91 11.9	353 46.1	181 23.7	140 18.3
奨学のための給付金	小学校5年生	886 100.0	11 1.2	413 46.6	271 30.6	191 21.6
	中学校2年生	765 100.0	16 2.1	389 50.8	207 27.1	153 20.0
母子父子寡婦福祉資金貸付金	小学校5年生	886 100.0	－ －	310 35.0	385 43.5	191 21.6
	中学校2年生	765 100.0	2 0.3	288 37.6	319 41.7	156 20.4
生活福祉資金貸付金	小学校5年生	886 100.0	1 0.1	242 27.3	453 51.1	190 21.4
	中学校2年生	765 100.0	－ －	233 30.5	376 49.2	156 20.4



(2) 子どもや家庭の支援策として希望するもの

子どもや家庭の支援策として、どのような支援があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○) [保護者・問6]

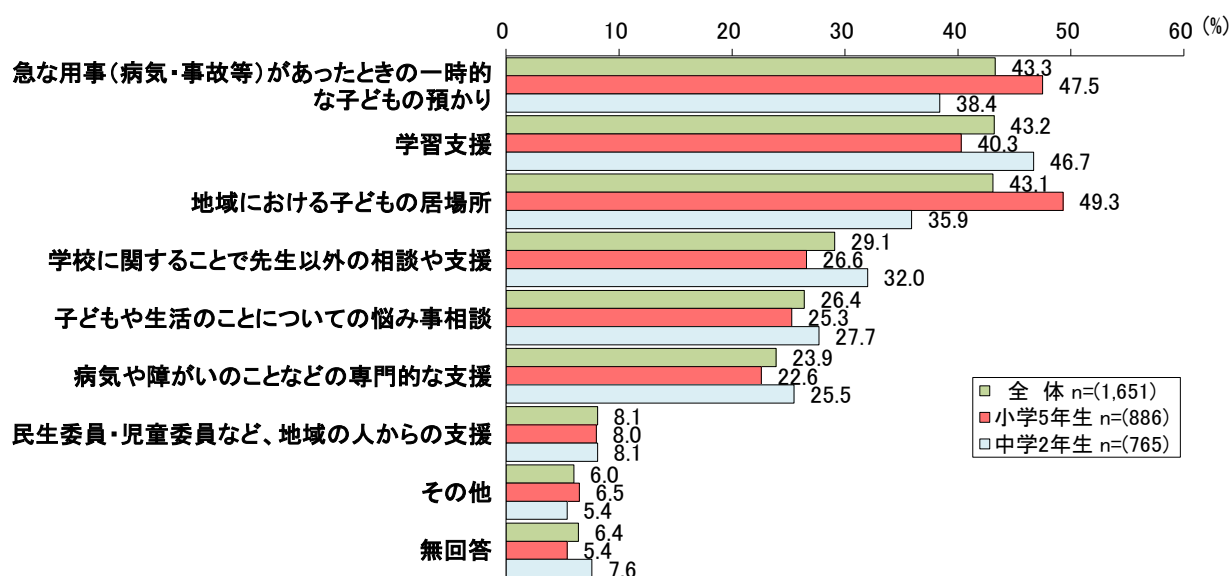
全体では「急な用事（病気・事故等）があったときの一時的な子どもの預かり」43.3%が最も高く、次いで「学習支援」43.2%、「地域における子どもの居場所」43.1%、「学校に関することで先生以外の相談や支援」29.1%となっている。

「その他」の主な記述内容は『予防接種の補助や無料化』『公園などの子どもが遊べる場所』『教育費、医療費などの金銭面支援』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「地域における子どもの居場所」、中学2年生では「学習支援」が最も高くなっており、次いで小学5年生では「急な用事（病気・事故等）があったときの一時的な子どもの預かり」「学習支援」、中学2年生は「急な用事（病気・事故等）があったときの一時的な子どもの預かり」「地域における子どもの居場所」となっている。

【図表121 全体・学年別】

	調査数	急な用事（病気・事故等）があったときの病気の一時事故等子どもの預かり	学習支援	地域における子どもの居場所	学校の相談や支援と先生以外	子どもや生活のことについての悩み事相談	病気の障がいなどの専門的な支援	民生委員・児童委員など、地域の人からの支援	その他	無回答
全体	1,651	715	714	712	481	436	395	133	99	106
	100.0	43.3	43.2	43.1	29.1	26.4	23.9	8.1	6.0	6.4
小学校5年生	886	421	357	437	236	224	200	71	58	48
	100.0	47.5	40.3	49.3	26.6	25.3	22.6	8.0	6.5	5.4
中学校2年生	765	294	357	275	245	212	195	62	41	58
	100.0	38.4	46.7	35.9	32.0	27.7	25.5	8.1	5.4	7.6



(3) 子育て施策などに関する情報の入手方法

あなたは、子育て施策などに関する情報をどこから手にいれますか。
(あてはまるものすべてに○) [保護者・問7]

全体では「家族や友人」71.1%が最も高く、次いで「学校の先生や学校からの便り」66.1%、「市の広報紙」50.5%、「市のホームページ」18.2%となっている。

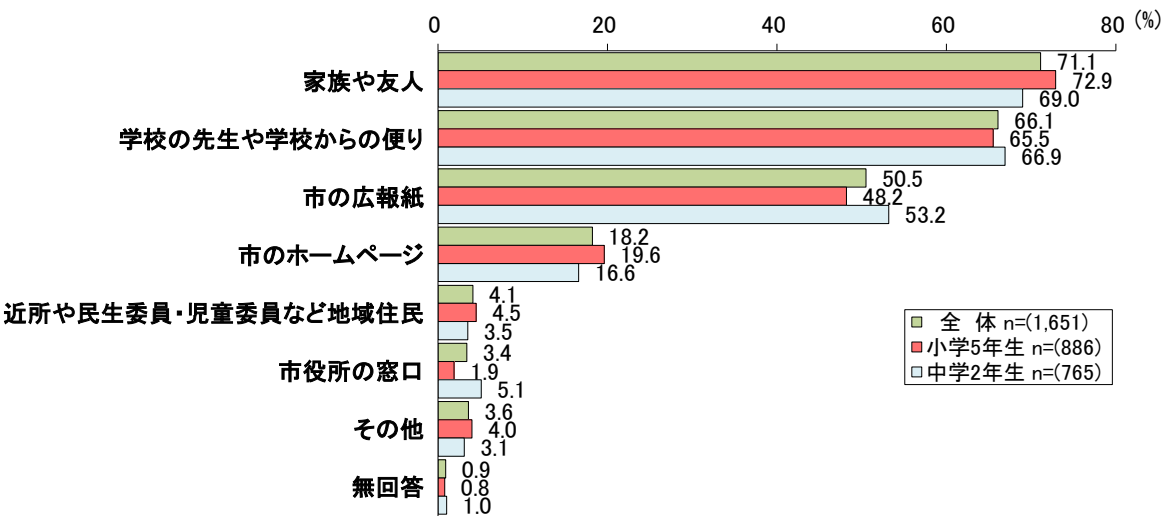
「その他」の主な記述内容は『インターネット』『(新聞やTVなどの) ニュース』『職場関係』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「家族や友人」が最も高くなっており、次いで「学校の先生や学校からの便り」「市の広報紙」となっている。

【図表122 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	家族や友人	学校の先生や学校からの便り	市の広報紙	市のホームページ	近所や民生委員・児童委員など地域住民	市役所の窓口	その他	無回答
全 体	1,651 100.0	1,174 71.1	1,092 66.1	834 50.5	301 18.2	67 4.1	56 3.4	59 3.6	15 0.9
小学校5年生	886 100.0	646 72.9	580 65.5	427 48.2	174 19.6	40 4.5	17 1.9	35 4.0	7 0.8
中学校2年生	765 100.0	528 69.0	512 66.9	407 53.2	127 16.6	27 3.5	39 5.1	24 3.1	8 1.0



第2章 調査の結果詳細

(4) 事業の利用状況

①～②②の事業のそれぞれについて、「現在の利用状況」のあてはまる番号に○をつけてください。また、今後利用したい事業について、「今後の利用希望」の欄に○をつけてください。

[保護者・問8]

<現在の利用状況>

全体では「利用したことがある」は「妊婦・新生児訪問」67.0%が最も高く、次いで「子どもセンター」50.9%、「幼稚園、認定こども園の子育てふれあい広場」50.0%、「健康相談・健康診査」48.0%、「各種育児教室（離乳食・歯みがきなど）」47.1%となっている。

「利用したことはないが、知っている」は「ファミリー・サポート・センター」66.7%が最も高く、次いで「病児・病後児保育」63.6%、「子育て支援相談室」62.1%、「ひまわり発達相談センター」62.0%、「総合教育センター（教育相談）」51.6%となっている。

一方で、「知らない」は「らいふあっぷ習志野」77.8%が最も高く、「女性の生き方相談」63.8%、「民間の保育サービス（休日保育等）」51.5%、「障害福祉サービス（放課後等デイサービスを除く）」50.9%となっている。

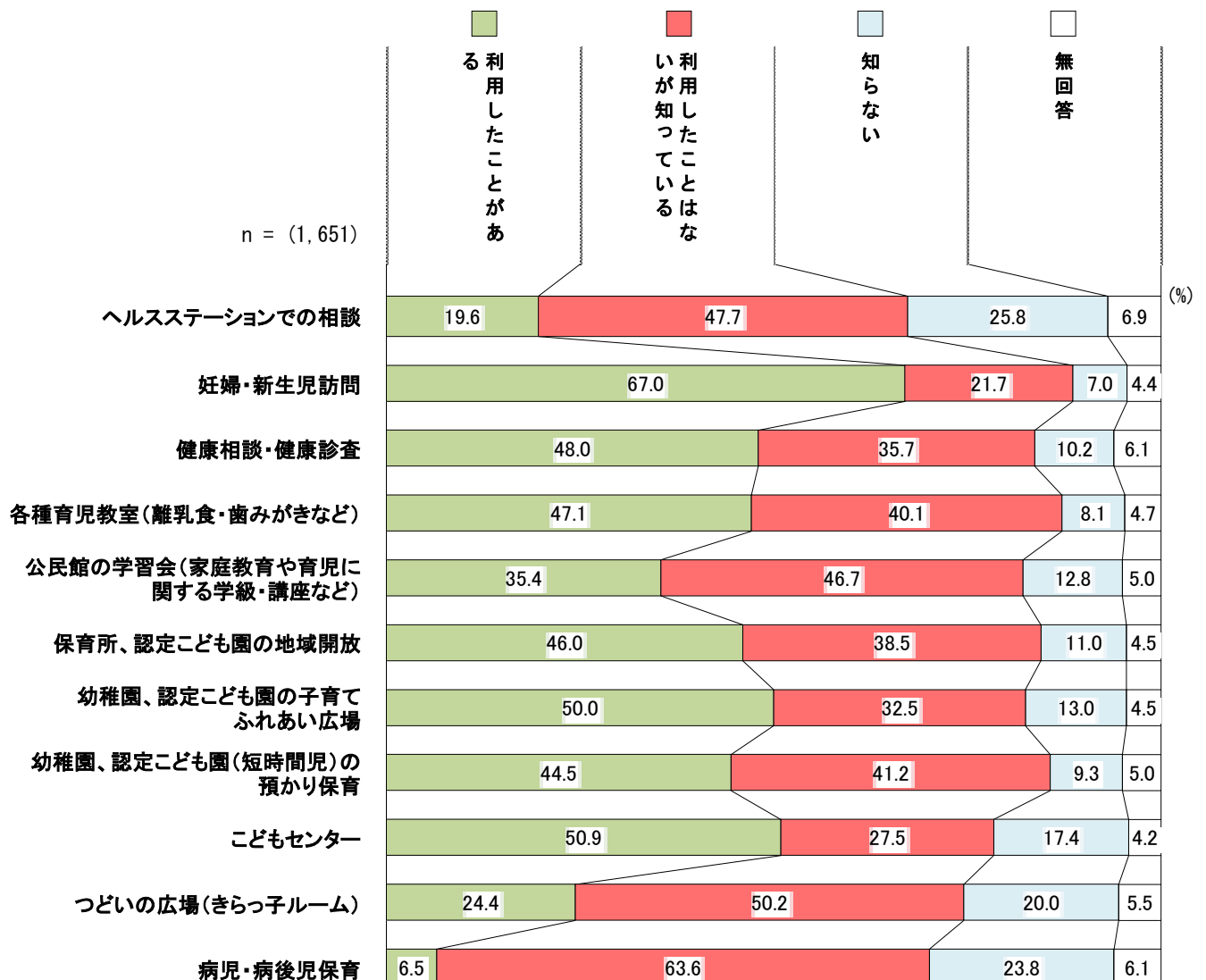
【図表123 全体】

	(上段：件数、下段：%)				
	調査数	あ り 利 用 し た こ と が	る な 利 用 が し た こ と は	知 ら な い	無 回 答
ヘルスステーションでの相談	1,651 100.0	324 19.6	787 47.7	426 25.8	114 6.9
妊婦・新生児訪問	1,651 100.0	1,106 67.0	358 21.7	115 7.0	72 4.4
健康相談・健康診査	1,651 100.0	793 48.0	590 35.7	168 10.2	100 6.1
各種育児教室（離乳食・歯みがきなど）	1,651 100.0	778 47.1	662 40.1	134 8.1	77 4.7
公民館の学習会 （家庭教育や育児に関する学級・講座など）	1,651 100.0	585 35.4	771 46.7	212 12.8	83 5.0
保育所、認定こども園の地域開放	1,651 100.0	759 46.0	636 38.5	182 11.0	74 4.5
幼稚園、認定こども園の 子育てふれあい広場	1,651 100.0	825 50.0	537 32.5	214 13.0	75 4.5
幼稚園、認定こども園（短時間児） の預かり保育	1,651 100.0	734 44.5	681 41.2	154 9.3	82 5.0
子どもセンター	1,651 100.0	840 50.9	454 27.5	288 17.4	69 4.2
つどいの広場（きらっ子ルーム）	1,651 100.0	403 24.4	828 50.2	330 20.0	90 5.5
病児・病後児保育	1,651 100.0	108 6.5	1,050 63.6	393 23.8	100 6.1

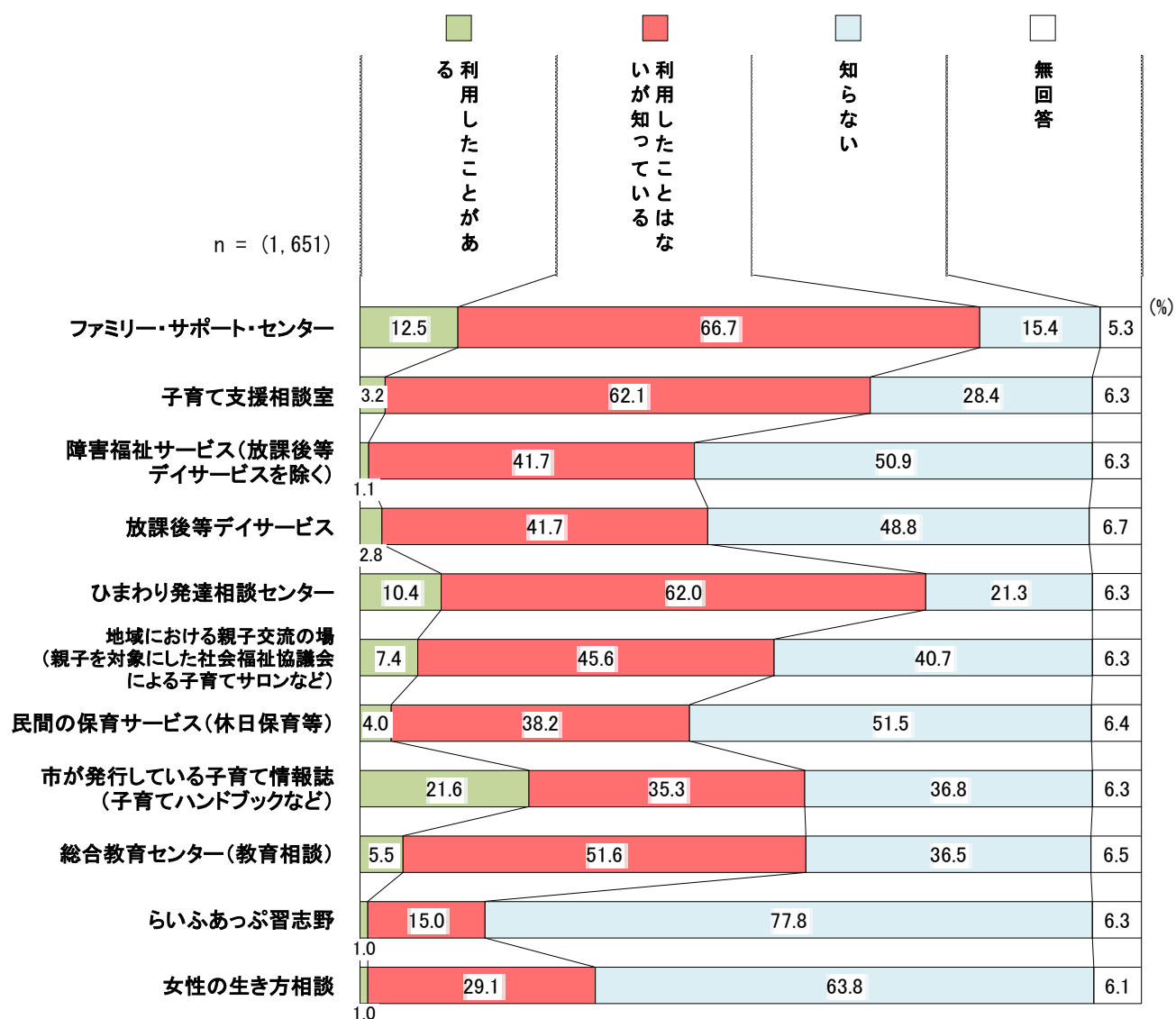
第2章 調査の結果詳細

(上段：件数、下段：%)

	調査数	利用したことがあ	利用したことがない	知らない	無回答
ファミリー・サポート・センター	1,651 100.0	206 12.5	1,102 66.7	255 15.4	88 5.3
子育て支援相談室	1,651 100.0	53 3.2	1,025 62.1	469 28.4	104 6.3
障害福祉サービス (放課後等デイサービスを除く)	1,651 100.0	18 1.1	689 41.7	840 50.9	104 6.3
放課後等デイサービス	1,651 100.0	47 2.8	688 41.7	806 48.8	110 6.7
ひまわり発達相談センター	1,651 100.0	172 10.4	1,023 62.0	352 21.3	104 6.3
地域における親子交流の場(親子を対象にした社会福祉協議会による子育てサロンなど)	1,651 100.0	122 7.4	753 45.6	672 40.7	104 6.3
民間の保育サービス(休日保育等)	1,651 100.0	66 4.0	630 38.2	850 51.5	105 6.4
市が発行している子育て情報誌 (子育てハンドブックなど)	1,651 100.0	356 21.6	583 35.3	608 36.8	104 6.3
総合教育センター(教育相談)	1,651 100.0	90 5.5	852 51.6	602 36.5	107 6.5
らいふあつぎ習志野	1,651 100.0	16 1.0	247 15.0	1,284 77.8	104 6.3
女性の生き方相談	1,651 100.0	16 1.0	480 29.1	1,054 63.8	101 6.1



第2章 調査の結果詳細



学年別でみると、「利用したことがある」は「妊婦・新生児訪問」で小学5年生・中学2年生ともに6割台と高く、「幼稚園、認定こども園の子育てふれあい広場」「こどもセンター」では小学5年生で5割台、中学2年生で4割台となっている。また、小学校5年生では「つどいの広場（きらっ子ルーム）」が3割台、「市が発行している子育て情報誌（子育てハンドブックなど）」が2割台で、ともに中学2年生よりも高くなっている。「利用したことはないが、知っている」は「病児・病後児保育」「ファミリー・サポート・センター」「子育て支援相談室」で小学5年生・中学2年生ともに6割台と高く、「ひまわり発達相談センター」は小学5年生で6割台、中学2年生で5割台となっている。「知らない」は小学5年生・中学2年生ともに「らいふあっぷ習志野」で7割台、「女性の生き方相談」で6割台と高く、「障害福祉サービス（放課後等デイサービスを除く）」「民間の保育サービス（休日保育等）」でも過半数となっている。また、中学2年生では「つどいの広場（きらっ子ルーム）」が4人に1人と、小学5年生よりも高くなっている。

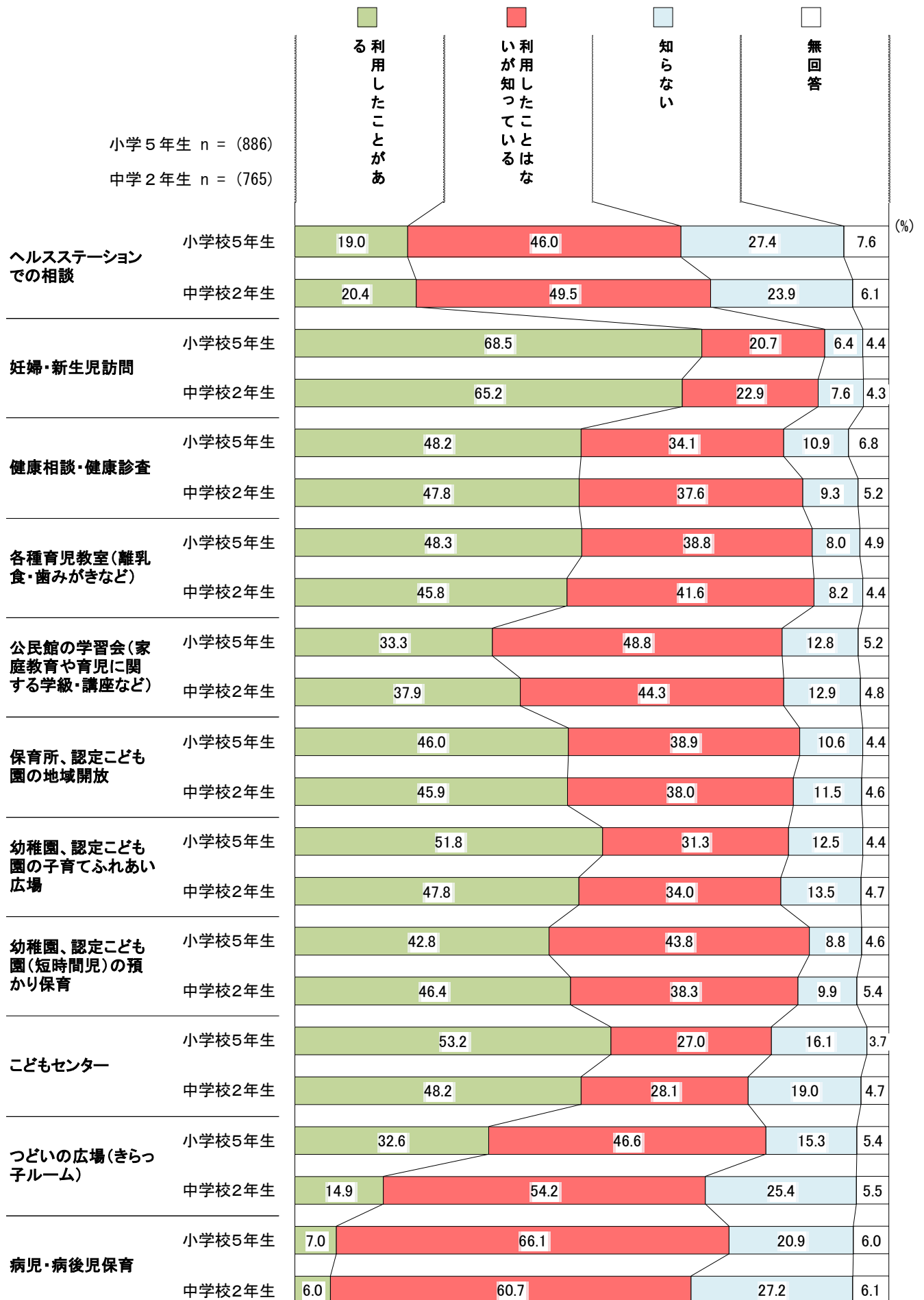
【図表124 学年別】

		(上段：件数、下段：%)				
		調査 数	あ り 利 用 し た こ と が	る な 利 用 が 知 つ て い は	知 ら な い	無 回 答
ヘルスステーションでの 相談	小学校5年生	886 100.0	168 19.0	408 46.0	243 27.4	67 7.6
	中学校2年生	765 100.0	156 20.4	379 49.5	183 23.9	47 6.1
妊婦・新生児訪問	小学校5年生	886 100.0	607 68.5	183 20.7	57 6.4	39 4.4
	中学校2年生	765 100.0	499 65.2	175 22.9	58 7.6	33 4.3
健康相談・健康診査	小学校5年生	886 100.0	427 48.2	302 34.1	97 10.9	60 6.8
	中学校2年生	765 100.0	366 47.8	288 37.6	71 9.3	40 5.2
各種育児教室（離乳食・ 歯みがきなど）	小学校5年生	886 100.0	428 48.3	344 38.8	71 8.0	43 4.9
	中学校2年生	765 100.0	350 45.8	318 41.6	63 8.2	34 4.4
公民館の学習会（家庭教 育や育児に関する学級・ 講座など）	小学校5年生	886 100.0	295 33.3	432 48.8	113 12.8	46 5.2
	中学校2年生	765 100.0	290 37.9	339 44.3	99 12.9	37 4.8
保育所、認定こども園の 地域開放	小学校5年生	886 100.0	408 46.0	345 38.9	94 10.6	39 4.4
	中学校2年生	765 100.0	351 45.9	291 38.0	88 11.5	35 4.6
幼稚園、認定こども園の 子育てふれあい広場	小学校5年生	886 100.0	459 51.8	277 31.3	111 12.5	39 4.4
	中学校2年生	765 100.0	366 47.8	260 34.0	103 13.5	36 4.7
幼稚園、認定こども園 （短時間児）の預かり保 育	小学校5年生	886 100.0	379 42.8	388 43.8	78 8.8	41 4.6
	中学校2年生	765 100.0	355 46.4	293 38.3	76 9.9	41 5.4
こどもセンター	小学校5年生	886 100.0	471 53.2	239 27.0	143 16.1	33 3.7
	中学校2年生	765 100.0	369 48.2	215 28.1	145 19.0	36 4.7
つどいの広場（きらっ子 ルーム）	小学校5年生	886 100.0	289 32.6	413 46.6	136 15.3	48 5.4
	中学校2年生	765 100.0	114 14.9	415 54.2	194 25.4	42 5.5
病児・病後児保育	小学校5年生	886 100.0	62 7.0	586 66.1	185 20.9	53 6.0
	中学校2年生	765 100.0	46 6.0	464 60.7	208 27.2	47 6.1

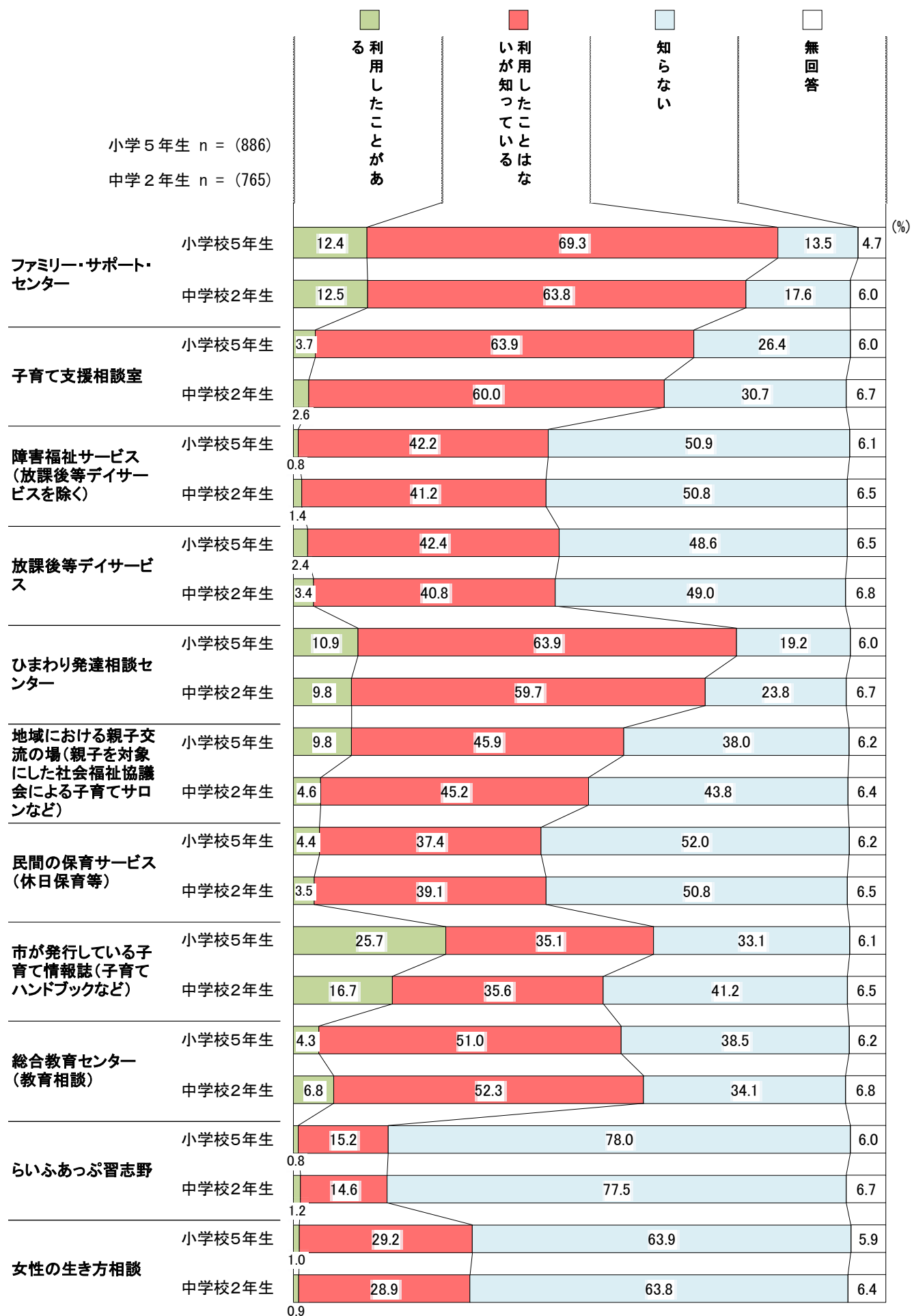
第2章 調査の結果詳細

(上段：件数、下段：%)

		調査数	あ 利 用 し た こ と が	る な 利 用 が 知 っ て い は	知 ら な い	無 回 答
ファミリー・サポート・センター	小学校5年生	886 100.0	110 12.4	614 69.3	120 13.5	42 4.7
	中学校2年生	765 100.0	96 12.5	488 63.8	135 17.6	46 6.0
子育て支援相談室	小学校5年生	886 100.0	33 3.7	566 63.9	234 26.4	53 6.0
	中学校2年生	765 100.0	20 2.6	459 60.0	235 30.7	51 6.7
障害福祉サービス（放課後等デイサービスを除く）	小学校5年生	886 100.0	7 0.8	374 42.2	451 50.9	54 6.1
	中学校2年生	765 100.0	11 1.4	315 41.2	389 50.8	50 6.5
放課後等デイサービス	小学校5年生	886 100.0	21 2.4	376 42.4	431 48.6	58 6.5
	中学校2年生	765 100.0	26 3.4	312 40.8	375 49.0	52 6.8
ひまわり発達相談センター	小学校5年生	886 100.0	97 10.9	566 63.9	170 19.2	53 6.0
	中学校2年生	765 100.0	75 9.8	457 59.7	182 23.8	51 6.7
地域における親子交流の場（親子を対象にした社会福祉協議会による子育て）	小学校5年生	886 100.0	87 9.8	407 45.9	337 38.0	55 6.2
	中学校2年生	765 100.0	35 4.6	346 45.2	335 43.8	49 6.4
民間の保育サービス（休日保育等）	小学校5年生	886 100.0	39 4.4	331 37.4	461 52.0	55 6.2
	中学校2年生	765 100.0	27 3.5	299 39.1	389 50.8	50 6.5
市が発行している子育て情報誌（子育てハンドブックなど）	小学校5年生	886 100.0	228 25.7	311 35.1	293 33.1	54 6.1
	中学校2年生	765 100.0	128 16.7	272 35.6	315 41.2	50 6.5
総合教育センター（教育相談）	小学校5年生	886 100.0	38 4.3	452 51.0	341 38.5	55 6.2
	中学校2年生	765 100.0	52 6.8	400 52.3	261 34.1	52 6.8
らいふあつぷ習志野	小学校5年生	886 100.0	7 0.8	135 15.2	691 78.0	53 6.0
	中学校2年生	765 100.0	9 1.2	112 14.6	593 77.5	51 6.7
女性の生き方相談	小学校5年生	886 100.0	9 1.0	259 29.2	566 63.9	52 5.9
	中学校2年生	765 100.0	7 0.9	221 28.9	488 63.8	49 6.4



第2章 調査の結果詳細



＜今後の利用希望＞

全体では「健康相談・健康診査」5.2%が最も高く、次いで「公民館の学習会（家庭教育や育児に関する学級・講座など）」3.1%、「女性の生き方相談」2.8%、「総合教育センター（教育相談）」2.2%、「ヘルスステーションでの相談」2.1%、「ファミリー・サポート・センター」2.1%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「健康相談・健康診査」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「公民館の学習会（家庭教育や育児に関する学級・講座など）」、中学2年生は「女性の生き方相談」となっている。

【図表125 全体・学年別】

	全 体		小学校5年生		中学校2年生	
	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,651	100.0	886	100.0	765	100.0
ヘルスステーションでの相談	34	2.1	22	2.5	12	1.6
妊婦・新生児訪問	11	0.7	9	1.0	2	0.3
健康相談・健康診査	86	5.2	44	5.0	42	5.5
各種育児教室（離乳食・歯みがきなど）	9	0.5	8	0.9	1	0.1
公民館の学習会（家庭教育や育児に関する学級・講座など）	51	3.1	33	3.7	18	2.4
保育所、認定こども園の地域開放	20	1.2	17	1.9	3	0.4
幼稚園、認定こども園の子育てふれあい広場	18	1.1	16	1.8	2	0.3
幼稚園、認定こども園（短時間児）の預かり保育	26	1.6	19	2.1	7	0.9
こどもセンター	21	1.3	19	2.1	2	0.3
つどいの広場（きらっ子ルーム）	17	1.0	13	1.5	4	0.5
病児・病後児保育	31	1.9	25	2.8	6	0.8
ファミリー・サポート・センター	34	2.1	30	3.4	4	0.5
子育て支援相談室	22	1.3	15	1.7	7	0.9
障害福祉サービス（放課後等デイサービスを除く）	14	0.8	8	0.9	6	0.8
放課後等デイサービス	29	1.8	18	2.0	11	1.4
ひまわり発達相談センター	15	0.9	12	1.4	3	0.4
地域における親子交流の場（親子を対象にした社会福祉協議会による子育てサロンなど）	13	0.8	10	1.1	3	0.4
民間の保育サービス（休日保育等）	15	0.9	13	1.5	2	0.3
市が発行している子育て情報誌（子育てハンドブックなど）	20	1.2	15	1.7	5	0.7
総合教育センター（教育相談）	36	2.2	25	2.8	11	1.4
らいふあつぎ習志野	15	0.9	10	1.1	5	0.7
女性の生き方相談	46	2.8	25	2.8	21	2.7
無回答	1,436	87.0	764	86.2	672	87.8

(5) 無料学習支援の子ども参加意向

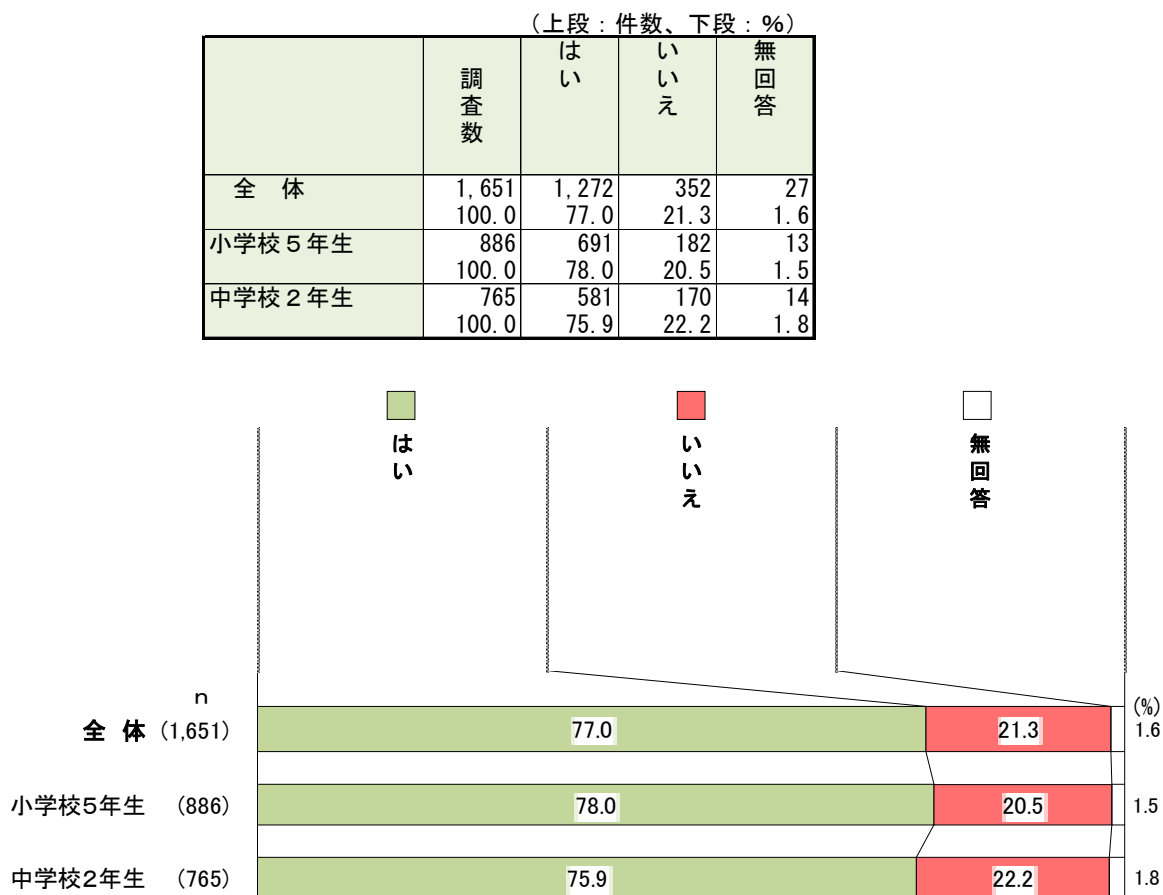
無料の学習支援があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。(〇は一つ)

[保護者・問9]

全体では「はい」77.0%、「いいえ」21.3%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「はい」が7割台となっている。

【図表126 全体・学年別】

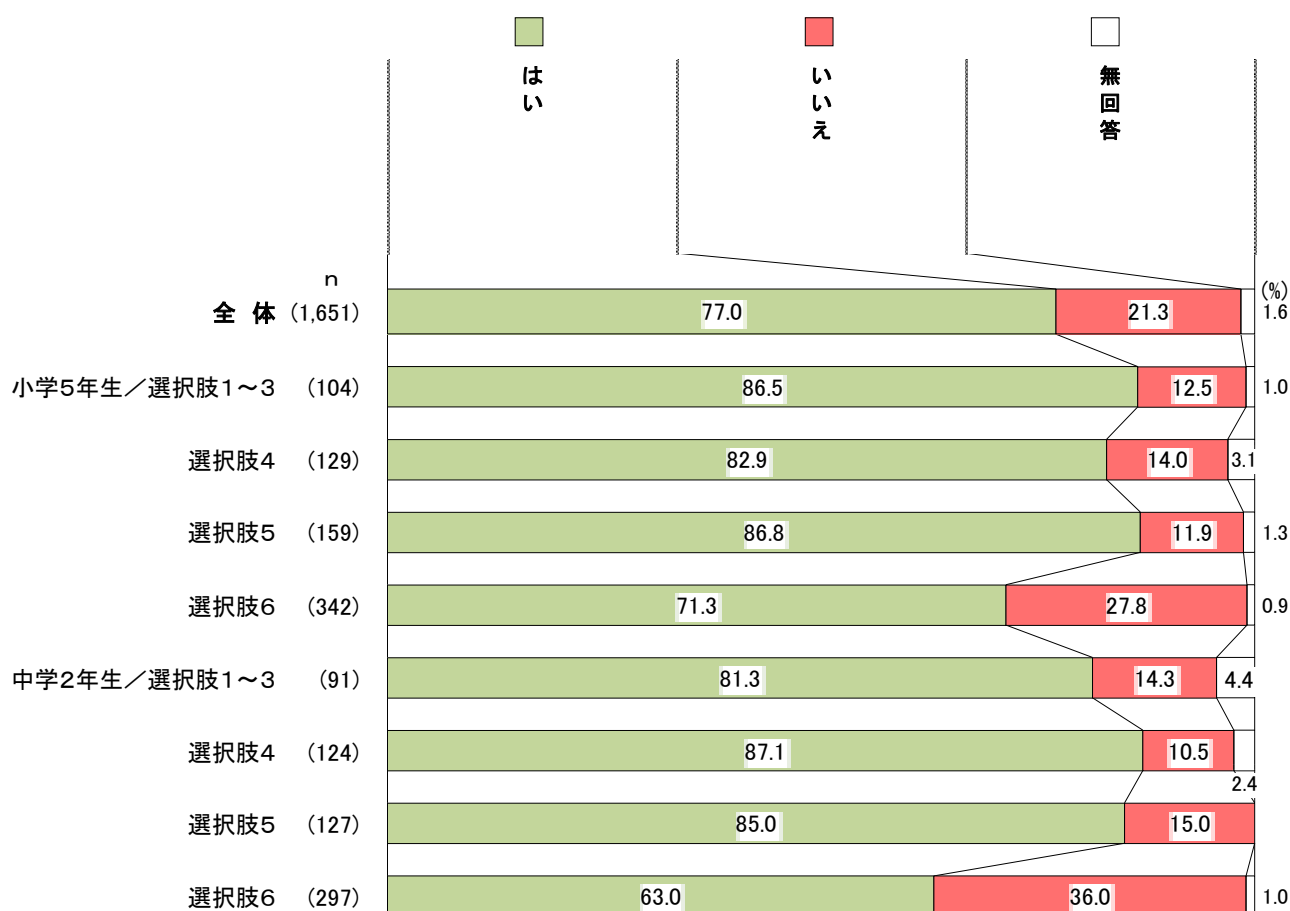


学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生では選択肢1～3と4、5で「はい」が8割を超えている。一方で、中学2年生の選択肢6では「いいえ」が3割台、小学5年生の選択肢6で「いいえ」が2割台となっている。

【図表127 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	1,651	1,272	352	27
	100.0	77.0	21.3	1.6
小学5年生／選択肢1～3	104	90	13	1
	100.0	86.5	12.5	1.0
選択肢4	129	107	18	4
	100.0	82.9	14.0	3.1
選択肢5	159	138	19	2
	100.0	86.8	11.9	1.3
選択肢6	342	244	95	3
	100.0	71.3	27.8	0.9
中学2年生／選択肢1～3	91	74	13	4
	100.0	81.3	14.3	4.4
選択肢4	124	108	13	3
	100.0	87.1	10.5	2.4
選択肢5	127	108	19	—
	100.0	85.0	15.0	—
選択肢6	297	187	107	3
	100.0	63.0	36.0	1.0



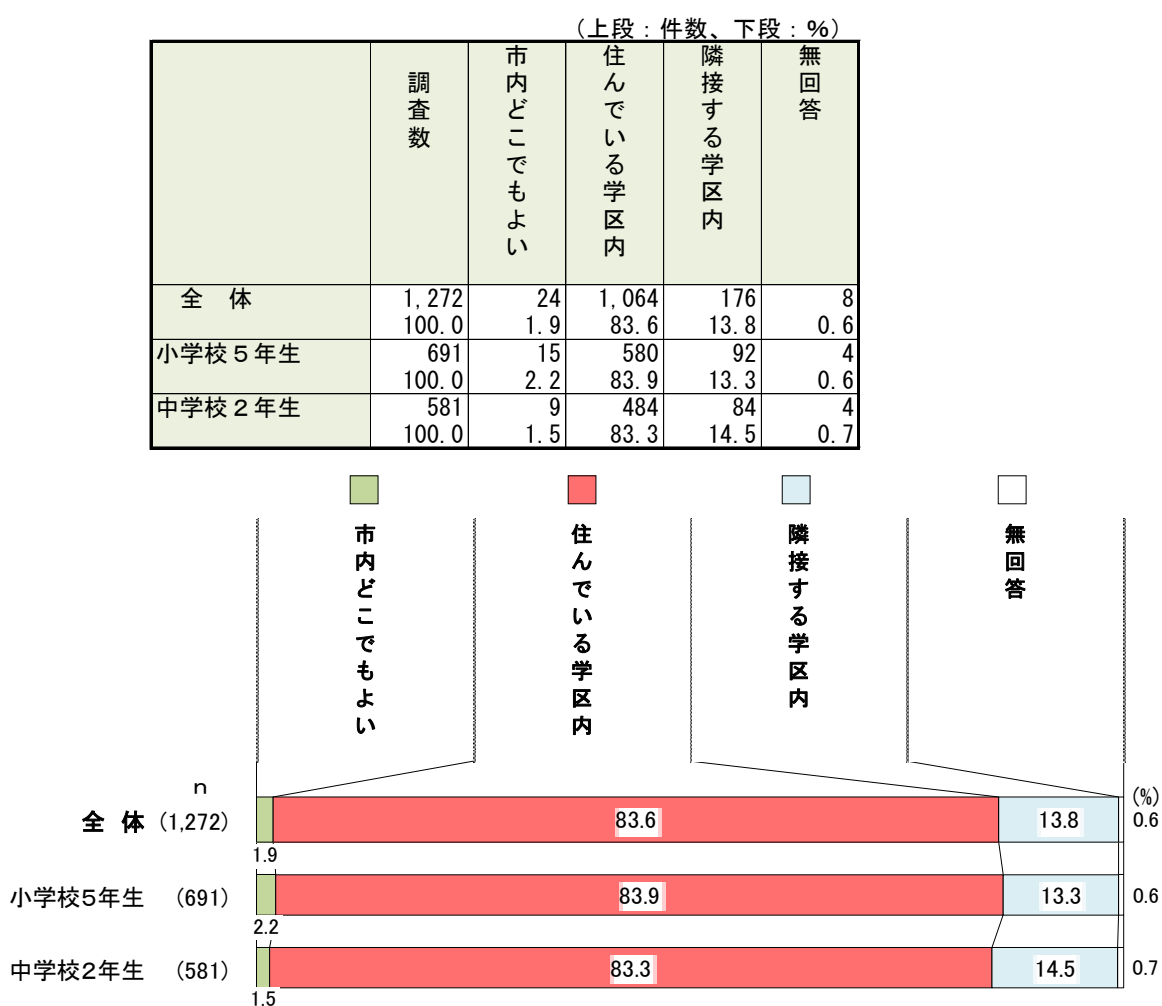
(6) 無料学習支援の参加可能範囲

無料の学習支援の子ども参加意向で「はい」とお答えの方にうかがいます。どの範囲ならお子さんに参加させたいと思いますか。(〇は一つ) [保護者・問10]

全体では「住んでいる学区内」83.6%が最も高く、次いで「隣接する学区内」13.8%となっている。また、「市内どこでもよい」は1.9%にとどまっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「住んでいる学区内」が8割台で最も高くなっており、次いで「隣接する学区内」が1割台となっている。

【図表128 全体・学年別】



10. 悩みごとや相談相手について

(1) 悩みや心配事

次のような悩みや心配事がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

[子ども・問34]

全体では「勉強や進学のこと」55.5%が最も高く、次いで「友達や仲間のこと」26.9%、「性格のこと」22.9%、「お金のこと」19.4%、「容姿（顔、体型、服装、髪型など）のこと」18.3%となっている。一方で、「悩みや心配なことはない」18.9%となっている。

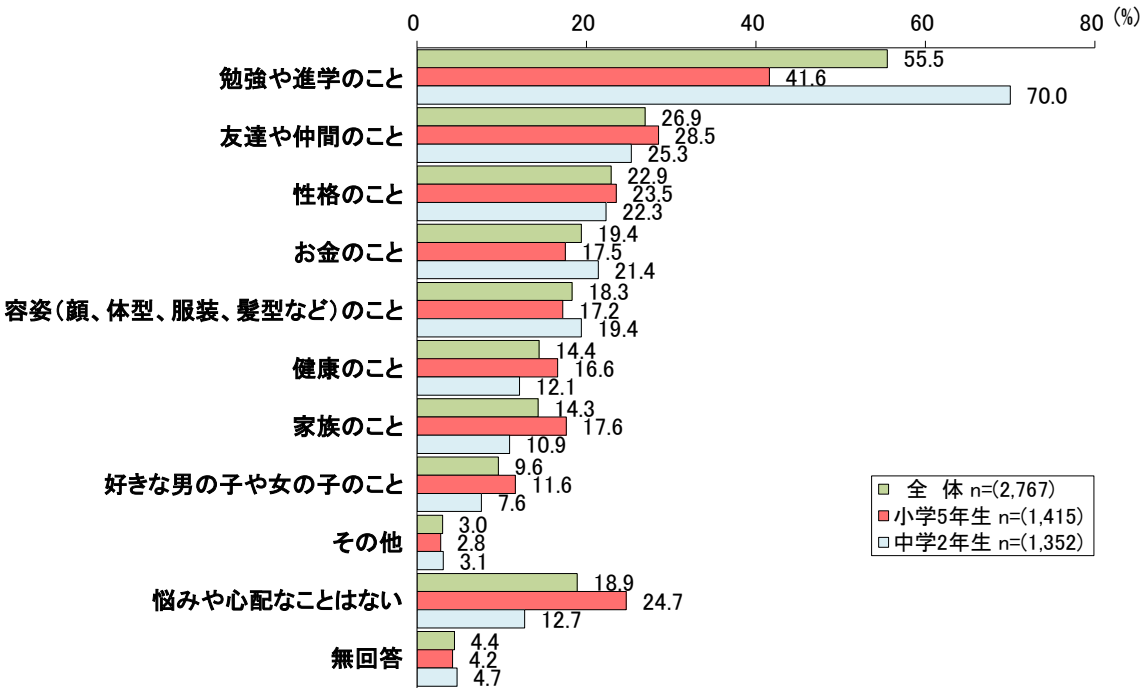
「その他」の主な記述内容は『部活』『将来のこと』『社会のこと』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「勉強や進学のこと」が最も高く、特に中学2年生では7割となっている。一方で、「悩みや心配なことはない」は小学5年生では2割台、中学2年生で1割台となっている。

【図表129 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	勉強や進学のこと	友達や仲間のこと	性格のこと	お金のこと	容姿（顔、体型、服装、髪型など）のこと	健康のこと	家族のこと	好きな男の子や女の子のこと	その他	悩みや心配なことはない	無回答
全 体	2,767	1,535 55.5	745 26.9	633 22.9	537 19.4	505 18.3	399 14.4	396 14.3	267 9.6	82 3.0	522 18.9	123 4.4
小学校5年生	1,415	589 41.6	403 28.5	332 23.5	247 17.5	243 17.2	235 16.6	249 17.6	164 11.6	40 2.8	350 24.7	60 4.2
中学校2年生	1,352	946 70.0	342 25.3	301 22.3	290 21.4	262 19.4	164 12.1	147 10.9	103 7.6	42 3.1	172 12.7	63 4.7



第2章 調査の結果詳細

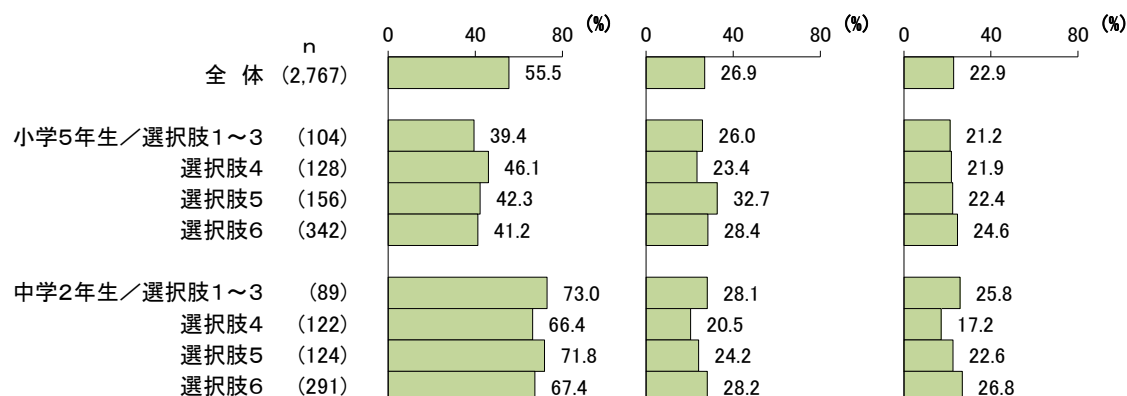
学年×可処分所得別にみると、小学5年生ではいずれの層も「勉強や進学のこと」が最も高くなっている。また、選択肢5では「友達や仲間のこと」が3割台となっている。一方で、いずれの層でも「悩みや心配なことではない」が2割台となっている。中学2年生ではいずれの層も「勉強や進学のこと」が最も高くなっている。次いで、選択肢1～3と4では「お金のこと」、選択肢5と6では「友達や仲間のこと」が高くなっている。

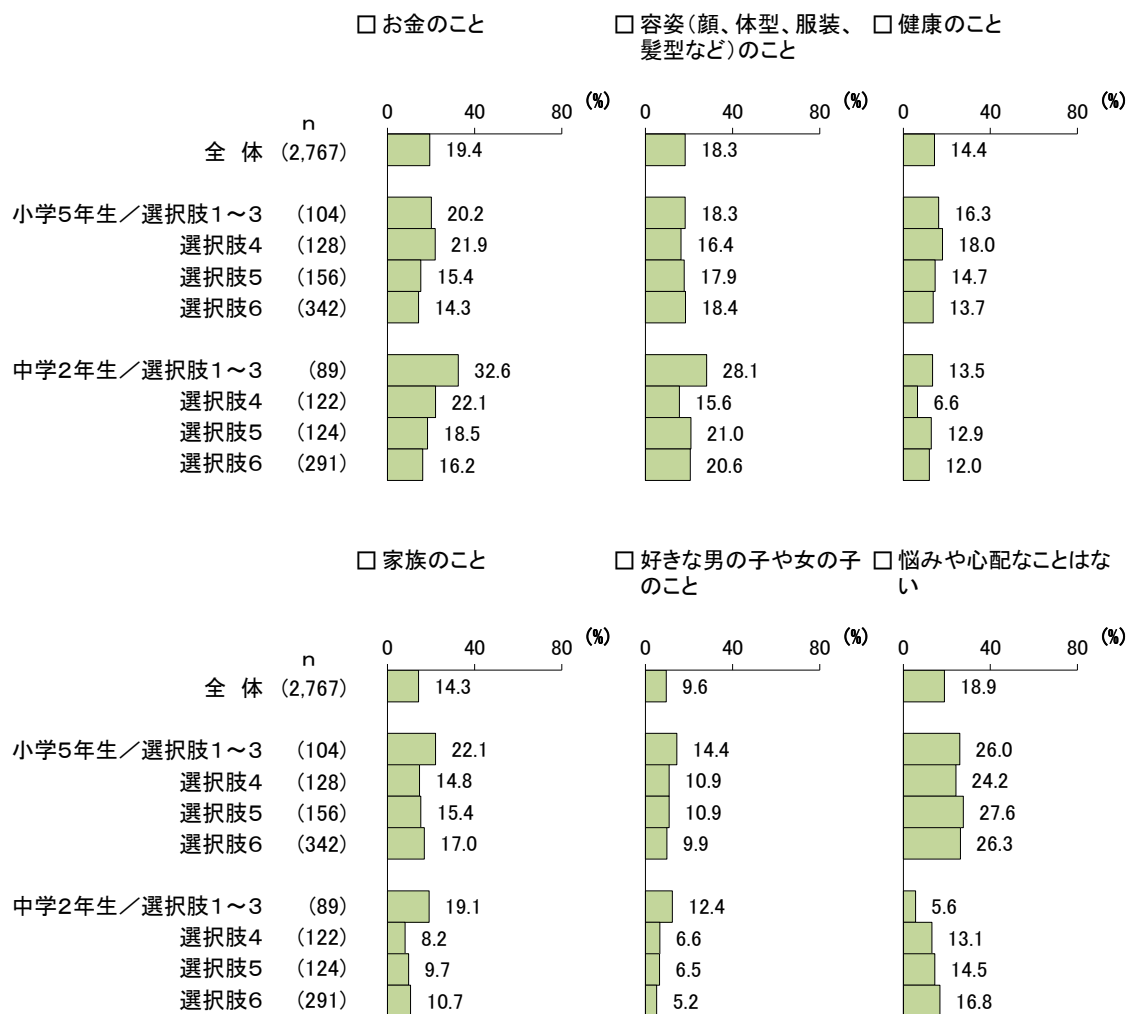
【図表130 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	勉強や進学のこと	友達や仲間のこと	性格のこと	お金のこと	服装、容姿、髪型、体型、などのこと	健康のこと	家族のこと	好きな男の子や女の子のこと	悩みや心配なことではない
全 体	2,767 100.0	1,535 55.5	745 26.9	633 22.9	537 19.4	505 18.3	399 14.4	396 14.3	267 9.6	522 18.9
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	41 39.4	27 26.0	22 21.2	21 20.2	19 18.3	17 16.3	23 22.1	15 14.4	27 26.0
選択肢4	128 100.0	59 46.1	30 23.4	28 21.9	28 21.9	21 16.4	23 18.0	19 14.8	14 10.9	31 24.2
選択肢5	156 100.0	66 42.3	51 32.7	35 22.4	24 15.4	28 17.9	23 14.7	24 15.4	17 10.9	43 27.6
選択肢6	342 100.0	141 41.2	97 28.4	84 24.6	49 14.3	63 18.4	47 13.7	58 17.0	34 9.9	90 26.3
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	65 73.0	25 28.1	23 25.8	29 32.6	25 28.1	12 13.5	17 19.1	11 12.4	5 5.6
選択肢4	122 100.0	81 66.4	25 20.5	21 17.2	27 22.1	19 15.6	8 6.6	10 8.2	8 6.6	16 13.1
選択肢5	124 100.0	89 71.8	30 24.2	28 22.6	23 18.5	26 21.0	16 12.9	12 9.7	8 6.5	18 14.5
選択肢6	291 100.0	196 67.4	82 28.2	78 26.8	47 16.2	60 20.6	35 12.0	31 10.7	15 5.2	49 16.8

□ 勉強や進学のこと □ 友達や仲間のこと □ 性格のこと





経年比較

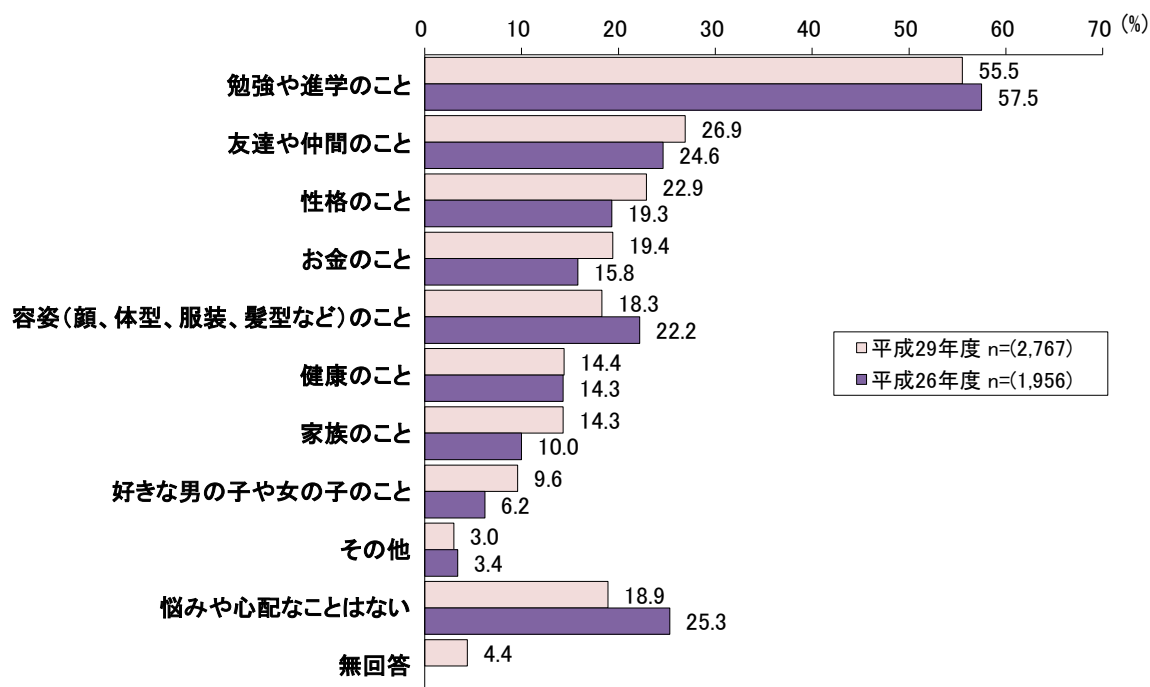
平成26年度と比較すると、「家族のこと」「性格のこと」「お金のこと」などが増加している。

一方で、「悩みや心配なことはない」「容姿（顔、体型、服装、髪型など）のこと」「勉強や進学のこと」が減少している。

<図表131 経年比較>

(上段：件数、下段：%)

	調査数	勉強や進学のこと	友達や仲間のこと	性格のこと	お金のこと	容姿（顔、体型、服装、髪型など）のこと	健康のこと	家族のこと	好きな男の子や女の子のこと	その他	悩みや心配なことはない	無回答
平成29年度	2,767 100.0	1,535 55.5	745 26.9	633 22.9	537 19.4	505 18.3	399 14.4	396 14.3	267 9.6	82 3.0	522 18.9	123 4.4
平成26年度	1,956 100.0	1,125 57.5	482 24.6	377 19.3	310 15.8	435 22.2	280 14.3	196 10.0	122 6.2	67 3.4	495 25.3	— —



(2) 困ったことや悩みの相談相手

困ったことや悩みの相談相手は主に誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。[子ども・問35]

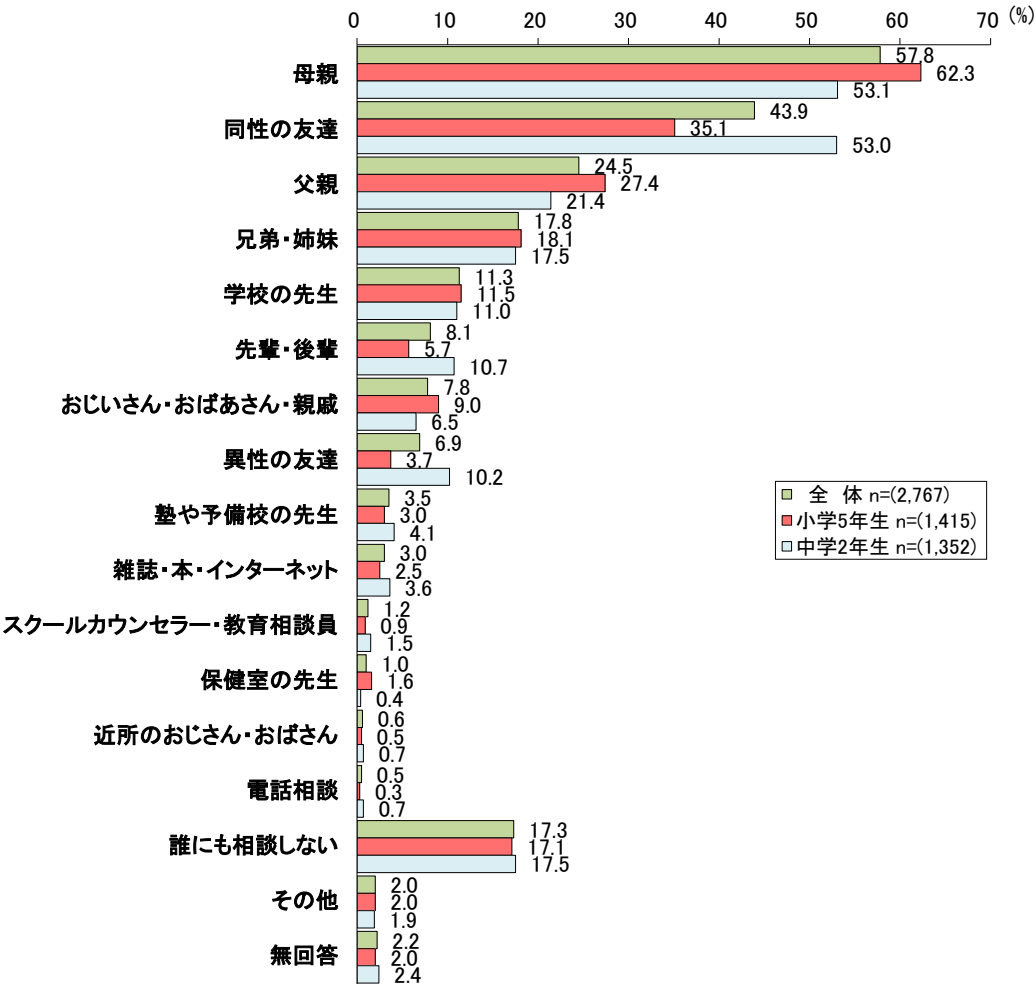
全体では「母親」57.8%が最も高く、次いで「同性の友達」43.9%、「父親」24.5%、「兄弟・姉妹」17.8%、「学校の先生」11.3%となっている。

「その他」の主な記述内容は『習い事の先生』『ペット（犬など）』『医師』などとなっている。

学年別でみると、小学5年生では「母親」が6割台と最も高く、次いで「同性の友達」が3割台となっている。中学2年生でも「母親」が5割台と最も高いが、次いで「同性の友達」もほぼ同じ割合となっている。

【図表132 全体・学年別】

		(上段：件数、下段：%)																
	調査数	母親	同性の友達	父親	兄弟・姉妹	学校の先生	先輩・後輩	おじいさん・おばあさん・親戚	異性の友達	塾や予備校の先生	雑誌・本・インターネット	スクールカウンセラー・教育相談員	保健室の先生	近所のおじいさん・おばあさん	電話相談	誰にも相談しない	その他	無回答
全 体	2,767	1,600	1,214	677	492	312	225	215	190	98	84	33	29	17	13	478	55	61
	100.0	57.8	43.9	24.5	17.8	11.3	8.1	7.8	6.9	3.5	3.0	1.2	1.0	0.6	0.5	17.3	2.0	2.2
小学校5年生	1,415	882	497	388	256	163	81	127	52	42	35	13	23	7	4	242	29	28
	100.0	62.3	35.1	27.4	18.1	11.5	5.7	9.0	3.7	3.0	2.5	0.9	1.6	0.5	0.3	17.1	2.0	2.0
中学校2年生	1,352	718	717	289	236	149	144	88	138	56	49	20	6	10	9	236	26	33
	100.0	53.1	53.0	21.4	17.5	11.0	10.7	6.5	10.2	4.1	3.6	1.5	0.4	0.7	0.7	17.5	1.9	2.4



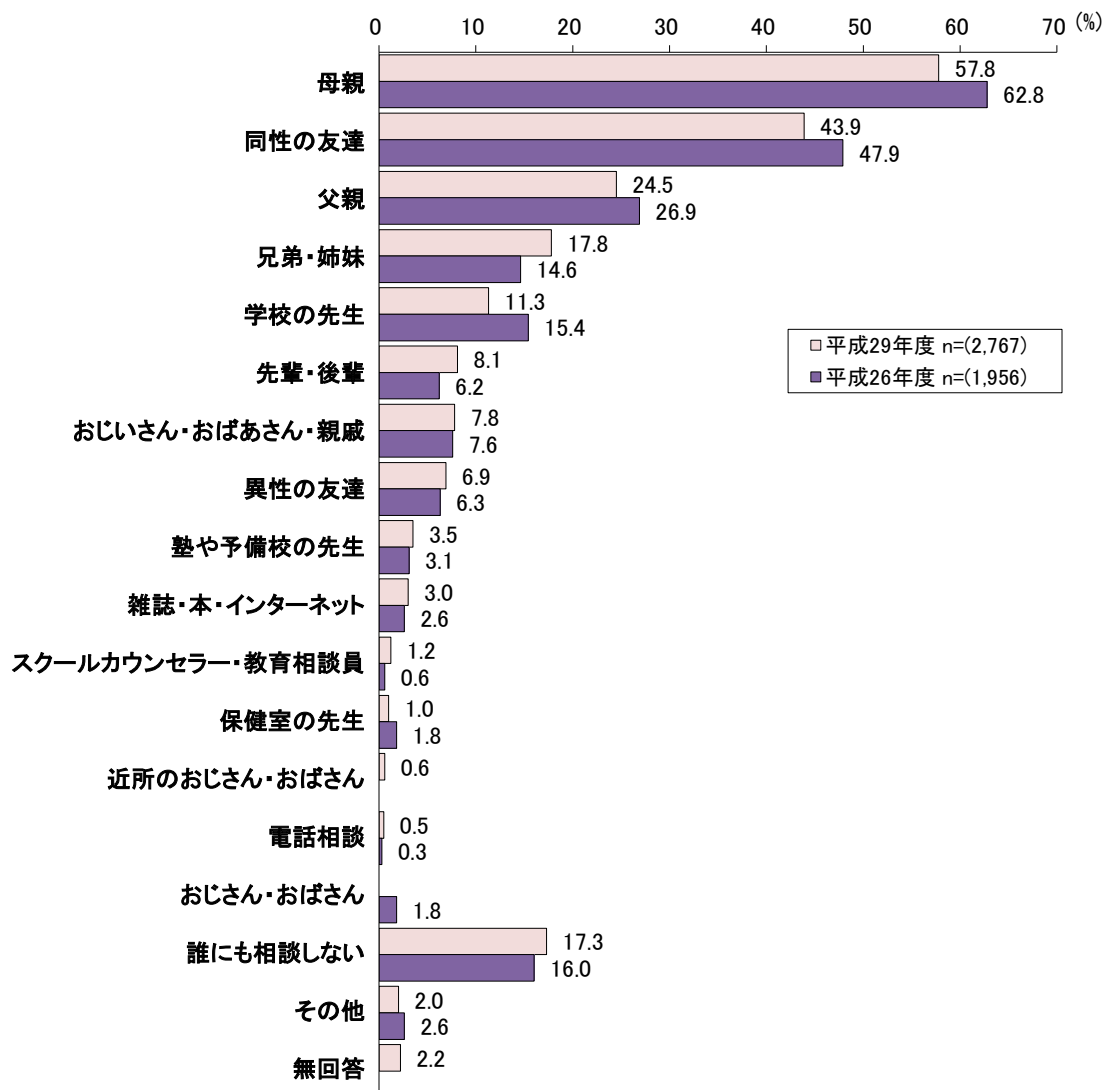
経年比較

平成26年度と比較すると、「兄弟・姉妹」などが増加している。

一方で、「母親」「学校の先生」「同性の友達」などが減少している。

＜図表133 経年比較＞

(上段：件数、下段：%)																			
	調査数	母親	同性の友達	父親	兄弟・姉妹	学校の先生	先輩・後輩	おじいさん・おばあさん・親戚	異性の友達	塾や予備校の先生	雑誌・本・インターネット	スクールカウンセラー・教育相談員	保健室の先生	近所のおじいさん・おばあさん	電話相談	おじいさん・おばあさん	誰にも相談しない	その他	無回答
平成29年度	2,767 100.0	1,600 57.8	1,214 43.9	677 24.5	492 17.8	312 11.3	225 8.1	215 7.8	190 6.9	98 3.5	84 3.0	33 1.2	29 1.0	17 0.6	13 0.5		478 17.3	55 2.0	61 2.2
平成26年度	1,956 100.0	1,229 62.8	937 47.9	526 26.9	285 14.6	301 15.4	122 6.2	148 7.6	123 6.3	60 3.1	50 2.6	12 0.6	36 1.8		5 0.3	36 1.8	313 16.0	51 2.6	-



※「おじいさん・おばあさん・親戚」は、前回調査（平成26年度）では「おじいさん・おばあさん」である。「おじいさん・おばあさん」は、前回調査（平成26年度）のみの選択肢である。

(3) お子さんに関することで、悩んでいること

お子さんに関することで、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも) [保護者・問11]

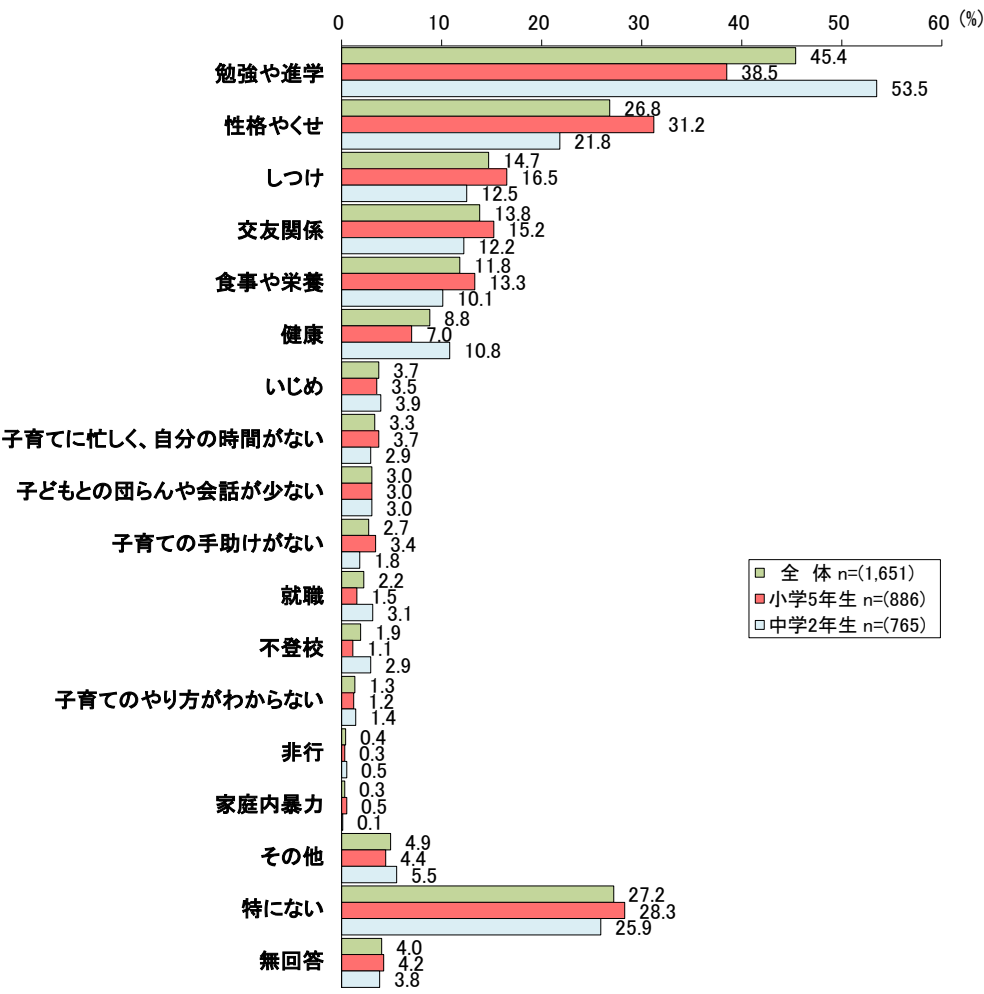
全体では「勉強や進学」45.4%が最も高く、次いで「性格やくせ」26.8%、「しつけ」14.7%、「交友関係」13.8%、「食事や栄養」11.8%となっている。

「その他」の主な記述内容は『ゲーム機、スマホの所持、利用時間』『仕事等の関係で子どもの相手ができない』『部活や進学の費用面』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「勉強や進学」が最も高く、特に中学2年生では過半数となっている。次いで「性格やくせ」が小学5年生では3割台、中学2年生では2割台となっている。

【図表134 全体・学年別】

	調査数	勉強や進学	性格やくせ	しつけ	交友関係	食事や栄養	健康	いじめ	子育てに忙しく、自分の時間がない	子どもとの団らんや会話が少ない	子育ての手助けがない	就職	不登校	子育てのやり方がわからない	非行	家庭内暴力	その他	特にない	無回答
全体	1,651	750	443	242	228	195	145	61	55	50	44	37	32	22	7	5	81	449	66
	100.0	45.4	26.8	14.7	13.8	11.8	8.8	3.7	3.3	3.0	2.7	2.2	1.9	1.3	0.4	0.3	4.9	27.2	4.0
小学校5年生	886	341	276	146	135	118	62	31	33	27	30	13	10	11	3	4	39	251	37
	100.0	38.5	31.2	16.5	15.2	13.3	7.0	3.5	3.7	3.0	3.4	1.5	1.1	1.2	0.3	0.5	4.4	28.3	4.2
中学校2年生	765	409	167	96	93	77	83	30	22	23	14	24	22	11	4	1	42	198	29
	100.0	53.5	21.8	12.5	12.2	10.1	10.8	3.9	2.9	3.0	1.8	3.1	2.9	1.4	0.5	0.1	5.5	25.9	3.8



第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別にみると、小学5年生ではいずれの層も「勉強や進学」が最も高くなっている。次いで、「性格やくせ」で選択肢6以外が3割台となっている。中学2年生ではいずれの層も「勉強や進学」が最も高く、選択肢6以外で過半数となっている。次いで、「性格やくせ」で選択肢6以外が2割台となっている。

【図表135 学年×可処分所得別（上位6項目）】

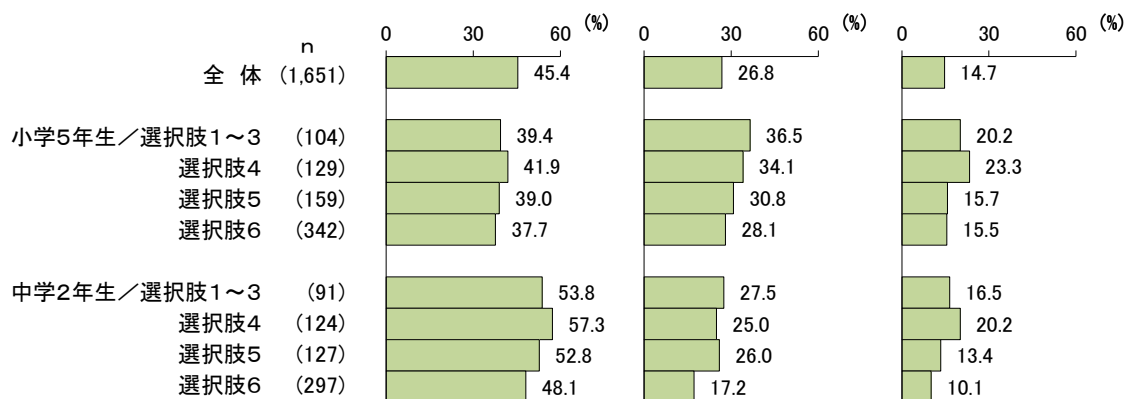
(上段：件数、下段：%)

	調査数	勉強や進学	性格やくせ	しつけ	交友関係	食事や栄養	健康
全 体	1,651	750	443	242	228	195	145
	100.0	45.4	26.8	14.7	13.8	11.8	8.8
小学5年生／選択肢1～3	104	41	38	21	12	18	7
	100.0	39.4	36.5	20.2	11.5	17.3	6.7
選択肢4	129	54	44	30	19	23	8
	100.0	41.9	34.1	23.3	14.7	17.8	6.2
選択肢5	159	62	49	25	27	20	14
	100.0	39.0	30.8	15.7	17.0	12.6	8.8
選択肢6	342	129	96	53	54	37	24
	100.0	37.7	28.1	15.5	15.8	10.8	7.0
中学2年生／選択肢1～3	91	49	25	15	13	12	11
	100.0	53.8	27.5	16.5	14.3	13.2	12.1
選択肢4	124	71	31	25	18	16	13
	100.0	57.3	25.0	20.2	14.5	12.9	10.5
選択肢5	127	67	33	17	18	15	15
	100.0	52.8	26.0	13.4	14.2	11.8	11.8
選択肢6	297	143	51	30	23	23	29
	100.0	48.1	17.2	10.1	7.7	7.7	9.8

□ 勉強や進学

□ 性格やくせ

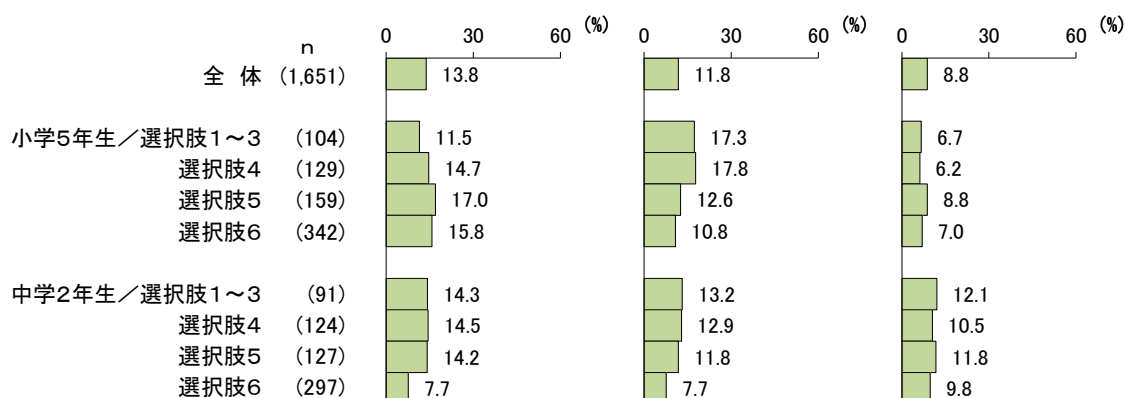
□ しつけ



□ 交友関係

□ 食事や栄養

□ 健康



(4) お子さんのこと以外で、困っていることや不安に思っていること

お子さんのこと以外で、困っていることや不安に思っていることはありますか。

(○はいくつでも) [保護者・問12]

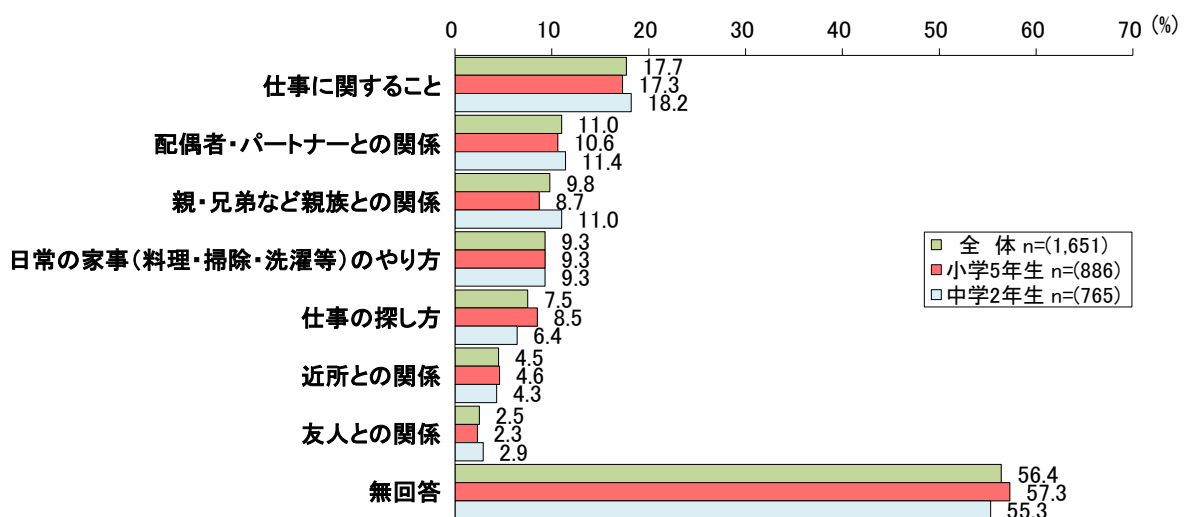
全体では「仕事に関すること」17.7%が最も高く、次いで「配偶者・パートナーとの関係」11.0%、「親・兄弟など親族との関係」9.8%、「日時の家事（料理・掃除・洗濯等）のやり方」9.3%、「仕事の探し方」7.5%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「仕事に関すること」が最も高くなっており、次いで「配偶者・パートナーとの関係」となっている。

【図表136 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	仕事に関すること	配偶者・パートナーとの関係	親・兄弟など親族との関係	日常の家事（料理・掃除・洗濯等）のやり方	仕事の探し方	近所との関係	友人との関係	無回答
全 体	1,651 100.0	292 17.7	181 11.0	161 9.8	153 9.3	124 7.5	74 4.5	42 2.5	931 56.4
小学校5年生	886 100.0	153 17.3	94 10.6	77 8.7	82 9.3	75 8.5	41 4.6	20 2.3	508 57.3
中学校2年生	765 100.0	139 18.2	87 11.4	84 11.0	71 9.3	49 6.4	33 4.3	22 2.9	423 55.3



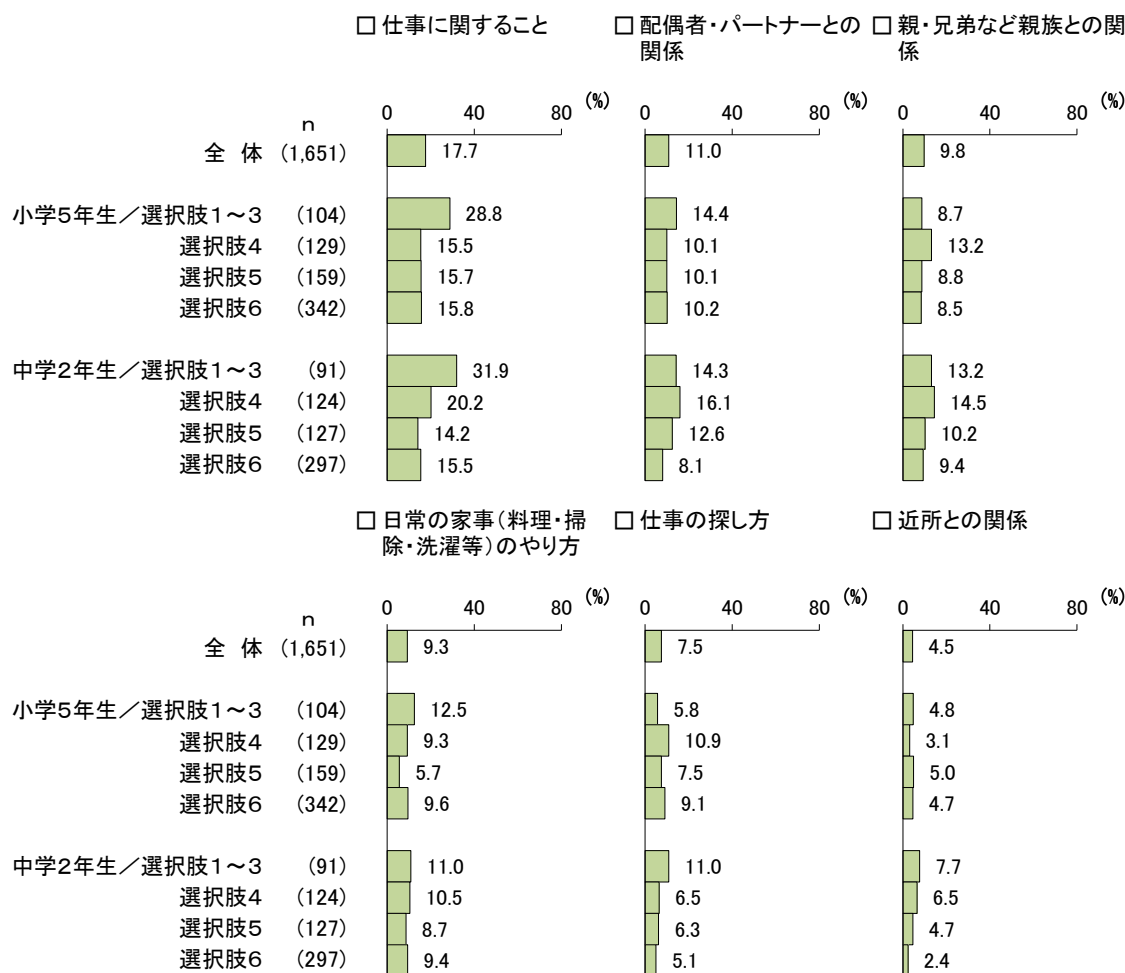
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別にみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「仕事に関すること」が最も高く、中学2年生の選択肢1～3では3割台、小学5年生の選択肢1～3では約3割となっている。

【図表137 学年×可処分所得別（上位6項目）】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	仕事に関すること	配偶者・パートナーとの関係	親・兄弟など親族との関係	等理・日常の家事(料理・掃除・洗濯等)のやり方	仕事の探し方	近所との関係
全 体	1,651	292	181	161	153	124	74
	100.0	17.7	11.0	9.8	9.3	7.5	4.5
小学5年生／選択肢1～3	104	30	15	9	13	6	5
	100.0	28.8	14.4	8.7	12.5	5.8	4.8
選択肢4	129	20	13	17	12	14	4
	100.0	15.5	10.1	13.2	9.3	10.9	3.1
選択肢5	159	25	16	14	9	12	8
	100.0	15.7	10.1	8.8	5.7	7.5	5.0
選択肢6	342	54	35	29	33	31	16
	100.0	15.8	10.2	8.5	9.6	9.1	4.7
中学2年生／選択肢1～3	91	29	13	12	10	10	7
	100.0	31.9	14.3	13.2	11.0	11.0	7.7
選択肢4	124	25	20	18	13	8	8
	100.0	20.2	16.1	14.5	10.5	6.5	6.5
選択肢5	127	18	16	13	11	8	6
	100.0	14.2	12.6	10.2	8.7	6.3	4.7
選択肢6	297	46	24	28	28	15	7
	100.0	15.5	8.1	9.4	9.4	5.1	2.4



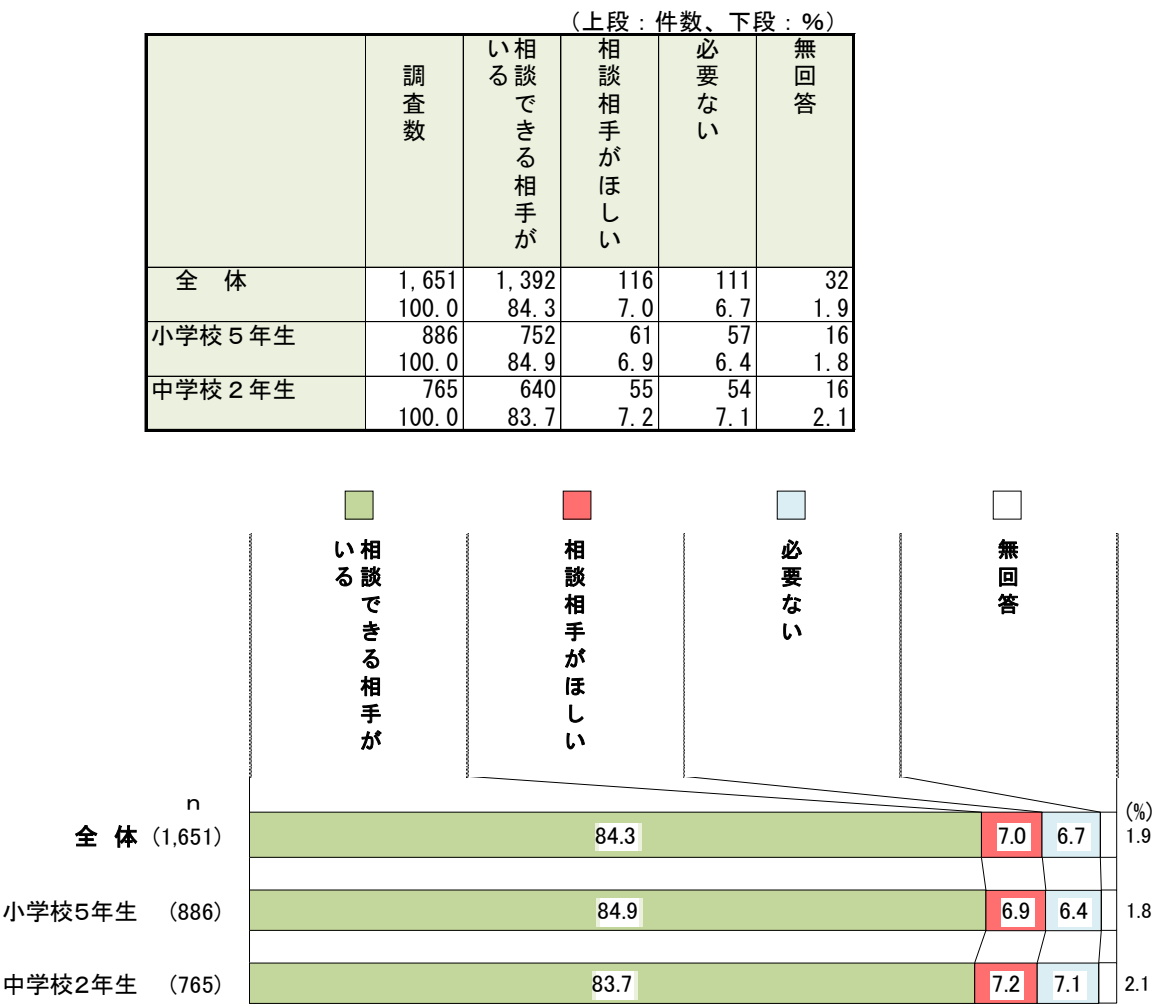
(5) 心おきなく相談できる相手の有無

あなたには、心おきなく相談できる相手がありますか。(○は一つ) [保護者・問13]

全体では「相談できる相手がいる」84.3%が最も高く、次いで「相談相手がほしい」7.0%、「必要ない」6.7%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「相談できる相手がいる」が8割台で最も高くなっている。

【図表138 全体・学年別】



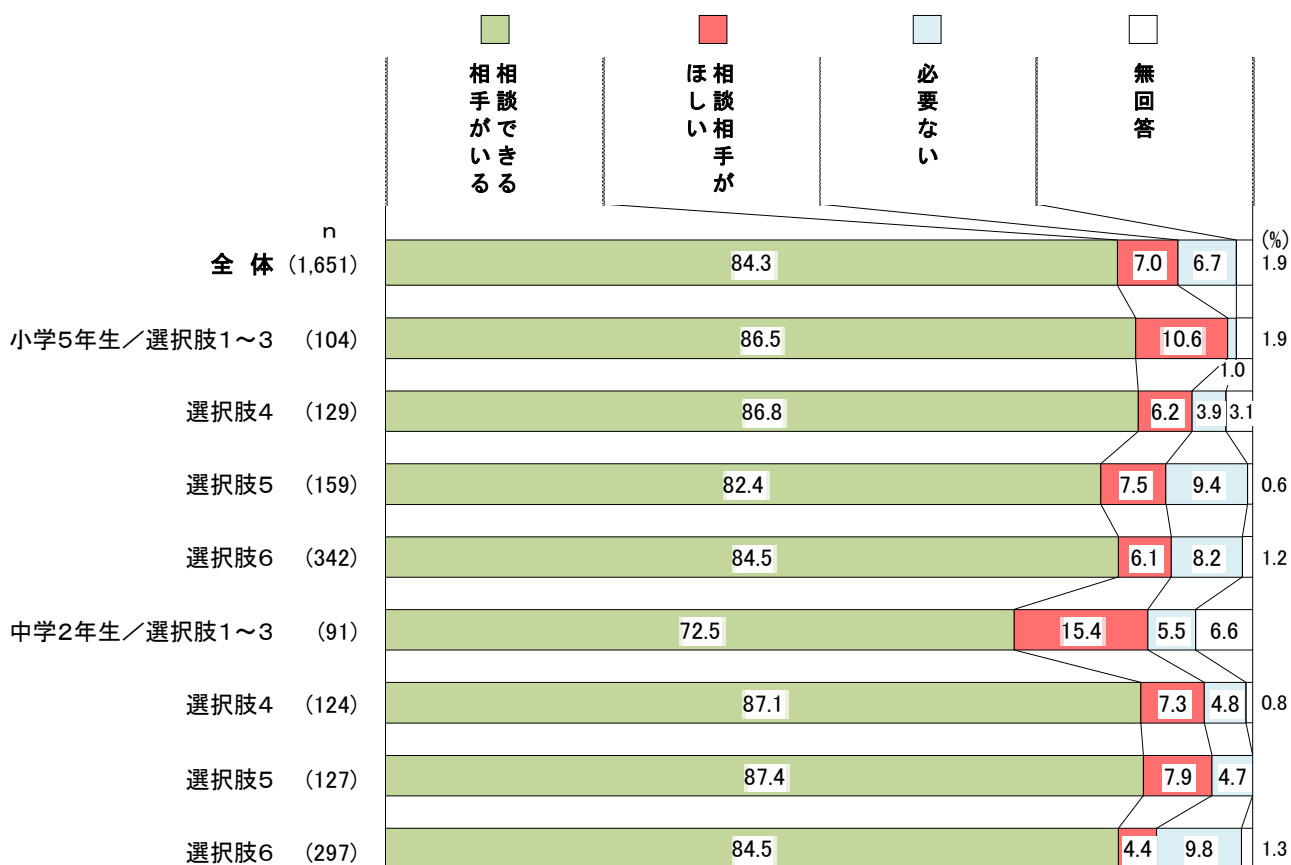
第2章 調査の結果詳細

学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「相談できる相手がいる」が7割を超えている。一方で、小学5年生・中学2年生の選択肢1～3では「相談相手がほしい」が1割台となっている。

【図表139 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	相談 相手 が い る	ほ ろ ほ ろ 相 談 し 相 手 が	必 要 な い	無 回 答
全 体	1,651 100.0	1,392 84.3	116 7.0	111 6.7	32 1.9
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	90 86.5	11 10.6	1 1.0	2 1.9
選択肢4	129 100.0	112 86.8	8 6.2	5 3.9	4 3.1
選択肢5	159 100.0	131 82.4	12 7.5	15 9.4	1 0.6
選択肢6	342 100.0	289 84.5	21 6.1	28 8.2	4 1.2
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	66 72.5	14 15.4	5 5.5	6 6.6
選択肢4	124 100.0	108 87.1	9 7.3	6 4.8	1 0.8
選択肢5	127 100.0	111 87.4	10 7.9	6 4.7	-
選択肢6	297 100.0	251 84.5	13 4.4	29 9.8	4 1.3



(6) 現在の相談相手、希望する相談相手

心おきなく相談できる相手の有無で「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方にうかがいます。その相談相手は誰ですか。また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思っていますか。(〇はいくつでも) [保護者・問14]

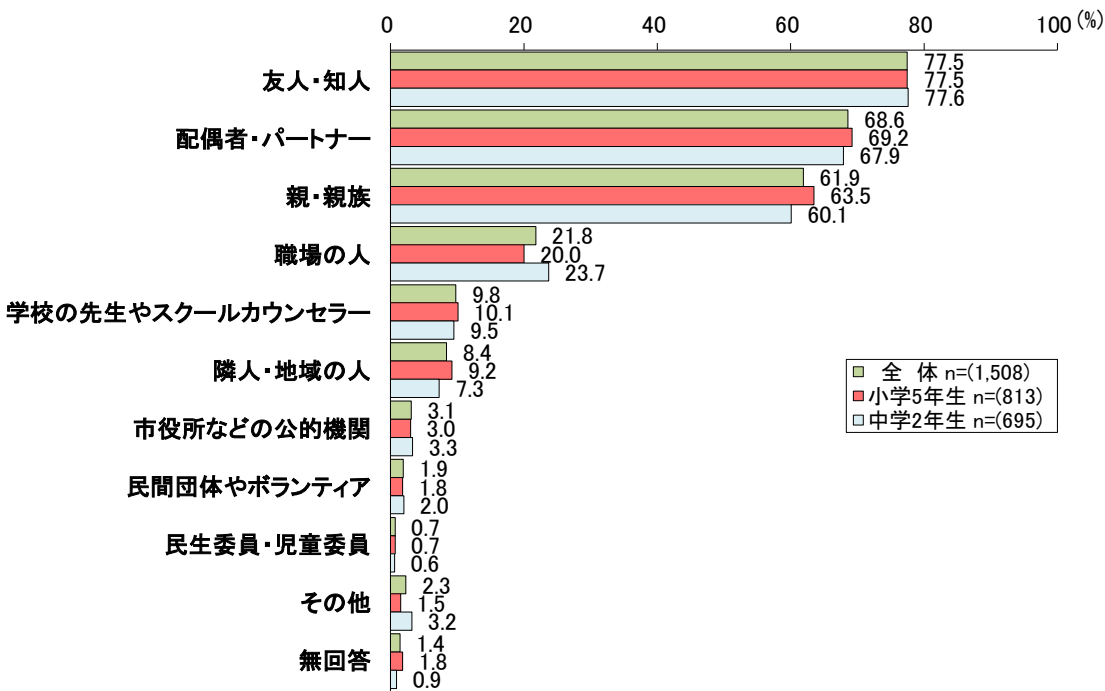
全体では「友人・知人」77.5%が最も高く、次いで「配偶者・パートナー」68.6%、「親・親族」61.9%、「職場の人」21.8%、「学校の先生やスクールカウンセラー」9.8%となっている。

「その他」の主な記述内容は『専門職の方』『医師』『子ども』などとなっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「友人・知人」が7割台と最も高くなっており、次いで「配偶者・パートナー」「親・親族」で6割台となっている。

【図表140 全体・学年別】

	調査数	友人・知人	配偶者・パートナー	親・親族	職場の人	学校の先生やスクールカウンセラー	隣人・地域の人	市役所などの公的機関	民間団体やボランティア	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体	1,508	1,169	1,035	934	328	148	126	47	29	10	34	21
	100.0	77.5	68.6	61.9	21.8	9.8	8.4	3.1	1.9	0.7	2.3	1.4
小学校5年生	813	630	563	516	163	82	75	24	15	6	12	15
	100.0	77.5	69.2	63.5	20.0	10.1	9.2	3.0	1.8	0.7	1.5	1.8
中学校2年生	695	539	472	418	165	66	51	23	14	4	22	6
	100.0	77.6	67.9	60.1	23.7	9.5	7.3	3.3	2.0	0.6	3.2	0.9



11. お子さんと家の大人の過ごし方について

(1) 大人と一緒に食事をする頻度

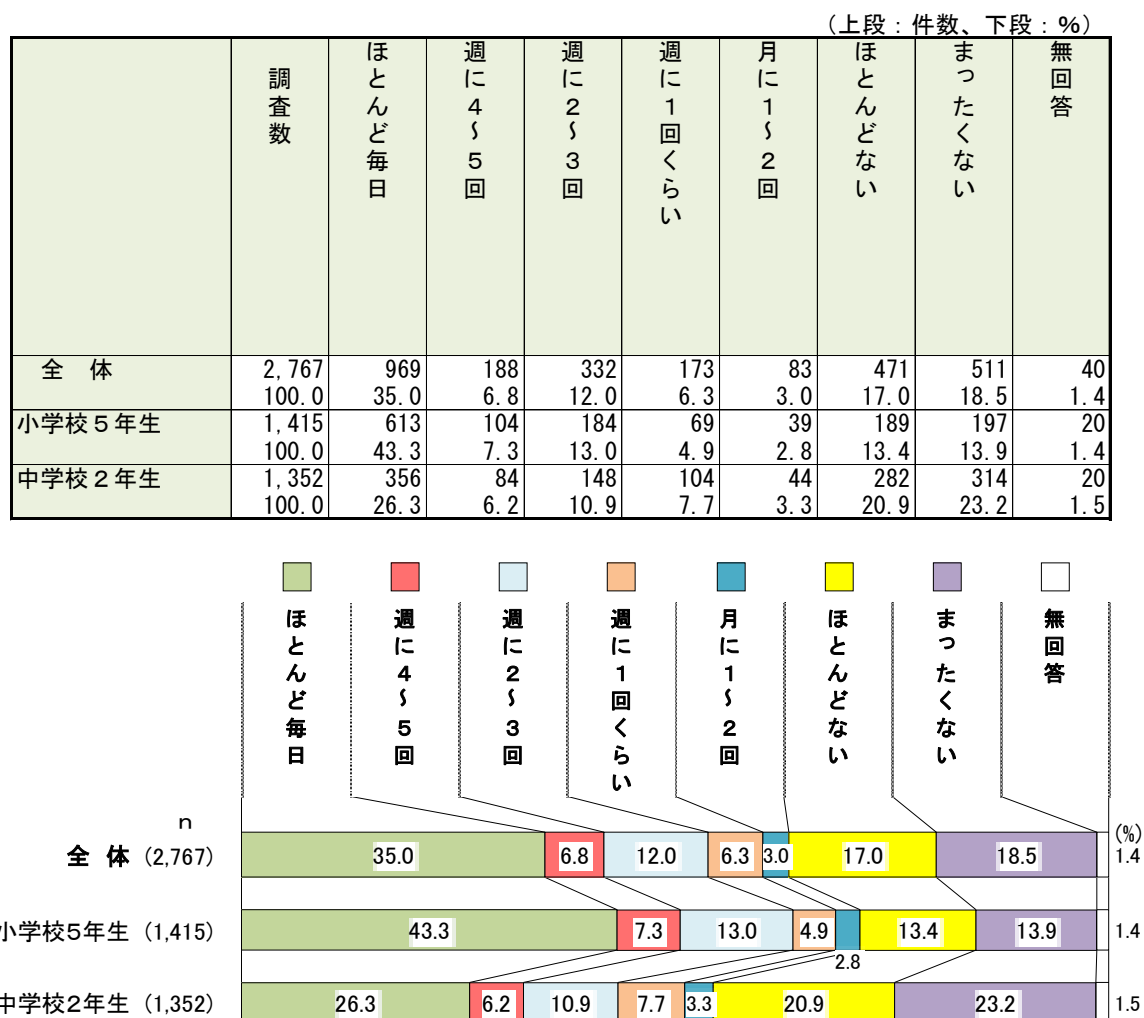
あなたは次のことをどのくらいしていますか。次の1番から2番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ○をしてください。[子ども・問11]

朝ご飯は、全体では「ほとんど毎日」35.0%が最も高く、次いで「まったくない」18.5%、「ほとんどない」17.0%、「週に2～3回」12.0%、「週4～5日」6.8%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「ほとんど毎日」が最も高く、特に小学5年生で4割台である。次いで、「まったくない」となっている。

【図表141 全体・学年別】

<家の人と朝ご飯を食べる頻度>

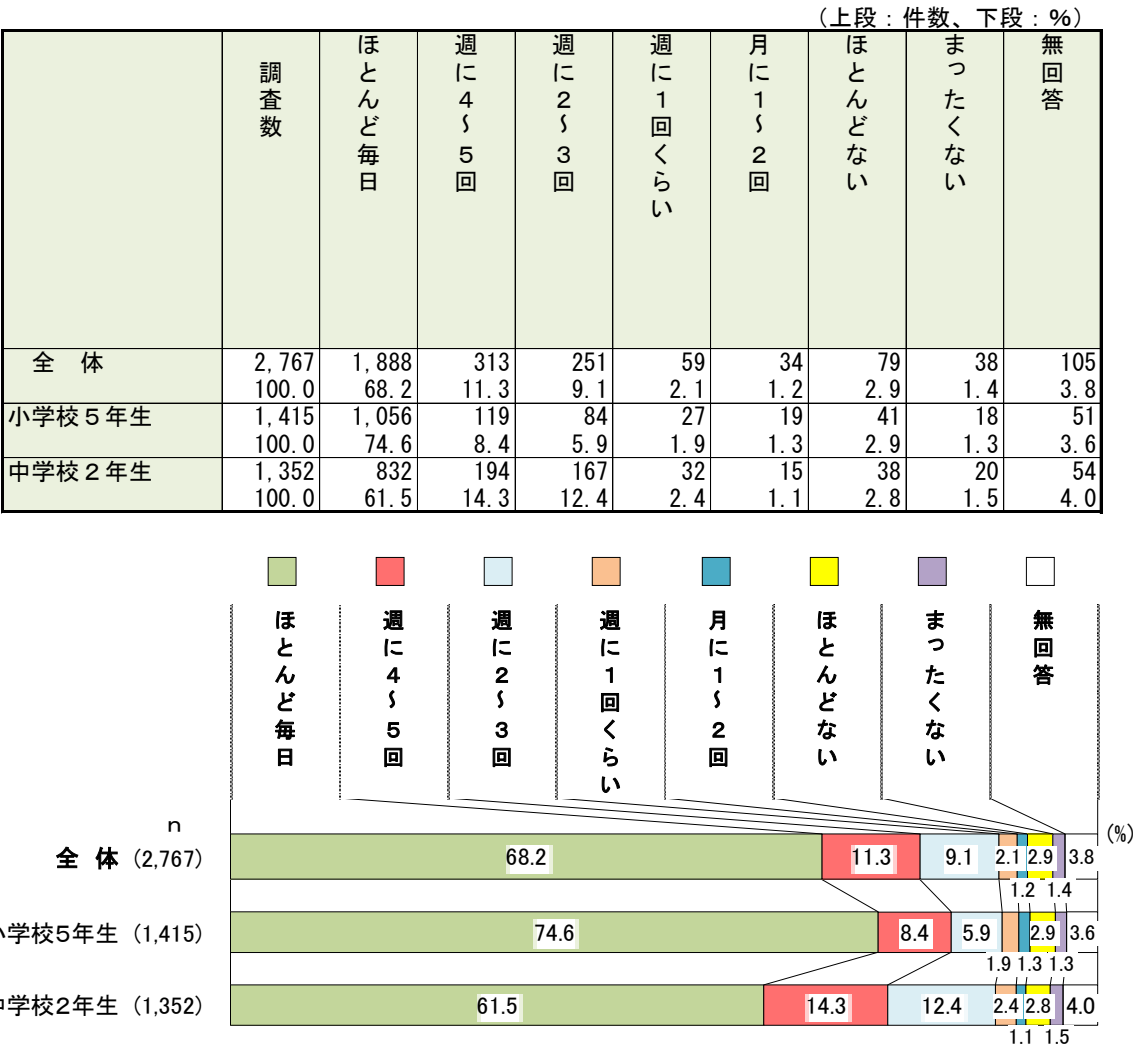


タご飯は、全体では「ほとんど毎日」68.2%が最も高く、次いで「週4～5日」11.3%、「週に2～3回」9.1%、「ほとんどない」2.9%、「週に1回くらい」2.1%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「ほとんど毎日」が最も高く、特に小学5年生で7割台である。次いで、「週に4～5回」となっている。

【図表142 全体・学年別】

＜家の人とタご飯を食べる頻度＞



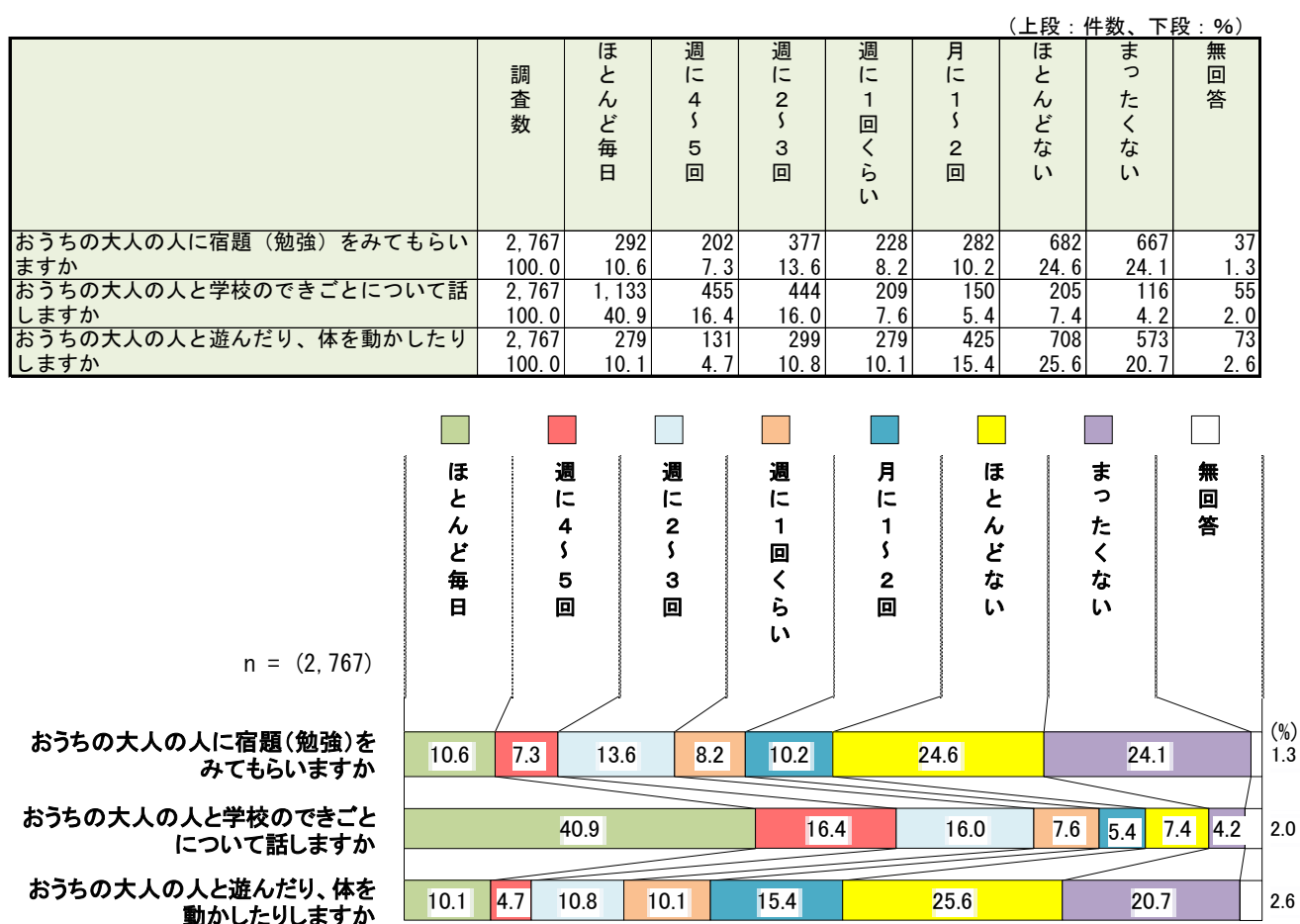
第2章 調査の結果詳細

(2) 家の大人とのかかわり

あなたは次のことをどのくらいしていますか。次の1番から3番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ○をしてください。[子ども・問37]

全体では「おうちの大人の人と学校のできごとについて話しますか」では、「ほとんど毎日」40.9%が最も高い。一方で、「おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか」と「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか」は『ない』（「ほとんどない」＋「まったくない」）が全体の約5割と高くなっている。

【図表143 全体】

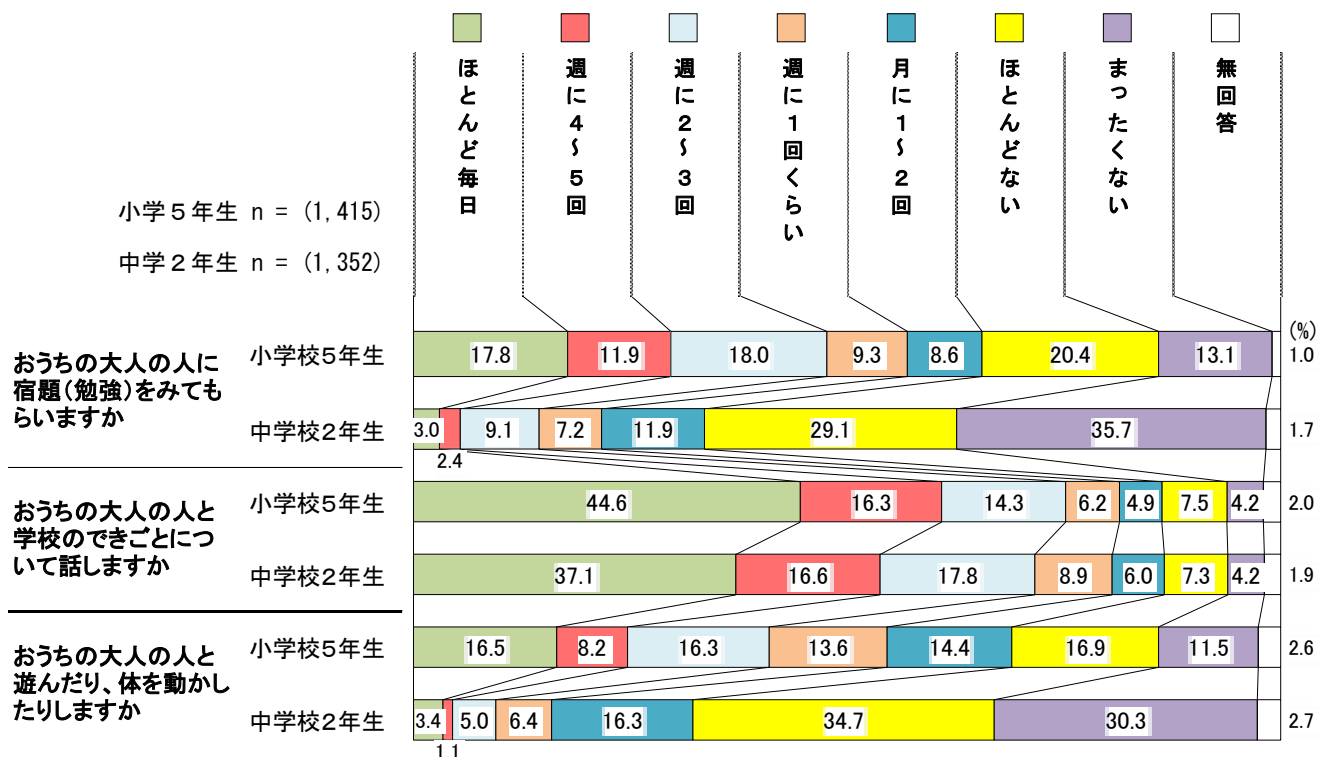


学年別でみると、「うちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか」「うちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか」は、中学2年生で『ない』（「ほとんどない」＋「まったくない」）がともに6割台と高くなっている。「うちの大人の人と学校のできごとについて話しますか」は、「ほとんど毎日」が小学5年生で4割台、中学2年生で3割台となっている。

【図表144 学年別】

(上段：件数、下段：%)

		調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
うちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか	小学校5年生	1,415 100.0	252 17.8	169 11.9	254 18.0	131 9.3	121 8.6	289 20.4	185 13.1	14 1.0
	中学校2年生	1,352 100.0	40 3.0	33 2.4	123 9.1	97 7.2	161 11.9	393 29.1	482 35.7	23 1.7
うちの大人の人と学校のできごとについて話しますか	小学校5年生	1,415 100.0	631 44.6	230 16.3	203 14.3	88 6.2	69 4.9	106 7.5	59 4.2	29 2.0
	中学校2年生	1,352 100.0	502 37.1	225 16.6	241 17.8	121 8.9	81 6.0	99 7.3	57 4.2	26 1.9
うちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか	小学校5年生	1,415 100.0	233 16.5	116 8.2	231 16.3	192 13.6	204 14.4	239 16.9	163 11.5	37 2.6
	中学校2年生	1,352 100.0	46 3.4	15 1.1	68 5.0	87 6.4	221 16.3	469 34.7	410 30.3	36 2.7



第2章 調査の結果詳細

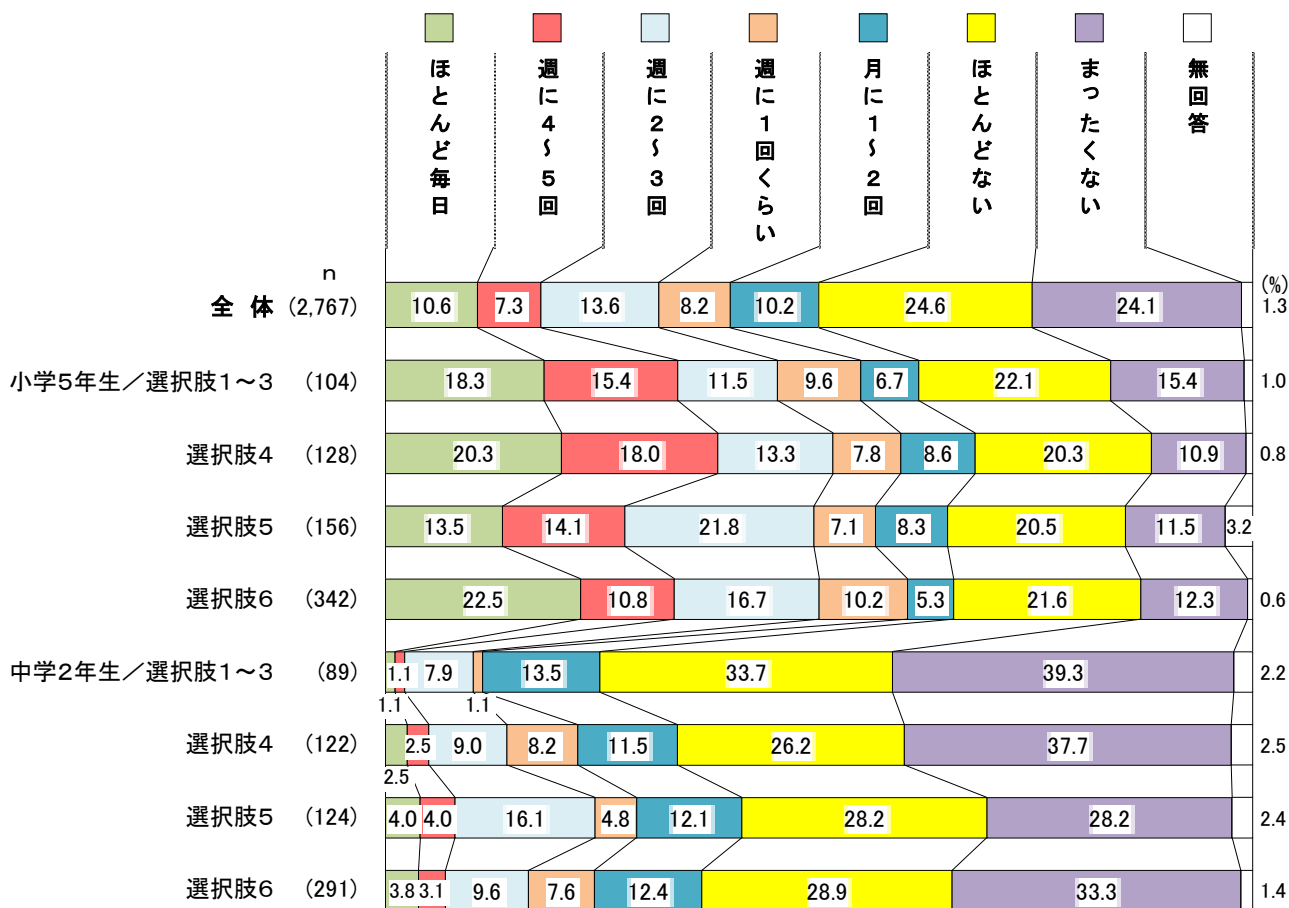
＜おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか＞

学年×可処分所得別でみると、小学5年生では選択肢4で「ほとんど毎日」「ほとんどない」がともに高くなっている。選択肢1～3では「ほとんどない」、選択肢6では「ほとんど毎日」が最も高くなっている。中学2年生ではいずれの層でも「ほとんどない」「まったくない」がともに高く、選択肢1～3では「まったくない」が約4割となっている。

【図表145 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
全 体	2,767	292	202	377	228	282	682	667	37
	100.0	10.6	7.3	13.6	8.2	10.2	24.6	24.1	1.3
小学5年生／選択肢1～3	104	19	16	12	10	7	23	16	1
	100.0	18.3	15.4	11.5	9.6	6.7	22.1	15.4	1.0
選択肢4	128	26	23	17	10	11	26	14	1
	100.0	20.3	18.0	13.3	7.8	8.6	20.3	10.9	0.8
選択肢5	156	21	22	34	11	13	32	18	5
	100.0	13.5	14.1	21.8	7.1	8.3	20.5	11.5	3.2
選択肢6	342	77	37	57	35	18	74	42	2
	100.0	22.5	10.8	16.7	10.2	5.3	21.6	12.3	0.6
中学2年生／選択肢1～3	89	1	1	7	1	12	30	35	2
	100.0	1.1	1.1	7.9	1.1	13.5	33.7	39.3	2.2
選択肢4	122	3	3	11	10	14	32	46	3
	100.0	2.5	2.5	9.0	8.2	11.5	26.2	37.7	2.5
選択肢5	124	5	5	20	6	15	35	35	3
	100.0	4.0	4.0	16.1	4.8	12.1	28.2	28.2	2.4
選択肢6	291	11	9	28	22	36	84	97	4
	100.0	3.8	3.1	9.6	7.6	12.4	28.9	33.3	1.4



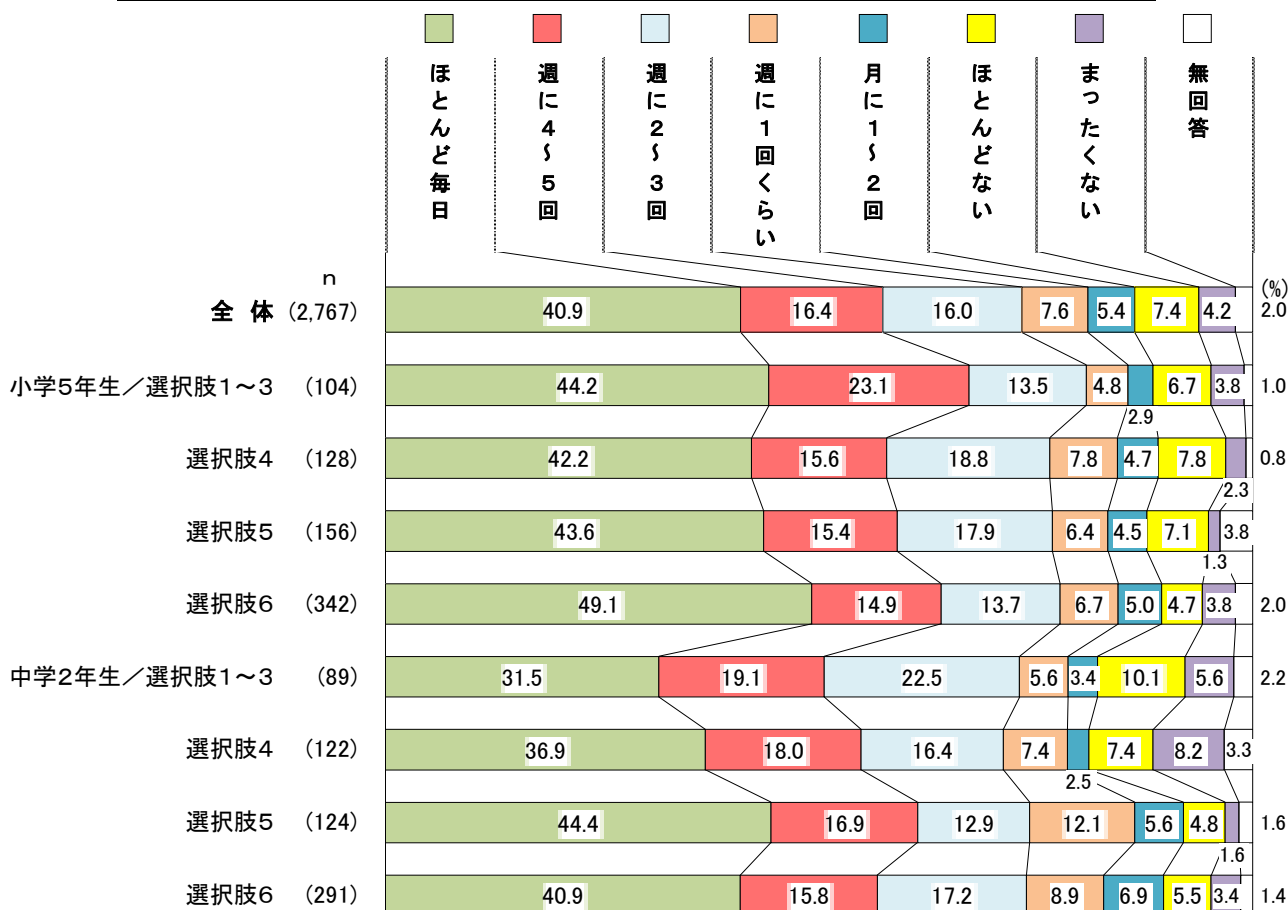
<おうちの大人のひとと学校のできごとについて話しますか>

学年×可処分所得別でみると、小学5年生ではいずれの層も「ほとんど毎日」が4割台と最も高くなっている。また、選択肢1～3では「週に4～5回」が2割台となっている。中学2年生ではいずれの層でも「ほとんど毎日」が最も高く、特に選択肢5と6で4割台となっている。また、選択肢1～3では「週に2～3回」が2割台となっている。

【図表146 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
全 体	2,767 100.0	1,133 40.9	455 16.4	444 16.0	209 7.6	150 5.4	205 7.4	116 4.2	55 2.0
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	46 44.2	24 23.1	14 13.5	5 4.8	3 2.9	7 6.7	4 3.8	1 1.0
選択肢4	128 100.0	54 42.2	20 15.6	24 18.8	10 7.8	6 4.7	10 7.8	3 2.3	1 0.8
選択肢5	156 100.0	68 43.6	24 15.4	28 17.9	10 6.4	7 4.5	11 7.1	2 1.3	6 3.8
選択肢6	342 100.0	168 49.1	51 14.9	47 13.7	23 6.7	17 5.0	16 4.7	13 3.8	7 2.0
中学2年生／選択肢1～3	89 100.0	28 31.5	17 19.1	20 22.5	5 5.6	3 3.4	9 10.1	5 5.6	2 2.2
選択肢4	122 100.0	45 36.9	22 18.0	20 16.4	9 7.4	3 2.5	9 7.4	10 8.2	4 3.3
選択肢5	124 100.0	55 44.4	21 16.9	16 12.9	15 12.1	7 5.6	6 4.8	2 1.6	2 1.6
選択肢6	291 100.0	119 40.9	46 15.8	50 17.2	26 8.9	20 6.9	16 5.5	10 3.4	4 1.4



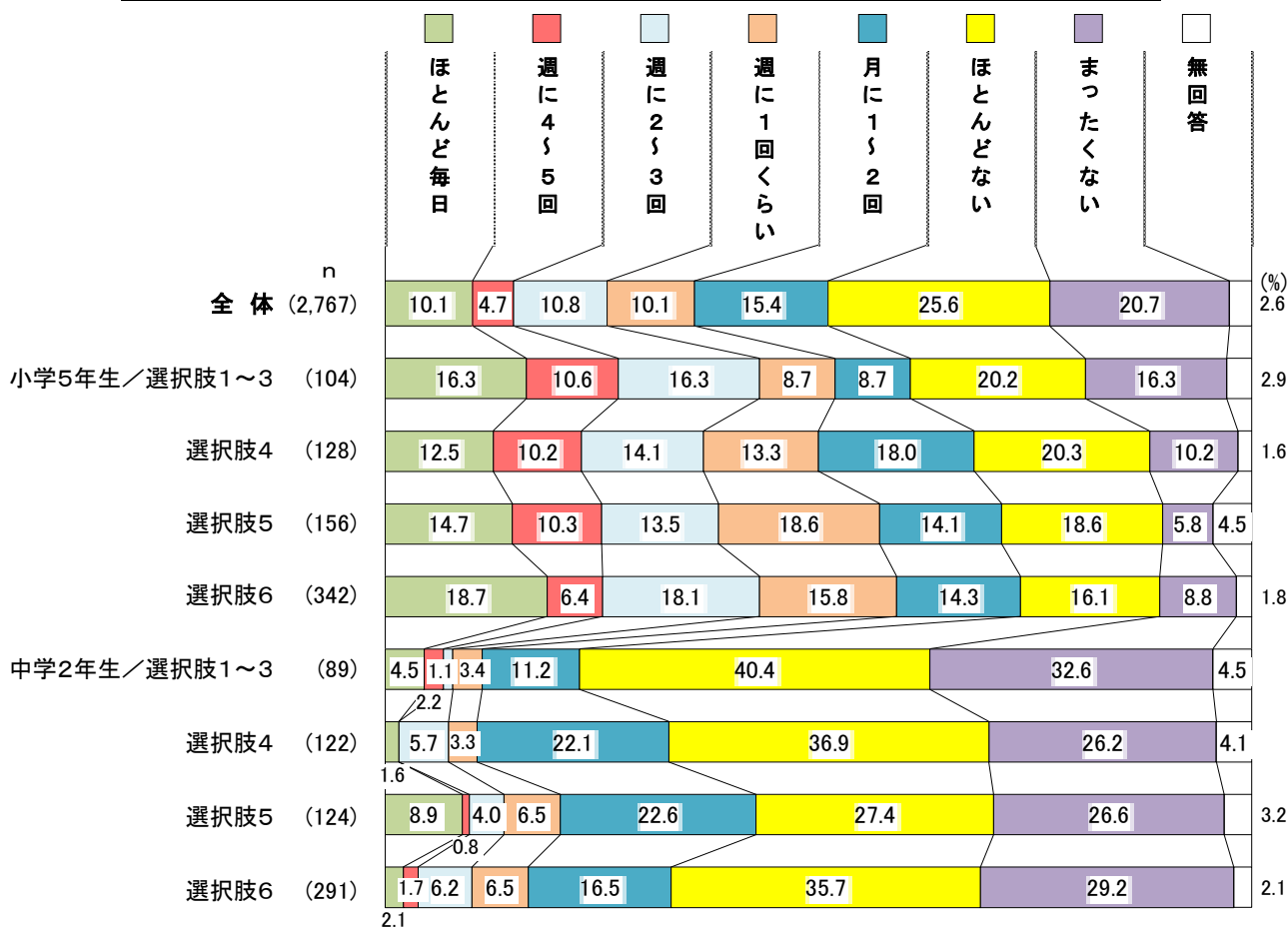
第2章 調査の結果詳細

＜おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか＞

学年×可処分所得別でみると、小学5年生では選択肢5で「週に1回くらい」「ほとんどない」がともに高くなっている。選択肢1～3と4では「ほとんどない」、選択肢6では「ほとんど毎日」が最も高くなっている。中学2年生ではいずれの層でも「ほとんどない」「まったくない」がともに高く、選択肢1～3では「ほとんどない」が4割となっている。

【図表147 学年×可処分所得別】

		(上段：件数、下段：%)							
	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回くらい	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
全 体	2,767	279	131	299	279	425	708	573	73
	100.0	10.1	4.7	10.8	10.1	15.4	25.6	20.7	2.6
小学5年生／選択肢1～3	104	17	11	17	9	9	21	17	3
	100.0	16.3	10.6	16.3	8.7	8.7	20.2	16.3	2.9
選択肢4	128	16	13	18	17	23	26	13	2
	100.0	12.5	10.2	14.1	13.3	18.0	20.3	10.2	1.6
選択肢5	156	23	16	21	29	22	29	9	7
	100.0	14.7	10.3	13.5	18.6	14.1	18.6	5.8	4.5
選択肢6	342	64	22	62	54	49	55	30	6
	100.0	18.7	6.4	18.1	15.8	14.3	16.1	8.8	1.8
中学2年生／選択肢1～3	89	4	2	1	3	10	36	29	4
	100.0	4.5	2.2	1.1	3.4	11.2	40.4	32.6	4.5
選択肢4	122	2	—	7	4	27	45	32	5
	100.0	1.6	—	5.7	3.3	22.1	36.9	26.2	4.1
選択肢5	124	11	1	5	8	28	34	33	4
	100.0	8.9	0.8	4.0	6.5	22.6	27.4	26.6	3.2
選択肢6	291	6	5	18	19	48	104	85	6
	100.0	2.1	1.7	6.2	6.5	16.5	35.7	29.2	2.1



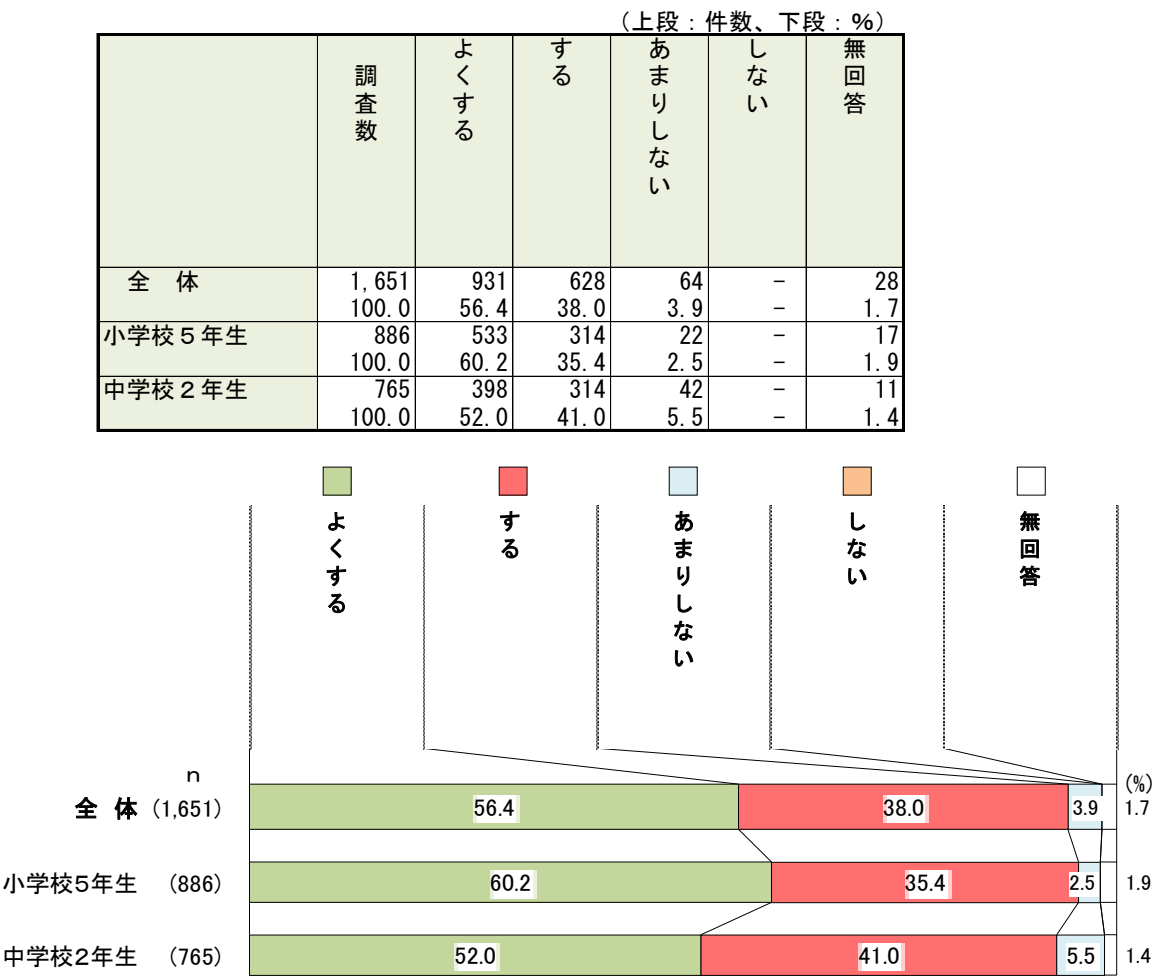
(3) お子さんとの会話頻度

あなたは、お子さんとよく話をしますか。(〇は一つ) [保護者・問19]

全体では「よくする」56.4%が最も高く、次いで「する」38.0%、「あまりしない」3.9%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「よくする」が最も高く、小学5年生では6割台となっている。次いで「する」は中学2年生では4割台となっている。

【図表148 全体・学年別】



第2章 調査の結果詳細

(4) お子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている1日の時間

あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、大体どれくらいですか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号一つに○)

[保護者・問20]

<平日>

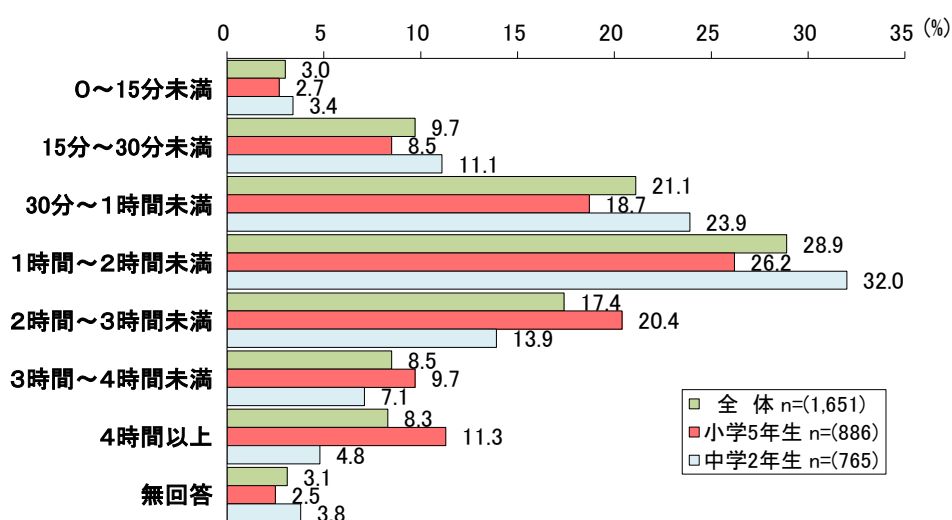
全体では「1時間～2時間未満」28.9%が最も高く、次いで「30分～1時間未満」21.1%、「2時間～3時間未満」17.4%、「15分～30分未満」9.7%、「3時間～4時間未満」8.5%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「1時間～2時間未満」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「2時間～3時間未満」、中学2年生は「30分～1時間未満」となっている。

【図表149 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	0 ～ 15 分未 満	15 分～ 30分 未満	30分 ～1 時間未 満	1 時間～ 2時間未 満	2 時間～ 3時間未 満	3 時間～ 4時間未 満	4 時間以 上	無回 答
全 体	1,651 100.0	50 3.0	160 9.7	349 21.1	477 28.9	287 17.4	140 8.5	137 8.3	51 3.1
小学校5年生	886 100.0	24 2.7	75 8.5	166 18.7	232 26.2	181 20.4	86 9.7	100 11.3	22 2.5
中学校2年生	765 100.0	26 3.4	85 11.1	183 23.9	245 32.0	106 13.9	54 7.1	37 4.8	29 3.8



<休日>

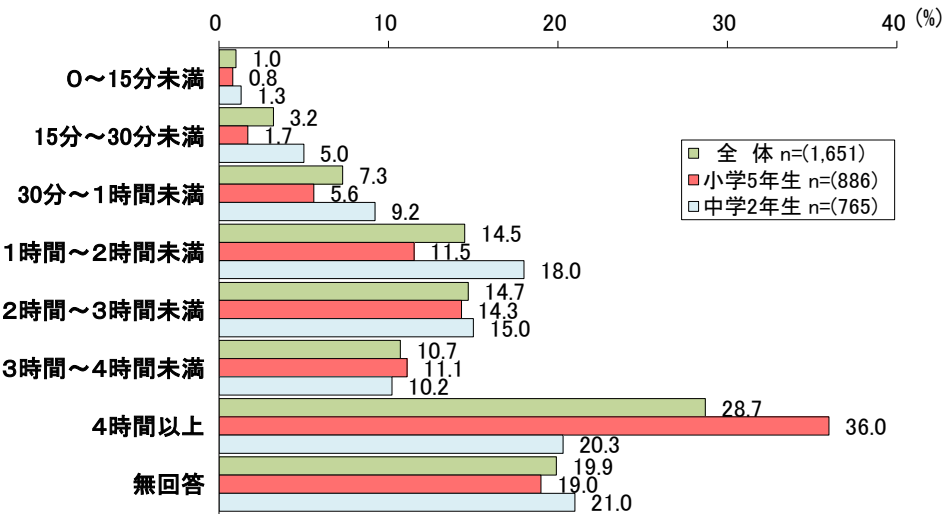
全体では「4時間以上」28.7%が最も高く、次いで「2時間～3時間未満」14.7%、「1時間～2時間未満」14.5%、「3時間～4時間未満」10.7%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「4時間以上」が最も高くなっており、次いで小学5年生は「2時間～3時間未満」、中学2年生は「1時間～2時間未満」となっている。

【図表150 全体・学年別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	0 ～ 15 分未 満	15 分～ 30分 未 満	30分 ～ 1時間 未 満	1時間 ～ 2時間 未 満	2時間 ～ 3時間 未 満	3時間 ～ 4時間 未 満	4時間 以上	無回 答
全 体	1,651	17	53	120	240	242	176	474	329
	100.0	1.0	3.2	7.3	14.5	14.7	10.7	28.7	19.9
小学校5年生	886	7	15	50	102	127	98	319	168
	100.0	0.8	1.7	5.6	11.5	14.3	11.1	36.0	19.0
中学校2年生	765	10	38	70	138	115	78	155	161
	100.0	1.3	5.0	9.2	18.0	15.0	10.2	20.3	21.0



12. 暮らしの状況について

(1) 世帯にて過去1年間に経済的な理由で起きたこと

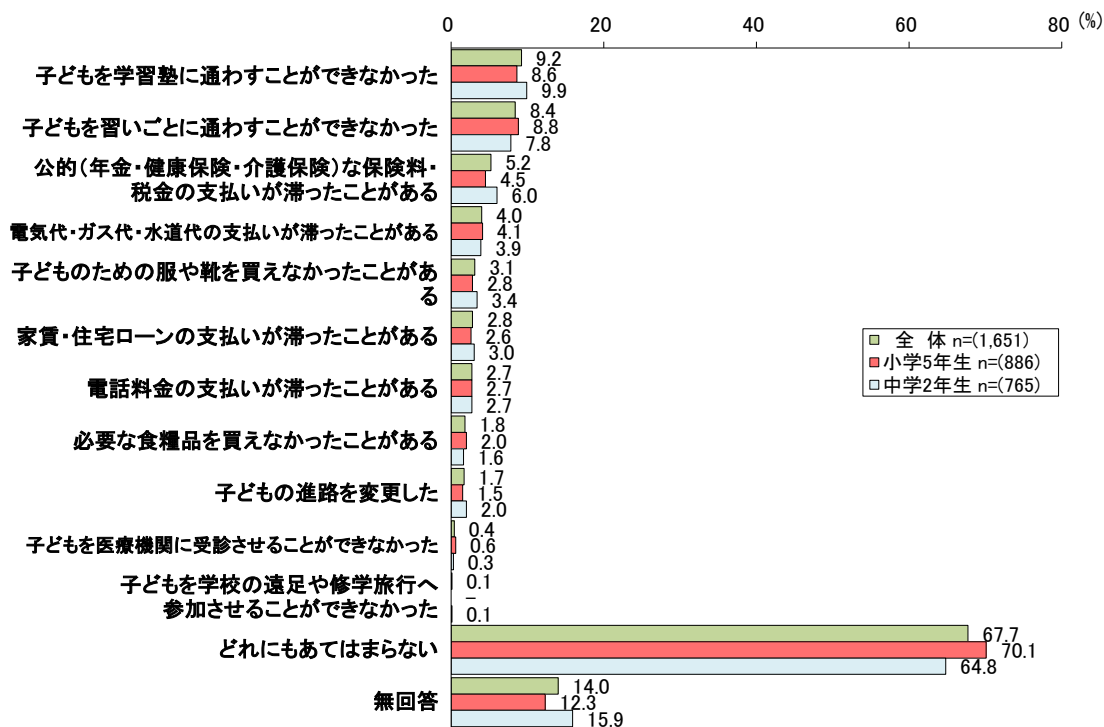
あなたの世帯では、過去1年間に経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(〇はいくつでも) [保護者・問15]

全体では「子どもを学習塾に通わすことができなかった」9.2%が最も高くなっている。次いで「子どもを習いごとに通わすことができなかった」8.4%、「公的(年金・健康保険・介護保険)な保険料・税金の支払いが滞ったことがある」5.2%、「電気代・ガス代・水道代の支払いが滞ったことがある」4.0%となっている。一方で、「どれにもあてはまらない」67.7%となっている。

学年別でみると、小学5年生では「子どもを習いごとに通わすことができなかった」、中学2年生では「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が最も高くなっており、次いで小学5年生では「子どもを学習塾に通わすことができなかった」、中学2年生は「子どもを習いごとに通わすことができなかった」となっている。一方で、「どれにもあてはまらない」は小学5年生では7割台、中学2年生では6割台となっている。

【図表151 全体・学年別】

	調査数	(上段: 件数、下段: %)												
		子どもを学習塾に通わすことができなかった	子どもを習いごとに通わすことができなかった	公的(年金・健康保険・介護保険)な保険料・税金の支払いが滞ったことがある	電気代・ガス代・水道代の支払いが滞ったことがある	子どものための服や靴を買えなかったことがある	家賃・住宅ローンの支払いが滞ったことがある	電話料金の支払いが滞ったことがある	必要な食糧品を買えなかったことがある	子どもの進路を変更した	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	どれにもあてはまらない	無回答
全 体	1,651	152 9.2	138 8.4	86 5.2	66 4.0	51 3.1	46 2.8	45 2.7	30 1.8	28 1.7	7 0.4	1 0.1	1,117 67.7	231 14.0
小学校5年生	886	76 8.6	78 8.8	40 4.5	36 4.1	25 2.8	23 2.6	24 2.7	18 2.0	13 1.5	5 0.6	-	621 70.1	109 12.3
中学校2年生	765	76 9.9	60 7.8	46 6.0	30 3.9	26 3.4	23 3.0	21 2.7	12 1.6	15 2.0	2 0.3	1 0.1	496 64.8	122 15.9

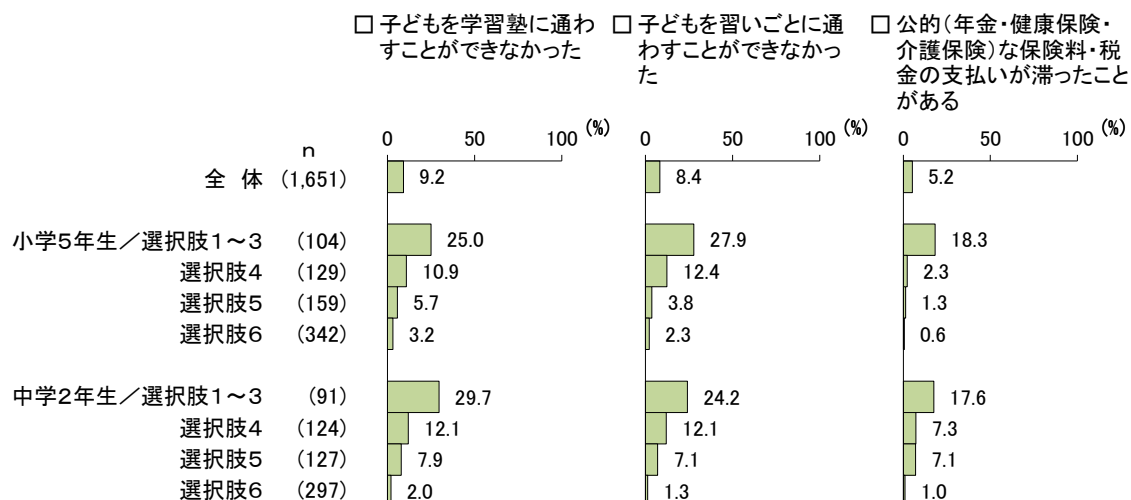


学年×可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生ではいずれの層も「どれにもあてはまらない」が最も高くなっているが、選択肢1～3では4割台にとどまっている。一方で、小学5年生・中学2年生の選択肢1～3では「子どもを学習塾に通わすことができなかった」「子どもを習いごとに通わすことができなかった」が2割台と高く、選択肢4でも1割台となっている。選択肢1～3では「公的（年金・健康保険・介護保険）な保険料・税金の支払いが滞ったことがある」も約2割と高くなっている。

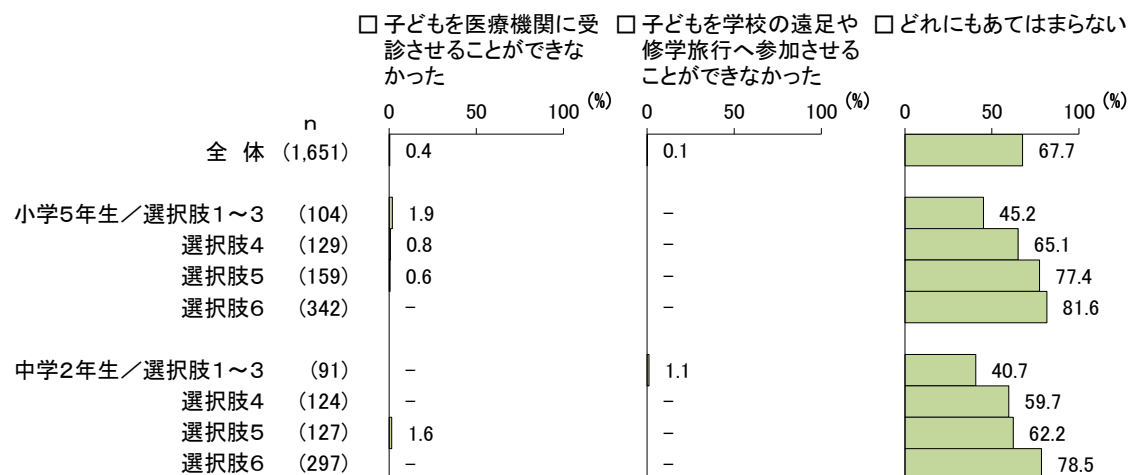
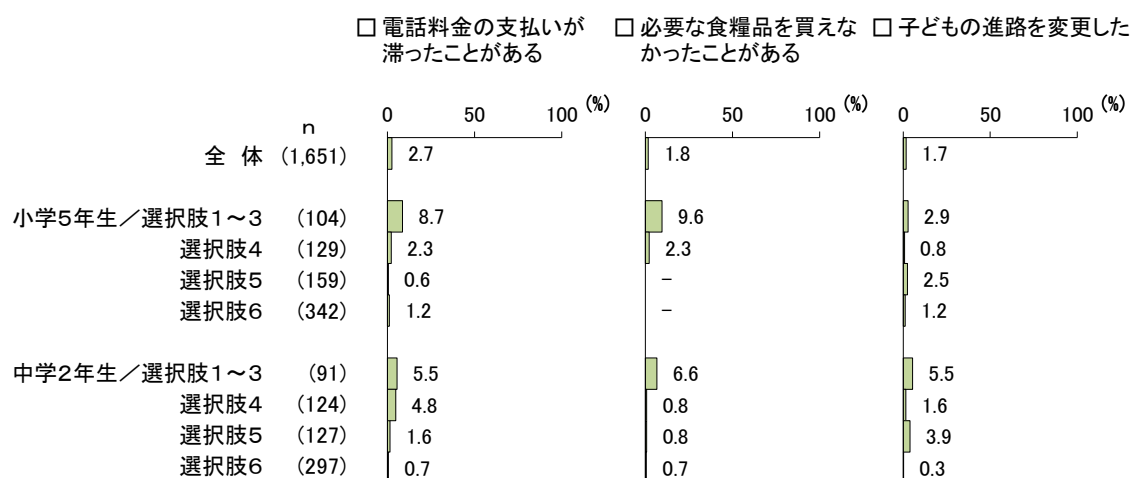
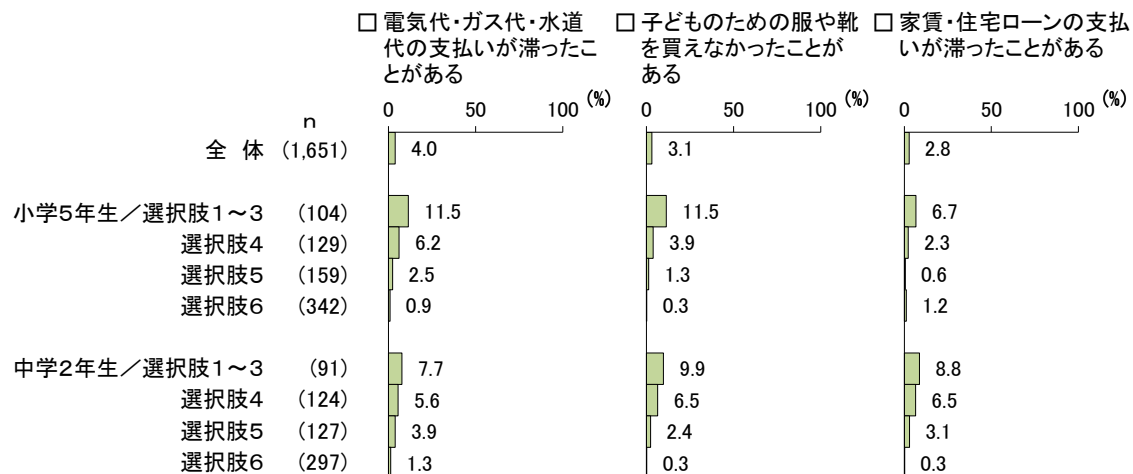
【図表152 学年×可処分所得別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	子どもを学習塾に通わすことができなかった	子どもを習いごとに通わすことができなかった	公的（年金・健康保険・介護保険）な保険料・税金の支払いが滞ったことがある	電気代・ガス代・水道代の支払いが滞ったことがある	子どものための服や靴を買えなかったことがある	家賃・住宅ローンの支払いが滞ったことがある	電話料金の支払いが滞ったことがある	必要な食糧品を買えなかったことがある	子どもの進路を変更した	子どもを医療機関に受診させることができなかった	旅行へ参加させることができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	どれにもあてはまらない
全 体	1,651 100.0	152 9.2	138 8.4	86 5.2	66 4.0	51 3.1	46 2.8	45 2.7	30 1.8	28 1.7	7 0.4	1 0.1	1,117 67.7	
小学5年生／選択肢1～3	104 100.0	26 25.0	29 27.9	19 18.3	12 11.5	12 11.5	7 6.7	9 8.7	10 9.6	3 2.9	2 1.9	－	47 45.2	
選択肢4	129 100.0	14 10.9	16 12.4	3 2.3	8 6.2	5 3.9	3 2.3	3 2.3	3 2.3	1 0.8	1 0.8	－	84 65.1	
選択肢5	159 100.0	9 5.7	6 3.8	2 1.3	4 2.5	2 1.3	1 0.6	1 0.6	－	4 2.5	1 0.6	－	123 77.4	
選択肢6	342 100.0	11 3.2	8 2.3	2 0.6	3 0.9	1 0.3	4 1.2	4 1.2	－	4 1.2	－	－	279 81.6	
中学2年生／選択肢1～3	91 100.0	27 29.7	22 24.2	16 17.6	7 7.7	9 9.9	8 8.8	5 5.5	6 6.6	5 5.5	－	1 1.1	37 40.7	
選択肢4	124 100.0	15 12.1	15 12.1	9 7.3	7 5.6	8 6.5	8 6.5	6 4.8	1 0.8	2 1.6	－	－	74 59.7	
選択肢5	127 100.0	10 7.9	9 7.1	9 7.1	5 3.9	3 2.4	4 3.1	2 1.6	1 0.8	5 3.9	2 1.6	－	79 62.2	
選択肢6	297 100.0	6 2.0	4 1.3	3 1.0	4 1.3	1 0.3	1 0.3	2 0.7	2 0.7	1 0.3	－	－	233 78.5	



第2章 調査の結果詳細



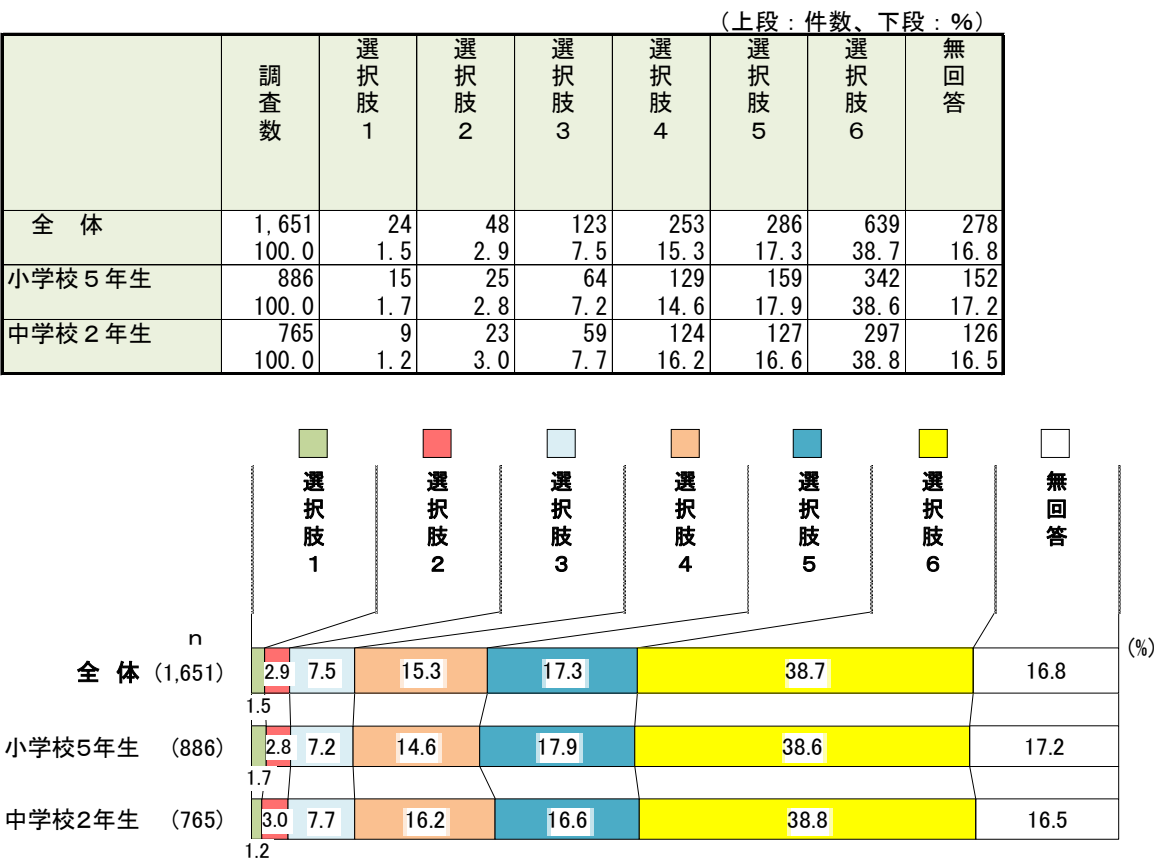
(2) 世帯の昨年1年間の可処分所得

あなたの世帯の昨年1年間の可処分所得（いわゆる手取り収入）は、おおよそどのくらいですか。（世帯員人数に応じていずれかあてはまる番号一つに○）〔保護者・問24〕

全体では「選択肢6」38.7%が最も高く、次いで「選択肢5」17.3%、「選択肢4」15.3%、「選択肢3」7.5%となっている。

学年別でみると、全体と同様に小学5年生・中学2年生とも「選択肢6」が最も高くなっており、次いで「選択肢5」「選択肢4」となっている。

【図表153 全体・学年別】



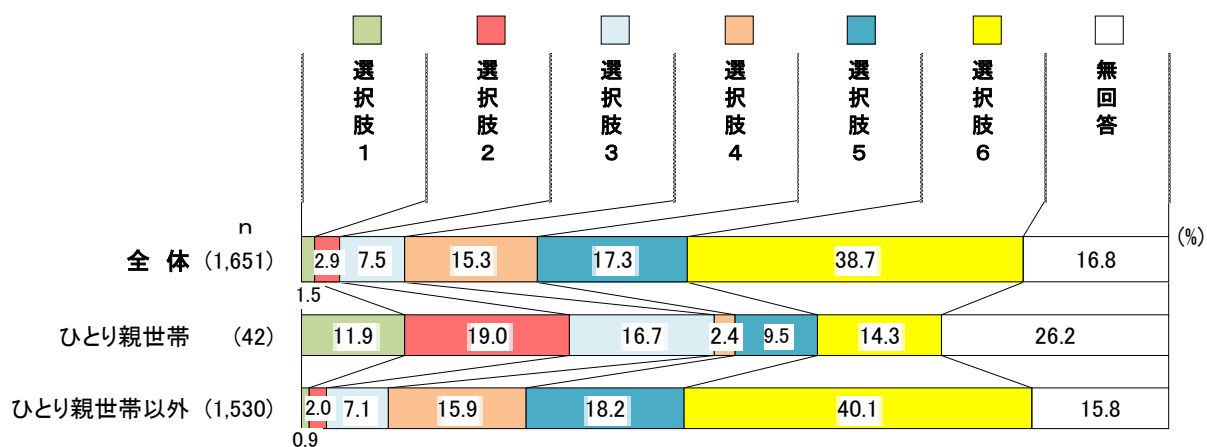
第2章 調査の結果詳細

ひとり親世帯別でみると、ひとり親世帯以外では「選択肢6」が4割台と最も高く、次いで「選択肢5」となっている。一方で、ひとり親世帯では「選択肢2」が約2割と最も高く、次いで「選択肢3」「選択肢6」となっている。また、「選択肢1」が1割台となっている。

【図表154 ひとり親世帯別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6	無回答
全 体	1,651 100.0	24 1.5	48 2.9	123 7.5	253 15.3	286 17.3	639 38.7	278 16.8
ひとり親世帯	42 100.0	5 11.9	8 19.0	7 16.7	1 2.4	4 9.5	6 14.3	11 26.2
ひとり親世帯以外	1,530 100.0	14 0.9	30 2.0	109 7.1	244 15.9	279 18.2	613 40.1	241 15.8



第 3 章 付属資料

第3章 付属資料

子ども用調査票

習志野市子どもの生活に関する実態調査票 (子ども用)

この調査では、習志野市の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子や、みなさんがいつもどんなことを考えたり、感じたりしているのか、これからどんなものを必要としているのかをお聞きます。そして、その回答内容を参考にして、これからの習志野市の子どものために必要な取り組みを考えていきますので、ご協力をお願いします。

調査には、みなさんの名前を書くところはありませんから、誰が書いたのかはわかりません。みなさんのプライバシーは守られますので、安心して回答してください。また、答えを書くときには、自分の考えに合う選択肢を選んでください。答えたくない質問や自分の考えに合う回答がない場合は、答えなくてもかまいません。

回収した調査票は鍵のかかるロッカーで管理し、調査結果のまとめや報告などが終わった後は、手続きに沿って焼却処理します。

みなさんのご協力をよろしくお願いします。

平成29年10月

習志野市役所こども部こども政策課

【アンケートへの記入と回収の方法についてのお願い】

1. アンケートはできるだけ自分で書いてください。
2. 回答は、自分の考えに一番近い数字に○をつけてください。
3. 回答が終わったら、一緒に入っている「こども用」と書いてある封筒に入れて、のりづけやセロハンテープで閉じて、提出してください。
4. このアンケートでわからないことがあったら、下書いてある【問合せ先】へ電話してください。



【問合せ先】

習志野市役所 こども部 こども政策課
電話代表 (047) 451-1151
内線 433、442

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

居場所について

このテーマは、皆さんが、学校の授業やクラブ活動や部活動が終わった後、どこで何をしているのかなど、ふだんの放課後の過ごし方についての質問です。今後、皆さんが学校以外の場所でも安心して遊んだり、過ごしたりできるように、どのような場所を作ったり、整えたりすれば良いかを考えるための参考にします。

問1. 学校が終わった後、どこで過ごしていることが多いですか。一番過ごしている時間が長い場所に一つ〇をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 自宅 | 6. 公民館・図書館等 |
| 2. 友だちの家 | 7. 学校（クラブ活動など） |
| 3. 近所の公園 | 8. 商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど） |
| 4. 塾・習い事の教室 | 9. 学童保育 |
| 5. 祖父母、親戚の家 | 10. その他（ ） |

問2. 学校が終わった後、何をしていることが多いですか。良くしているものに一つ〇をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. 外で遊ぶ | 6. 勉強する |
| 2. ゲームをする（テレビゲームなど） | 7. 読書 |
| 3. テレビを見る | 8. 塾・習い事に行く |
| 4. SNS(ツイッター・インスタグラム・フェイスブック など)を使う | 9. クラブ活動・部活動 |
| 5. 音楽を聞く | 10. スポーツをする |
| | 11. その他（ ） |

問3. 学校が終わった後、誰と過ごしていることが多いですか。最も良く過ごしている人に一つ〇をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. おうちの大人の人 | 5. 祖父母・親戚 |
| 2. 兄弟 | 6. 一人で過ごしている |
| 3. 友だち | 7. その他 |
| 4. おうち以外の大人の人
(近所の大人、塾や習い事の先生など) | () |

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問4. 休みの日はどこで過ごしていることが多いですか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

1. 自宅	7. 学校・学童保育
2. 友だちの家	8. 商店街・繁華街（ゲームセンター、カラオケなど）
3. 近所の公園	9. 運動場
4. 塾・習い事の教室	10. その他
5. 祖父母、親戚の家	()
6. 公民館・図書館等	

問5. 休みの日は誰と過ごしていることが多いですか。最も良く過ごしている人に一つ○をつけてください。

1. おうちの大人の人	5. 祖父母・親戚
2. 兄弟	6. 一人で過ごしている
3. 友だち	7. その他
4. おうち以外の大人の人（近所の大人、塾や習い事の先生など）	()

健康について

このテーマは、みなさんのふだんの生活についての質問です。みなさんが健康でいられるように、どのようなことをしたらよいかを考えるための参考にします。

問6. ふだん、朝ご飯を食べますか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

1. ほとんど毎日食べる	2. 週4～5日食べる	4. ほとんど食べない
	3. 週2～3日食べる	5. その日による

→ 問7. 問6の「2. 3. 4. 5」に○をつけた方にお聞きします。あなたが朝ご飯を食べない理由は何ですか。最もあてはまるものに一つ○をつけてください。

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

ならしのしこ せいかつ かん じったいちようさひょう
習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問8. あなたは学校がお休みの日に昼ご飯を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます)。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 必ず食べる | 3. 食べないことが多い | 5. わからない |
| 2. 食べることが多い | 4. 食べない | |

問9. ふだん(平日)、何時に起きていますか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 午前6時前 | 3. 午前7時～8時前 | 5. その日による |
| 2. 午前6時～7時前 | 4. 午前8時以降 | |

問10. ふだん(平日)、何時に寝ていますか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 午後9時前 | 4. 午後11時～午前0時前 | 7. 午前2時以降 |
| 2. 午後10時前 | 5. 午前0時～1時前 | 8. その日による |
| 3. 午後10時～11時前 | 6. 午前1時～2時前 | |

問11. あなたは次のことをどのくらいしていますか。次の1番から2番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ〇をしてください。

番号	質問	毎日 ほとんど	4 ～ 5 回 週に	2 ～ 3 回 週に	1 回 ～ 1 週に	1 ～ 2 回 月に	ほと んど ない	ま った く ない
1	おうちの大人の人と一緒に 朝ご飯を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
2	おうちの大人の人と一緒に 夕ご飯を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7

問12. 歯の健康状態が悪いと、全身の健康に影響が出ることがあります。そこで、皆さんの歯に関して質問をします。この1年間に歯医者に行きましたか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. むし歯などの治療に行った |
| 2. むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった |
| 3. 矯正の治療に行った |
| 4. 学校から治療のすすめの手紙がきたが、治療に行っていない |
| 5. むし歯などの症状がないので行っていない |

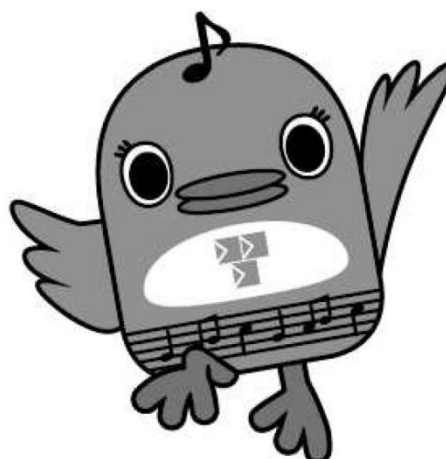
習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問13. あなたは自分の健康状態についてどう感じていますか。最もあてはまるものに一つ〇をしてください。

- | | | |
|---------------|-----------------|---------|
| 1. よい | 3. 普通 | 5. よくない |
| 2. どちらかといえばよい | 4. どちらかといえばよくない | |

問14. 健康でいるためにふだんから行っていることについて、次の1番から8番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ〇をしてください。

番号	質問	している 必ず	している たまに	していない まったく
1	自分に合った健康づくりをしていますか。	1	2	3
2	健康づくりのために運動をしていますか。	1	2	3
3	ふだんなるべく歩くようにしていますか。	1	2	3
4	家族みんなで食事をとるようにしていますか。	1	2	3
5	十分に睡眠をとっていますか。	1	2	3
6	お風呂に入るようにしていますか。	1	2	3
7	規則正しい生活を送っていますか。	1	2	3
8	ストレスをためないように何かしていますか。	1	2	3



ならしのしこ せいかつ かん じったいちようさひよう
習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(こ よう
子ども用)

ちいき かつどう
地域での活動について

このテーマは、いまみなさんがお祭りなどの近所のイベントや公園のそうじなどの活動に参加しているか、現在の参加の様子をお聞きして、今後みなさんが地域での活動に参加したいと思うためには、どのような活動を提案したり、工夫をしたらよいかを考えるための参考になります。

問15. 自分の住んでいる地域で、次のような活動をしたことがありますか。また、今後経験してみたいと思いますか。次の1番から5番までの質問について、まず、経験があるかないかについて回答してください。そして、経験がないと答えた人は、今後経験してみたいかについて回答してください。それぞれ最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。また、あてはまるものがない人は、6番の「その他」にどのような活動をしたいのか、具体的に記入してください。

ばんごう 番号	しつもん 質問	かいとう 回答
1	ちい き まつ たいがい 地域のお祭りやスポーツ大会 (「2. 経験がない」と回答した人へ) こん ごけいけん おも 今後経験してみたいと思いますか。	けいけん けいけん 1. 経験がある 2. 経験がない こん ごけいけん 1. 今後経験してみたい こん ごけいけん おも 2. 今後経験してみたいと思わない
2	こうみんかん ちょうかい ぎょうじ 公民館や町会の行事イベント (「2. 経験がない」と回答した人へ) こん ごけいけん おも 今後経験してみたいと思いますか。	けいけん けいけん 1. 経験がある 2. 経験がない こん ごけいけん 1. 今後経験してみたい こん ごけいけん おも 2. 今後経験してみたいと思わない
3	ほどう どうろ こうえん ちい き そうじ 歩道や道路、公園などの地域の掃除や ぼうさいくんれん かつどう 防災訓練などの活動 (「2. 経験がない」と回答した人へ) こん ごけいけん おも 今後経験してみたいと思いますか。	けいけん けいけん 1. 経験がある 2. 経験がない こん ごけいけん 1. 今後経験してみたい こん ごけいけん おも 2. 今後経験してみたいと思わない
4	しょうがいのあるひと、病気の人、小さい子ども、お年寄りなどのお世話 (「2. 経験がない」と回答した人へ) こん ごけいけん おも 今後経験してみたいと思いますか。	けいけん けいけん 1. 経験がある 2. 経験がない こん ごけいけん 1. 今後経験してみたい こん ごけいけん おも 2. 今後経験してみたいと思わない
5	こ かい しょうねんだんどう かつどう 子ども会やスポーツ少年団等での活動 やホーイスカウト、ガールスカウトなどでの活動 (「2. 経験がない」と回答した人へ) こん ごけいけん おも 今後経験してみたいと思いますか。	けいけん けいけん 1. 経験がある 2. 経験がない こん ごけいけん 1. 今後経験してみたい こん ごけいけん おも 2. 今後経験してみたいと思わない
6	た その他 ()	

ならしのし こ せいかつ かん じつたいちようさひよう
習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

ならしのし
習志野市について

このテーマは、今みなさんが習志野市について、どんなことを考えたり、感じたりしているのかについての質問です。習志野市に住んでいて楽しい、住みやすいと思ってもらえるまちにするために、どのようなことをしたらよいかを考えるための参考にします。

問16. 習志野市にあったらいいと思う場所や施設はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 体^{からだ}を思い切り動か^{おも}すことのできる公園^{こうえん}や広場^{ひろば}
2. サッカーや野球^{やきゅう}などができる運動場^{うんどうじょう}
3. 体育館^{たいいくかん}やプール
4. 図書館^{としょかん}
5. 公民館^{こうみんかん}
6. いろいろな遊び^{あそび}道具^{どうぐ}があって自由^{じゆう}に遊べる施設^{しせつ}
7. 干潟^{ひがた}や田んぼ^{たんぼ}、緑^{みどり}など自然^{しぜん}とふれあえる場所^{ばしょ}
8. ダンスや演劇^{えんげき}をしたり、楽器^{がっき}を演奏^{えんそう}できる施設^{しせつ}
9. インターネットが使える施設^{しせつ}
10. 大人^{おとな}が遊び^{あそ}を教^{おし}えてくれる場所^{ばしょ}
11. 子どもの意見^{いけん}が言^いえる場所^{ばしょ}
12. 悩み^{なや}や困^{こま}ったことがあった時^{とき}に相談^{そうだん}にのってくれる場所^{ばしょ}
13. 家以外^{いえいがい}で平日^{へいじつ}の放課後^{ほうかご}に夜までいられる場所^{ばしょ}
14. 家以外^{いえいがい}で休みの日^{やすひ}にいたることができる場所^{ばしょ}
15. 家の人^{いえひと}がいないときに、夕ご飯^{ゆうはん}を皆^{みんな}で食^たべることができる場所^{ばしょ}
16. 家で勉強^{べんきょう}できないときに、静か^{しず}に勉強^{べんきょう}ができる場所^{ばしょ}
17. 無料^{むりよう}で勉強^{べんきょう}をみしてくれる場所^{ばしょ}
18. 自由^{じゆう}に使^{つか}える友だち^{とも}とのたまり場^ば
19. たくさんお店^{みせ}が入^かっていて買^かい物等^{ものなど}が便利^{べんり}な大型^{おおがた}ショッピングセンター
20. 子どもやお年寄り^{としよ}と安心^{あんしん}して一緒^{いっしょ}に過^すごすことのできる場所^{ばしょ}
21. 障がい^{しょうがい}のある人^{ひと}が利用^{りよう}しやすい施設^{しせつ}
22. 特^{とく}にない
23. その他 ()

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問17. 行事など市からのお知らせはどのように受け取ることが多いですか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1. 市の広報紙 | 3. 学校からのお知らせ | 5. その他 |
| 2. 市のホームページ | 4. 家族や友達から | () |

インターネットの利用について

今、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使ってインターネットを利用する人が多くいます。このテーマでは、今、みなさんがインターネットをどのように利用しているかについての質問です。今後、市役所からどのような手段で情報を伝えていくかを考えるための参考にします。

問18. 携帯電話を持っていますか。あてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 子ども向け携帯電話 | 3. その他の携帯電話 |
| 2. スマートフォン (iPhoneを含む) | 4. 持っていない |

問19. 携帯電話やスマートフォン、パソコンでインターネットを利用しますか。あてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 利用する | 3. 利用しない |
|---------|----------|

→ 問20. 問19の「1. 利用する」に〇をつけた方にお聞きます。インターネットを利用する主な目的は何ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. メール | 6. 音楽や動画などを見る |
| 2. 調べもの | 7. 音楽や動画などのダウンロード |
| 3. 勉強 | 8. 買い物やチケットの予約 |
| 4. SNSサイト等※のコミュニケーション | 9. その他 |
| 5. ゲーム | () |

※LINE、Facebook、Instagram、Twitterなど

→ 問21. 問19の「1. 利用する」に〇をつけた方にお聞きます。携帯電話やスマートフォンなどで一日に平均どれくらいインターネットを利用しますか。

- | |
|--------------|
| 1日 平均 () 時間 |
|--------------|

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

まな
学びについて

このテーマは、皆さんの学校や家での学習についての質問です。皆さんの学習について、どのような応援ができるのかを考えるための参考にします。

問22. 自宅に宿題や勉強ができる場所がありますか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

1. ある 2. ない(ほしい) 3. ない(ほしくない)

問23. 学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

1. まったくしない 4. 1時間以上、2時間より少ない
2. 30分より少ない 5. 2時間以上、3時間より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない 6. 3時間以上

問24. 学校の授業はどのくらいわかりますか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

1. よくわかる 3. 半分くらいわかる 5. ほとんどわからない
2. 大体わかる 4. わからないことが多い

→ 問25. 問24で「3」～「5」のいずれかに答えた方にお聞きします。授業が分からなくなったのはいつ頃ですか。最もあてはまるものに一つ〇をつけてください。

1. 小学1年生のころ 6. 小学6年生のころ
2. 小学2年生のころ 7. 中学1年生のころ
3. 小学3年生のころ 8. 中学2年生になってから
4. 小学4年生のころ 9. わからない
5. 小学5年生になってから／のころ

問26. 自分の最終進学先について、どこまで希望しますか。あてはまるものに一つ〇をつけてください。

1. 中学校 4. 大学院 7. 考えたことがない
2. 高校 5. 留学 8. わからない
3. 大学・短期大学 6. 専門学校・高等専門学校

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問27. 自分が問26の希望通りの学校まで進むことになると思いますか。あてはまるもの一つ〇をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

→ 問28. 問27で「2. 思わない」と答えた方にお聞きします。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. おうちの大人の人の希望と異なるから | 4. その他 |
| 2. 自分の学力から | () |
| 3. 経済的な余裕がないから | 5. 特に理由はない |

自分自身について

このテーマは、みなさんがふだん楽しい、うれしいと感じていること、心配していることや悩んでいることについての質問です。みなさんが楽しく暮らしていけるように、どのような応援ができるのかを考えるための参考にします。

問29. あなたがふだんうれしいと感じるのは何をしている時ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 遊んでいる時 | 7. クラブ活動・部活動をしている時 |
| 2. ゲームをしている時 | 8. スポーツをしている時 |
| 3. テレビを見ている時 | 9. パソコンを使って遊んでいる時 |
| 4. 音楽を聞いている時 | 10. メール・LINEなどで友達と会話をしている時 |
| 5. 勉強をしている時 | 11. SNS(ツイッター・インスタグラム・フェイスブック)などを使っている時 |
| 6. 読書をしている時 | 12. その他() |

問30. 将来の夢や目標を持っていますか。最もあてはまるもの一つ〇をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 持っている | 3. どちらかというとは持っていない |
| 2. どちらかというとは持っている | 4. 持っていない |

問31. ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。あてはまるもの一つ〇をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ある | 3. どちらかというたない |
| 2. どちらかというたある | 4. ない |

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問32. 毎日の生活はうれしいことばかりではないかもしれませんが、難しいことでも、失敗を恐れ
れないで挑戦していますか。あてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. している | 3. どちらかというとしていない |
| 2. どちらかというとしている | 4. していない |

問33. 自分にはよいところがあると思いますか。あてはまるものに一つ〇をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない |

問34. 次のような悩みや心配事がありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 勉強や進学のこと | 6. 家族のこと |
| 2. 友達や仲間のこと | 7. 容姿(顔、体型、服装、髪型など)のこと |
| 3. 性格のこと | 8. 好きな男の子や女の子のこと |
| 4. 健康のこと | 9. 悩みや心配なことはない |
| 5. お金のこと | 10. その他() |

問35. 困ったことや悩みの相談相手は主に誰ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 父親 | 9. 学校の先生 |
| 2. 母親 | 10. 保健室の先生 |
| 3. 兄弟・姉妹 | 11. スクールカウンセラー・教育相談員 |
| 4. おじいさん・おばあさん・親戚 | 12. 塾や予備校の先生 |
| 5. 近所のおじいさん・おばさん | 13. 雑誌・本・インターネット |
| 6. 同性の友達 | 14. 電話相談 |
| 7. 異性の友達 | 15. 誰にも相談しない |
| 8. 先輩・後輩 | 16. その他() |

問36. あなたは、自分が幸せだと思いますか。

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 1. とても幸せだと思う | 3. あまり幸せだと思わない | 5. わからない |
| 2. 幸せだと思う | 4. 幸せだと思わない | |

習志野市子どもの生活に関する実態調査票
(子ども用)

問37. あなたは次のことをどのくらいしていますか。次の1番から3番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ〇をしてください。

ばんごう 番号	しつもん 質問	ほとんど 毎日	4 5 週に 1回	2 3 週に 1回	1 回 に 1回	1 2 月 に 1回	ほとんど ない	まったく ない
1	おうちの大人の人に宿題 (勉強)をみてもらいますか	1	2	3	4	5	6	7
2	おうちの大人の人と学校の できごとについて話しますか	1	2	3	4	5	6	7
3	おうちの大人の人と遊んだり、 体を動かしたりしますか	1	2	3	4	5	6	7

問38. あなたの性別を教えてください。

1. 男	2. 女
------	------

問39. あなたの住んでいる地区を教えてください。

1. 茜浜	6. 奏の杜	11. 津田沼	16. 屋敷
2. 秋津	7. 鷺沼	12. 花咲	17. 谷津
3. 泉町	8. 鷺沼台	13. 東習志野	18. 谷津町
4. 大久保	9. 新栄	14. 藤崎	19. 実籾
5. 香澄	10. 袖ヶ浦	15. 本大久保	20. 実籾本郷

問40. 最後に、毎日の生活の中で感じることがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。



習志野市子どもの生活に関する実態調査票

(保護者用)

習志野市立の小学校5年生および中学校2年生の保護者の皆さまへ

習志野市では、一人ひとりの子どもが夢と希望を持ち、自分らしく社会の一員として自立できるよう、有効な支援を導き出すための参考とさせていただくことを目的に、子どもの生活状況等の調査を行います。調査の対象は、市立小学校5年生及び市立中学校2年生のお子さんと、その保護者の方としており、お子さんにつきましては、学校の御協力のもと、調査を実施させていただきます。

この調査は無記名のため、個人が特定されることはありません。日頃感じ、考えておられることをもとに、適応する回答を選択肢からお選びください。回答したくない質問や適応する選択肢がない場合には、お答えいただかなくても構いません。

また、調査票は、回収後、施錠できる場所で保管し、調査結果の集計・報告の後、所定の保管期間をおいて、焼却処理します。

なお、本調査の目的以外に当該調査票を使用することはありません。

お忙しい中、おそれいりますが、調査に御協力の程よろしくお願いいたします。

平成29年10月

習志野市役所こども部こども政策課

【調査票のご提出について】

調査票にご回答いただきましたら、封筒に調査票を入れ、封をして切手を貼らずに、そのまま郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします。

回答締切日： 11月 14日(火)

【問合せ先】

習志野市役所 こども部 こども政策課

電話 代表(047) 451-1151 内線 433、442

問1 お住まいの地区はどちらですか。(○は一つ)

1. 茜浜	6. 奏の杜	11. 津田沼	16. 屋敷
2. 秋津	7. 鷺沼	12. 花咲	17. 谷津
3. 泉町	8. 鷺沼台	13. 東習志野	18. 谷津町
4. 大久保	9. 新栄	14. 藤崎	19. 実靱
5. 香澄	10. 袖ヶ浦	15. 本大久保	20. 実靱本郷

問2 この調査に回答いただいている方(以下「あなた」といいます。)は、お子さんからみて、次のどれにあたりますか。(○は一つ)

1. 父	3. 祖父	5. その他
2. 母	4. 祖母	(具体的に:)

問3 あなたがふだん一緒に住んで、生活を共にしている方は、あなたを含めて何人ですか。
単身赴任、会社・学校の寮・福祉施設に入っている方、別居している方は、含みません。

人



区分ごとの人数を教えてください。		
子どもの人数 ↓ 「あなた」から見た 子どもにあたる人	小学校就学前児	人
	小学生	人
	中学生	人
	高校生	人
	専門学校(専修学校、各種学校)	人
	高等専門学校	人
	短大	人
	大学	人
	大学院	人
	上記以外で、就職(アルバイトを含む)	人
	その他	人
その他の世帯員	あなた(記入者本人)	1人
	あなたの配偶者	人
	あなたの父母	人
	あなたの祖父母	人
	あなたの兄弟姉妹	人
	その他	人

第3章 付属資料

問4 お子さんの父母（または父母にあたる方）について、あてはまるものを選んで○をしてください。

	父または父にあたる人	母または母にあたる人
ア 年齢（○は一つ）	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上 7. 不明 8. 父または父にあたる人はいない	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上 7. 不明 8. 母または母にあたる人はいない
イ 健康状態（○は一つ） ※日常生活や育児に困難を感じるような健康上の問題や障がいの有無	1. まったくない 2. ややある 3. とてもある	1. まったくない 2. ややある 3. とてもある
ウ 最後に通った学校（○は一つ）	1. 中学校卒業 2. 高等学校中途退学 3. 高等学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中途退学 5. 高専、短大、専門学校等卒業 6. 大学中途退学 7. 大学卒業 8. 大学院修了 9. その他（ ） 10. わからない	1. 中学校卒業 2. 高等学校中途退学 3. 高等学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中途退学 5. 高専、短大、専門学校等卒業 6. 大学中途退学 7. 大学卒業 8. 大学院修了 9. その他（ ） 10. わからない

	父または父にあたる人	母または母にあたる人
エ 現在の就業状況 (○は一つ)	1. 勤め(常勤・正規職員) 2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務) 3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2カ所以上勤務) 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事をさがしている 7. 上記以外の方 ①家事や育児に専念 ②学生 ③家族の介護や介助 ④病気療養 ⑤年金など ⑥家賃収入・株式運用など ⑦その他	1. 勤め(常勤・正規職員) 2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務) 3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2カ所以上勤務) 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事をさがしている 7. 上記以外の方 ①家事や育児に専念 ②学生 ③家族の介護や介助 ④病気療養 ⑤年金など ⑥家賃収入・株式運用など ⑦その他
以下はエで、「1～3 勤め」と答えた方におたずねします		
オ 家を出る時間 (日によって違う場合は、 1番多い出勤時間で答えて ください)(○は一つ)	1. 6時台 2. 7時台 3. 8時台 4. 9時台 5. 10～16時台 6. 16～22時台 7. 22～6時台 8. よくわからない	1. 6時台 2. 7時台 3. 8時台 4. 9時台 5. 10～16時台 6. 16～22時台 7. 22～6時台 8. よくわからない
カ 家に帰る時間 (日によって違う場合は、 1番多い帰宅時間で答えて ください)(○は一つ)	1. 16時台 2. 17時台 3. 18時台 4. 19時台 5. 20時台 6. 21時台 7. 22時台 8. 23時台 9. 0～6時 10. 6～9時 11. 9～16時 12. よくわからない	1. 16時台 2. 17時台 3. 18時台 4. 19時台 5. 20時台 6. 21時台 7. 22時台 8. 23時台 9. 0～6時 10. 6～9時 11. 9～16時 12. よくわからない

第3章 付属資料

問5 あなたの世帯では、次の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（それぞれ一つに○）

	利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、知っている	制度を知らない・申請方法が わからない
1. 児童手当	1	2	3
2. 児童扶養手当	1	2	3
3. 就学援助	1	2	3
4. 生活保護	1	2	3
5. 障がいや難病の手当	1	2	3
6. スクールカウンセラー	1	2	3
7. 高等学校等就学支援金	1	2	3
8. 奨学のための給付金	1	2	3
9. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3
10. 生活福祉資金貸付金	1	2	3

問6 子どもや家庭の支援策として、どのような支援があるとよいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもや生活のことについての悩み事相談 2. 民生委員・児童委員など、地域の人からの支援 3. 病気や障がいのことなどの専門的な支援 4. 急な用事（病気・事故等）があったときの一時的な子どもの預かり 5. 学校に関することで先生以外の相談や支援 6. 学習支援 7. 地域における子どもの居場所 8. その他（具体的に：	)
---	---

問7 あなたは、子育て施策などに関する情報をどこから手にいれますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 家族や友人 2. 近所や民生委員・児童委員など地域住民 3. 学校の先生や学校からの便り 4. 市役所の窓口	5. 市の広報紙 6. 市のホームページ 7. その他 （具体的に：	)
--	---	---

問8 ①～②②の事業のそれぞれについて、「現在の利用状況」のあてはまる番号に○をつけてください。また、今後利用したい事業について、「今後の利用希望」の欄に○をつけてください。

	現在の利用状況 (それぞれ○は一つ)			今後の 利用希望 
	利用した ことがある	利用し たこと はない が知っ ている	知らない	
(記入例) → ○○○相談	1	②	3	○
①ヘルスステーションでの相談	1	2	3	
②妊婦・新生児訪問	1	2	3	
③健康相談・健康診査	1	2	3	
④各種育児教室(離乳食・歯みがきなど)	1	2	3	
⑤公民館の学習会(家庭教育や育児に関する学級・講座など)	1	2	3	
⑥保育所、認定こども園の地域開放	1	2	3	
⑦幼稚園、認定こども園の子育てふれあい広場	1	2	3	
⑧幼稚園、認定こども園(短時間児)の預かり保育	1	2	3	
⑨こどもセンター	1	2	3	
⑩つどいの広場(きらっ子ルーム)	1	2	3	
⑪病児・病後児保育	1	2	3	
⑫ファミリー・サポート・センター	1	2	3	
⑬子育て支援相談室	1	2	3	
⑭障害福祉サービス(⑮放課後等デイサービスを除く)	1	2	3	
⑮放課後等デイサービス	1	2	3	
⑯ひまわり発達相談センター	1	2	3	
⑰地域における親子交流の場(親子を対象にした社会福祉協議会による子育てサロンなど)	1	2	3	
⑱民間の保育サービス(休日保育等)	1	2	3	
⑲市が発行している子育て情報誌(子育てハンドブックなど)	1	2	3	
⑳教育相談(電話相談・来所相談)	1	2	3	
㉑らいふあっぷ習志野	1	2	3	
㉒女性の生き方相談	1	2	3	

※①、⑥～⑬、⑮、⑯、⑲～㉒の内容については、11ページの資料をご覧ください。

問9 無料の学習支援があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。(〇は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 問9で「1 はい」とお答えの方にうかがいます。どの範囲ならお子さんに参加させたいと思いますか。(〇は一つ)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 市内どこでもよい | 2. 住んでいる学区内 | 3. 隣接する学区内 |
|-------------|-------------|------------|

問11 お子さんに関することで、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 健康 | 10. 非行 |
| 2. 性格やくせ | 11. 就職 |
| 3. 食事や栄養 | 12. 子育てのやり方がわからない |
| 4. しつけ | 13. 子育ての手助けがない |
| 5. 交友関係 | 14. 子どもとの団らんや会話が少ない |
| 6. いじめ | 15. 子育てに忙しく、自分の時間がない |
| 7. 勉強や進学 | 16. その他 |
| 8. 不登校 | (具体的に:) |
| 9. 家庭内暴力 | 17. 特にない |

問12 お子さんのこと以外で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 配偶者・パートナーとの関係 | 5. 日常の家事(料理・掃除・洗濯等)のやり方 |
| 2. 親・兄弟など親族との関係 | 6. 仕事の探し方 |
| 3. 友人との関係 | 7. 仕事に関すること |
| 4. 近所との関係 | |

問13 あなたには、心おきなく相談できる相手がありますか。(〇は一つ)

- | | | | |
|---------------|-------------|---------|--------|
| 1. 相談できる相手がいる | 2. 相談相手がほしい | 3. 必要ない | → 問15へ |
|---------------|-------------|---------|--------|

問14 問13で「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方にうかがいます。その相談相手は誰ですか。また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 6. 学校の先生やスクールカウンセラー |
| 2. 親・親族 | 7. 民生委員・児童委員 |
| 3. 友人・知人 | 8. 市役所などの公的機関 |
| 4. 隣人・地域の人 | 9. 民間団体やボランティア |
| 5. 職場の人 | 10. その他(具体的に:) |

問15 あなたの世帯では、過去1年間に経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 電気代・ガス代・水道代の支払いが滞ったことがある
2. 家賃・住宅ローンの支払いが滞ったことがある
3. 電話料金の支払いが滞ったことがある
4. 公的(年金・健康保険・介護保険)な保険料・税金の支払いが滞ったことがある
5. 必要な食糧品を買えなかったことがある
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった
7. 子どものための服や靴を買えなかったことがある
8. 子どもを医療機関に受診させることができなかった
9. 子どもの進路を変更した
10. 子どもを習いごとに通わすことができなかった
11. 子どもを学習塾に通わすことができなかった
12. どれにもあてはまらない

問16 お子さんの最終進学先について、どこまで希望されていますか(〇は一つ)

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 1. 中学校 | 4. 大学院 | 7. 考えたことがない |
| 2. 高校 | 5. 留学 | 8. わからない |
| 3. 大学・短期大学 | 6. 専門学校・高等専門学校 | |

問17 お子さんが問16の希望通りの学校まで進むことになると思いますか。(〇は一つ)

- | | | | |
|-------|---------|--------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | → 問18へ | 3. わからない |
|-------|---------|--------|----------|

問18 問17で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 子ども本人の希望と異なるから | 4. その他 |
| 2. 子どもの学力から | (具体的に:) |
| 3. 経済的な余裕がないから | 5. 特に理由はない |

問19 あなたは、お子さんとよく話をしますか。(〇は一つ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. よくする | 3. あまりしない |
| 2. する | 4. しない |

第3章 付属資料

問20 あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、大体どれくらいですか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号一つに○)

平 日	休 日
1. 0～15分未満	1. 0～15分未満
2. 15分～30分未満	2. 15分～30分未満
3. 30分～1時間未満	3. 30分～1時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 1時間～2時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 2時間～3時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 3時間～4時間未満
7. 4時間以上	7. 4時間以上

問21 あなたは自分の健康状態についてどう感じていますか。(○は一つ)

1. よい	3. 普通	5. よくない
2. どちらかといえばよい	4. どちらかといえばよくない	

問22 健康でいるためにふだんから行っていることについて、次の1番から8番までの質問について、それぞれ最もあてはまるものに一つ○をしてください。

番号	質 問	して いる 必ず	して いる たまに	して いない まったく
1	自分に合った健康づくりをしていますか。	3	2	1
2	健康づくりのために運動をしていますか。	3	2	1
3	ふだんなるべく歩くようにしていますか。	3	2	1
4	家族みんなで食事をとるようにしていますか。	3	2	1
5	十分に睡眠をとっていますか。	3	2	1
6	お風呂に入るようにしていますか。	3	2	1
7	規則正しい生活を送っていますか。	3	2	1
8	ストレスをためないように何かしていますか。	3	2	1

問23 あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。(○は一つ)

1. とても幸せだと思う	3. あまり幸せだと思わない	5. わからない
2. 幸せだと思う	4. 幸せだと思わない	

問24 あなたの世帯の昨年1年間の可処分所得（いわゆる手取り収入）は、おおよどのくらいですか。（世帯員人数に応じていずれかあてはまる番号一つに○）

世帯員人数 (問3での回答人数)	可処分所得 (世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」「社会保険料（「医療保険（短期掛金）」、「年金保険（長期掛金）」、「介護保険」、「雇用保険」）、「固定資産税」を除いた額）					
1人	1. 60 万未満	3. 120 万円～180 万円未満	5. 240 万円～300 万円未満	2. 60 万円～120 万円未満	4. 180 万円～240 万円未満	6. 300 万円以上
2人	1. 85 万円未満	3. 175 万円～260 万円未満	5. 345 万円～430 万円未満	2. 85 万円～175 万円未満	4. 260 万円～345 万円未満	6. 430 万円以上
3人	1. 105 万円未満	3. 210 万円～315 万円未満	5. 420 万円～525 万円未満	2. 105 万円～210 万円未満	4. 315 万円～420 万円未満	6. 525 万円以上
4人	1. 120 万円未満	3. 245 万円～365 万円未満	5. 485 万円～605 万円未満	2. 120 万円～245 万円未満	4. 365 万円～485 万円未満	6. 605 万円以上
5人	1. 135 万円未満	3. 275 万円～410 万円未満	5. 545 万円～680 万円未満	2. 135 万円～275 万円未満	4. 410 万円～545 万円未満	6. 680 万円以上
6人	1. 150 万円未満	3. 300 万円～450 万円未満	5. 600 万円～750 万円未満	2. 150 万円～300 万円未満	4. 450 万円～600 万円未満	6. 750 万円以上
7人	1. 160 万円未満	3. 325 万円～485 万円未満	5. 645 万円～805 万円未満	2. 160 万円～325 万円未満	4. 485 万円～645 万円未満	6. 805 万円以上
8人	1. 175 万円未満	3. 345 万円～520 万円未満	5. 695 万円～870 万円未満	2. 175 万円～345 万円未満	4. 520 万円～695 万円未満	6. 870 万円以上
9人	1. 185 万円未満	3. 365 万円～550 万円未満	5. 735 万円～920 万円未満	2. 185 万円～365 万円未満	4. 550 万円～735 万円未満	6. 920 万円以上

問25 最後に、毎日の生活の中で感じていることがありましたら、何でもご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

子育て・子育てを地域で支えるまち習志野

習志野市では、こども園、幼稚園、保育所での幼児教育・保育のほか地域で子育て・子育てを支えるためにいろいろな制度でみなさんを応援しています。

1. ヘルスステーションでの相談

実施内容	市内5か所に設置している地域保健活動の拠点です。皆さんの健康についての相談事業や、各種健診等の会場となっているほか、窓口では健康支援課に関する手続きの一部が可能です。
------	---

2. 保育所、認定こども園の地域開放

実施内容	地域の親子の交流の場、子育ての相談の場として、市内にお住まいの乳幼児の親子に、保育所・こども園の所庭を開放しています。
------	---

3. 幼稚園、認定こども園の子育てふれあい広場

実施内容	遊具で自由に遊ぶ場、在園児と交流する場として、市内にお住まいの未就園児親子に幼稚園およびこども園の園庭や遊戯室などを開放しています。
------	--

4. 幼稚園、認定こども園（短時間児）の預かり保育

実施内容	市立幼稚園およびこども園では、保育時間終了後、午後5時まで在園児をお預かりしています。
------	---

5. こどもセンター

実施内容	主に就学前の子どもとその保護者の子育て支援のための施設です。親子で自由に遊んだり、交流したり、子育てに関する情報や学習機会の提供を行っています。
------	--

6. つどいの広場（きらっ子ルーム）

実施内容	乳幼児（主に0歳から3歳児）とその保護者の子育て支援のための施設です。
------	-------------------------------------

7. 病児・病後児保育

実施内容	子どもが病気のときに、医療機関による入院治療の必要はないが、集団生活や家庭での育児が困難な場合にその子どもを一時的にお預かりする事業です。
------	---

8. ファミリー・サポート・センター

実施内容	子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎、保護者の体調不良時や産前産後の家事支援等の援助を受けたい人（利用会員）、援助のできる人（提供会員）が会員となり、会員相互の協力により地域で支えあうシステムです。
------	---

9. 子育て支援相談室

実施内容	18歳未満の児童についてのあらゆる相談を受け付けています。
------	-------------------------------

10. 放課後等デイサービス

実施内容	学校に通学する障がい児に対し、放課後や夏休みなどの休暇中において、生活能力向上のための訓練を継続的に提供するとともに、放課後等の居場所を提供します。
------	--

11. ひまわり発達相談センター

実施内容	成長や発達に不安や心配のあるお子さんとその家族を支援する施設です。
------	-----------------------------------

12. 教育相談（電話相談・来所相談）

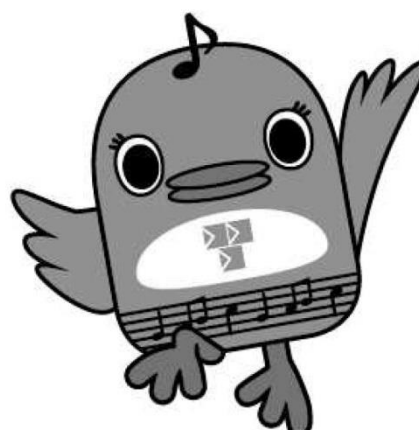
実施内容	主に小・中学生の子どもとその保護者を対象に、不登校、発達、人間関係、いじめ、特別支援、就学等、教育上のことがらに関する相談及び家庭における子どもに関する悩みごと等に関する相談を受け付けています。
------	---

13. らいふあっぷ習志野

実施内容	ご家庭の経済的な問題を中心に、生活、仕事、健康、家族、将来など幅広くお悩みをうかがい、就労支援、家計の整理、利用できるサービスの案内など、お悩みが解決するまで継続的に支援をしています。
------	--

14. 女性の生き方相談

実施内容	女性のさまざまな悩みに、専門のカウンセラーが相談に応じます。
------	--------------------------------



習志野市
子どもの生活に関する実態調査
報告書

平成30年3月発行

習志野市こども部こども政策課
〒275-8601
千葉県習志野市鷺沼2-1-1